

令和元年度 第2回 倉敷市環境審議会

日時 令和元年10月4日(金) 10:00～

場所 倉敷市役所本庁舎3階 特別委員会室

1 開会・あいさつ

2 議 事

- (1) 第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況等について 資料1
- (2) 第三次環境基本計画の策定方針(案)について 資料2

3 報 告

- (1) 倉敷市生物多様性地域戦略の進捗状況等について 資料3

4 その他

5 閉 会

第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況について



環境基本計画の評価

◆指標の設定

・5つの基本目標にぶらさがる13の分野別目標に、施策の進捗状況を測る「ものさし」として指標を2～3つ設定

【指標例】

- ・多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合
- ・公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合
- ・汚水処理人口普及率
- ・家庭ごみの一人一日当たり排出量

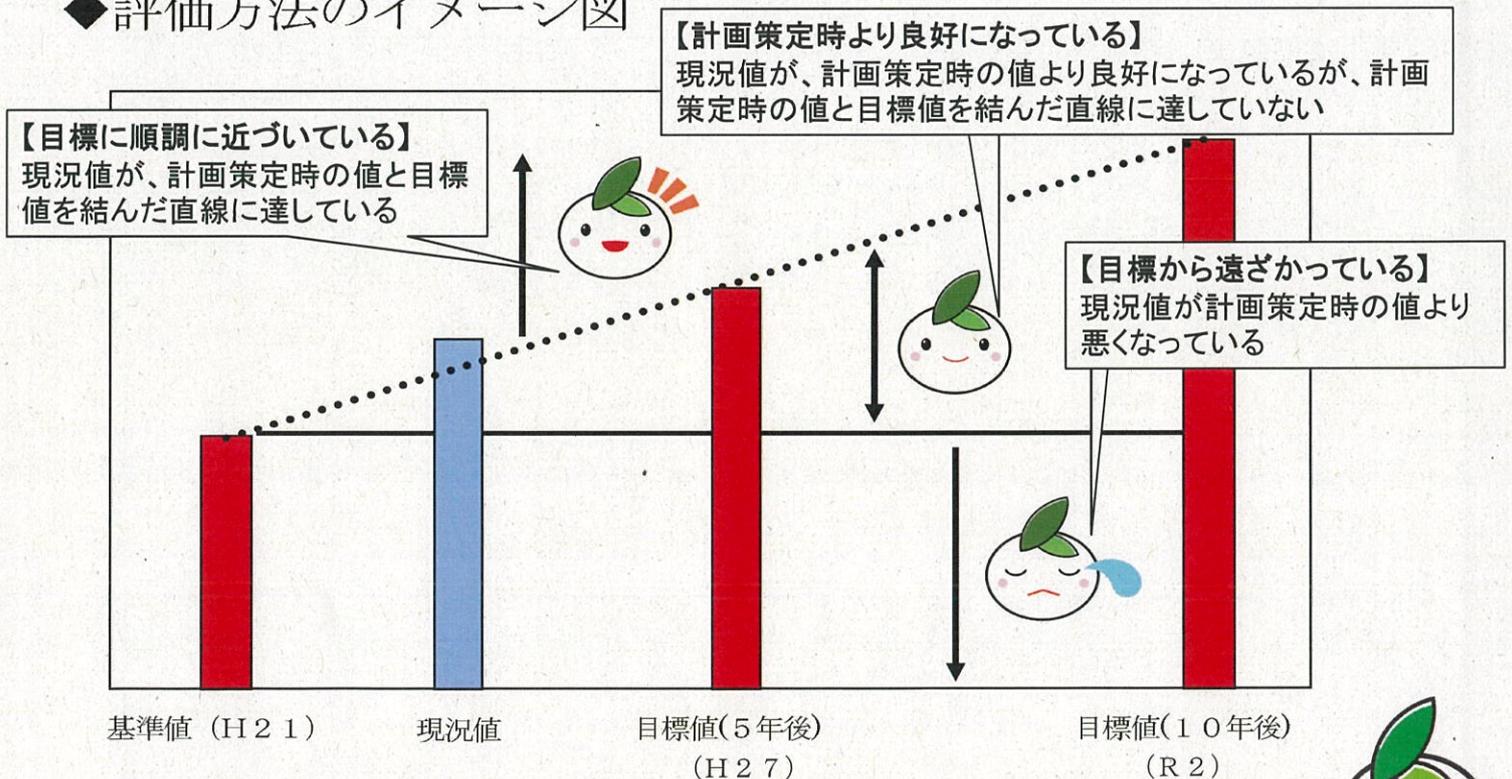
16才以上、2,000人を対象に市民アンケート実施

事業実績値

◆めざそう値との比較

- ・5年後及び10年後の目標値である「めざそう値」と市民アンケート結果や事業実績値との比較
- ・年度毎の傾向を把握

◆評価方法のイメージ図



* 「大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数」、「家庭ごみの一人一日当たり排出量」、「事業ごみの年間排出量」については、値が小さくなるほど目標に近づくので、上の図とは反対になります。



基本目標1：環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

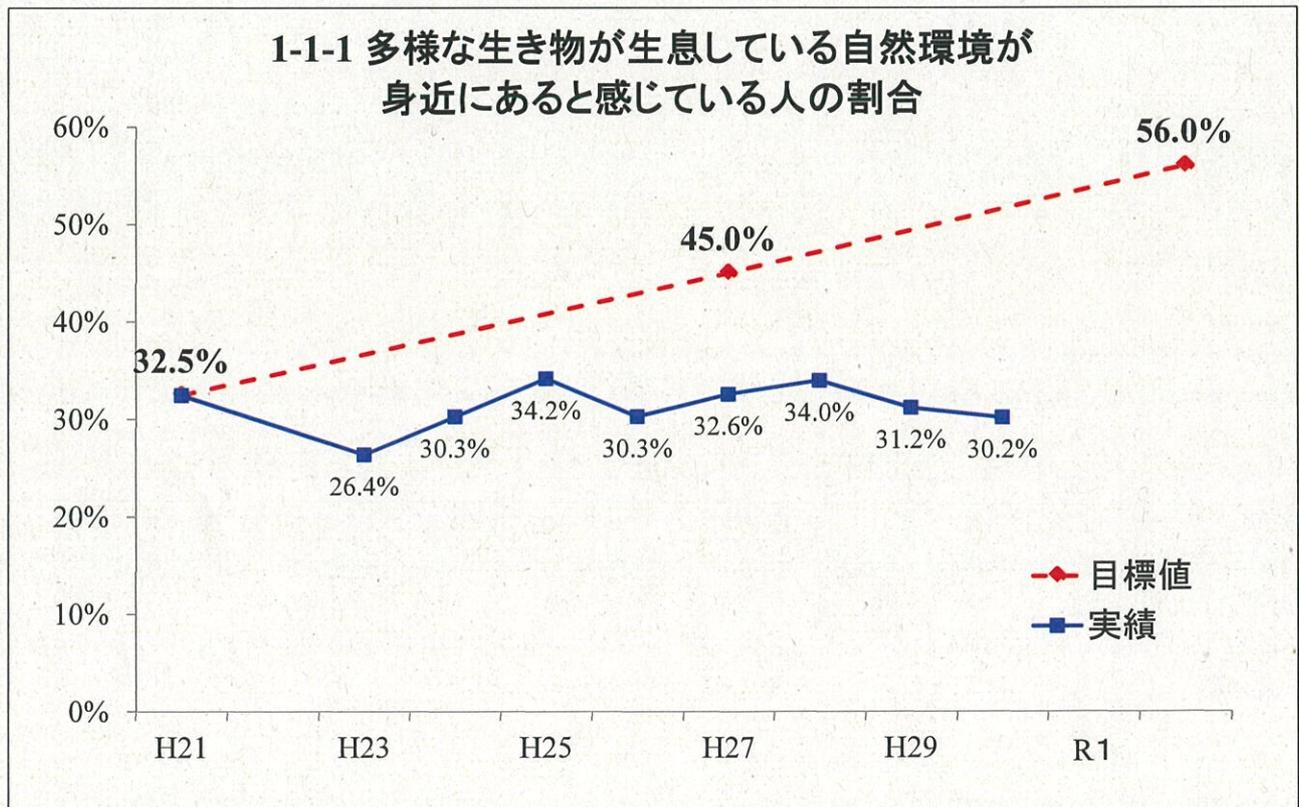
●分野別目標1 多様な自然環境の保全

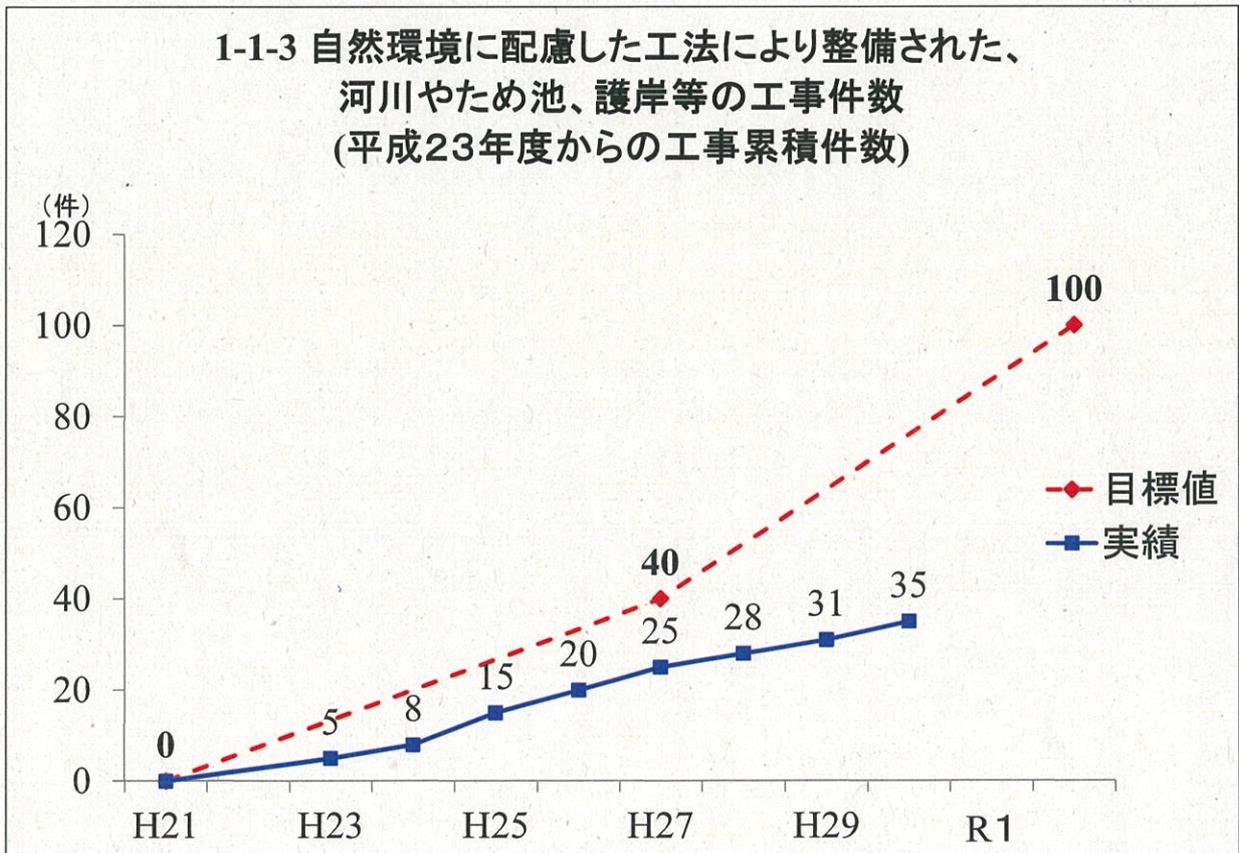
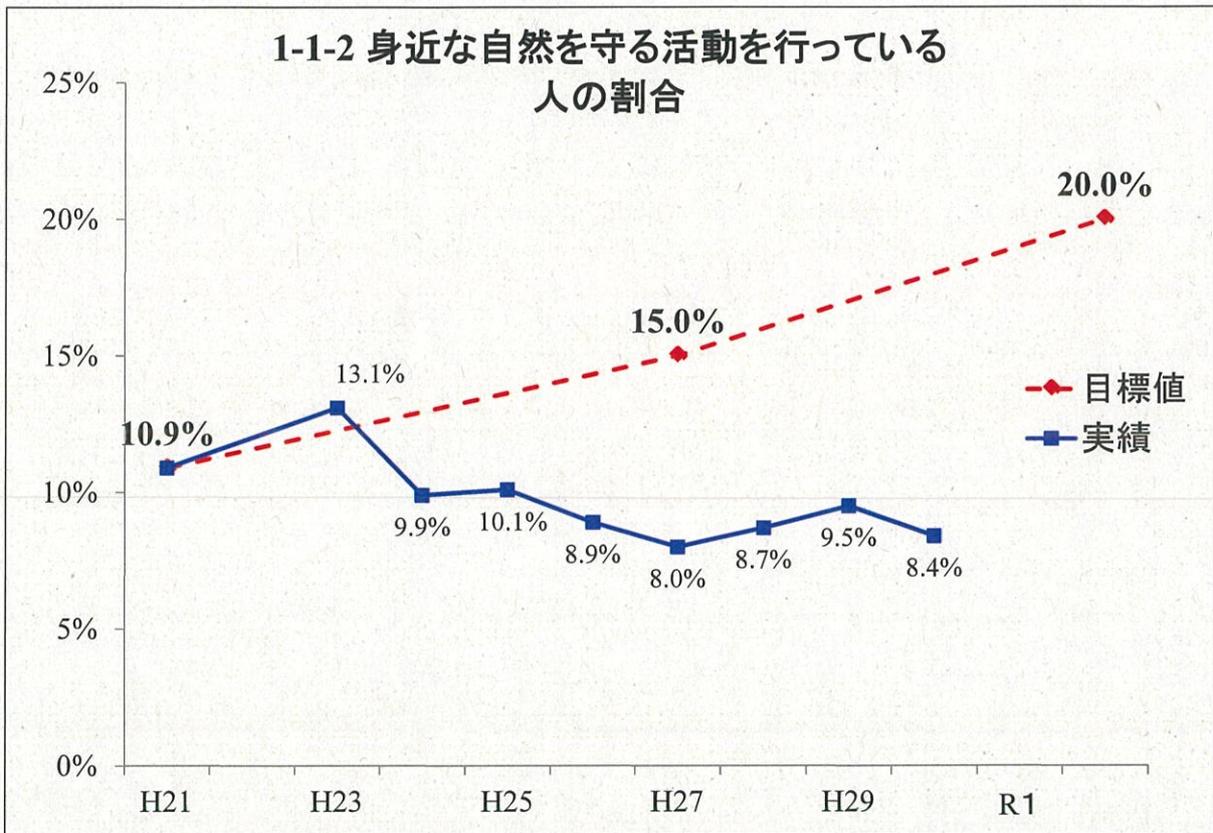
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	31.2%	30.2%		45%	56%
【分析】「感じている人」の割合は、前年度より減少。地区別では、水島(21.0%)、茶屋町(14.3%)が極端に低い。年齢別で大差(30%前後)は見られないが、20歳未満の「感じない人」の割合が53.3%と5割を超えている。						
身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	9.5%	8.4%		15%	20%
【分析】「行っている人」の割合は、年齢別では70歳以上の方は18.6%と高いが、その他の年齢層については、すべて基準値を下回っている。地域別では、すべての地域において基準値を下回っている。						
自然環境に配慮した工法(河川、ため池、護岸等の工事件数)	—	31件	35件		40件	100件
【分析】H23年度からの積上げ件数である。H23年度は5件、H24年度は3件、H25年度は7件、H26年度は5件、H27年度は5件、平成28年度は3件、平成29年度は3件、平成30年度は4件の工事(水路工事)を実施した。						

【H30年度の主な事業】

- ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等の開催(13件)
- ・環境配慮型公共工事研修を市職員(土木職)を対象に実施(1回)
- ・希少野生動植物に関する啓発活動や生息状況の調査を実施(調査・協議・対策を8回実施)
- ・携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内生き物調査を実施(H30をもって終了)
- ・高梁川流域連携事業で「生物多様性エコツアー支援事業」を実施

など





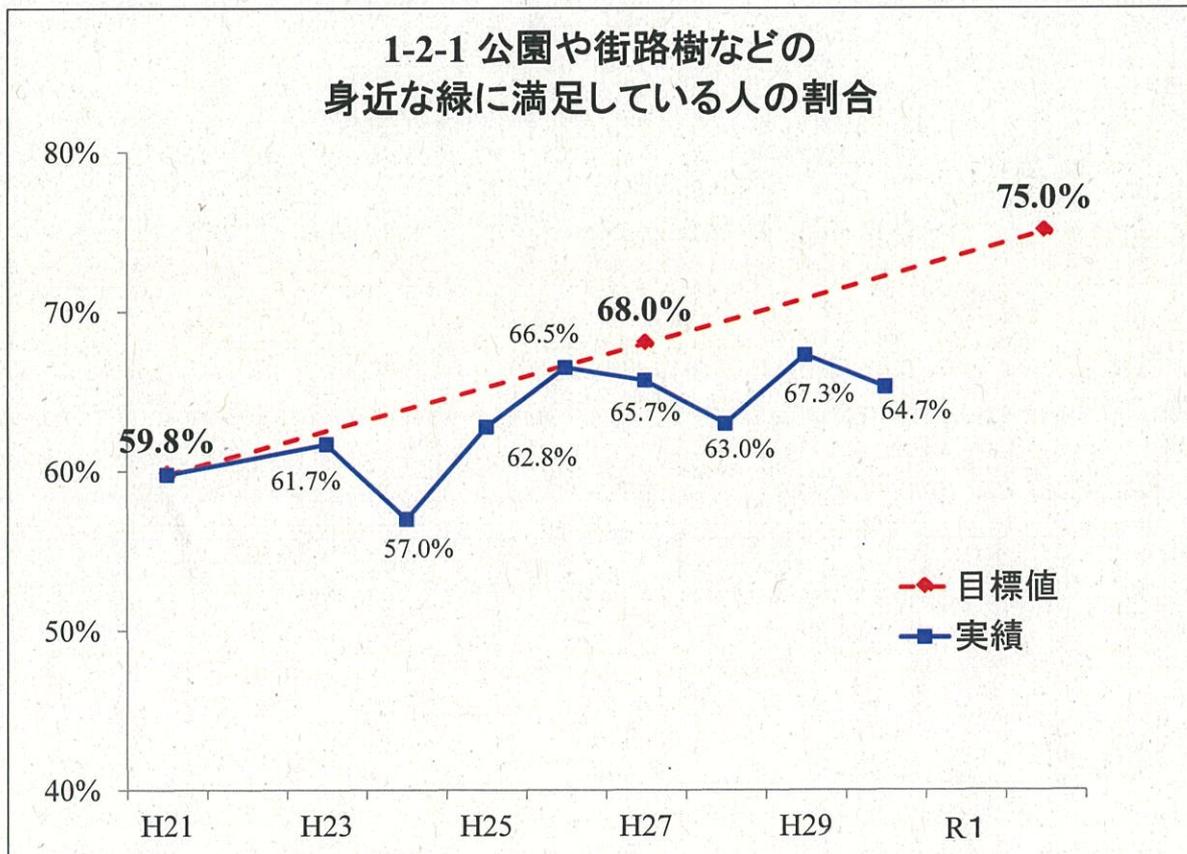
●分野別目標2 緑の保全・緑化の推進

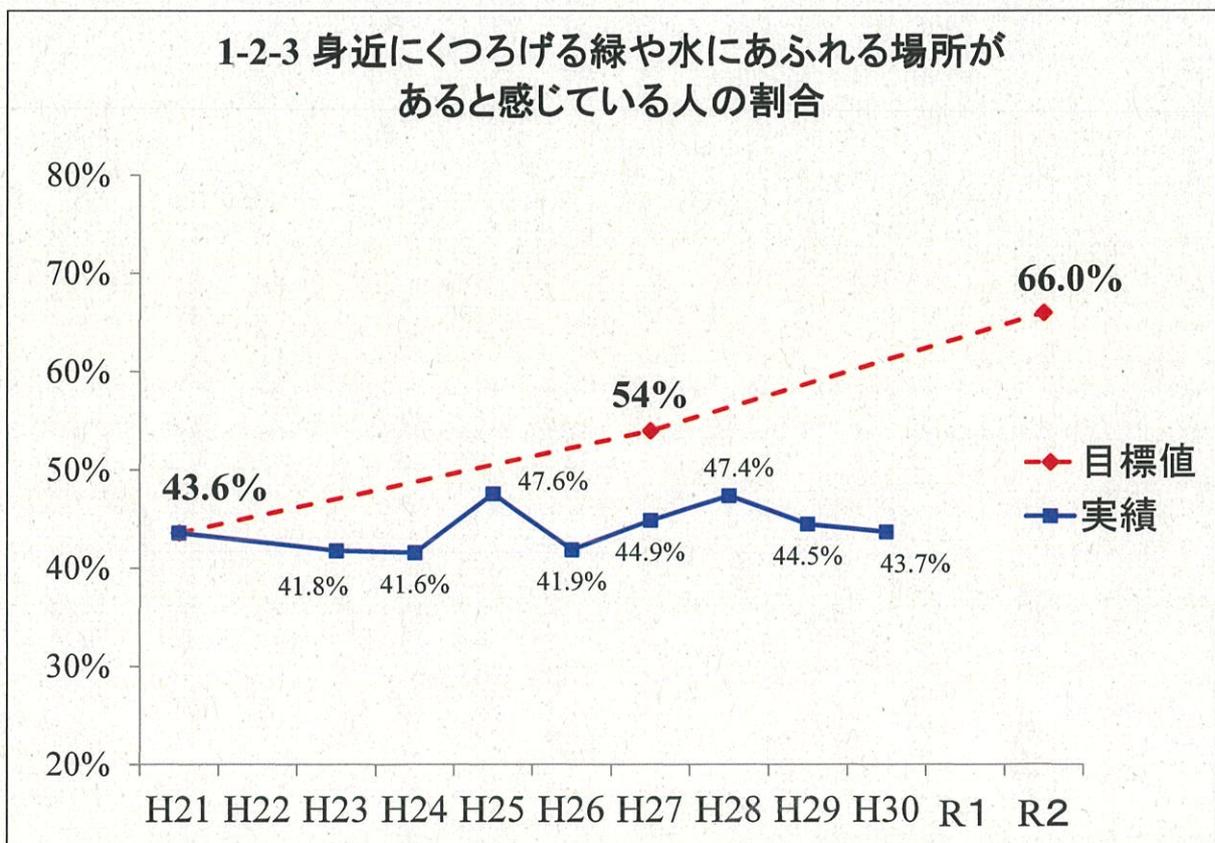
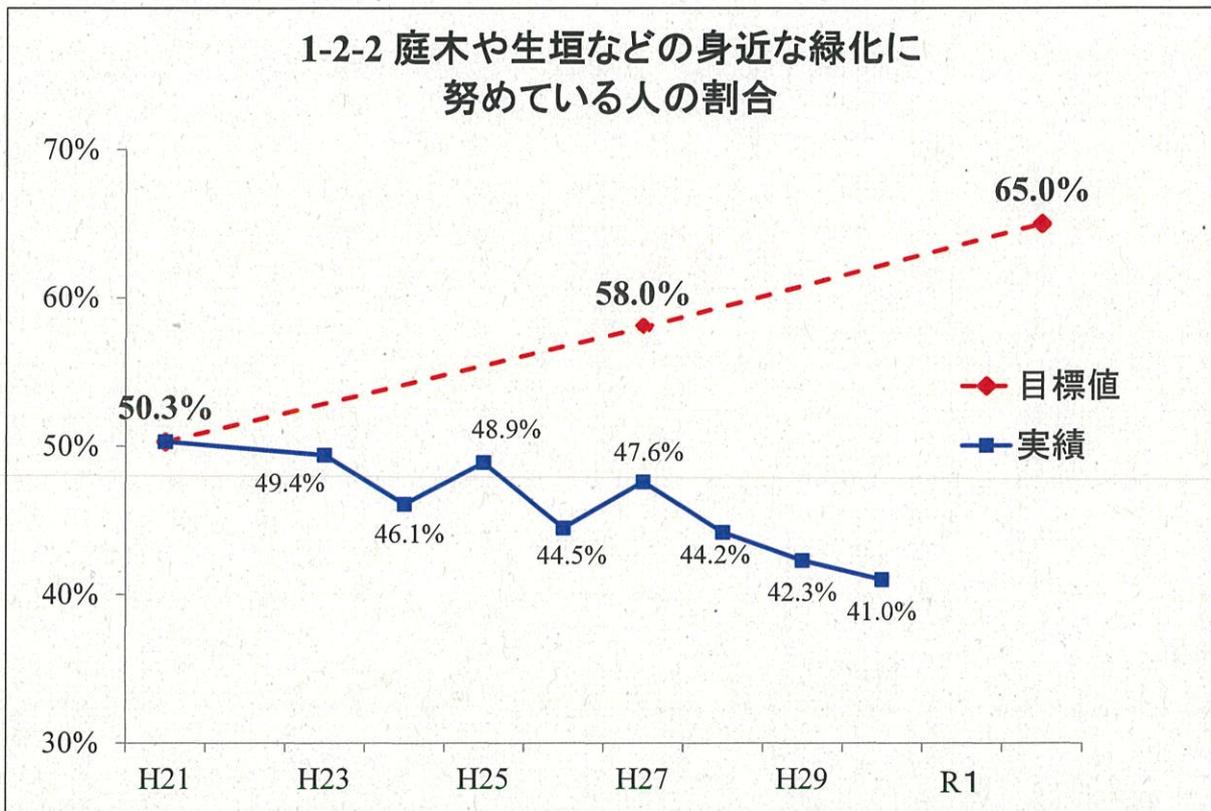
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	67.3%	64.7%		68%	75%
【分析】「満足(18.1%)」、「どちらかという満足(46.6%)」の合計。「どちらいうと不満(21.2%)」「不満(4.3%)」の合計は全体の25.5%となっている。						
庭木や生垣など身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	42.3%	41.0%		58%	65%
【分析】年齢が上がるにつれ、「努めている」割合が上がっているが、20歳代以下が2割未満で極端に低い。60歳代、70歳以上の方の「努めている」人の割合は前年度と同様に50%を超えている。						
身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	44.5%	43.7%		54%	66%
【分析】「感じている」割合は、20歳未満の若年層で特に低い傾向(20.0%)。地区別では「感じている」割合が船穂地区が最も高く(70.0%)、茶屋町は14.3%と大きな開きがある。						

【H30年度の主な事業】

- ・街路樹、公園などの適正管理
- ・公共施設(小学校園等)の壁面緑化・芝生化等
- ・花と緑あふれるまちづくり事業、花いっぱいコンクール、都市緑化フェア等による緑化の推進
- ・市民等に対する緑化実施の補助(生垣補助、記念樹配付、花の苗・種の配布)
- ・耕作放棄地の再生作業への補助
- ・公園(児島駅前第2公園)の再整備及び高辻公園ほか3か所の施設改善
- ・高齢者の生きがい対策としての公園等の清掃管理委託実施(272か所)

など





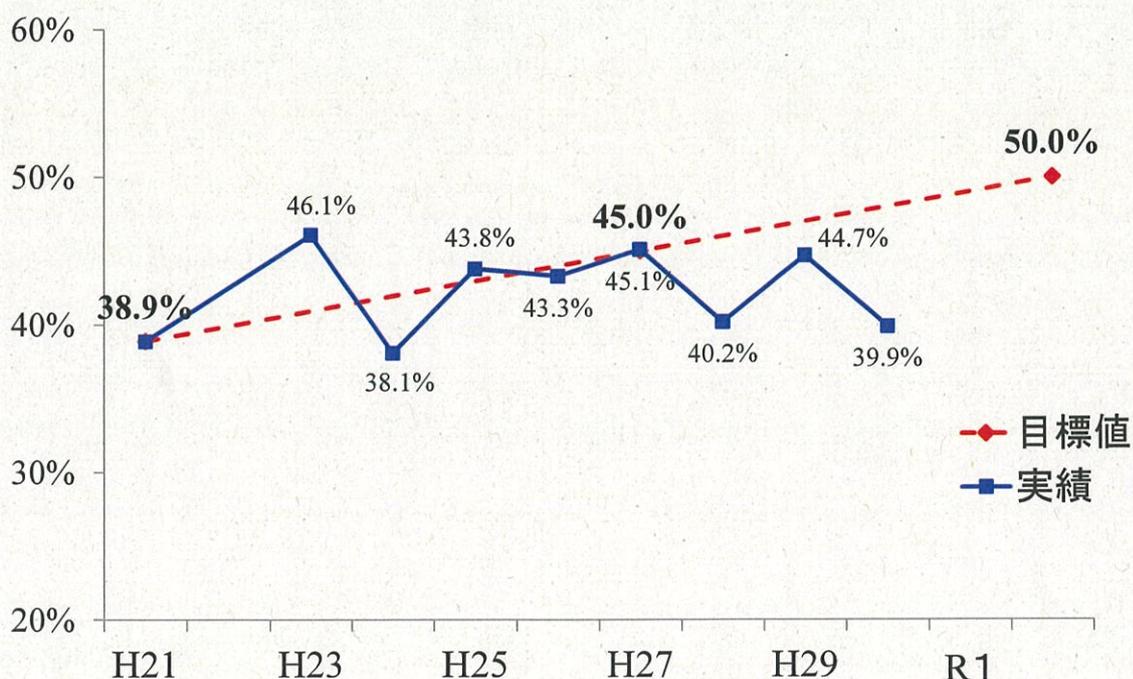
●分野別目標3 景観づくり

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	44.7%	39.9%		45%	50%
【分析】「できている(8.2%)」「どちらかというできている(31.7%)」の合計。年代別では20歳未満が最も高く、46.7%で、20歳代が最も低く33.8%。地区別では児島、玉島、船穂が基準値を下回った。						
歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	46.8%	51.0%		54%	65%
【分析】20歳代で「感じている」人が65.5%と最も高い。60歳代が44.0%と最も低い。地域別では倉敷地区が最も高く56.1%、船穂地区が最も低く40.0%。						
身近な生活環境の中で眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	59.6%	61.6%		57%	62%
【分析】「満足している(13.8%)」「どちらかという満足している(47.8%)」の合計。全世代で50%以上。地域別では、庄地区のみが50%を割り、46.2%と最も低い割合。						

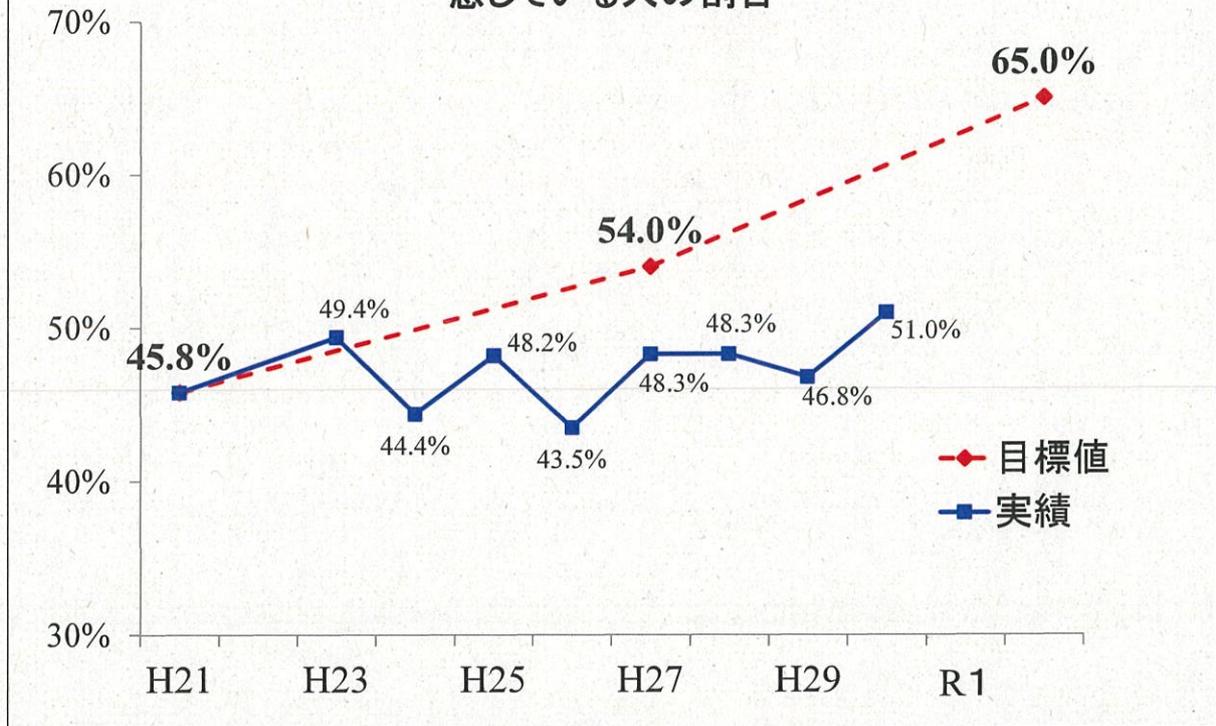
【H30年度の主な事業】

- ・市内小中学生を対象に「私の大好きな町の景観」を題材として絵画を募集・景観絵画展を実施(小117点、中77点)
- ・伝統的建造物群保存地区内等の建物の修理修景に対する補助実施
- ・古民家等を地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業へまちづくり基金で支援を実施(町屋・古民家の再生整備に対する補助:18件)
- ・大規模な建築物の新築について、都市景観審議会で審議(5回開催、新築13件について諮問)
- ・違反広告物の実態検証の実施や簡易除去作業を実施(はり紙18件) など

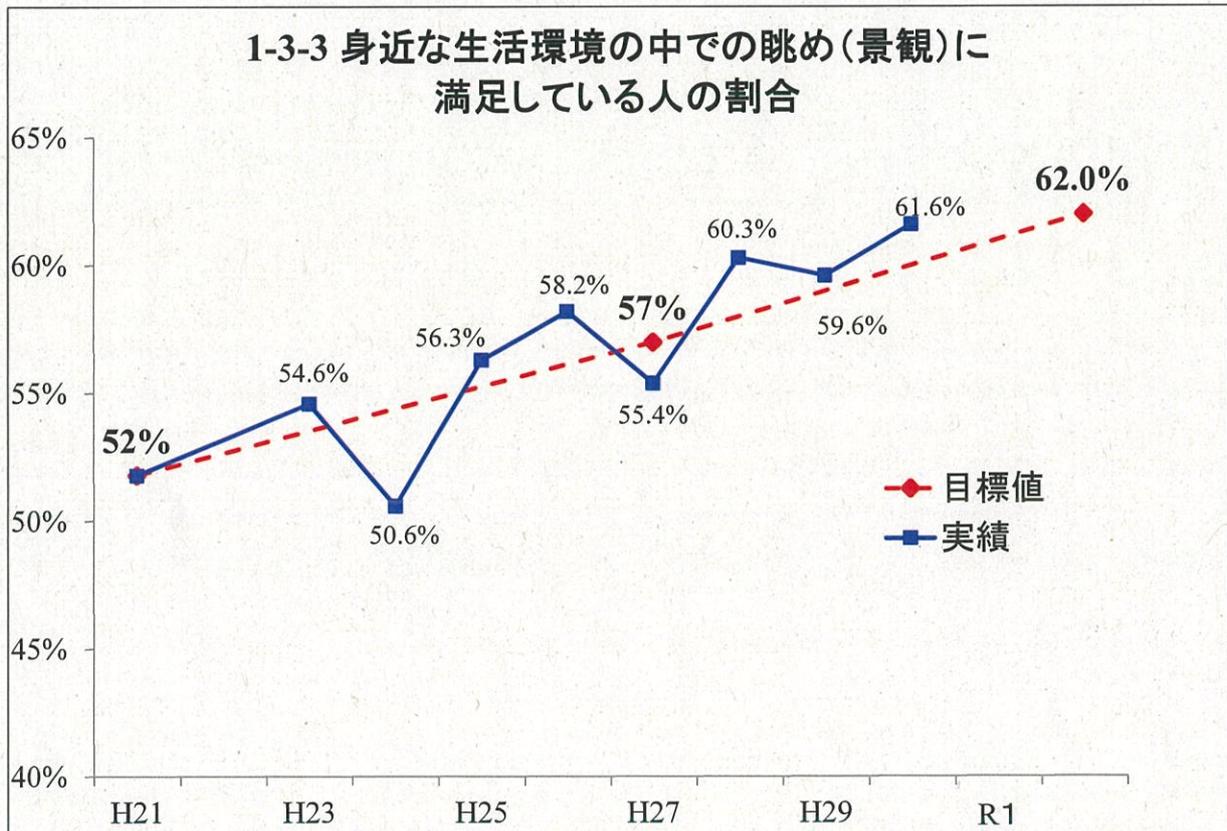
1-3-1 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合



1-3-2 歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合



1-3-3 身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合

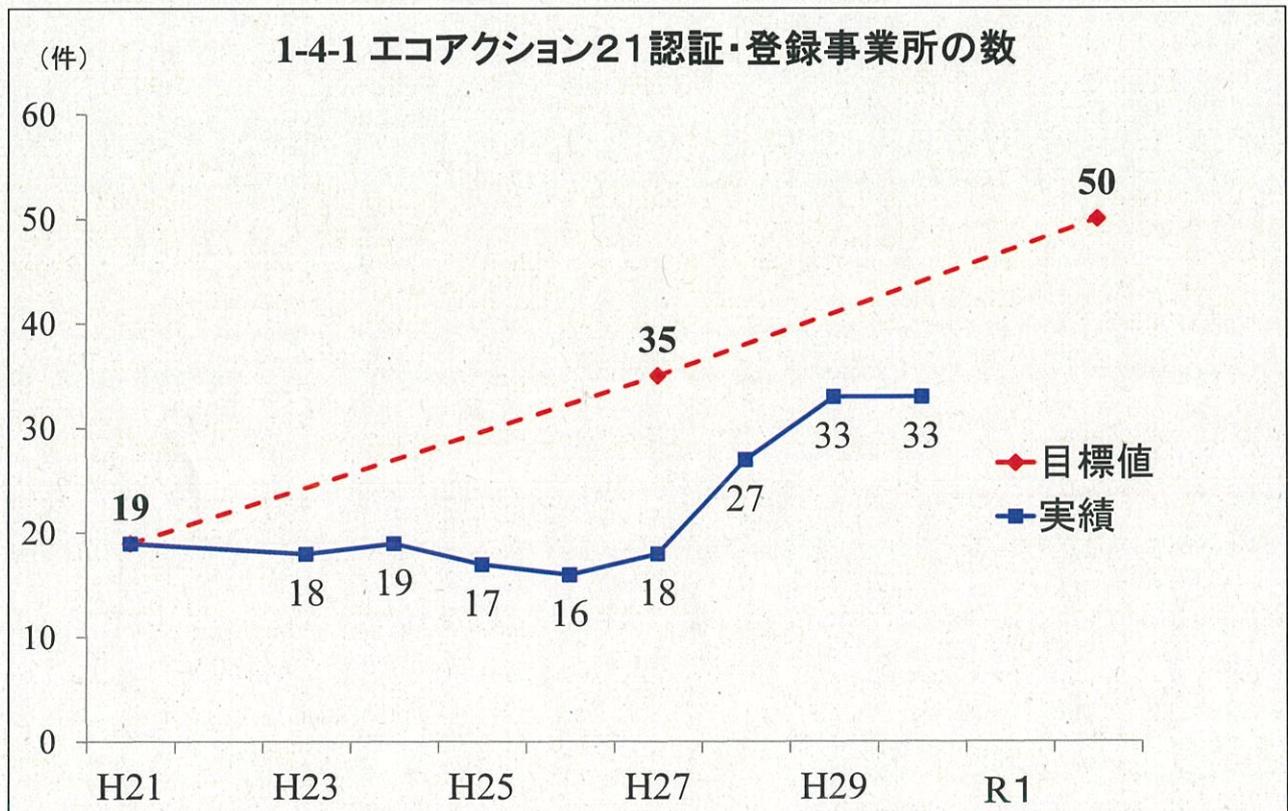


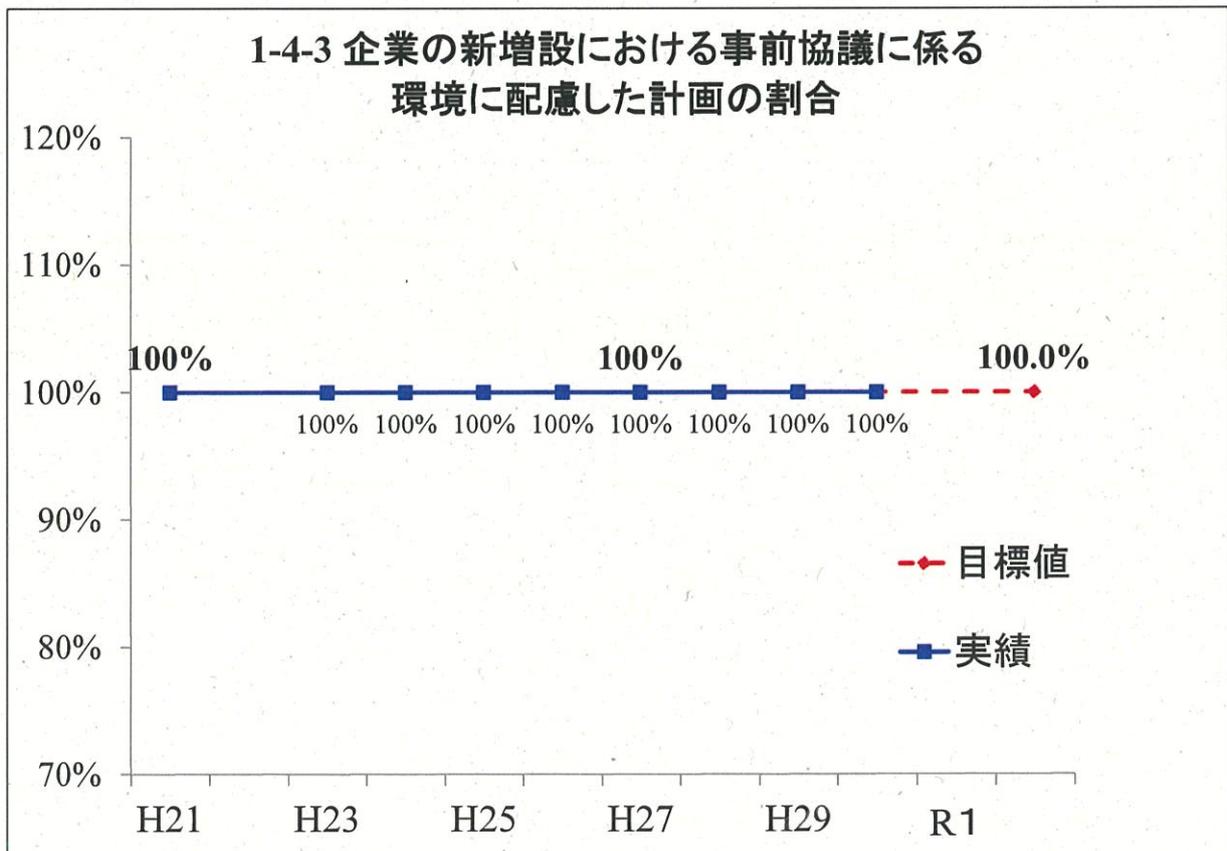
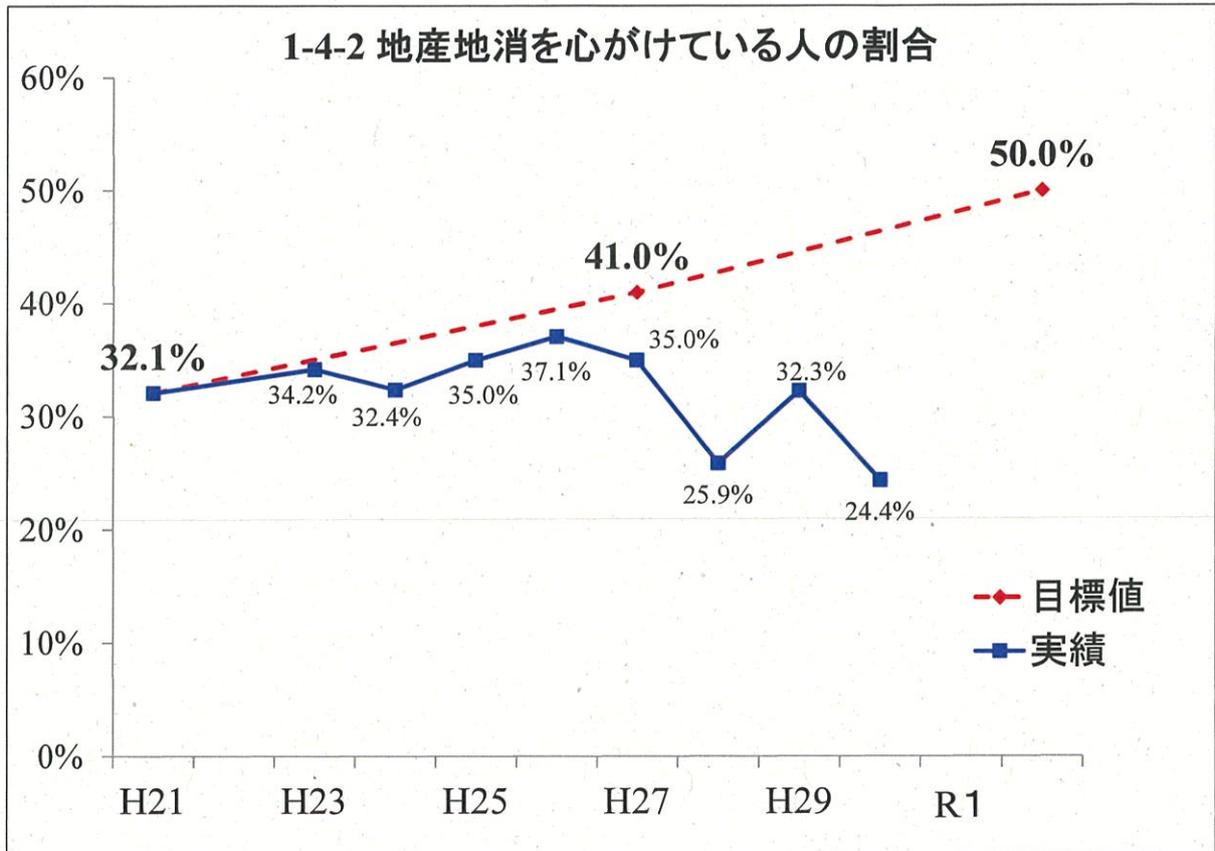
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	33件	33件		35件	50件
【分析】7月の豪雨災害の影響などにより認証取得件数は0件であった。						
地産地消を心がけている人の割合	32.1%	32.3%	24.4%		41%	50%
【分析】昨年度より7.9%減少したが、「どちらか」といって心がけている人の割合は49.3%と昨年度より上昇。						
企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%		維持	維持
【分析】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を指導した。(協議数65件)						

【H30年度の主な事業】

- ・エコアクション21制度説明を実施。エコアクション21認証・登録事業所の認証更新に関する補助を実施(8件)
- ・中小企業者の省エネルギー設備等の導入に対する補助事業(補助件数:6件)
- ・倉敷市アダプト・プログラムの実施(清掃美化などの地域貢献活動に対して、ほうきやごみ袋等支給)
- ・公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システムの導入(計4施設, 発電能力合計4.5kw)
- ・企業立地、設備の新増設の際の事前協議と環境保全対策徹底の指導

など





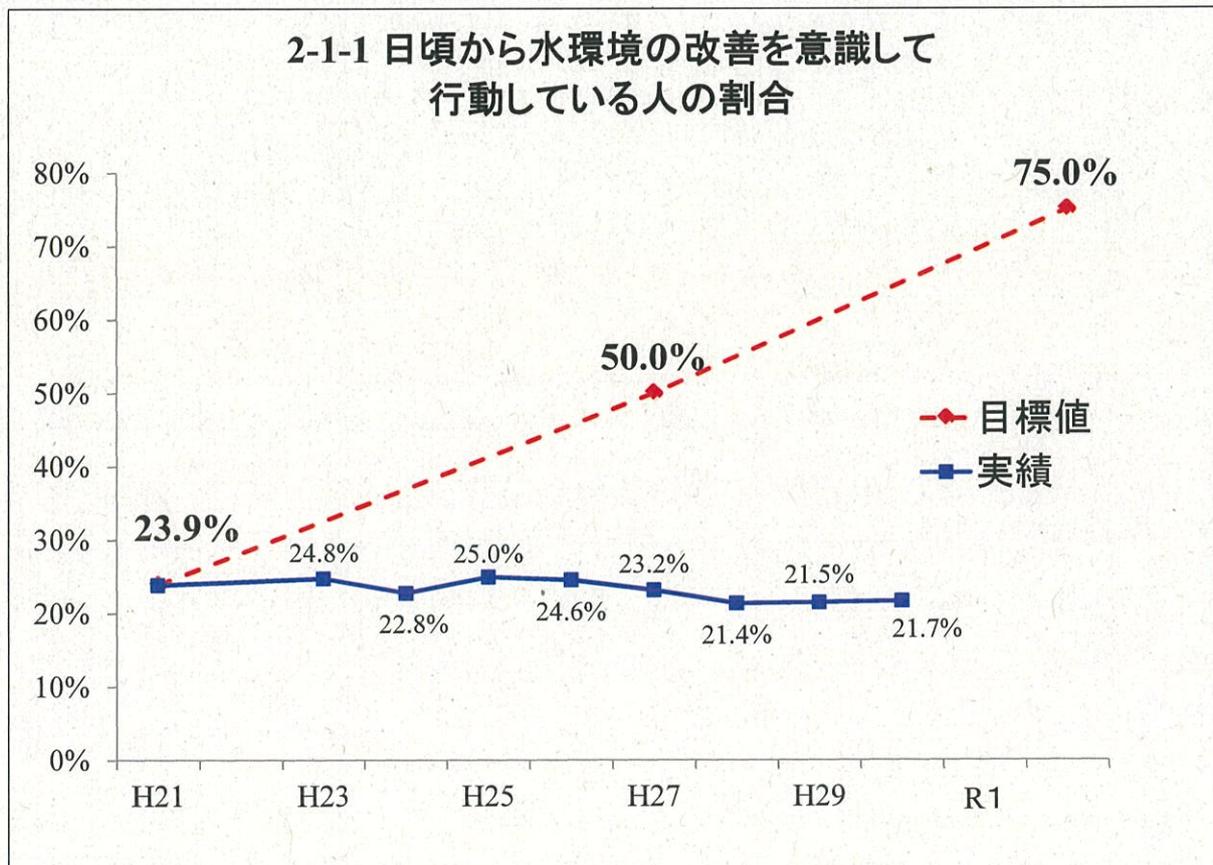
基本目標2：水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

●分野別目標1 良好な水環境の保全

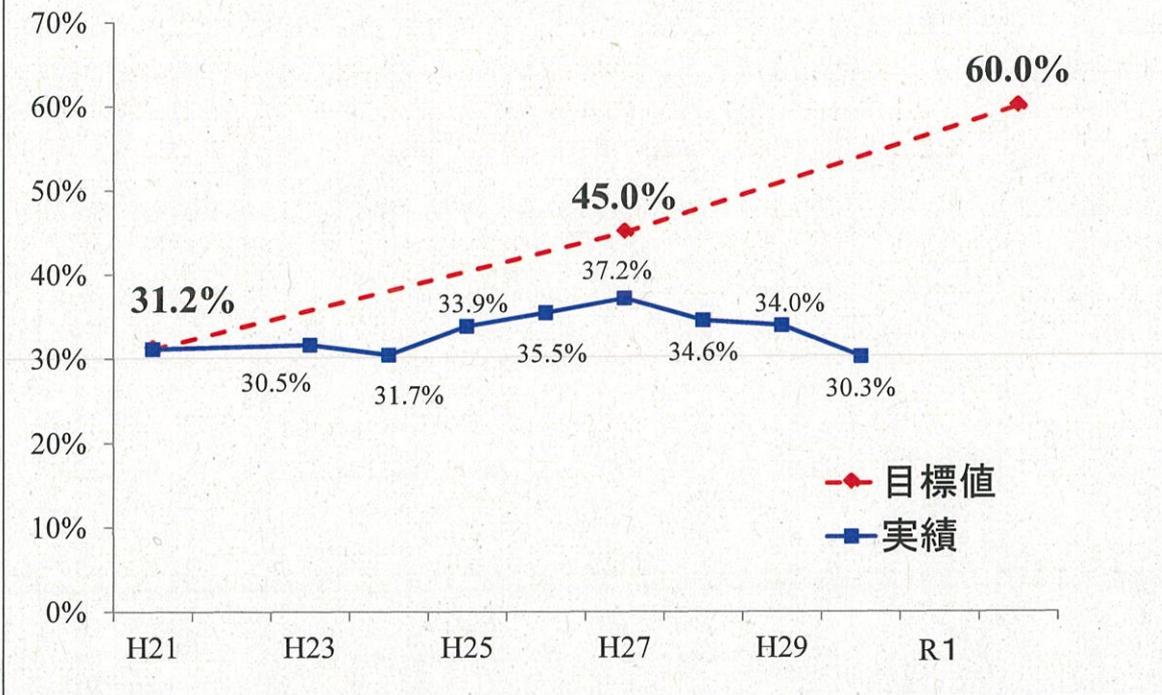
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	21.5%	21.7%		50%	75%
【分析】「いつもしている」の割合。「どちらかというとしている(57.5%)」人を合わせると79.2%で、最も低い30歳代で67.8%、最も高い70歳代以上で89.5%。						
身近な河川・用水路等がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	34.0%	30.3%		45%	60%
【分析】実績値は、「感じている(6.0%)」「どちらかというと感じている(24.3%)」人の合計。20歳代が12.7%と最も低く、60歳代が40.4%と最も高い。地域別では真備、船穂地区が40%前後と比較的高い傾向にある。						
汚水処理人口普及率	85.5%	92.0%	92.6%		90%	93%
【分析】基準値に比べ7.1%上がり、前年度に比べ0.6%上昇した。						

【H30年度の主な事業】

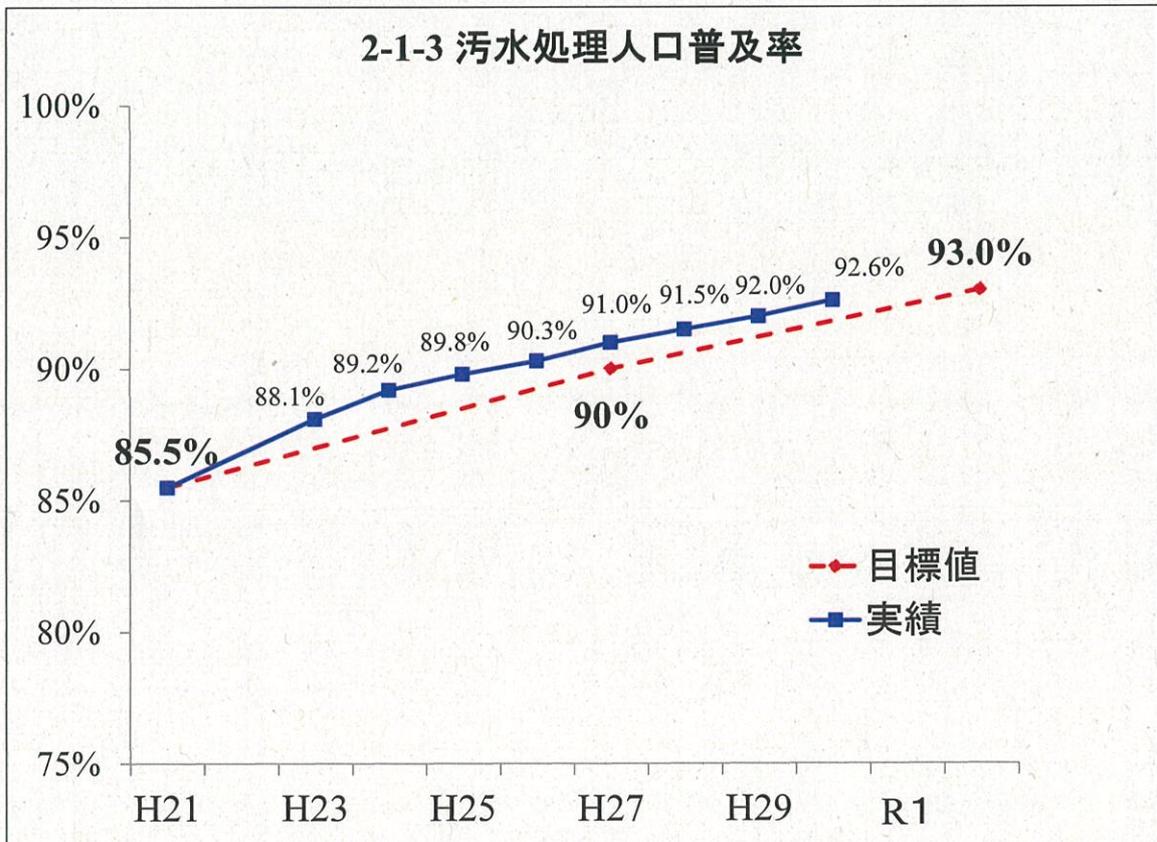
- ・下水道整備(管きょ9.0km整備)、下水道維持管理事業や浄化槽設置(291基)や雨水流出抑制施設(24基)への助成措置等実施
 - ・下水道展や小学校4年生を対象とした出前講座、ポスターコンクールなどの生活排水対策の啓発実施
 - ・河川や海などの水質調査、工場・事業場排水に対する立入調査及び水質検査実施
 - ・児島湖流域の生活排水対策の啓発のため、啓発ポスターの展示(111点)を実施
 - ・大規模開発前の土壌調査等の指導
- など



2-1-2 身近な河川・用水路がきれい流れ豊かな水辺に
なっていると感じている人の割合



2-1-3 汚水処理人口普及率



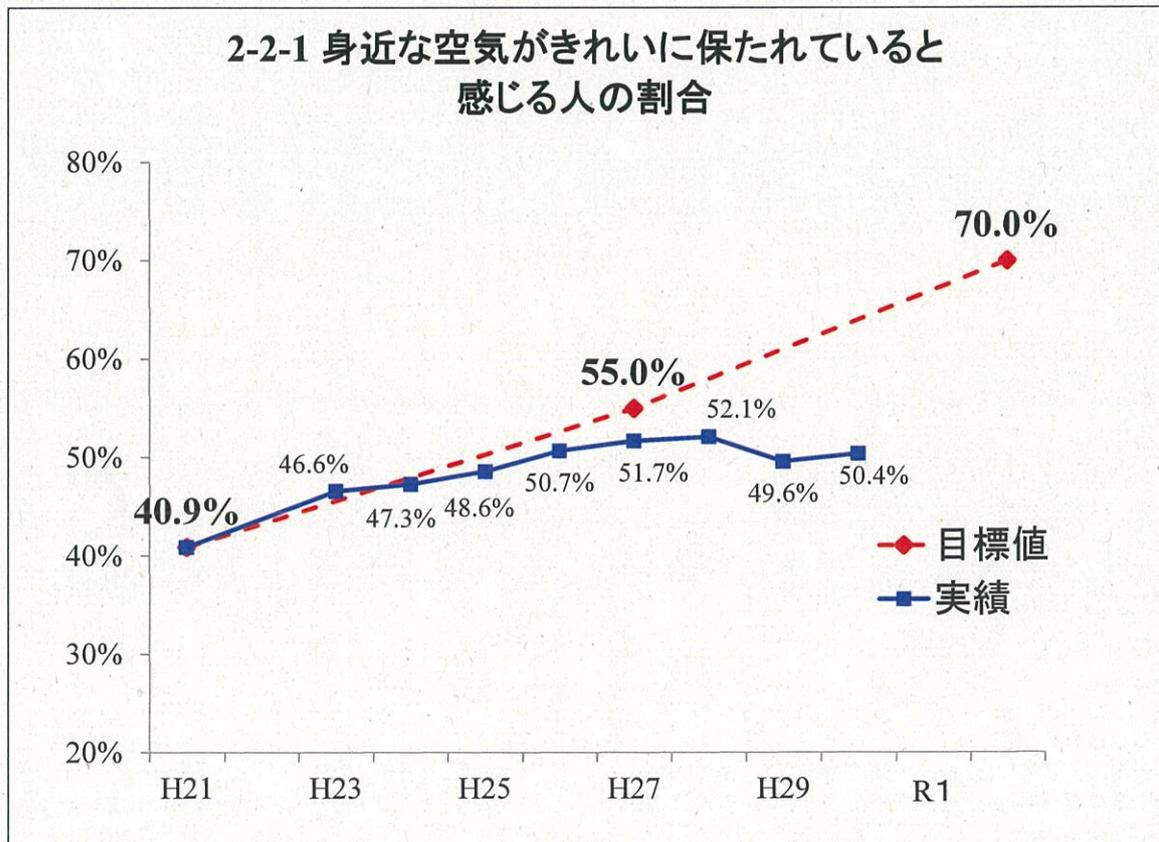
●分野別目標2 クリーンな大気環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
身近な空気がきれいに保たれていると感じている人の割合	40.9%	49.6%	50.4%		55%	70%
【分析】「感じている(12.7%)」「どちらかというと感じている(37.7%)」人の合計。地区別で見ると水島地区が23.9%と低く、真備地区では71.0%と高い値であった。						
大気環境の基準値(1日平均値)超過日数	22日	0日	0日		15日	10日
【分析】H30年度は大気環境の基準値(1日平均値)の超過は無かった。						
通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	44.3%	47.6%		63%	75%
【分析】「常に行っている(20.1%)」「ときどきしている(27.5%)」人の合計。「まったくしていない」人は3割程度で、内45.5%の方が「利用したいが、利用できる交通機関がない」と答え、「その他」32.9%では時間効率や身体的理由が多い。						

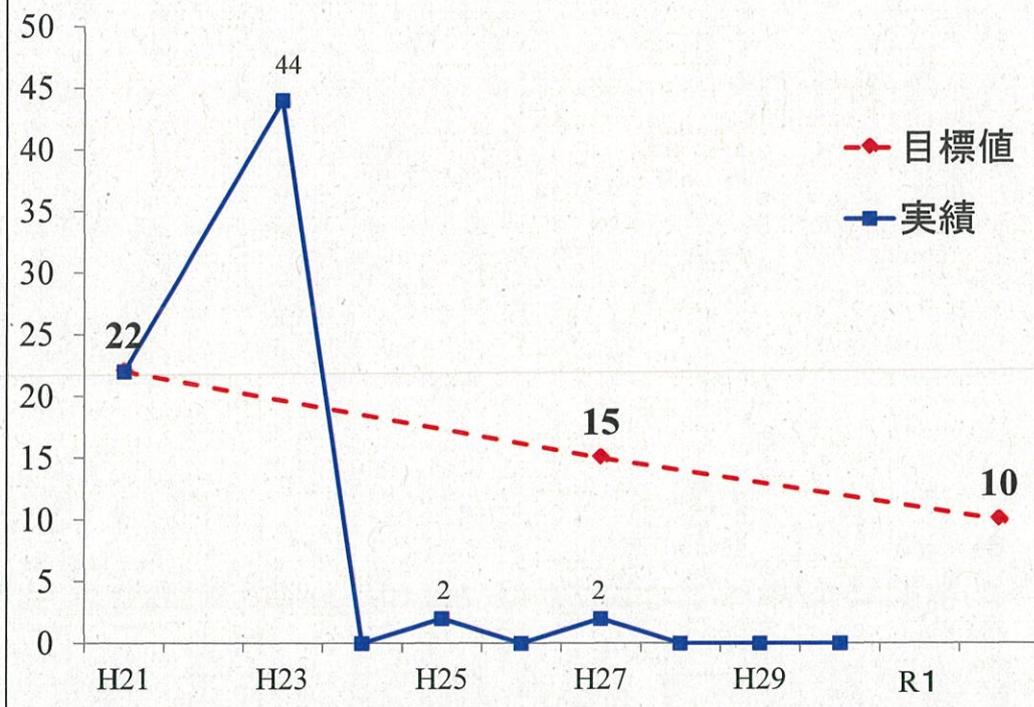
【H30年度の主な事業】

- ・工場や事業場の立入調査や施設改善などの指導を実施(立入検査106件)
- ・アイドリングストップなどの啓発、観光客対策としてシャトルバスによる渋滞対策
- ・市内でのノーマイカーデーの実施(取組率83.9%)、電気自動車等購入補助(150台)の実施
- ・市内24カ所及び大気測定車による大気汚染物質の常時監視
- ・夏期の光化学オキシダント濃度の常時監視
- ・市内7カ所において有害大気汚染物質の排出状況調査を実施

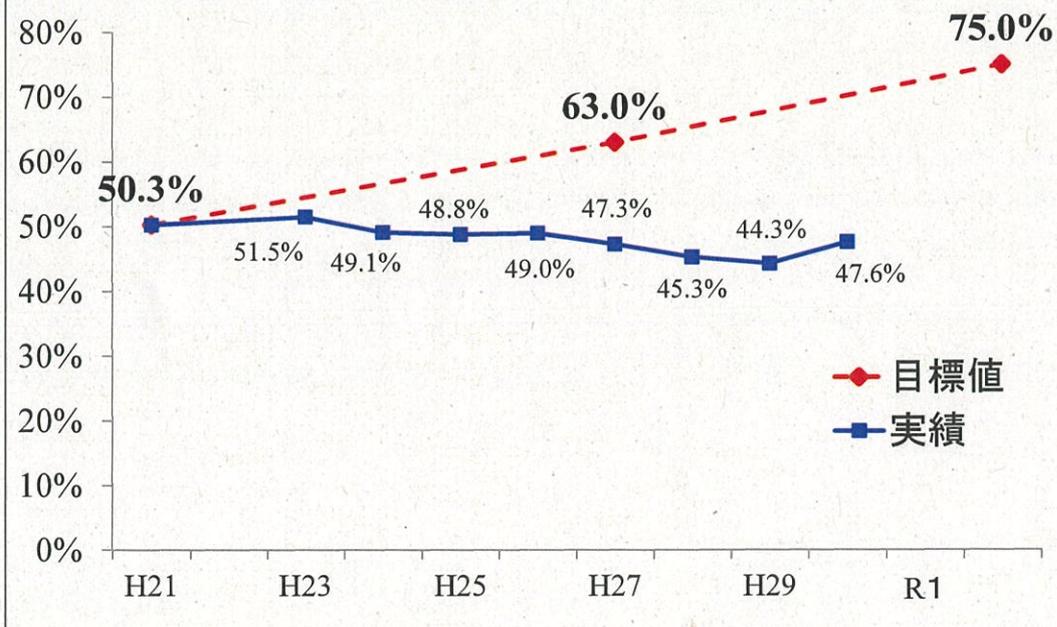
など



2-2-2 大気環境の基準値(1日平均値)を
超過している日数



2-2-3 通勤通学や日常の移動手段として、
自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合



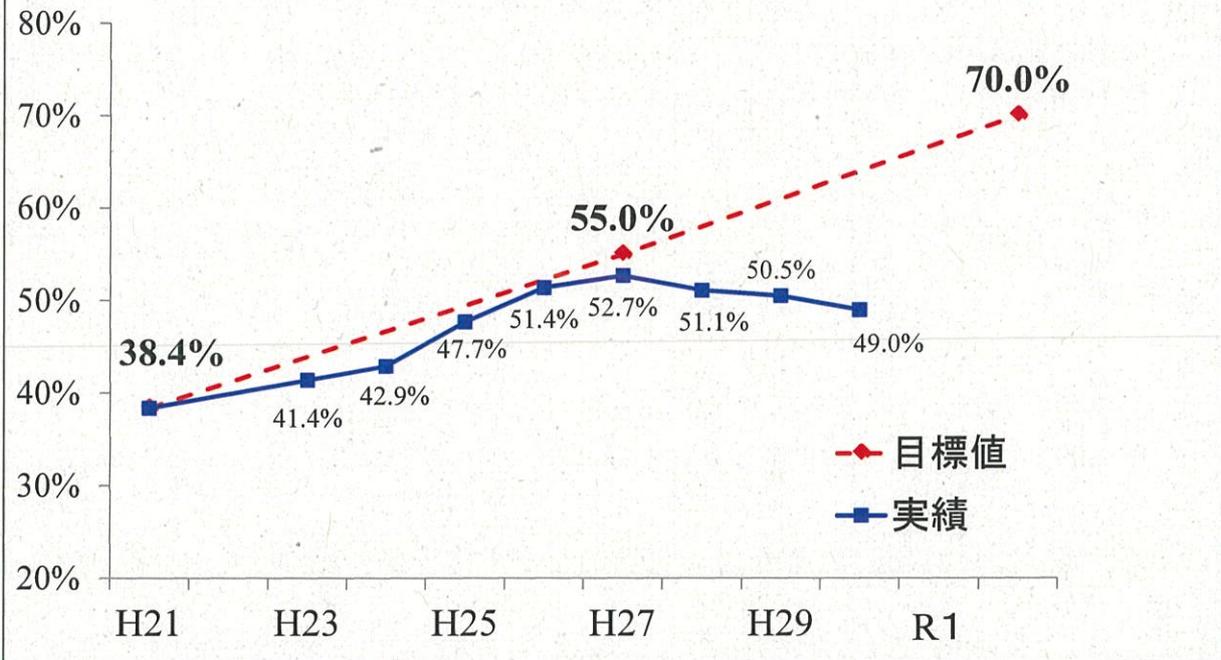
●分野別目標3 安心・安全な生活環境(環境衛生、化学物質対策等)

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	50.5%	49.0%		55%	70%
【分析】「感じている(8.9%)」「どちらかというと感じている(40.1%)」人の合計。年齢層が上がるにつれ感じている割合が高い。70歳代の60.3%、一番低い20歳未満が35.6%、それ以外はほぼ40%台。						
環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると思っている人の割合	54.4%	63.2%	62.6%		67%	80%
【分析】「そう思う(15.2%)」「どちらかというと思う(47.4%)」人の合計。年齢別では大きな差はないが、地区別では、水島地区と真備地区が50%を切っている。						

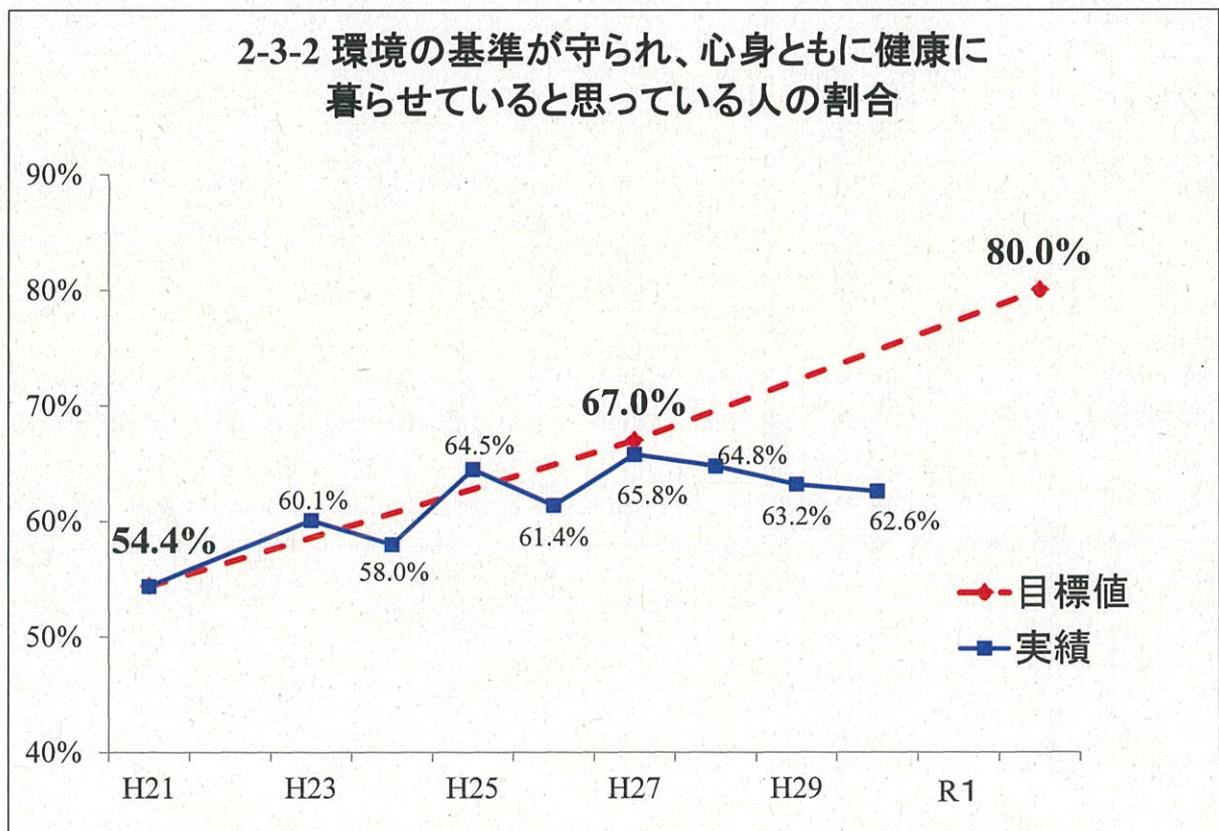
【H30年度の主な事業】

- ・騒音、振動、悪臭関係法令に基づく工場等の立入調査や防音対策等の指導実施
- ・事業所から排出される化学物質の種類と量の集計及び結果の公表(届出件数153事業所)
- ・イエローカード作戦や看板設置、啓発ティッシュの配布などによる飼い犬ふん害防止の啓発実施
- ・ダイオキシン類対策として、発生源に対する調査・指導及び環境中のダイオキシン類調査実施
- ・海開き前に住民・学校・企業などと連携し、海岸の清掃活動を実施(参加者1,000人、ごみ収集量約1トン)
- ・不法投棄防止対策として、啓発看板の配布、不法投棄多発場所でのパトロールの実施、「不法投棄110番」の設置など

2-3-1 ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合



2-3-2 環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると思っている人の割合



基本目標3:リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち

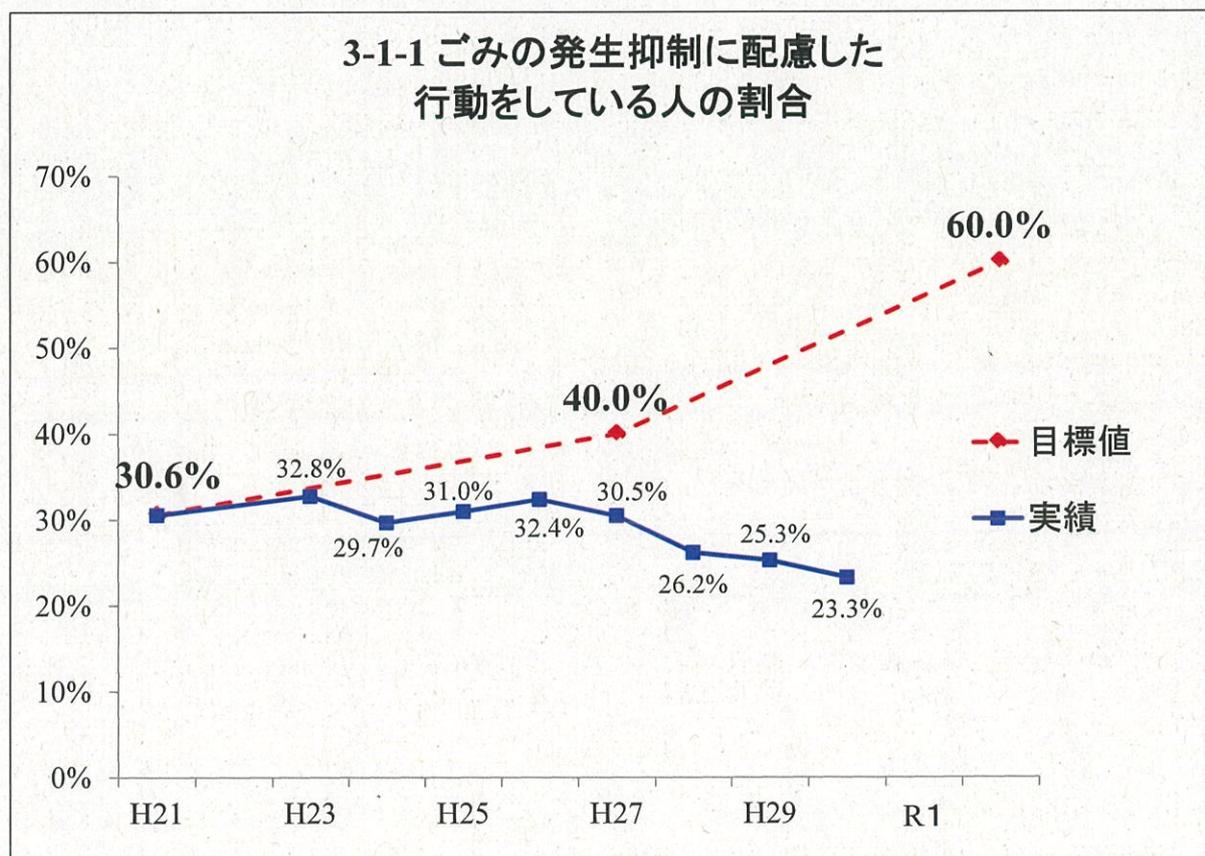
●分野別目標1 ごみの排出抑制

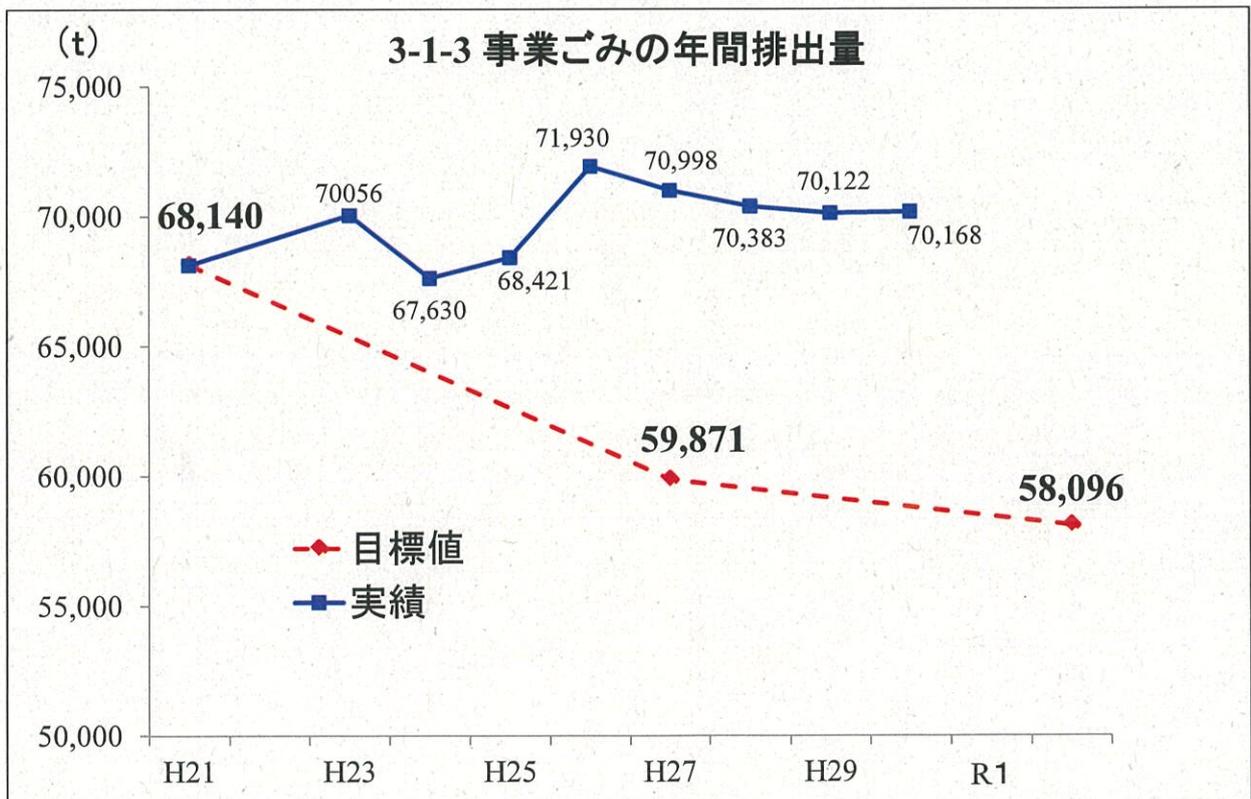
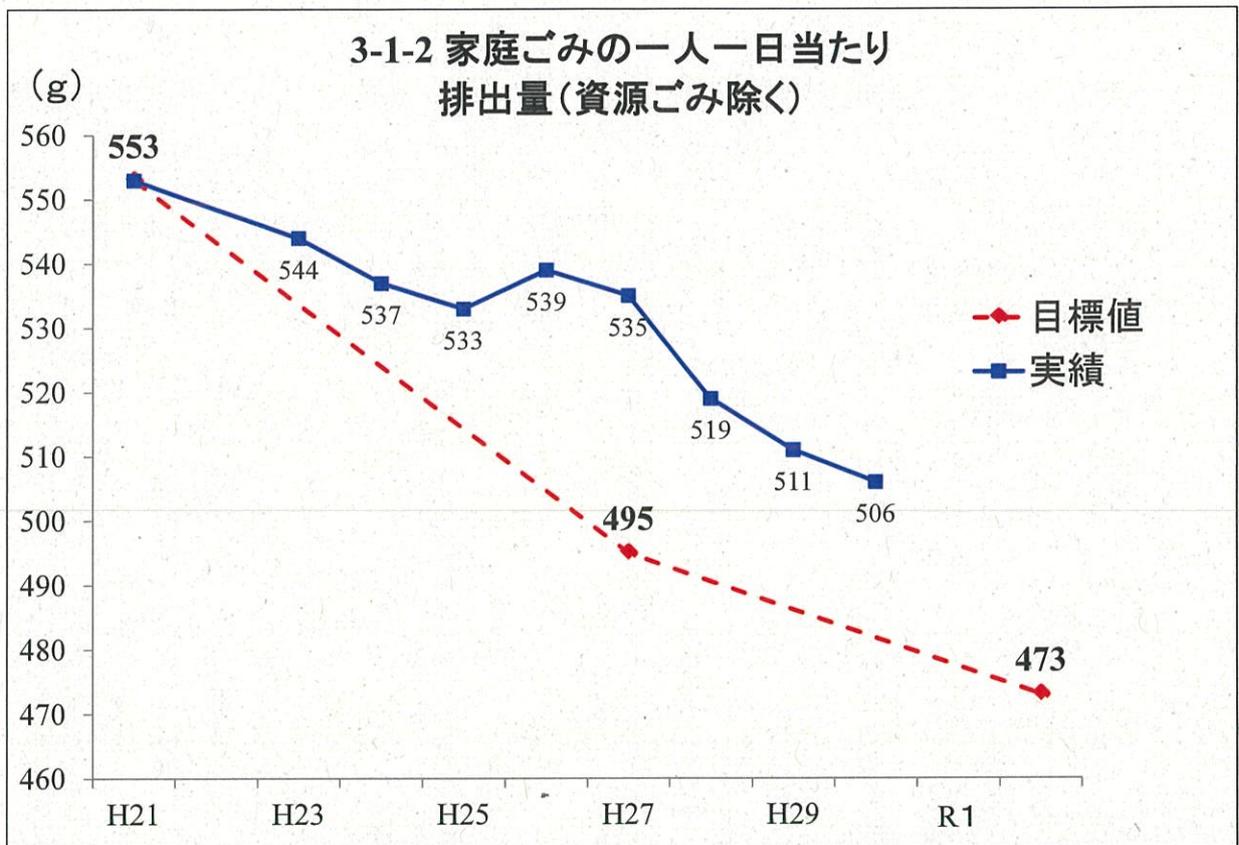
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	25.3%	23.3%		40%	60%
【分析】「いつもしている人」の割合で、昨年度より2.0%減少。「いつもしている(23.3%)」「どちらかといえばしている(55.4%)」合わせた割合でみると78.7%と高く、年齢層が上がるにつれ増加傾向にある。						
家庭ごみ一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	511g	506g		495g	473g
【分析】家庭ごみ一人一日当たり排出量は減少傾向にあり、平成30年度実績値は平成29年度より5g減量した。						
事業ごみの年間排出量	68,140t	70,122t	70,168t		59,871t	58,096t
【分析】平成30年度は実績値は基準値より多く、平成29年度より46トン増加。						

【H30年度の主な事業】

- ・災害廃棄物処理計画の策定
- ・「暮らしとごみ展」の開催、スマートフォンを利用した「ごみ分別アプリケーション」の配信
- ・市内小学4年生に家庭ゴミ減量チャレンジ冊子配布によるごみ減量の推進(55校参加)
- ・マイバッグ・マイ箸運動の推進(マイバッグ協力店数54店舗、マイ箸協力店数8店舗)
- ・生ごみ処理機購入補助(103基)、子ども会や町内会など資源ごみ集団回収報奨金などの助成制度(回収量11,880トン)
- ・家庭生ごみを堆肥センターで有機堆肥にし、再利用

など





●分野別目標2 廃棄物の減量化・資源化

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
最終処分率 (最終処分量/ごみ総排出量)	2.4%	1.9%	2.0%		維持	維持
【分析】最終処分率は平成29年度と同様、低水準を維持している。						
リサイクル率	47.8%	43.0%	40.9%		52%	54%
【分析】基準値を下回り、平成29年度と比べ2.1%下がっている。						

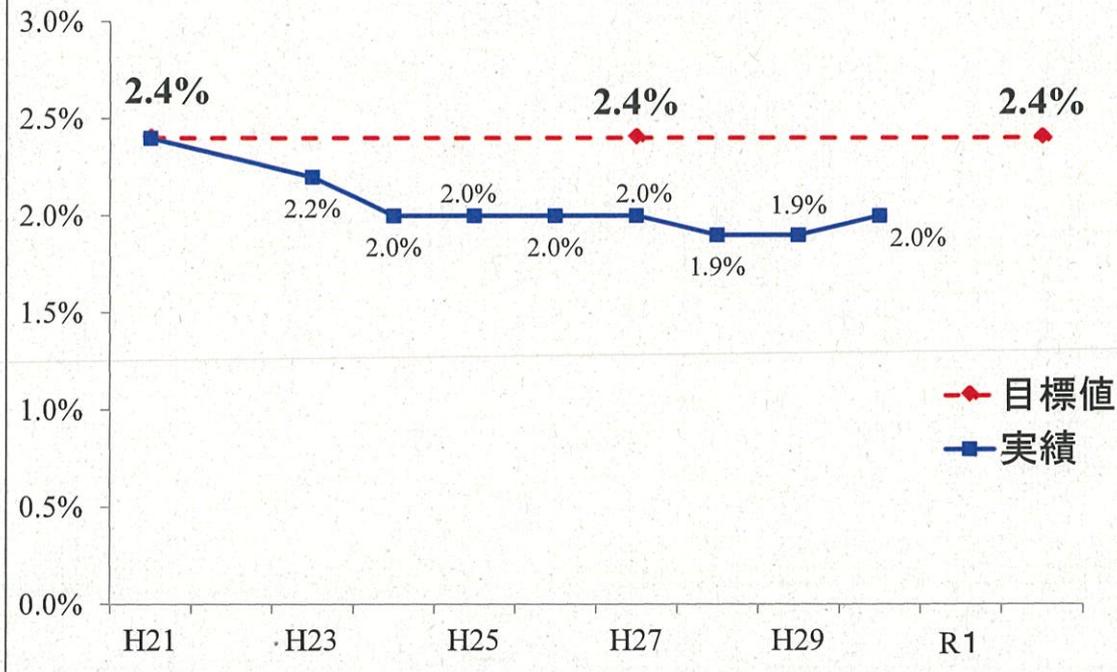
【H30年度の主な事業】

- ・児島のクルクルセンターを拠点とし、木製家具や古着等のリユース事業やリサイクルに関する講座を実施
(来館者数23,958人)
- ・スーパーなどのリサイクル協力店(103店舗)や地区ステーションからペットボトル回収(228トン)実施
- ・不法投棄対策として、航空機や監視カメラ、平日夜間・休日パトロール(161回)などの監視活動を実施
- ・要介護者や障がい者の世帯のうち、ごみ出しが困難な世帯を対象に個別収集を実施(ふれあい収集事業:126世帯)
- ・産業廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づく事業者への許可、指導、立入調査

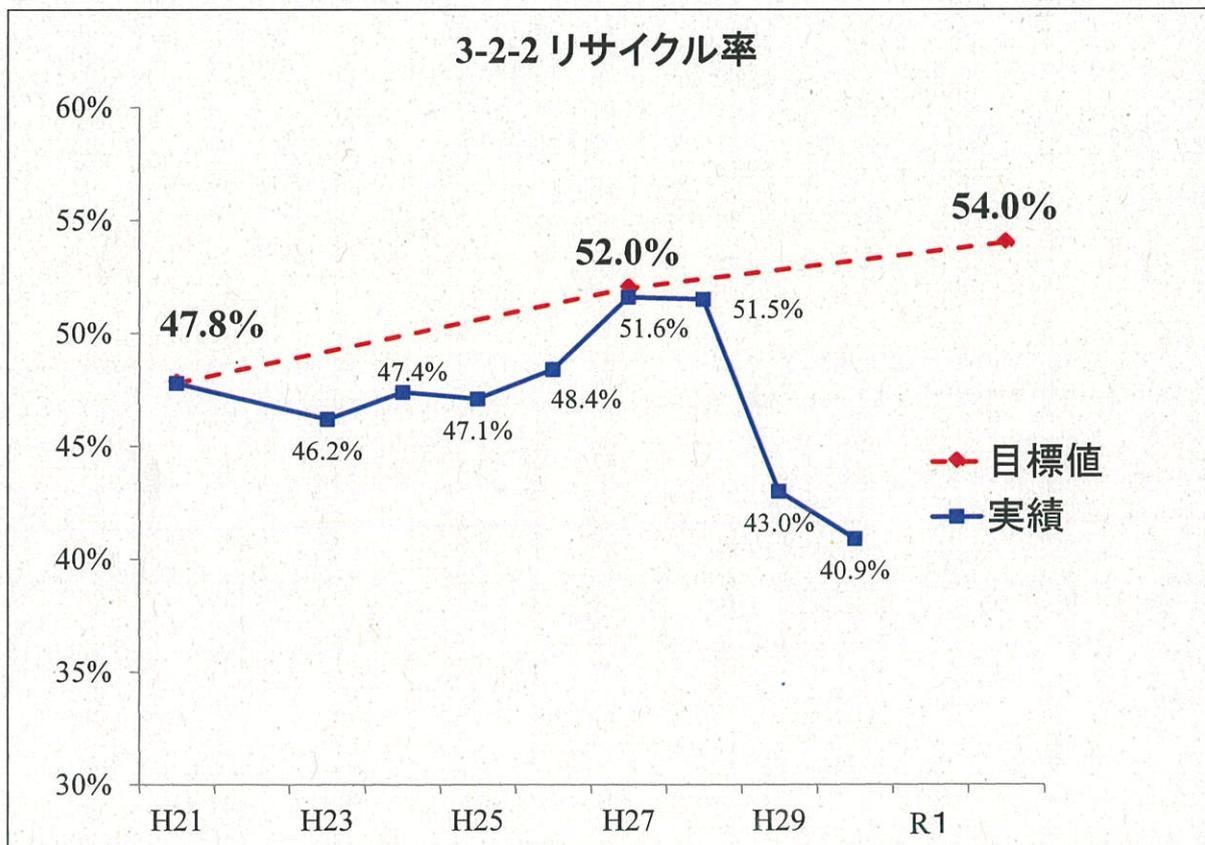
など

H31→R2(改定)

3-2-1 最終処分率
(最終処分量÷ごみ総排出量)



3-2-2 リサイクル率



基本目標4：地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

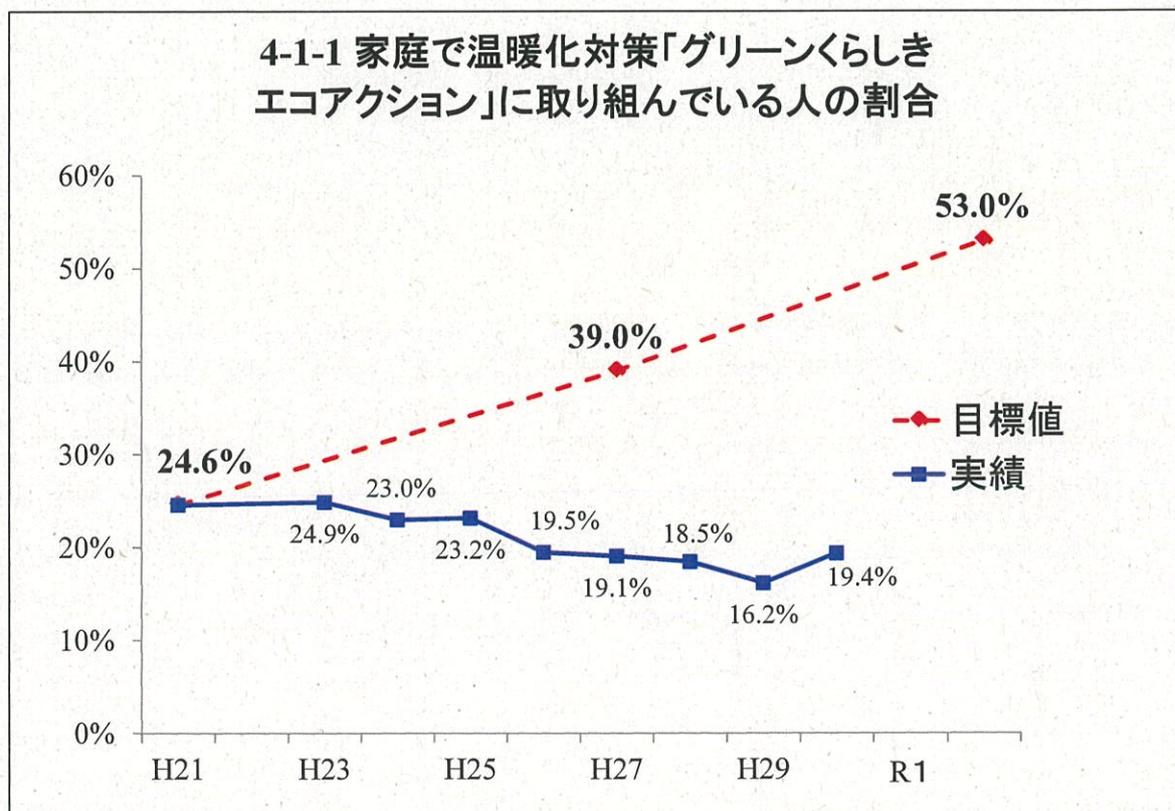
H31→R2(改定)

●分野別目標1 温室効果ガス削減

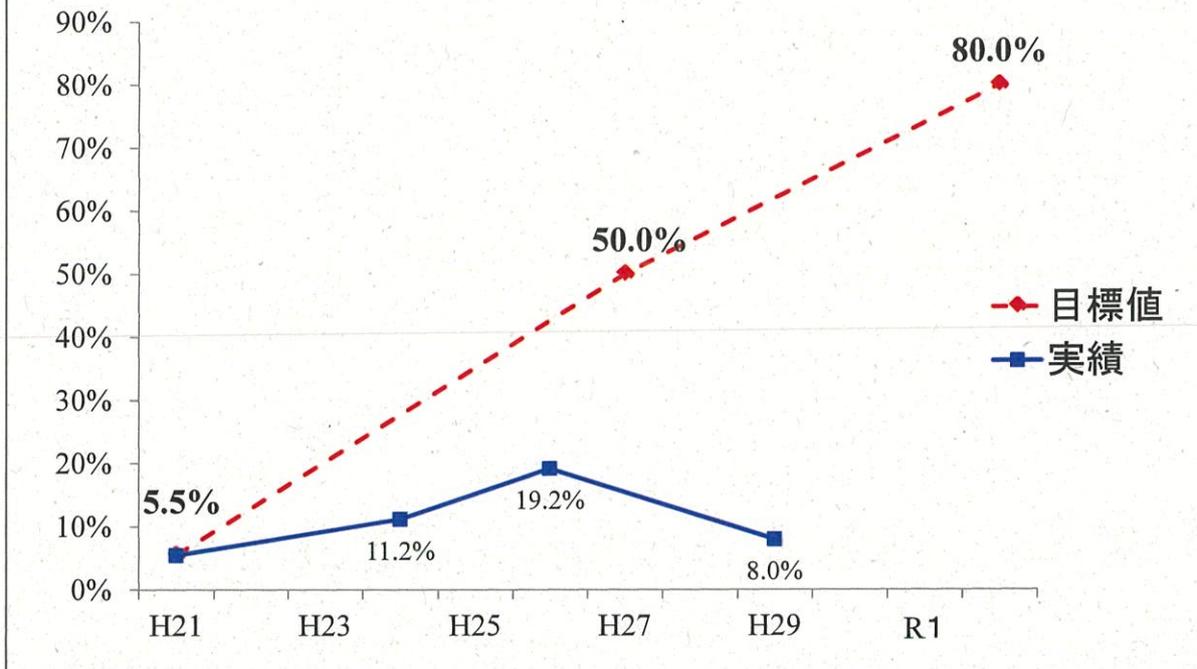
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	16.2%	19.4%		39%	53%
【分析】前年度よりも上昇したが、基準値を下回っている。「わからない」人が44.2%にも昇る。						
温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合 (1回/2年の調査)	5.5%	8.0%	—	—	50%	80%
【分析】2年ごとの調査のため、平成30年度は未実施。						
市全域から排出される温室効果ガスの削減割合(2007年度比)	39,573 千t 【H19】	14.2% 削減 【H26】	18.0% 削減 【H27】		6%削減	12%削減
【分析】基準年比で18.0%削減されており、令和2年度のめざそう値も達成。						

【H30年度の主な事業】

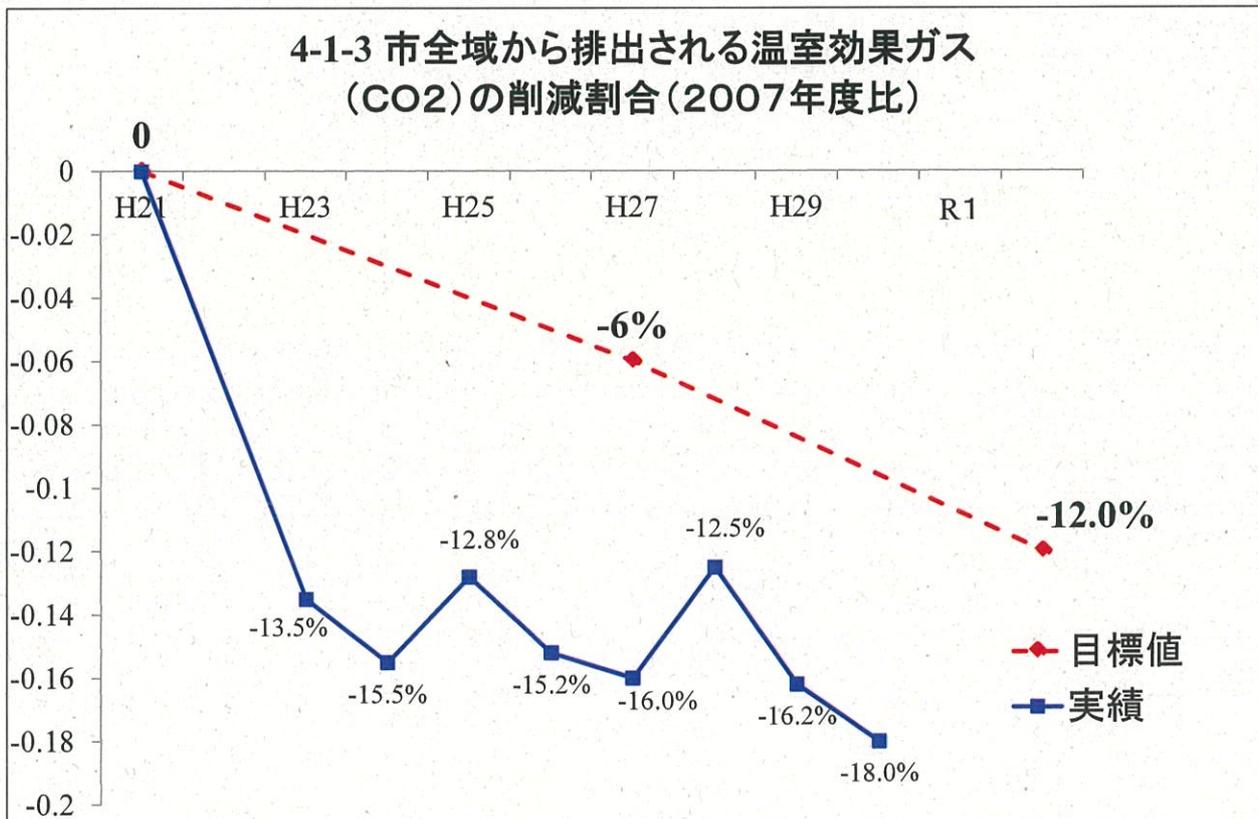
- ・緑のカーテンコンテスト(46作品)、グリーンメイトの登録(206人)、ゴーヤの種や苗の配布などの緑のカーテン普及事業実施
 - ・地球温暖化対策に係る出前講座やこどもエコライフチャレンジなどの啓発活動実施
 - ・電気自動車等(150台)や充電設備(2基)への補助制度を実施
 - ・公共施設のCO2削減ポテンシャル診断事業委託実施
- など



4-1-2 温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合



4-1-3 市全域から排出される温室効果ガス (CO2) の削減割合 (2007年度比)

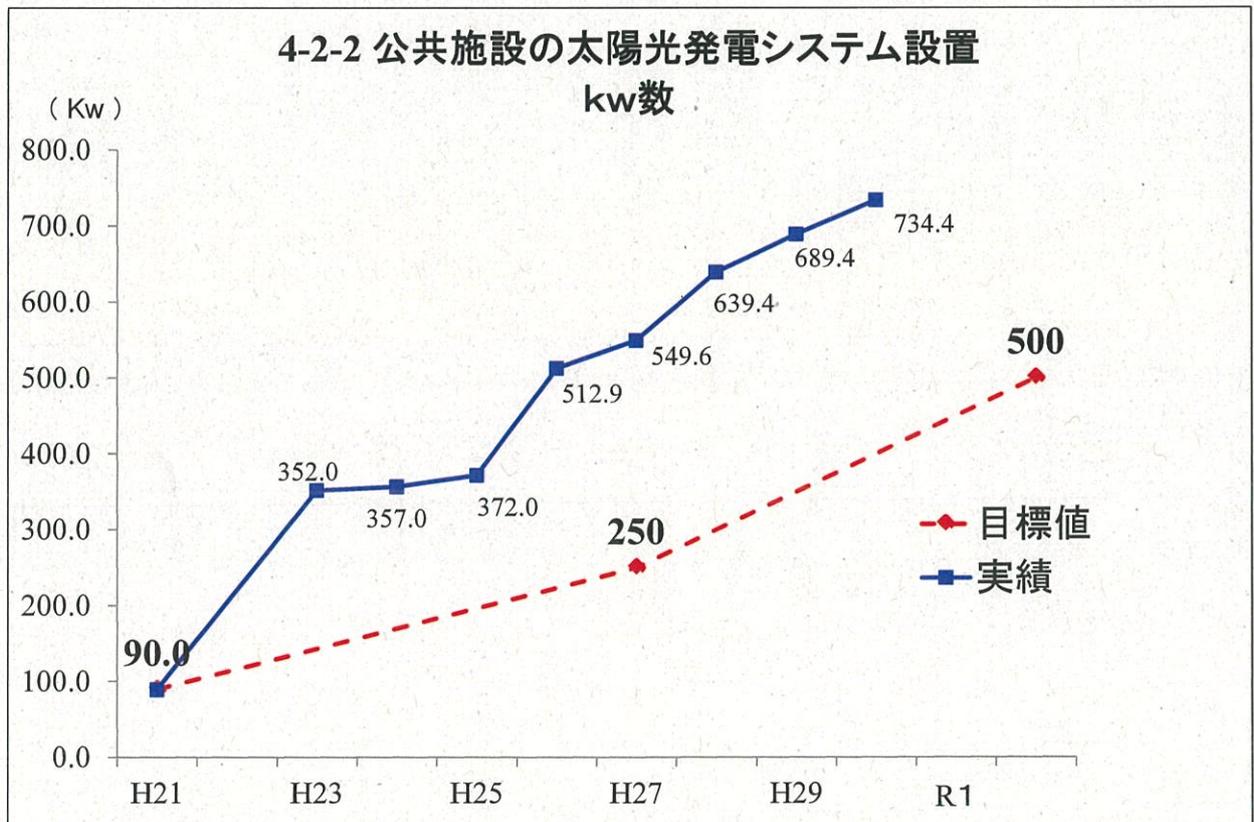
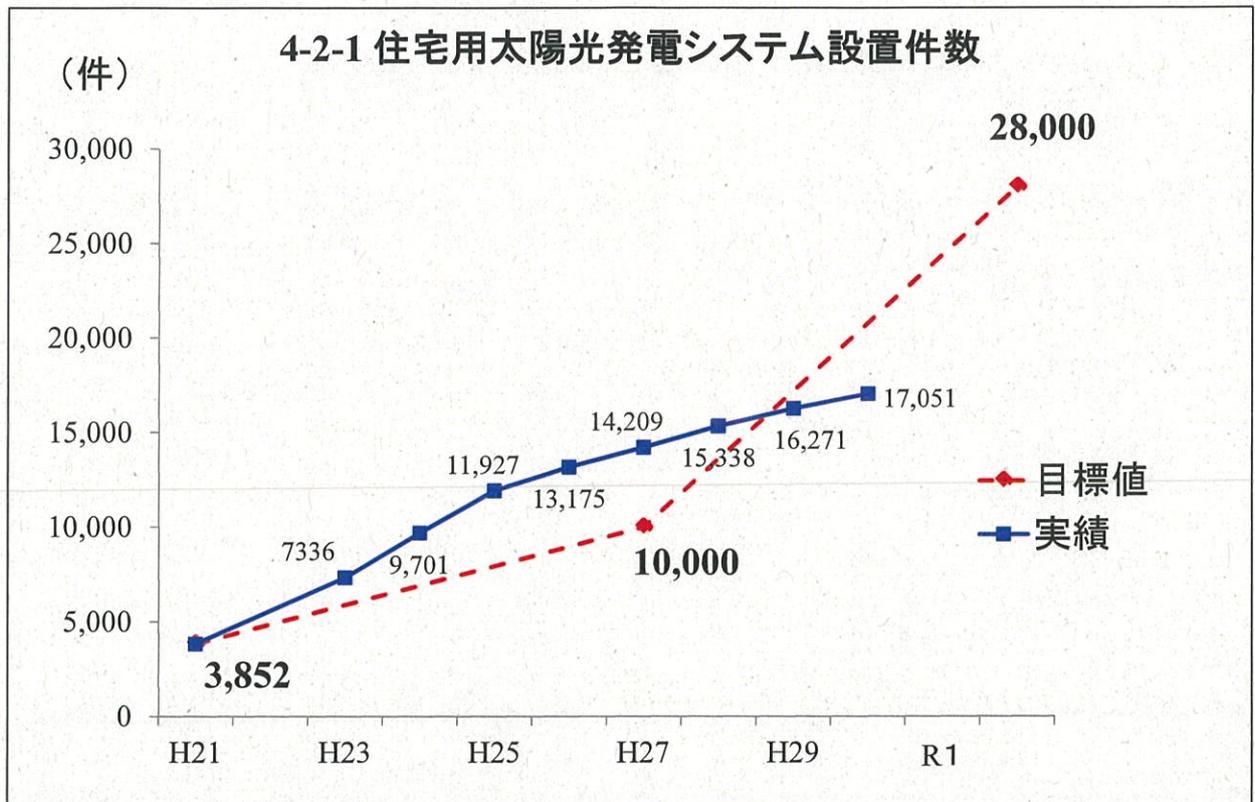


●分野別目標2 再生可能エネルギーの導入

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件	16,271件	17,051件		10,000件	28,000件
【分析】平成29年度実績として、基準値から13,199件、H29から780件増加。						
公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kw	689.4kw	734.4kw		250kw	500kw
【分析】既に目標値を大幅に超えており、順調に増加している。						

【H30年度の主な事業】

- ・住宅用太陽光利用システムや太陽熱温水器、住宅用燃料電池システム、定置型リチウムイオン蓄電池の設置した家庭への補助
- ・倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成
- ・クレジット制度の活用
(補助事業者のCO2排出削減分をクレジット化。2,708トン分のクレジット創出。売却実績719トン)
- ・公立学校等への太陽光発電設備の導入(完成:南中学校、東陽中学校 着工:茶屋町小学校、茶屋町東幼稚園)
- ・公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システムの設置
- ・児島下水処理場における消化ガス発電事業により発電によるCO2排出量の削減 など



基本目標5: 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

●分野別目標1 市民全体の環境教育・環境学習

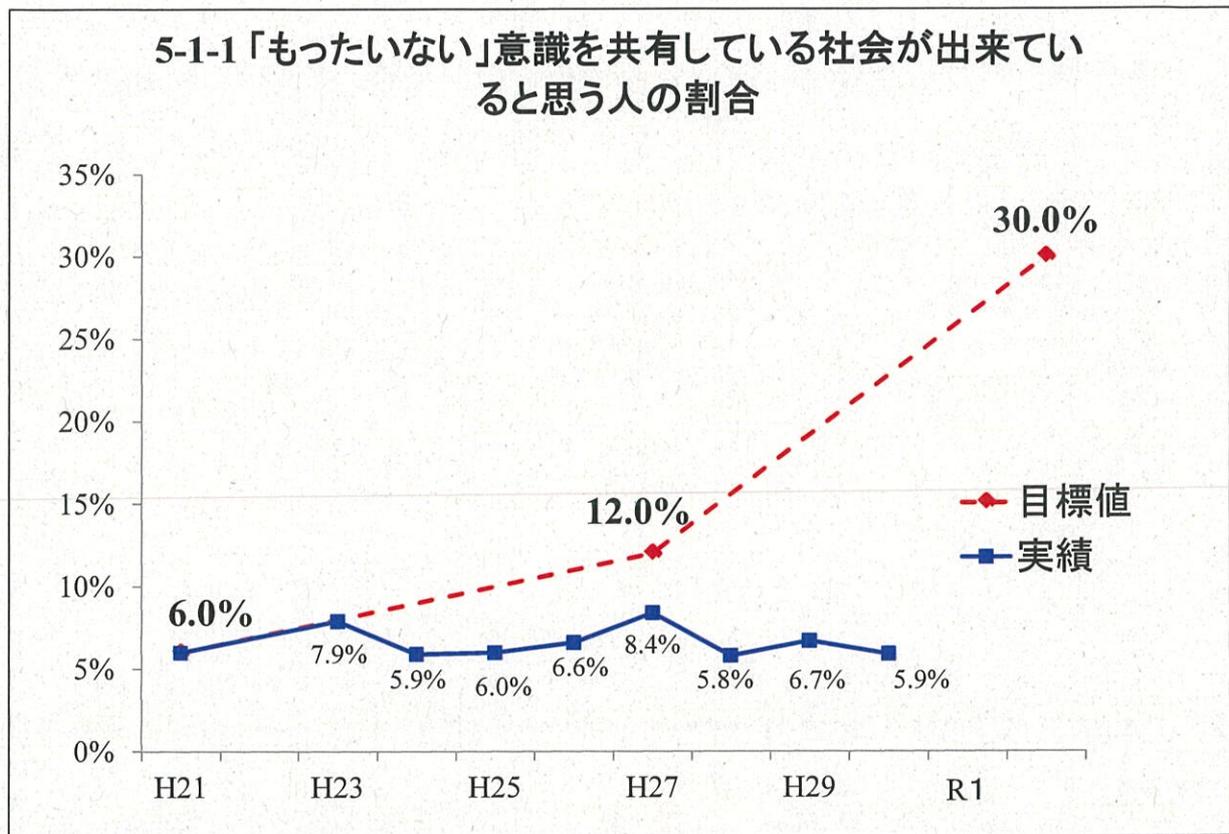
設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	6.7%	5.9%		12%	30%
【分析】「思う」人の割合。「どちらかといえば思う(27.1%)」の割合を合わせると33.0%。「思う人」は、20歳未満(11.1%)のみが10%を超えている。						
環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	2.8%	3.1%		10%	20%
【分析】「いつもしている」人の割合。「どちらかといえばしている(12.9%)」を合わせると16.0%だが、アンケート回答者の4分の3が「環境学習を受けたことがない」と回答している。						

【H30年度の主な事業】

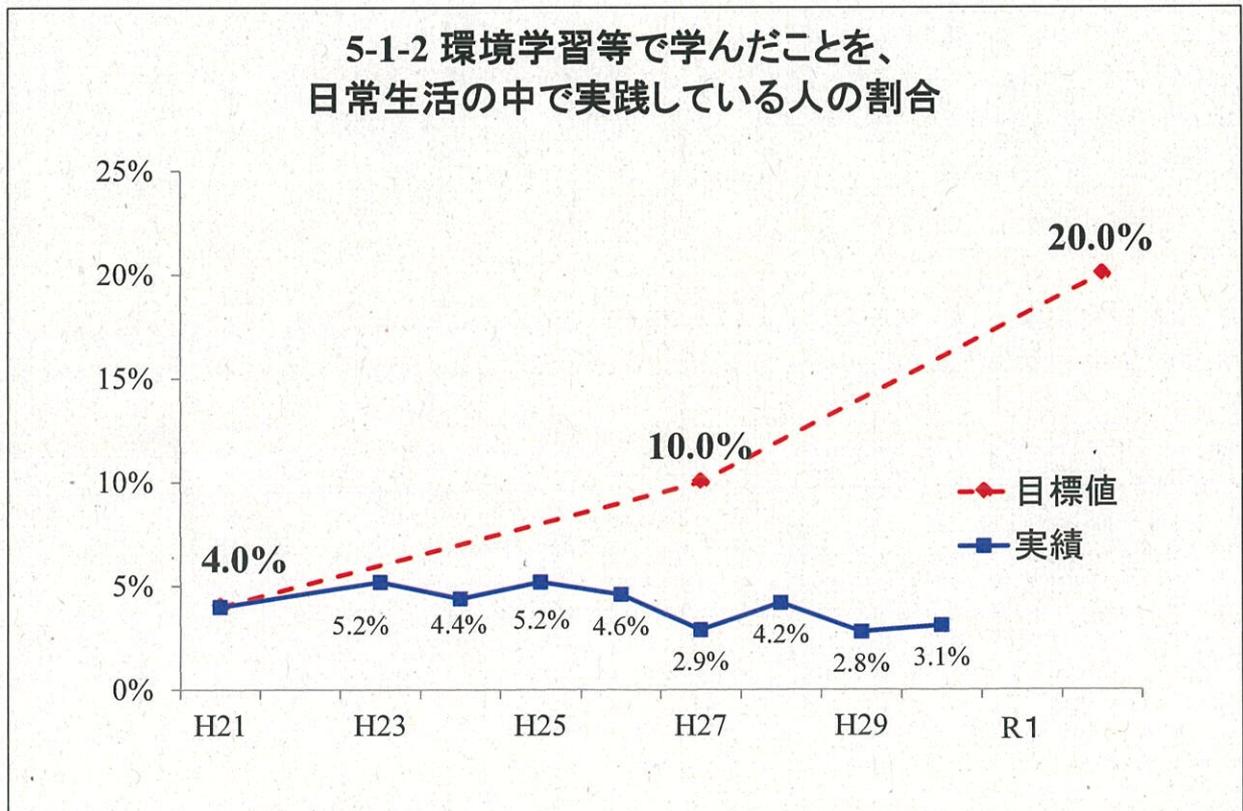
- ・環境フェスティバル(参加者数約5,100人)、エコサマースクールなど(22件820人参加)の環境イベント実施
- ・市職員等による各種出前講座の実施(13件418人参加)
- ・市民学習センター(ライフパーク)や公民館など社会教育施設での各種環境講座の実施(6講座93名)
- ・環境学習センターの活用(利用実績:6,030人、講座等参加者数10,282人)
- ・市内で活動する環境団体と協働で環境学習等の講座を実施(夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ等)
- ・自然史博物館推進事業(特別展「岡山の野鳥たち」(10,015人参加)、「自然史博物館祭り(8,825人参加)」

など

5-1-1 「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合



5-1-2 環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合



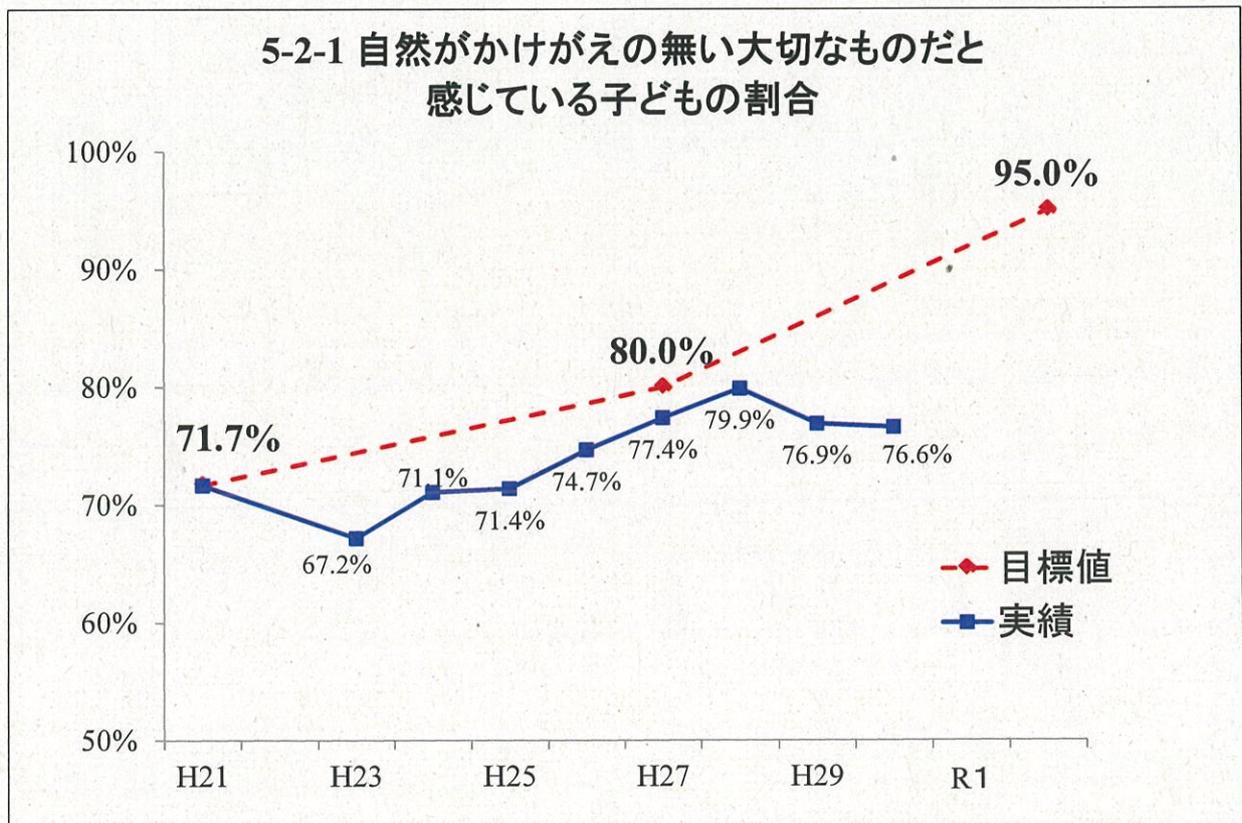
●分野別目標2 子どもの環境教育・環境学習

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H29	H30		H27	R2
自然がかげがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	76.9%	76.6%		80%	95%
【分析】「とてもそう思う」の割合で76.6%、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ変わりなく95.6%と高い割合。						
「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	45.8%	48.3%		45%	65%
【分析】「いつもしている」の割合。「ときどきしている(38.9%)」を合わせた割合は87.2%と昨年度とほぼ同じ値で、高い割合。						
自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	13,171人	12,473人		17,500人	19,700人
【分析】基準値下回っており、昨年度比698人減少であった。						

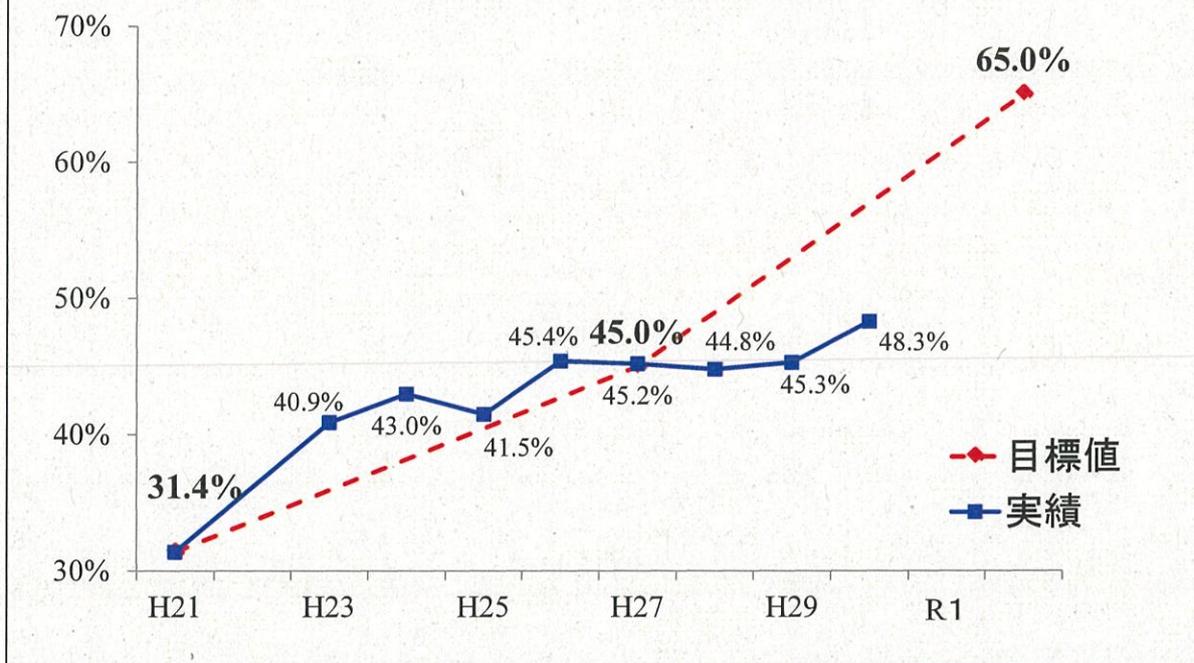
【H30年度の主な事業】

- ・小中学生に対する環境学習(
- ・少年自然の家での山の学習や自然教室などの自然体験学習(小中学校96校を受入れ)
- ・小中学校での環境に関する出前講座実施
- ・小中学生向けに「エコサマースクール」と題して、夏休み期間中に体験講座等を実施

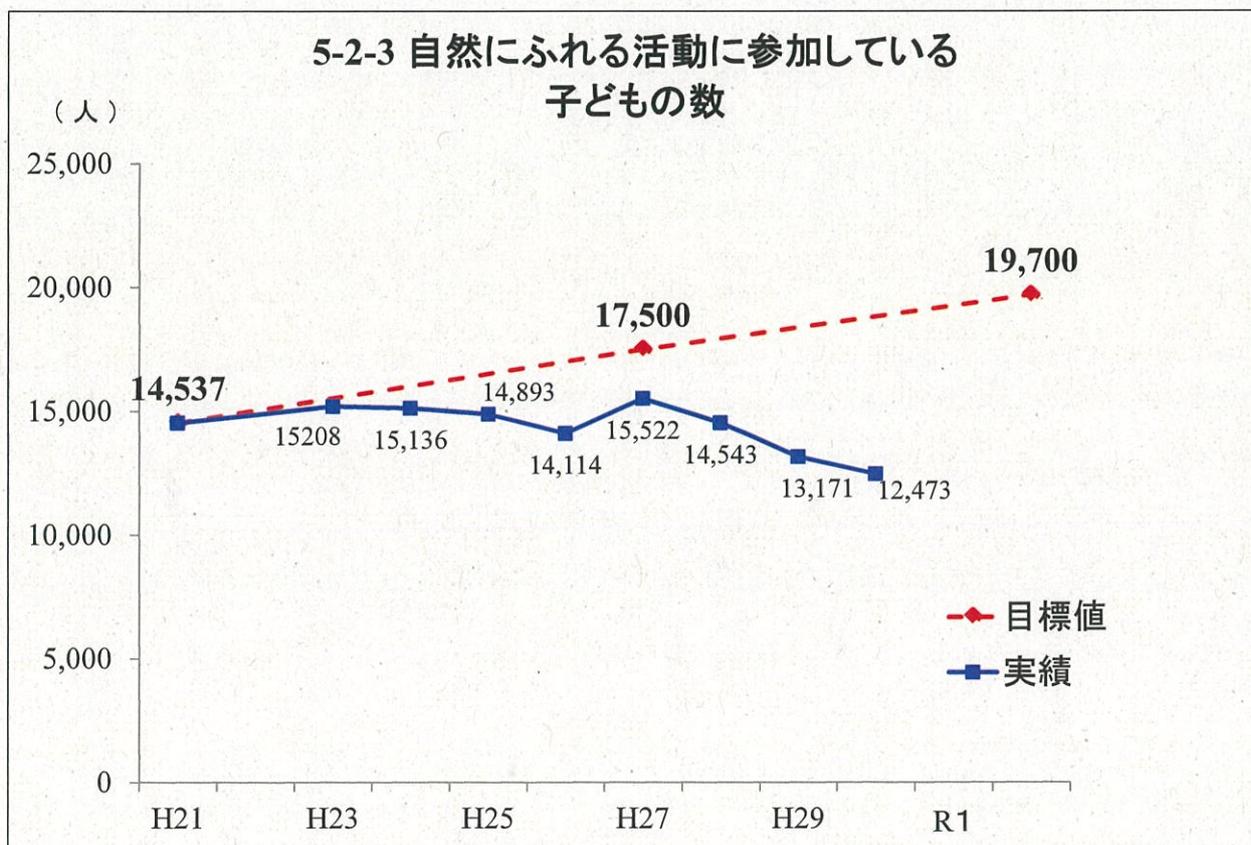
など



5-2-2 「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合



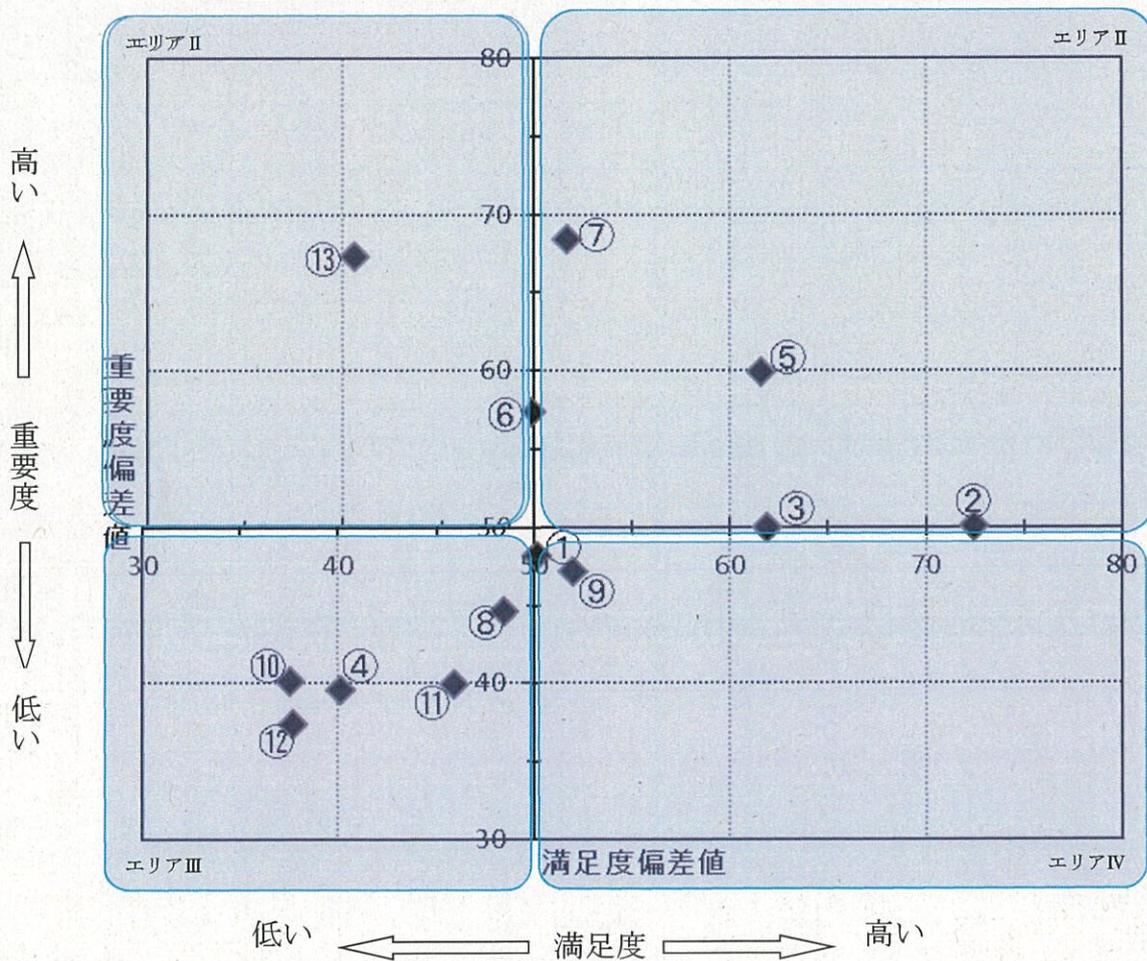
5-2-3 自然にふれる活動に参加している子どもの数



◆平成30年度の設定指標の動向(まとめ)

	 「目標値に順調に近づいている」	 「計画策定時より良好になっている」	 「目標から遠ざかっている」
基本目標1「自然環境・景観・環境と経済の調和」	2指標／12指標	6指標／12指標	4指標／12指標
基本目標2「水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち」	2指標／8指標	3指標／8指標	3指標／8指標
基本目標3「リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち」	1指標／5指標	1指標／5指標	3指標／5指標
基本目標4「地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち」	2指標／4指標	1指標／4指標	1指標／4指標
基本目標5「市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち」	0指標／5指標	2指標／5指標	3指標／5指標
基本目標1～5の 総合計	7指標／34指標 (20.6%)	13指標／34指標 (38.2%)	14指標／34指標 (41.2%)

■重要度・満足度マッピンググラフ (偏差値による)



基本目標		要度偏差値	満足度偏差値
1	①多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します	48.13	50.18
	②まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します	50.11	72.43
	③瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します	50.00	61.91
	④環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します	39.58	40.11
2	⑤良好な水環境の保全に努めます	59.88	61.61
	⑥クリーンな大気環境の保全に努めます	57.35	49.87
	⑦安心・安全な生活環境の実現に努めます	68.44	51.70
3	⑧生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します	44.62	48.50
	⑨廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます	47.15	52.01
4	⑩温室効果ガス削減の取組を推進します	40.12	37.52
	⑪地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します	39.90	45.91
	⑫環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします	37.38	37.68
5	⑬次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます	67.34	40.57

分類	求められること	該当項目
エリアI	重要度が高く、満足度が低いことから、最優先で取り組むべき分野	⑥、⑬
エリアII	重要度も満足度も高く、引き続き満足度を維持していくべき分野	②、⑤、⑦
エリアIII	満足度が低いため、満足度を高める取り組みが必要であるが、重要度が低いため、必要性も含めて検討すべき分野	④、⑧、⑩、⑪、⑫
エリアIV	重要度は低いが、満足度が高いことから、このままの状態を維持するとともに、過剰な行政サービスは縮小等も含めて見直しを検討すべき分野	①、⑨

※③については、重要度偏差値が50.00であったため、分類には含めていない。



次期環境基本計画策定方針（案）について

環境政策部環境政策課



環境基本計画について【参考】

○国の計画

【環境基本法】 第15条第1項（平成5年成立）

環境基本計画（第五次）・・・平成30年～（5年後目処）

※地方公共団体の計画【環境基本法】 第36条

地方公共団体は・・・区域の自然的社会的条件に応じた環境の保全のために必要な施策を，これらの総合的かつ計画的な推進を図りつつ実施するものとする。

○県の計画

【岡山県環境基本条例】 第10条第1項（平成8年制定）

エコビジョン2020・・・平成20年度～令和2年度

○本市の計画

【倉敷市環境基本条例】 第8条第1項（平成11年制定）

市長は・・・倉敷市環境基本計画を定めなければならない。

倉敷市環境基本計画・・・平成12年度～（平成22年度）

倉敷市環境基本計画改定版・・・平成19年3月～平成22年度

倉敷市第二次環境基本計画・・・平成23年度～令和2年度



倉敷市第二次環境基本計画について【参考】

	倉敷市第二次環境基本計画
計画期間	2011年度(平成23年度)～2020年度(令和2年度)
策定・改定理由	<p>環境基本計画(第一次)の推進により、地域の自然環境、生活環境の保全が図られてきたが、地球温暖化問題の科学的知見による裏付けを経て、人類の生存に関わる脅威として、未来の子どもたちへ地球環境を引き継いでいくために、これまで以上に大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から枯渇性の資源やエネルギーに過度に依存しない低炭素で持続可能な社会への転換が求められ、また、良好な本市の自然環境を保全する生物多様性の考え方が求められた。</p> <p>このような環境の変化に適切に対応するため、10年後の目標を設定するなど、倉敷市環境基本条例の規程に基づき、「倉敷市第六次総合計画」とも整合性を保ちながら、市民ニーズを反映させた長期的な視点のもとに、前計画を全面的に見直し、倉敷市第二次環境基本計画を策定した。</p>
計画の位置づけ	倉敷市第六次総合計画に掲げられたまちづくりの基本理念を、環境面から実現するための役割を担う。また、環境関連分野を含む他分野の各種計画を実施するにあたっての基本となるものであり、市民及び事業者との協働により施策を計画的に推進する。
対象範囲	自然環境 都市環境 生活環境 地球環境に関する項目
計画構成	<ul style="list-style-type: none">・望ましい環境像 (自然と人が共生し、未来につなぐ健全で恵み豊かな環境)・基本目標(5項目)・現状と課題・施策の方向性・施策体系・分野別目標・主体別環境配慮指針・計画推進、進捗管理



倉敷市第三次環境基本計画について（案）

	倉敷市第三次環境基本計画
計画期間	2021年度(令和3年度)～2030年度(令和12年度)の10年間 ※社会情勢や第七次総合計画の改訂等に柔軟に対応する。
策定・改定理由	令和2年度(2020年度)で第二次環境基本計画の期間が終了となる。新たに、10年後の目標を設定するなど、倉敷市環境基本条例の規程に基づき、「倉敷市第七次総合計画」とも整合性を保ちながら、市民ニーズを反映させた長期的な視点のもとに、前計画を全面的に見直し、倉敷市第三次環境基本計画を策定する。
計画の位置づけ	倉敷市第七次総合計画に掲げられたまちづくりの基本理念を、環境面から実現するための役割を担う。環境関連分野を含む他分野の各種計画を実施するにあたっての基本となるものであり、市民及び事業者との協働により施策を計画的に推進する。
対象範囲	自然環境 都市環境 生活環境 地球環境に関する項目(検討予定)
計画構成	<ul style="list-style-type: none">・望ましい環境像 (仮称:自然と人が共生し、未来につなぐ健全で恵み豊かな環境)・基本目標(5項目の予定)・現状と課題・施策の方向性・施策体系・分野別目標(地区別に重点目標も設定【新】)・主体別(市民・事業者・行政)環境配慮指針・SDGSの取組み【新】・計画推進, 進捗管理



1 策定体制（案）について

（1）庁内体制について

【倉敷市環境保全推進本部設置規程】により，次の組織を設置

①環境保全推進本部

本部長（市長），副部長（副市長），本部員（庁議構成員）

②幹事会

幹事長（環境政策部長），構成員（調整会議構成員）

③主管課長会

会長（環境政策部次長），構成員（主管課長会議構成員）

④ワーキンググループ

総括者（環境政策課長），
構成員（総括者が指定する部署の職員）

⑤事務局

環境政策課



1 策定体制（案）について

（２）倉敷市環境審議会について

【倉敷市環境基本条例第８条第４項】規定により、計画策定に当たっては、あらかじめ審議会の意見を聴かなければならない。

①審議会への諮問時期について

庁内策定組織で協働のうえ、素案程度まで策定し、素案を付して諮問を行う。

②策定方針（案）に対する意見聴取

策定体制や諮問時期等の策定方針について、あらかじめ審議会の意見を聴取しておく。



1 策定体制（案）について

（3）市民意見聴取について

【倉敷市環境基本条例第8条第3項】規定により，市民・事業者の意見を反映させるため，次の措置を講じる。

①市民アンケートの実施

現状調査・課題抽出アンケート（16歳以上，小学生・中学生・事業者）を1回実施（令和元年度）
⇒郵送又はインターネット

②パブリックコメントの実施

「目標値の入った素案」時点の1回実施。

③市民説明会（市民団体，公民館など）の開催

④環境イベント等での意識調査



1 策定体制（案）について

（４）策定支援業務の外部委託について

高い専門性と豊富な経験があり，適正な企画力，技術力，実施体制をもつ事業者に策定支援業務を委託し，よりよい計画策定を行う。

①事業者選定方法及び委託期間について

プロポーザル方式（委託期間：令和2年4月～令和3年3月）

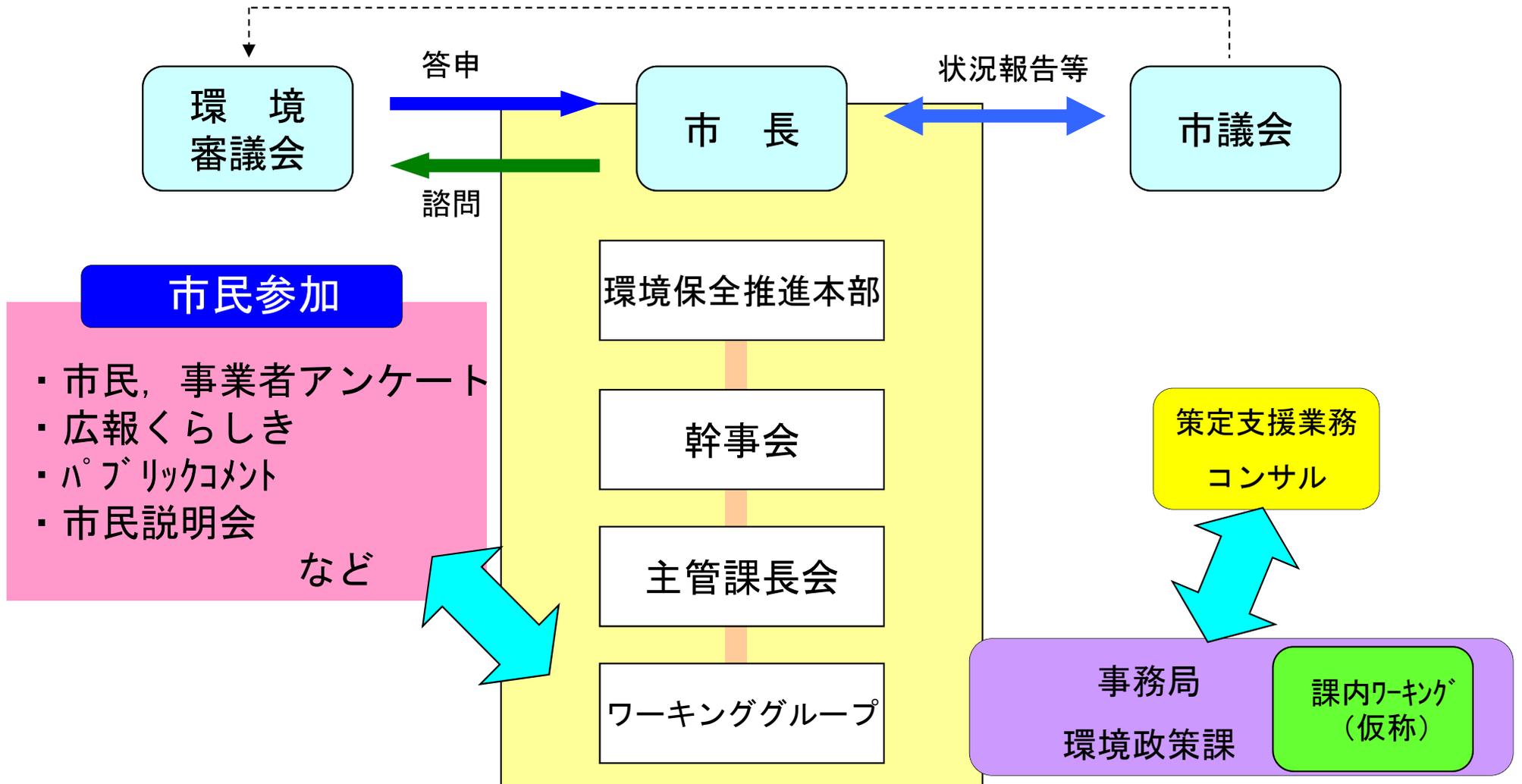
②委託業務内容

- ・ 市民等の意識調査（説明会，パブリックコメント等）
- ・ 環境像，基本目標，分野別目標の改訂，指標の設定等
- ・ 各種会議等の運営支援（ファシリテイト等），資料作成
- ・ 基本計画冊子デザインの製作 ※印刷は翌年度に別途発注
- ・ その他策定に係る支援全般



1 策定体制（案）について

次期基本計画（計画期間：令和3年度～）の策定体制（案）は次のとおり。





環境基本計画策定スケジュール（概要）

次期基本計画（計画期間：令和3年度～）の今後の策定スケジュール（概要）は次のとおり。※スケジュールは変更する場合があります。

令和元年度	令和2年度
10月 策定方針の決定（環境保全推進本部会議）	6月 第1回環境審議会（諮問） 施策体系の決定
12月 第3回環境審議会（市民アンケート内容意見聴取） 市民アンケート（基礎調査）実施	環境イベントでの市民意識調査開始 9月 第3回環境審議会（素案）
2月 第4回環境審議会（基本施策体系の意見聴取）	10月 素案策定 11月 パブリックコメント，市民説明会
3月 基本施策体系の決定 業務委託業者選定プロポーザルの実施， 契約候補者の選定 （令和2年4月から委託予定）	12月 第4回環境審議会（原案） 1月 原案策定 2月 第5回環境審議会（最終審議） 環境審議会からの答申 3月 第3次環境基本計画の策定

資料 3

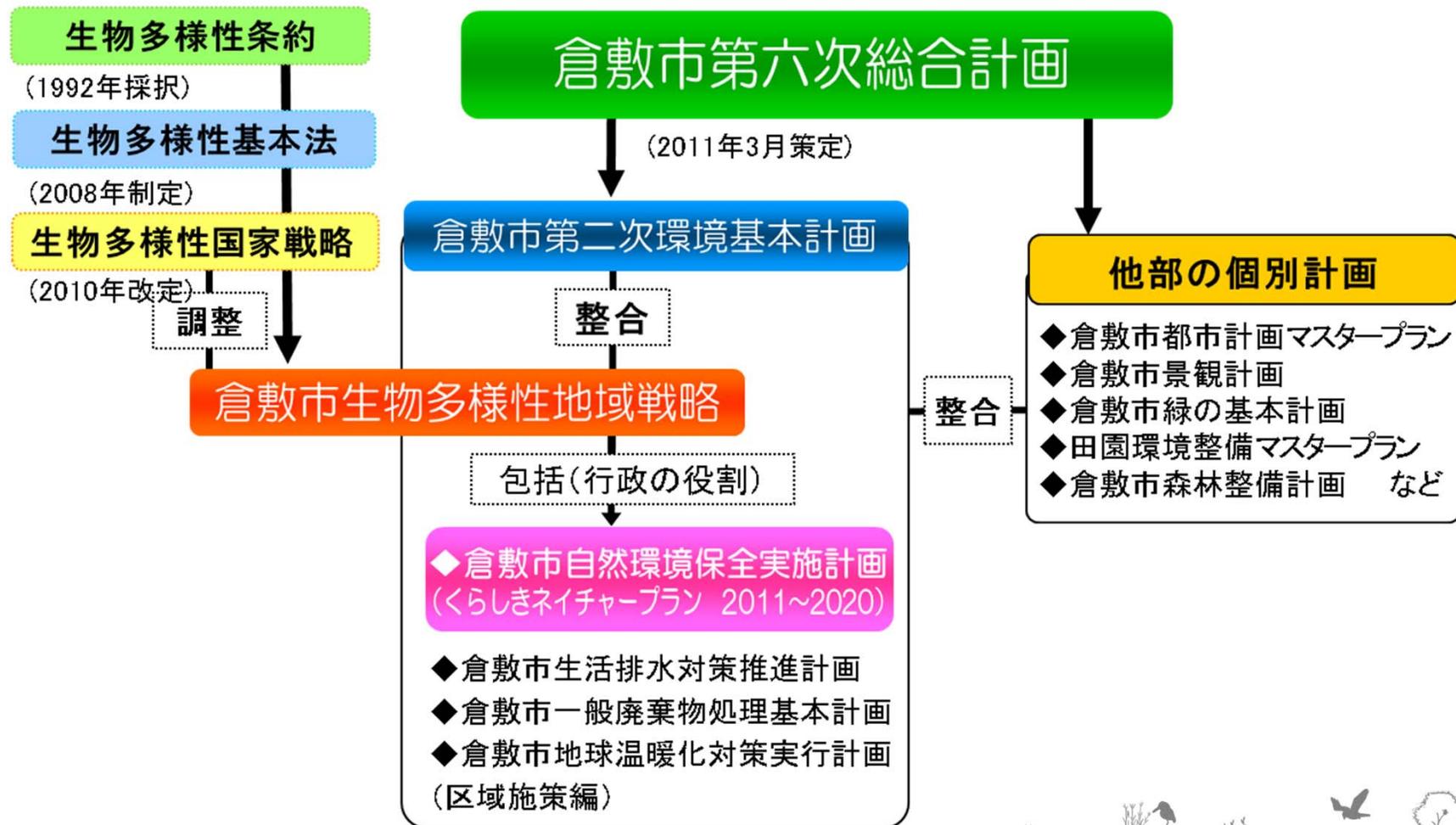
「倉敷市生物多様性地域戦略」の進捗状況等について

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

倉敷市生物多様性地域戦略の位置づけ

倉敷市第二次環境基本計画のうち、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する項目を担う



倉敷市生物多様性地域戦略の目標期間

■ 戦略の短期的目標年次: 令和2(2020)年度

- ・上位計画である「倉敷市第二次環境基本計画」との整合性を考慮
- ・生物多様性の普及啓発の推進と、生物多様性の持続的利用に向けた基盤づくりを行う期間



倉敷市自然環境保全実施計画(くらしきネイチャープラン)の
数値目標・取り組みの実施状況・実施計画を報告

■ 戦略の長期的目標年次: 令和32(2050)年度

- ・岡山県の生物多様性地域戦略「自然との共生おかやま戦略」との整合性を考慮
- ・自然再生や社会基盤の再構築の取り組みもすすめる期間



倉敷市生物多様性地域戦略に係る行動計画

恵み豊かな瀬戸内の自然を、
未来に向けてみんなの手で引き継いでいるまち倉敷

基本目標

1. 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

2. 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

3. 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

4. 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

取り組み

1. 生物多様性調査の実施

2. 生物多様性に係る情報の整備・充実

1. 総合的・計画的な保全体系の拡充

2. 地域の自然と生態系ネットワークの保全

3. 地域ごとの自然環境の保全

4. 重要地区の保全

5. 希少野生生物の生息・生育環境の保全

6. 外来生物対策

1. 環境配慮型農業と地産地消の推進

2. 生物多様性への配慮した地域開発と産業・事業活動の促進

1. 市民への環境学習機会の提供

2. 支援者、指導者の育成

3. 子どもたちへの環境教育の充実

4. 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

5. エコツーリズム等の推進

6. 自然とのふれあいの促進

報告内容の構成

- 基本目標達成に向けた、
「数値目標達成状況」、「実施事業計画表」の2部で構成。
 - ・数値目標達成状況について
 - 基準年度(基準値)、達成年度(目標値)及び平成30年度実績値を記載、あわせて目標達成に向けた傾向を矢印➡で表記
 - ・実施事業計画表について
 - 事業項目を「リーディングプロジェクト」と「その他の取り組み」で表示
 - ・リーディングプロジェクト
 - ※生物多様性地域戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業
 - ・その他の取り組み(主にくらしきネイチャープランから継承するもの)



数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H30年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0		継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合（倉敷市第六次総合計画指標）	27.4%	2009 (H21)	33.5%		54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合（倉敷市第六次総合計画指標）	38.4%	2011 (H23)	36.5%		72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合（倉敷市第六次総合計画指標）	32.5%	2009 (H21)	30.2%		56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.15㎡/1人		10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭： ヌートリア	2012 (H24)	124頭		被害額の低減及び生息 頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数（H23年度からの積み上げ件数）	5件	2011 (H23)	35件		100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制（市内全域）	3,957万トン	2007 (H19)	3,241万トン (H27)		3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	80.0%		79.7%	2020年 (H32)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%		100%	2015年 (H27)	下水計画課



数値目標達成状況

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	24.8% (H29)		60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	4,233a		3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	707区画		現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	12人		10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	84.2%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	60.1%		77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.4%		20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	76.6%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	12,427人		19,700人	2020年 (H32)	環境政策課



基本目標1:倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-1 生物多様性調査の実施

■ 「倉敷の生き物を探そう！」事業

【計画・事業の概要】 生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする。

瀬戸大橋開通30周年！

海の生き物をさがそう！



くらいき -Season6-

＜30年度実施状況＞

・6回目は、市内の「海の生き物」について、携帯フォトシステム・クラウドサービスなどを利用して情報収集を行いました。（0件の投稿）

＜令和元年度以降＞

・携帯フォトシステム・クラウドサービスが休止する。



基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実

■ 特別展（特別陳列）の開催

【計画・事業の概要】岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で盛り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う。



特別展「地球の元素」

<30年度実施状況>

- ・第27回特別展「岡山の野鳥たち～むかし・いま・みらい～」、「新着資料展富山哲夫チョウ類コレクション」「鳴く虫サロン」「折り紙昆虫展」「新着資料2018(総合)」「新着資料展2018(昆虫)」「しぜんしらしき賞作品展」などを開催した。

<令和元年度事業>

- ・第28回特別展「地球の元素」や「博物学者佐藤清明を知っていますか?」「新着資料展」「鳴く虫サロン」「しぜんしらしき賞作品展」などを開催予定。



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全

■ [河川・水辺] 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施

【計画・事業の概要】

自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う。



自然環境に配慮した用水路施工事例



東三間川での保護移動



カワバタモロコ



スイゲンゼニタナゴ

＜保全実施状況＞

- ・公共工事担当課へスイゲンゼニタナゴ、カワバタモロコなど希少野生生物に関する情報提供
- ・希少野生生物の生息地の保全のため、河川, 用水路改修時に専門家のアドバイスを得て関係課と協議を行いながら保全対策(保護移動など)を実施した。



ナゴヤダルマガエル



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-3 地域ごとの自然環境の保全

■ [森・山] 水島・児島地域の取り組み

【計画・事業の概要】

大平山、種松山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る。



種松山野草園



野鳥観察会



種松山コース

＜種松山野草移植保護地＞

・昭和55年11月からの瀬戸中央自動車道建設工事に伴う野草移植保護地。

現在は、倉敷市シルバー人材センターへ委託管理しています。

＜探鳥コース＞

・市内には野鳥の観察にふさわしい地区に探鳥コース(12カ所)を設定しています。

探鳥コースを会場に毎年2回(夏と冬)、野鳥観察会を実施し、自然とふれあえる場として、活用しています。

基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-4 重要地区の保全

■ [湿地] 湿地復元、保護活動への支援

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する。



サギソウ

<倉敷美しい森(倉敷市曾原)>

・平成6年8月の山火事後、平成13年4月にオープンした森林公園で、園内では、サギソウなど貴重な湿生植物の観察やバードウォッチングなどが楽しめます。



湿地復元作業・研修会

・倉敷市自然保護監視員への研修を実施したり、重井薬用植物園が行う湿地復元作業にも参加させてもらい、湿生植物等について学びました。



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全

■ [河川・水辺] ミズアオイ群生地での保全活動

【計画・事業の概要】

自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める。



ミズアオイ

＜ミズアオイ群生地(倉敷市粒江)＞

・倉敷市立自然史博物館友の会や地域住民等と協力して、ヌートリア食害防護フェンスの設置やスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)など外来生物の駆除。

また、除草作業もしながらミズアオイ自生地の整備・管理・保全に努めている。

・地元小学校の児童に対して観察会等の啓発活動を行っている。

秋:観察会 57名参加(H30.9.16)

春:種まき会 58名参加(H31.3.31)

基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-6 外来生物対策

■ 外来生物に対する啓発と情報提供

【計画・事業の概要】

外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う

(動物)セアカゴケグモなど 水島港におけるアカカミアリ確認



<対応状況>

- ・自然保護監視員への啓発
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・広報紙やチラシの配布による啓発
- ・HPの充実



<対応状況>

- ・平成30年9月17日に確認
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・環境省と県では、確認地点から約2キロ範囲で生息調査を継続して実施中



オオクチバス(左)
オオキンケイギク(中)
ミシシippアカミミガメ(右)

基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 生物多様性に配慮した農業の推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

農地を活用した環境学習／生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPRを推進する



<実施事業>

- ・夏休み講座「田んぼの生きもの調べ」



田んぼの生きもの調べ
(JA岡山西・菅生支店)



基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 生物多様性に配慮した農業の推進・環境保全型農業の支援

【計画・事業の概要】

- ・生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る(リーディングプロジェクト)
- ・おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水(たんすい)管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する



ライフパーク市民講座・フェアトレード



カバークロップ(緑肥)

<実施事業>

- ・出前講座・農業者や消費者の理解の促進
ライフパーク市民講座・フェアトレード

<実施事業>

- ・環境保全型農業直接支援対策などにより
環境保全効果の高い営農活動を支援する
カバークロップ(緑肥)等作付け、有機農業など



基本目標3:生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

■ くらしき地域資源の活用

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする



くらしき地域資源BOOK&HP

＜実施事業＞

- ・倉敷市内にある多種多様な地域資源を「老舗」、「特産品」、「魅どころ」として取りまとめ、紹介しています。
- ・倉敷の魅力を全国に発信するため、ホームページやBOOK、くらしきフェア等で情報提供を行っています。



倉敷の老舗 感謝状贈呈式



～至極の逸品～くらしきフェア



基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-1 市民への環境学習機会の提供

■ 保全に向けた普及啓発活動／自然保護監視員研修会・連絡会議

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト
シンポジウムや講演会等による生物多様性保全に向けた普及啓発活動をする



くらしき環境フェスティバル・講演会



自然保護監視員研修会(年2回)

<30年度実施状況>

- ・くらしき環境フェスティバル
鎌田安里紗・渡邊智恵子氏による講演会
「私とエシカルファッション！」を実施。

<令和元年度事業>

- ・くらしき環境フェスティバル
磯辺篤彦氏、山陽女子中学校・高等学校地歴部による講演会
「マイクロプラスチックってなに？海ごみについて考えよう」を実施。
- ・自然保護監視員を対象に、年2回の研修会を実施予定。



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-2 支援者、指導者の育成

■ 指導者養成講座の開催／自然環境保全マニュアル研修会

【計画・事業の概要】

高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修／庁内研修会



ライフパーク倉敷



市役所庁内研修会(年1回)

＜実施事業＞

- ・持続可能な地域づくりに向けた若者の学び
主催:環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会(事務局:みずしま財団)
参加者77人(大学生以下40人・大人37人)。

＜庁内研修会＞

- ・「生物多様性と持続可能な社会(ESD)について～防災・減災につながる地域づくり～」
外部講師を招いて年1回実施し、庁内の支援者・指導者の育成に努めた。



基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-3 子どもたちへの環境学習の充実

■ 自然とふれあうイベント等の開催

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する



エコサマースクール



かるともキャンプ



子育て支援・観光モデルコース

＜実施事業＞

- ・子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや自然とふれあう活動を支援する。
(エコサマースクールなど)
- ・障がい児やその兄弟などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する。(かるともキャンプ)
- ・子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する。

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

■ 自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援



水島公民館・連携講座



<実施事業>

- ・水島公民館との連携講座として、市内3校のSSHの高校である玉島・清心女子・天城高校生による自然環境講座を初開催した。
玉島(11名)、清心女子(3名)、天城高校(7名)ほか、社会人を含め28名が地域交流できた。



高梁川流域連携中枢都市圏事業



- ・「高梁川でつながる森・里・川・海の力」を倉敷美観地区を舞台に実施し、高梁川流域を含めた人達延べ126名が参加。

午前:セミナー49名

午後:エコツアー77名

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

■ 自然保護団体への活動を支援

【計画・事業の概要】

各種自然保護団体への活動を支援する



干潟の観察会(高梁川河口)

＜実施事業＞

「倉敷の自然をまもる会」の活動支援。

- ・春には高梁川河口の干潟で生物調査を兼ねた観察会を実施した。(H30年度で3年目)



基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-5 エコツーリズム等の推進

■ 生物多様性エコツアーの推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

本市の進める生態系ネットワークの取り組みをはじめ、経済的に循環している市内外の優良な企業の取り組みの現場等を巡るツアーの実施及び市民団体等による実施を支援

<30年度事業>

- ・平成30年10月27日(土)10時～17時15分
～つなげよう、支えよう 森里川海～
「高梁川でつながる 森・里・川・海のカ」

エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。



※その他の実施目標, 計画・事業の名称・概要については
実施事業計画書をご覧ください。



倉敷市第二次環境基本計画

～自然と人とが共生し 未来につなぐ 健全で恵み豊かな環境をめざして～

環境基本計画に係る実施計画 (平成30年度実績及び令和元年度以降の計画)

目次

- 平成30年度指標・めざそう値進捗状況総括表 1
- 実施計画シートの見方 4
- 【実施計画シート】
 - 基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち 5
 - 基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち 13
 - 基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち 19
 - 基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち 23
 - 基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち 27

平成30年度指標・めざそう値進捗状況

No.	基本目標	分野別目標	設定指標	基準値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向*	めざそう値	
				平成21年度					5年後	10年後
1	環境と地域の豊かな自然と社会・経済との調和が保たれ、魅力あるまちを創出します	1 多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを推進します	1 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	34.0%	31.2%	30.2%		45%	56%
			2 身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.7%	9.5%	8.4%		15%	20%
			3 自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数 (平成23年度からの工事累積件数)	6件/年	28件	31件	35件		40件	100件
		2 まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します	1 公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	63.0%	67.3%	65.3%		68%	75%
			2 庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	44.2%	42.3%	41.0%		58%	65%
			3 身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	47.4%	44.5%	43.7%		54%	66%
		3 瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します	1 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	40.2%	44.7%	39.9%		45%	50%
			2 歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%	46.8%	51.0%		54%	65%
			3 身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	60.3%	59.6%	61.6%		57%	62%
		4 環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します	1 エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	27件	33件	33件		35件	50件
			2 地産地消を心がけている人の割合	32.1%	25.9%	32.3%	24.4%		41%	50%
			3 企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%	100%		維持	維持
2	水と空気と大地がきれいで、安心してくらせるまちを創出します	1 良好な水環境の保全に努めます	1 日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	21.4%	21.5%	21.7%		50%	75%
			2 身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	34.6%	34.0%	30.3%		45%	60%
			3 汚水処理人口普及率	85.5%	91.5%	92.0%	92.6%		90%	93%
		2 クリーンな大気環境の保全に努めます	1 身近な空気がきれいに保たれていると感じる人の割合	40.9%	52.1%	49.6%	50.4%		55%	70%
			2 大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数	22日	0日	0日	0日		15日	10日
			3 通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	45.3%	44.3%	47.6%		63%	75%
		3 安心・安全な生活環境の実現に努めます	1 ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	51.1%	50.5%	49.0%		55%	70%
			2 環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると感じている人の割合	54.4%	64.8%	63.2%	62.6%		67%	80%

* 傾向の見方



めざそう値に順調に近づいている



計画策定時より良好になっている



めざそう値から遠ざかっている

No.	基本目標	分野別目標	設定指標	基準値	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向*	めざそう値	
				平成21年度					5年後	10年後
3	3Rが徹底され、循環型社会が形成されたまち	1 生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します	1 ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	26.2%	25.3%	23.3%		40%	60%
			2 家庭ごみの一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	519g	511g	506g		495g	473g
			3 事業ごみの年間排出量	68,140t	70,383t	70,122 t	70,168 t		59,871t	58,096t
		2 廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます	1 最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2.4%	1.9%	1.9%	2.0%		維持	維持
			2 リサイクル率	47.8%	51.5%	43.0%	40.9%		52%	54%
		4	地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち	1 温室効果ガス削減の取組を推進します	1 家庭で温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	18.5%	16.2%	19.4%	
2 温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる企業の割合	5.5%				—	8.0%	—	—	50%	80%
3 市全域から排出される温室効果ガス(CO2)の削減割合(2007年度比)	39,573千t【H19】				12.5%削減【H25】	14.2%削減【H26】	18.0%削減【H27】		6%削減	12%削減
2 地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します	1 住宅用太陽光発電システム設置件数			3,852件	15,338件	16,271件	17,051件		10,000件	28,000件
	2 公共施設の太陽光発電システム設置kw数			90kw	639.4kw	689.4kw	734.4kw		250kw	500kw
5	市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち			1 環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします	1 「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	5.8%	6.7%	5.9%	
		2 環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%		4.2%	2.8%	3.1%		10%	20%
		2 次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます	1 自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	79.9%	76.9%	76.6%		80%	95%
			2 「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	44.8%	45.3%	48.3%		45%	65%
			3 自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	14,543人	13,171人	12,473人		17,500人	19,700人

* 傾向の見方



めざそう値に順調に近づいている



計画策定時より良好になっている



めざそう値から遠ざかっている

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標1: 多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します。

【基本方針】: 身近な自然環境の保全・再生に努め、地域の自然環境を豊かにしていくために、地域固有の生態系の確保、野生動植物の種の保存など生物多様性の確保を図り、地域の特性に合わせて、森林・農地・水辺地等における多様な自然環境を体系的に保全・再生するとともに、人と自然のふれあいを確保・推進します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	H32年度
1	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	34.0%	31.2%	30.2%		45%	56%
2	身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.7%	9.5%	8.4%		15%	20%
3	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数 (H23~H32年度の積上げ件数)	6件/H21年度	28件	31件	35件		40件	100件

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 111 身近な自然と水辺の保存	●貴重な自然環境を保全・再生する ●私たちが憩い、安らげる親水性の高い水辺空間の保全・整備を進める ●公共工事を実施する際は、野生動植物の生息状況に配慮した工事を行う	市民環境団体への支援を通じて、観察会や環境保全活動を協働で実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した。(総数13件) 「自然史博物館友の会」による自然観察会等の開催を援助した。(友の会主催観察会・講座総数18件) 倉敷市環境学習センターや岡山県の観察会等の開催を援助した。 	継続	自然観察会等の実施	継続実施	自然史博物館 環境政策課
		人びとが憩い安らげる、自然環境・水辺空間を保全・整備する	継続	水質表示看板による溜川の水質の啓発及びごみ回収船による清掃活動を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> 水質表示看板による溜川水質の啓発 ごみ回収船による清掃活動 	継続実施	環境政策課
			継続	地区住民のスポーツレクリエーションの場となる近隣公園として、また海と港をコンセプトとした公園である「玉島みなと公園」の維持管理を実施した。	継続	「玉島みなと公園」維持管理	継続実施	公園緑地課
			継続	倉敷用水を中心とした、幅約22m、往復約600mの緑道と、芝生広場を備えた緑地からなる約2.1haの水と緑豊かな潤いと憩いの空間である「倉敷みらい公園」の維持管理を実施した。	継続	「倉敷みらい公園」維持管理	継続実施	公園緑地課
			継続	「まび水辺の楽校」維持管理 (空き缶やごみの回収、巡回パトロールを毎月実施。なお、7月の豪雨災害以降、活動休止)	継続	「まび水辺の楽校」維持管理 (災害復旧待ち)	継続実施 (災害復旧待ち)	真備支所
		自然環境に配慮した公共工事を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に配慮した公共工事实施 (4件) 市土木職員を対象に環境配慮型公共事業研修を1回実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に配慮した工事实施 環境配慮型公共事業研修会実施 	継続実施	関係各課 環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 112 希少野生生物の 生息・生息環境 の保全	●希少野生生物の生息・生育環境の保全を行い、種の保存に努める ●絶滅の恐れのある野生動物植物の分布や生息状況などを把握する ●生物多様性地域戦略を策定し、市内の生物多様性の確保に努める ●外来生物に関して、関係機関と連携し、生息実態の調査・情報収集を行い、情報提供や知識の普及を促進する	希少野生動物植物保全の普及啓発及び地域住民と協働しての環境保全活動の実施	継続	ミズアオイ群生地の保全活動：スートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して種まき会等の啓発活動を行った。	継続	ミズアオイ自生地の整備・管理	継続実施	環境政策課
		希少野生動物植物の分布や生息状況を把握する	継続	スイゲンゼニタナゴ個体群の保全：自然保護団体等と協力して工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した。（11件）	継続	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する。 （淡水魚に関する出前講座実施。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施）	継続実施	環境政策課
		生物多様性戦略の取り組み	継続	希少野生生物の生息の可能性がある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した。（調査・協議・対策を8回実施）	継続	スイゲンゼニタナゴ等の希少野生動物植物の調査を実施	継続実施	環境政策課
			継続	生物多様性審議会（委員12人）を設置し、会議を2回実施した。	継続	・倉敷市生物多様性審議会開催 ・生物多様性地域戦略推進庁内会議開催	継続実施	環境政策課
			継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成30年度は海の生物に限定して実施したが、投稿はなかった。	終了	—	平成30年度をもって事業終了	環境政策課
			継続	高梁川流域圏域において、生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。	継続	生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアー実践講座等を実施する。	継続実施	環境政策課
No. 113 自然とのふれあ いの促進	●さまざまな場面で自然とふれあえる場の整備と、自然と関わる機会の提供に努める ●地域の生き物とのふれあいや自然体験を支えていく人材の充実に努める	外来生物の駆除対策等を実施する	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供した。	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供	継続実施	農林水産課
		種松山野草園の管理運営	継続	野草園の維持管理を実施した。	継続	野草園の維持管理実施	継続実施	環境政策課
		生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	【再掲No. 112】生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成30年度は海の生物に限定して実施したが、投稿はなかった。	終了	—	平成30年度をもって事業終了	環境政策課
		探鳥コース・巨樹の維持管理	継続	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の案内板を2件更新した。	継続	巨樹・老樹の老朽化した案内板を更新する	継続実施	環境政策課
		水辺教室・海辺教室等の水生生物調査	継続	高梁川河原及び磯（海辺）で水生生物調査などの観察を予定していたが、7月豪雨災害のため、中止となった。	継続	・会場の被災のため高梁川河原で水生生物調査などの観察を休止する。 ・磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行う。	継続実施	環境政策課
自然保護監視員の委嘱	継続	・自然保護監視員研修会を2回実施した。 ・連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った。	継続	自然保護監視員研修会の実施など	継続実施	環境政策課		

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標2: まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします

【基本方針】: うるおいと安らぎのある生活空間を形成するために、都市公園の整備や街路樹の設置など、良好な都市環境の整備に努めるとともに、まちの緑化にあたっては、公共の場所だけでなく、遊休地の活用など民有地の緑化も推進します。
多様な機能を持つ緑地を維持・創出していくために、市民・事業者・行政が連携し、それぞれの立場で緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28	H30		H27年度	R2年度
1	公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	63.0%	67.3%	65.3%		68%	75%
2	庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	44.2%	42.3%	41.0%		58%	65%
3	身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	47.4%	44.5%	43.7%		54%	66%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課		
No. 121 緑の保全	●まちの緑と市街地周辺の森林・農用地、河川・海浜の緑を保全する ●個人や法人が所有する樹木等が不要になった場合はリサイクルできるよう配慮する	街路緑地帯等の適正管理	継続	街路樹管理の実施（市道の街路樹や緑地の剪定・害虫防除を行い、良好な道路環境の維持を行った。142路線）	継続	街路樹管理の実施	継続実施	公園緑地課		
		地域との協働により緑の保全を推進する	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行った。（鷲羽山、王子が岳、由加山、通仙園の園地清掃・剪定等を実施）	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行う。	継続実施	公園緑地課		
		森林等の緑を保全するとともに、ふれあいの場を整備維持管理する	継続	ふれあいの森、美しい森の美化・維持管理を実施した。 ・ふれあいの森管理（16.39ha） ・倉敷美しい森管理（1.87ha） ・真備美しい森管理（6.00ha） ・愛宕山公園管理（3.60ha）	継続	・ふれあいの森管理 ・倉敷美しい森管理 ・真備美しい森管理 ・愛宕山公園管理	継続実施	農林水産課		
			継続	松くい虫予防対策として、薬剤散布や被害木の伐倒を実施（薬剤散布13ha、伐倒40㎡）	継続	松くい虫予防	継続実施	農林水産課		
		不要樹木のリサイクルを推進する	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡しを実施（296本）	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡す。	継続実施	公園緑地課		
		公共施設のブロック塀を生垣に更新する	継続	大高小学校の生垣化等植樹の実施	継続	市教委施設や公共施設などの植樹	計画的実施	公園緑地課		
		公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	・保育園庭の芝生化（豊洲保育園）及び保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理を行った。（H30末現在：累計14園）	継続	・保育園庭の芝生の維持管理	継続	・保育園庭の芝生の維持管理	継続実施	保育・幼稚園課
			継続	・幼稚園庭の芝生の維持管理を行った。（H30末現在：累計3園）		・幼稚園庭の芝生の維持管理		教育施設課		
継続	・学校・園の壁面緑化（市立学校・幼稚園計137校園で実施）		・学校・園の壁面緑化	教育企画総務課						
継続	・小中学校庭の芝生化（菅生小学校・郷内小学校・庄中学校）及び維持管理を行った。（H30末現在：累計20校）		・小中学校庭の芝生化（第四福田小学校）及び維持管理	教育施設課						

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 122 緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の屋上や壁面等の緑化を推進する ●市民全体の活動を支援し、住宅等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図る ●緑化の基準・指標となる緑化率の設定を行う 	市民（地域）との協働により、まちの緑化を推進する（緑化推進員、花の銀行、地区花いっぱい団体）	継続	花と緑あふれるまちづくり事業 ・フラワーロード事業（倉敷中央通り、鷲羽山通り、水島商店街通りにフラワーボックス 約1,900個を設置） ・もてなし花壇事業（公共施設、JR駅等にフラワーボックス約2,000個を設置） ・地区花いっぱい事業（事業に申込のあった団体に花苗を無料配付し、花壇の維持管理等の活動を実施：団体数118団体） ・花の銀行活動実施（47支店で花の種子配付 配付数2万袋） ・緑化推進員の設置（推進員26人に対して連絡会を開催し、意見交換を行うとともに緑化の勉強会等を実施し知識向上を図った。）	継続	・花と緑あふれるまちづくり事業 フラワーロード事業、もてなし花壇事業、地区花いっぱい事業など ・緑化推進員の設置	継続実施	公園緑地課
		倉敷市花いっぱいコンクール実施 家庭や職場・学校・自治会等で四季折々に育てられた花と緑の優秀な花壇を顕彰し、普及啓発と市民参加による都市緑化の推進を図ることを目的に実施した。（13件の応募、8件表彰）	継続	倉敷市花いっぱいコンクール実施	継続実施	公園緑地課		
		緑化団体等との協働により、啓発事業を推進する	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施（10月に講演会、緑化ポスターコンクール、緑化相談、花の種子及び苗配付等を実施 1,600人参加）	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施	継続実施	公園緑地課
		市民等の緑化実施に対して、支援・助成を行う	継続	・生垣補助（補助件数2件） ・記念樹の配付（結婚及び誕生記念に苗木配付958本） ・花の苗、種の配付（花いっぱい運動や緑化フェアや環境イベント等で配付） ・花壇設置補助（補助件数0件）	継続	・花壇設置補助 花と緑あふれるまちづくりを目指すため、市の定める要件を満たして新設する花壇に助成を行う。	継続実施	公園緑地課
		耕作放棄地の再生作業等に対して助成を行う	継続	耕作放棄地の再生作業への助成 国の交付金で対応できない農地に対する再生利用活動に対し補助金を交付（再生作業、土壌改良等補助）	継続	耕作放棄地の再生への補助金交付	継続実施	農林水産課
		市民に身近な公園等の整備・管理を行う	継続	・再整備（児島駅前第2公園） ・施設改善（高辻公園ほか3箇所）	継続	トイレ改修・防球ネット設置等を施設整備、改善を行う。	継続実施	公園緑地課
No. 123 都市公園等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●公園緑地等の適正な整備を進める ●公園の規模・性格をふまえ、計画的な整備及び適正な管理を行う 	緩衝緑地の維持管理	継続	県への維持管理費負担金（水島緩衝緑地事業費負担金）	継続	県への維持管理費負担金	継続実施	公園緑地課
		都市公園の適正な管理	継続	適正な管理の実施（公園内の清掃、草取り、樹木剪定・防除など都市公園804箇所・遊園257箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施	公園緑地課
			継続	35公園54施設更新、30公園70施設修繕を行った。	継続	11公園30施設更新、138公園334施設修繕を行う。	継続実施	
			継続	高齢者の生きがい対策として公園等の清掃管理委託実施（272箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施	健康長寿課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標3:瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【基本方針】:瀬戸内の温暖な気候と豊富な水量に恵まれた高梁川にはぐくまれた自然と、伝統ある歴史、文化が織りなす美しい景観は、本市の魅力であり、今後も歴史的資産を活用するとともに、自然環境と調和した都市美を保全・創出していきます。

先人達が守り、育て、つくりあげてきたかけがえのない自然、歴史・文化を継承するとともに、人びとの五感、記憶を通じて、ふるさと景観として共感できる倉敷市の姿として将来に伝えていきます。

地域の特性を活かした固有の美を尊重した生活環境の創造を目指し、風格のあるいきいきとした都市景観の形成に努めていきます。都市景観の形成においても、将来に環境負荷を残さない持続可能なまちづくりに資するよう、自然環境に配慮しつつ、うるおいのある緑豊かで快適な景観づくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	40.2%	44.7%	39.9%		45%	50%
2	歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%	46.8%	51.0%		54%	65%
3	身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	60.3%	59.6%	61.6%		57%	62%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 131 景観資源等の保全・活用・整備に努めます	●景観に関する普及啓発を行う ●個々の景観資源を保全・活用するために必要な助成・支援等を行う。 ●地域・地区単位での景観形成を推進する	景観形成重点候補リストの作成など景観形成に係る情報の整備を行う	継続	景観に係る情報整備の実施	終了	※【再掲】倉敷市景観計画改定(令和2年度施行予定)に伴い、倉敷駅周辺地区の指定及び、児島ゾーンズストリート地区の候補地追加に向けて、改定作業を進める。		都市計画課
		市民への普及啓発を推進する	継続	景観絵画を「私の大好きな町の景観」を題材として募集し、小学校から117点、中学校から77点の応募があり、会場では入賞作品を中心に展示した。(展示期間11月26日～11月30日) ・魅力的な景観まちづくりの推進に向けて「景観まちづくり教育」についてHPに掲載	継続	・景観絵画展の実施 ・HP等で普及啓発推進	継続実施	都市計画課
		所有者・管理者との協議を通じて、個々の景観資源の保全活用等に関する計画を作成する	継続	・市民との協働や市民からの提案により、景観資源の実態調査を実施し、景観資源を発掘 ・所有者、管理者と協議して景観法に基づく景観重要建造物・景観重要樹木として指定	継続	協議の実施、計画策定を随時行う	継続実施	都市計画課
		建築物等の新築・増改築など歴史的な町並み景観の保存を図るために必要な助成・支援等を行う	継続	伝建地区等修理修景補助 ・伝統的建造物群保存地区内の建物の修理修景に対する補助(6件) ・伝統美観地区内の建物の修理修景に対する補助(1件) ・下津井町並み保存地区内の建物の修理修景に対する補助(1件)	継続	伝建地区等修理修景補助	継続実施	文化財保護課
		倉敷市まちづくり基金事業 古くなった町家・古民家を、地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業に対して、まちづくり基金を活用して支援を行った。 町家・古民家の再生整備に対する補助(18件)	継続	倉敷市まちづくり基金事業 倉敷美観地区及び児島・玉島の町並み保存地区の周辺並びにこれらの地区等、倉敷市内全域に存在する、地域の歴史と文化を継承する貴重な町並みを守るとともに、地域の魅力の向上や、賑わいの創出等のまちづくり活動を支援する。	継続	倉敷市まちづくり基金事業	継続実施	まちづくり推進課
		旧街道景観整備事業の補助実施(建築物修景2件)	継続	旧街道景観整備事業の補助実施	継続	旧街道景観整備事業の補助実施	継続実施	都市計画課
・景観形成重点地区候補地において地区整備計画を策定する	継続	現在の4地区(倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区)の候補地について、再検討した。(随時策定)	継続	倉敷市景観計画改定(令和2年度施行予定)に伴い、倉敷駅周辺地区の指定及び、児島ゾーンズストリート地区の候補地追加に向けて、改定作業を進める。	継続実施	都市計画課		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 132 眺望を保全するための施策の強化・充実を図ります	●景観に大きな影響を及ぼす大規模建築物や開発行為等を対象に、事前の届出制度や協議制度について充実をはかります ●風景や町並みに大きな影響を及ぼすものについて、建築物の高さやデザイン、色彩、屋外広告物等について規制基準を定め、本市の景観形成の強化・充実化を図る	倉敷市景観条例に基づく届出制度の徹底を図る	継続	・届出制度リーフレットによる周知を実施 ・届出件数 建築物52件(+事前協議28件)、工作物127件 ・都市景観審議会定例会を5回(全体会議は0回)開催し、大規模な建築物の新築13件について、審議会に諮問した。	継続	・事前協議を積極的に求め、出来るだけ早い段階で指導し、景観誘導の実効性を高める。 ・大規模な建築物の新築については、都市景観審議会を定期開催し、全て調査審議することにより、確実な景観誘導を図る。 ・景観計画改定に伴い、市内全域を特定届出対象とする検討を行う。	継続実施	都市計画課
		倉敷川畔美観地区周辺眺望保全計画の位置づけ	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度の充実を図る。 平成27年度より運用を開始した。(平成30年度対象建築物案件10件)	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度を運用する。	継続実施	都市計画課
		より強化した景観基準を定め、地域特性に応じた景観形成を推進するための規制誘導を行う	継続	倉敷市景観計画改定作業(令和2年度施行予定)に伴い、景観形成重点区域における「景観形成基準」の改定検討や建築物等の形態意匠、屋上工作物等に関する基準、建築物等の最高高さ制限に関する基準について検討した。	継続	引き続き、倉敷市景観計画改定作業(令和2年度施行予定)に伴い、景観形成重点区域における「景観形成基準」の改定検討や建築物等の形態意匠、屋上工作物等に関する基準、建築物等の最高高さ制限に関する基準について検討する。	継続実施	都市計画課
		広告物の景観形成の配慮指針を定	継続	配慮指針を検討	継続	倉敷市景観計画改定作業(令和2年度施行予定)に伴い、倉敷駅周辺地区の景観形成重点区域指定エリアを「屋外広告物モデル地区」として指定し、その基準等について検討する。	継続実施	都市計画課
		倉敷市屋外広告物条例により、周辺の景観を阻害しないよう、かつ、町並みの魅力を高めるよう取り組む	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットを作成し、周知を実施 ・違反広告物の実態調査を実施し、屋外広告物の是正効果の検証を行った。 ・簡易除去作業(はり紙18件、立看板0件)	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットによる周知 ・違反広告物の実態調査の実施 ・簡易除去作業の実施	継続実施	都市計画課
		広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準や禁止地域等ゾーニングの見直しを検討する	継続	広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準等の見直しを検討した。LED広告物の取扱いについて、倉敷警察署および景観審議会において協議した。	継続	引き続き、基準等の見直しを検討する。景観計画改定に伴う倉敷駅周辺地区の「屋外広告物モデル地区」について、その基準等について検討する。	継続実施	都市計画課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標4: 環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

【基本方針】: 技術的イノベーションや低炭素型への構造転換などの事業者の取り組みと、その後押しを担う行政の施策を効果的に組み合わせることで、環境保全と産業・経済の持続的な発展を目指し、雇用の維持創出・地域経済の活性化を図っていきます。環境保全を企業の社会的責任と位置付け、環境関連技術の開発・向上や環境投資による環境配慮型経営を促進します。地域と産業とが連携・協力することにより、環境と地域の社会・経済との調和が保たれた持続可能な社会の実現を目指します。

倉敷みらい創生戦略にあわせ、令和2年度の目標となっています。(目標年度がR1からR2に変更となりました。)

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績地	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	27件	33件	33件		35件	50件
2	地産地消を心がけている人の割合	32.1%	25.9%	32.3%	24.4%		41%	50%
3	企業の新増設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%	100%		維持(100%)	維持(100%)

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課	
No. 141 事業者の環境対策や環境関連ものづくりの促進	●事業者のエコアクション21への積極的な取組の促進を行う ●倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の<クールくらしき80>プロジェクトを計画的に推進する ●事業者の環境に関する地域貢献活動の促進を図る ●グリーン購入や地産地消の普及啓発を推進する	「エコアクション21地域事務局」との連携による、取り組みの推進	継続	・岡山県エコアクション21地域事務局(岡山県環境保全事業団)における運営委員として、運営委員会に参加 ・認証登録を希望する事業者を支援するため、制度説明会を実施 ・市内のエコアクション21認証・登録事業者に対する更新補助制度(補助金)の運用<8社に補助>	継続	・エコアクション21地域事務局 岡山県環境保全事業団の運営委員会に参加 ・中小企業向けのセミナー等で制度説明実施 ・市内のエコアクション21認証登録事業者に対する更新補助(補助金) ・認証登録を希望する事業者を支援するため、普及啓発セミナー及び認証取得研修会を実施し、認証取得事業社50社を目指す。	継続実施	環境政策課	
		倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の<クールくらしき80>プロジェクトを計画的に推進する	継続	「プロジェクト2:中小事業者の環境経営支援」の計画的な推進 ・中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催(参加者数29人) ・倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など	継続	・中小企業の環境経営支援の計画的な推進 ・中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催 ・倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など	継続実施	環境政策課 関係各課	
		中小企業者の省エネルギー設備等の導入に対し、6件の補助を実施した	新規	中小企業者の省エネルギー設備等の導入に対し、6件の補助を実施した	継続	省エネルギー設備等の導入への補助	継続実施	環境政策課	
		企業の地域貢献活動への促進を図る	イオンとの地域貢献包括連携協定締結(H23.7.19)の取組実施	継続	イオンとの地域貢献包括連携協定締結(H23.7.19)の取組実施	継続	イオンとの地域貢献包括連携	継続実施	観光課
			大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮による地域貢献を促進		大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮への地域貢献を促進		商工課		
			アダプト・プログラム(アダプト・サインやボランティア保険への加入、ほうきやゴミ袋等を支給:活動企業 三菱自動車ロジテクノ(株)、伊澤洋行(株)、パソナ岡山倉敷支店など)		アダプト・プログラム		市民活動推進課		
			・環境学習センターエコギャラリーにおいて、水島地域、企業の取組をパネル展示等により紹介 ・環境関連のイベントで企業出展ブースを設けることで企業の環境保全活動への促進を図った。		・企業や団体と連携した環境学習講座の開催 ・環境関連イベントで企業ブースの設置		環境政策課		
			中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供		中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供		中央図書館		
			緑のカーテン推進のため、市民、企業にゴーヤの種、苗を配布		緑のカーテン推進のため、市民、企業にゴーヤの種、苗を配布		環境政策課		
			公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム導入 計4施設 発電能力合計45kW		計52施設 発電能力合計734.4kW		環境政策課 子育て支援課(児童クラブ)		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
		グリーン購入に関する情報の提供	継続	HP等によりグリーン購入に関する情報提供	継続	グリーン購入に関する情報提供	継続実施	関係各課
		地産地消を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり（採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など） ※7月豪雨災害により未実施 ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り(マスカット、ピオーネの販売など) ※7月豪雨災害により未実施 ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP（地産地消ニュース）やメルマガによる地産地消イベント等のPR 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり（真備開催） ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR 	継続実施	農林水産課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性化合物の削減対策について指導する	継続	施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を図るよう指導した。（協議件数65件）	継続	随時、事前協議を実施する。	継続実施	環境政策課
No. 142 環境分野の研究・開発、事業展開の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●環境分野における産官学の情報交換や有用技術の共有を促進する ●新たな省エネルギー・再生可能エネルギーやリサイクル等の環境関連技術や、環境配慮型製品の研究・開発、環境保全・改善のための設備投資を支援する ●新たな環境産業の積極的な誘致に取り組むとともに、低炭素型・環境調和型への転換・移行が行いやすい環境を整備する 	中小企業が実施する研究開発・販路開拓・産業財産権所得・人材育成などに対して助成を行う	継続	補助金交付（交付実績 研究開発5件、農林水産物3件、産業財産権取得件7件、人材育成44件、販路開拓53件、事業承継・M&A0件、女性起業家支援1件、人材確保4件 計73件）	継続	補助金交付	継続実施	商工課
		商店街団体等が実施する各種事業に対して助成を行う	継続	環境対策事業に関する助成（助成実績1件）	継続	補助金交付	継続実施	商工課
		立地企業に対する助成及び設備投資に対して助成を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進奨励金（交付実績7件）（うち、企業誘致促進奨励金対象2件を含む） ・設備投資促進奨励金（交付実績55件）（環境配慮企業に対する優遇措置あり） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進奨励金 ・設備投資促進奨励金商工課（環境配慮企業に対する優遇措置あり） 	継続実施	商工課
No. 143 地域資源を活用した持続的な経済活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての地域資源を有効に活用し、エネルギーも含めた地産地消の推進を行う ●本市の「個性と魅力」の積極的な情報発信により、エコツーリズム・エコツアーの促進を図る 	地元産品、特産品の消費推進を行う	継続	【再掲No. 141】 <ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり（採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など） ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り(マスカット、ピオーネの販売など) 両イベントについて発災により未実施。 ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP（地産地消ニュース）やメルマガによる地産地消イベント等のPR 	継続	【再掲No. 141】 <ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR 	継続実施	農林水産課
		本市の「個性と魅力」を情報発信し、地場産業等を観光資源として活かすツアーを実施する	継続	産業観光バスツアー(地場企業などをバスで見学するツアーを、計6回実施。参加者延べ188名)	継続	倉敷のものづくりを体感できる機会を増やすため、産業観光バスツアー(地場企業などをバスで見学するコースを設定予定)を実施する。	継続実施	観光課
			継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源(特産品・EV等)をPR	継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源(特産品・EV等)をPR	継続実施	商工課
			継続	【再掲No. 112】 高梁川流域圏域において、生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。	継続	生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアー実践講座等を実施する。	継続実施	環境政策課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標1:良好な水環境の保全に努めます

【基本方針】: 私たちが健康で安心して生活できるよう、河川や海域などの公共用水域や地下水の水質について、水質汚濁に係る環境基準の達成を目指し、良好な水環境の整備に取り組みます。土地利用において、健全な土壌環境を維持するため、土壌汚染対策法や岡山県環境への負荷の低減に関する条例等の適正な運用を図ります。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	21.4%	21.5%	21.7%		50%	75%
2	身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	34.6%	34.0%	30.3%		45%	60%
3	汚水処理人口普及率	85.5%	91.5%	92.0%	92.6%		90%	93%

主要な施策に基づく主要な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 211 生活排水処理対策の総合的な推進	●計画に基づく公共下水道の整備とあわせて、農業集落排水処理施設や浄化槽の効率的な整備を行う ●各種イベントや環境学習、リーフレットの配布など、生活排水対策の啓発活動を行う	倉敷市下水道事業経営戦略ビジョンに基づき、計画的に下水道整備を推進します	継続	管きよ：約9.0km整備	継続	管きよ：約9.9km整備	計画的整備	下水経営計画課
		既存の管きよ、処理場、ポンプ場について、予防保全型への転換と維持管理費・工事費の最適化や長寿命化支援事業の活用によりコスト削減を図る	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理 (管きよ清掃及びマンホール、取付管等の修繕、管路内面補修等を実施：維持補修件数153件) ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等 (主なもの：阿津ポンプ場雨水ポンプ機械設備工事) ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理 ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等 ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	計画的維持管理	下水建設課 下水経営計画課
		倉敷市下水道全体計画(H29～)の区域設定に基づき、浄化槽の設置促進を行うとともに、下水が使える区域は公共下水道への接続切替の促進を行う。	継続	・浄化槽設置に対する助成措置を実施(291基) ・民間住宅団地の汚水処理施設の改善経費への助成措置を実施(2件) ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成を実施(24基) ・既存家屋の下水接続のための助成措置を実施(水洗便所改造補助金等508件、利子補給13件)	継続	・浄化槽設置に対する助成措置(300基) ・民間住宅団地の汚水処理施設の改善経費への助成措置 ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成 ・既存家屋の下水道接続のための助成措置	継続実施	合併浄化槽設置推進室 下水経営計画課 下水普及課
		下水道の日(9月10日)及び市の催事に併せ、市民に下水道普及及び意識の高揚と啓発活動を行う	継続	・下水道展開催(環境フェスティバル等で、「紙のとけ方実験」「下水道クイズ」「下水道アンケート」等を実施) ・ポスター、標語募集及び表彰(ポスター・標語表彰者数15名) ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施(出前授業実施校13校 受講生徒919人) ・水洗化普及指導員による戸別訪問での下水道接続指導の実施(訪問数5,091件)	継続	・下水道展開催 ・ポスター、標語募集及び表彰 ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施 ・水洗化普及指導員による戸別訪問でのPR活動の実施	継続実施	下水経営計画課 下水普及課
		第2期倉敷市生活排水対策推進計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	・生活排水対策に関するリーフレットの配布 ・小中学校等で出前講座実施(4件)	継続	・生活排水対策に関するリーフレット等の配布 ・小中学校で出前講座実施 ・地域団体への出前講座実施	継続実施	環境政策課
		児島湖流域環境保全推進協議会の事業計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	(児島湖流域清掃大作戦は7月豪雨災害のため未実施) ・啓発ポスターの展示(応募数111点) ・水質保全基金の手続き(助成団体数4団体)	継続	・児島湖流域清掃大作戦の実施 ・啓発ポスターの展示 ・水質保全基金の手続き	継続実施	環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 212 排水規制による公共用水域などの水質汚濁防止	<ul style="list-style-type: none"> ●河川、海域及び地下水の水質監視を行う ●工場・事業場に対し、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法等に基づき、立入検査を行うなど、排水規制基準の遵守を指導する ●排水規制基準が適用されない小規模工場・事業場に対して、排水処理の適正化などによる汚濁負荷の削減について、指導を行う ●土壌汚染対策法などに基づき、汚染土壌の拡散防止及び汚染状況の把握等により健全な土壌環境の維持を図る 	倉敷市公共用水域等水質測定計画に基づき、水質の測定・監視を実施する	継続	河川18地点、海域21地点、地下水26地点について、水質の測定・監視を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・河川 18地点の水質測定・監視を実施 ・海域 21地点の水質測定・監視を実施 ・地下水 19地点の水質測定・監視を実施 	継続実施	環境政策課
		市民からの苦情及び魚斃死及び油流出等の水質事故に係る調査を随時実施する	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について調査を実施し、事業所に対して再発防止を指導した。	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について、調査を実施	継続実施	環境政策課
		最終処分場（埋立処分場）の放流水、河川等の周辺環境の水質検査を行う	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施した。	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施	継続実施	環境施設室
		産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回8地点で水質調査を実施し、周辺環境の保全を図った。	継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回8地点で水質調査を実施し、周辺環境の保全を図った。	継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回8地点で水質調査を実施し、必要な場合は発生源に対して指導を行う。	継続実施	産業廃棄物対策課
		工場等の発生源監視を行うとともに、排出水の規制・指導を実施する	継続	134事業場（379検体）に対して立入調査を実施し、排出水の水質調査を実施し、違反事業場に対して、水質改善の指導等を実施した。	継続	131事業場（391検体）立入実施	継続実施	環境政策課
		環境情報管理統合システムの運用により、効果的な事業者指導を実施した。	継続	環境情報管理統合システムの運用により、効果的な事業者指導を実施した。	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施	環境政策課
		特定事業場から公共下水道への排水及び浄化槽の水質検査を実施する	継続	・公共下水道への排水水質検査（48事業場）	継続	・公共下水道への排水水質検査（48事業場予定）	継続実施	下水普及課
		浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施（該当なし）	継続	・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施（該当なし）	継続	・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施	継続実施	合併浄化槽設置推進室
		小規模工場・事業場などに対しても、市民からの苦情・申立てがあった場合は、調査・水質検査・改善指導等を行う	継続	・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施	継続	・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施	継続実施	環境政策課
		土壌汚染状況を調査し、潜在化する土壌汚染地域を早期発見することで、健康被害の防止に努める	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導を実施（土壌汚染対策法第4条に基づく一定規模以上の土地の形質の変更届出書の受理（41件））	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導	継続実施	環境政策課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標2:クリーンな大気環境の保全に努めます

【基本方針】: 私たちの健やかな暮らしに影響を及ぼすことがないよう、大気汚染に係る環境基準が未達成な地域はその速やかな達成を、既に達成している地域は良好な水準を目指すとともに、健康被害防止の観点から、引き続き大気汚染防止に取り組む。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	身近な空気がきれいに保たれていると感じる人の割合	40.9%	52.1%	49.6%	50.4%		55%	70%
2	大気環境の基準値（1日平均値）を超過している日数	22日	0日	0日	0日		15日	10日
3	通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	45.3%	44.3%	47.6%		63%	75%

※大気環境の基準超
H27年度は0日(SO2)

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 221 大気汚染物質発生源に対する規制・指導	●工場・事業場に立入検査を実施し、排出基準や総量規制基準の遵守の徹底を促す ●使用する燃料・原料改善、排出ガス等を処理する施設の改善、揮発性有機化合物の削減対策についての指導を徹底する ●自動車公害対策として、市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制、マイカー利用の抑制のための啓発を行う ●市も率先して自動車使用の自粛を進めるとともに、次世代型エコカーの普及促進に努める	工場や事業場に立入調査を実施し、施設の届出状況や自主測定結果の確認、施設の排ガス中のばい煙測定などを実施する	継続	施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。 (立入調査106件、排出ガス測定29施設等)	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施	環境政策課
			継続	【再掲No. 212】環境情報管理統合システムの運用実施	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施	環境政策課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性有機化合物の削減対策について指導する	継続	【再掲No. 141】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を図るよう指導した。(協議件数65件)	継続	随時、事前協議を実施する。	継続実施	環境政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	庁内でノーマイカーデーを年1回実施 (5月取組率: 83.9%)	継続	ノーマイカーデーの実施 (庁内で年1回実施)	継続実施	環境政策課
			継続	・スマート通勤岡山への参加(10月) ・市職員チャレンジ・エコ通勤実施 参加者9人 ・バス利用の意識啓発(バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校7校、515人参加)	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の正式実施 ・小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施	交通政策課
		アイドリングストップ・エコドライブなどの啓発を行う	継続	・アイドリングストップ啓発活動を実施した。 ・大規模小売店舗立地届出時に啓発看板を掲げる指導を実施した。	継続	アイドリングストップ啓発活動	継続実施	環境政策課
		美観地区周辺の渋滞対策	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行した。	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行する。	年度毎に実施を検討	観光課
次世代エコカーの普及促進	継続	電気自動車等(150台)への補助を実施した。	継続	電気自動車等や充電設備への補助	継続実施	環境政策課		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 222 大気汚染状況の常時監視による、市民の健康被害発生防止	<p>●大気測定局による大気環境の測定・監視を実施するとともに、測定結果をインターネット等により情報提供を行う</p> <p>●大気汚染状況の変化に対応するため、測定局の適正配置の見直しを行う</p> <p>●夏期を中心に大気汚染防止対策期間として、光化学オキシダント汚染の防止に重点を置いた総合的な対策を実施する</p> <p>●有害大気汚染物質については、引き続き汚染状況を把握するための調査を実施し、基準を超過する場合は、工場・事業場への状況確認を実施し、該当施設改善、排出削減について指導を行う</p>	市内に配置された測定局と移動測定車により、大気汚染物質の常時監視を実施する	継続	市内24カ所の大気測定局と大気環境測定車により常時監視を実施した。 ※真備測定局舎は7月豪雨災害により被災。一時使用不能であった。	継続	市内24カ所の大気測定局と大気環境測定車による常時監視を実施する。	継続実施	環境政策課
		発生源の特定に向けた降下ばいじんの分析調査を行う	継続	事業場及び測定局において、降下ばいじんの分析調査を実施した。	継続	事業場及び測定局において、降下ばいじんの分析調査を行う。	実施検討	環境政策課
		発生源である工場や事業場への立入や、排出状況を確認するための調査や規制及び指導を実施する	継続	【再掲No. 221】施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。(立入調査106件、排出ガス測定29施設等)	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施	環境政策課
		微小粒子状物質(PM2.5)の大気中濃度の常時監視を実施する	継続	・10測定局で常時監視を実施した。 ・PM2.5の1時間値と日平均値の状況等を速報値として環境監視センターHPで公開した。	継続	・10測定局で常時監視実施 ・1時間値や日平均値等の公開 ・高濃度時のホームページ等での情報発信	継続実施	環境政策課
		県との協力のもと、オキシダントが高濃度になりやすい時期を「大気汚染防止夏期対策期間」とし、休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度の常時監視を強化する	継続	・夏期対策期間は休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度が上昇した場合に情報・注意報を発令し、FM放送やインターネット、メールマガジン配信、広報車等による周知を実施 また、水島地区の主要工場に窒素酸化物等の排出削減を要請した。	継続	夏期対策実施	継続実施	環境政策課
		有害大気汚染物質の排出状況を把握するための調査を実施する	継続	市内7カ所(美和・松江・塩生・春日・乙島・監視センター・呼松)で毎月調査実施した。	継続	全7カ所で毎月調査を実施	継続実施	環境政策課
		大気汚染の影響による健康被害を予防し、市民の健康保持及び増進を図る	継続	・水泳教室(公害健康被害予防対策事業) 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行った。(延参加者数:133人) ・健康相談事業(公害健康被害予防対策事業) 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患(ぜん息等)に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行った。(全11回、延参加者数:15人)	継続	・水泳教室 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行う。 ・健康相談事業 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患(ぜん息等)に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行う。	継続実施	医療給付課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標3: 安心・安全な生活環境の実現に努めます

【基本方針】: 安心・安全な生活環境を確保するために、騒音規制法、振動規制法や悪臭防止法等に基づき、継続して対策を行います。事業者等が適正に化学物質の管理・使用を行うように指導するとともに、PRTR制度に基づき、使用実態等の情報について管理・提供していきます。また、化学物質に対する不安解消のために、化学物質に関する正確な情報をわかりやすく説明・提供するよう努めていきます。さらに、環境衛生意識の向上を図るために、広報等による普及啓発や環境美化活動を支援し、ポイ捨てや不法投棄のないまちづくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	51.1%	50.5%	49.0%		55%	70%
2	環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らしていると思っている人の割合	54.4%	64.8%	63.2%	62.6%		67%	80%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 231 悪臭・騒音・振動の規制などによる、市民生活環境の改善及び保全	●居住区域における騒音測定、自動車や鉄道の騒音・振動の測定と合わせて、騒音や振動に関する関係法令に基づき、工場・事業場、建設作業等に対する監視・指導を実施する ●悪臭防止法に基づき規制・指導を行い、快適な生活環境の確保に努める ●日常生活から発生する生活騒音等に対しては、出前講座やリーフレットの配布など啓発活動を積極的にを行い、市民一人ひとりのマナーやモラルの向上を図る	騒音規制法、振動規制法に基づき、発生源への立入調査を実施する	継続	・苦情が寄せられた工場等に対して立入を実施し、発生原因を調査し、防音・防振対策について指導を実施 ・法に基づく届出が提出された際、届出者に防音・防振について指導を実施（騒音届出140件・振動届出87件）	継続	工場等の立入調査、指導を実施	継続実施	環境政策課
		騒音規制法、振動規制法に基づき、環境騒音、交通騒音、交通振動の実態把握を行う	継続	・環境騒音測定5地点、幹線自動車騒音2地点 ・道路に面する地域の面的・点的評価13区間 ・新幹線騒音及び振動3地点 ・瀬戸大橋騒音4地点	継続	・環境騒音測定3地点 ・道路に面する地域の面的・点的評価12区間 ・新幹線騒音及び振動3地点 ・瀬戸大橋騒音3地点	継続実施	環境政策課
		悪臭防止法に基づき、発生源への規制や指導を実施する	継続	工場や事業場への立入調査	継続	・工場や事業場の立入調査 ・環境調査を実施	継続実施	環境政策課
		悪臭物質発生工場での調査測定を実施、また、市民からの悪臭苦情に対する調査測定を実施する	継続	工場・事業場での敷地境界・排水の特定悪臭物質測定を環境監視センターで実施（延べ16回）	継続	工場や事業場での調査を実施	継続実施	環境政策課
		出前講座やリーフレットの配布等、啓発活動を実施する	継続	・環境イベント等でリーフレットの配布を実施 ・大規模小売店舗立地届出時に早朝や夜間に係る騒音・振動への配慮を指導した。	継続	リーフレット等の配布	継続実施	環境政策課
		犬ねこ等適正飼育啓発員を養成する	継続	・養成研修未実施 ・サポーター数153人（H30年度末現在）	継続	養成研修1回実施予定	未定	生活衛生課
No. 232 化学物質による汚染状況の把握、排出事業者規制による、生活環境の保全	●ダイオキシン類について、大気や水、土壌の環境調査を継続して行うとともに、発生源事業者に対して必要な規制・指導、監視等に努める ●PRTR制度の運用により、事業者による化学物質の適正な管理体制を構築・運用させるとともに、市民・事業者・行政が情報の共有と相互理解を深め、化学物質による環境汚染を低減する取り組みを推進する	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、発生源に対する監視や指導とあわせて、環境中等のダイオキシン類調査を実施する	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査（5施設） ・排水中ダイオキシン発生源調査（2事業所） ・公共用水域ダイオキシン類調査（14地点） ・大気環境調査（2地点） ・土壌中ダイオキシン類調査（8地点） ・地下水ダイオキシン類調査（3地点）	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査 ・排水中ダイオキシン発生源調査 ・公共用水域ダイオキシン類調査 ・大気環境調査 ・土壌中ダイオキシン類調査 ・地下水ダイオキシン類調査 ・環境基準値超過地下水の詳細調査	継続実施	環境政策課
		PRTR制度に基づいて事業所からの化学物質の排出量の届出の集計を行い、結果の公表を行う	継続	届出受理及び届出結果公表（届出件数153事業所）	継続	届出受理及び届出結果公表	継続実施	環境政策課
		新たに健康影響が懸念される化学物質について情報の収集や提供を行う	継続	・関係機関からの情報収集（県や環境省・経済産業省） ・収集した情報の提供（PRTR市民ガイドブックを閲覧・配布等）	継続	・関係機関からの情報収集 ・収集した情報の提供	継続実施	環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 233 地域の環境美化の推進		年2回地区清掃を実施するとともに、全市一斉ごみ0キャンペーンなどを実施する	継続	地区住民の奉仕清掃作業により搬出された雑草及び土砂等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施した。（実施件数784件、土砂等処理量914.6m ³ 、草処理量359.4t）	継続	地区住民の奉仕清掃作業により搬出された雑草及び土砂等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施する。	継続実施	環境衛生課
				・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施しているが、平成30年度は7月豪雨災害により中止となった。 ・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行った。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）		・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施する。（参加予定人数37,000人） ・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行う。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）		環境衛生課
				【再掲No.211】 （児島湖流域清掃大作戦は平成30年7月豪雨災害のため未実施） ・啓発ポスターの展示（応募数111点） ・水質保全基金の手続き（助成団体数4団体）		児島湖流域清掃大作戦の実施		環境政策課
				沙美海水浴場の海開き前に、地元住民、学校、企業等と連携し、海岸清掃活動を実施（約1,000人参加、ごみ収集量約1t）		リフレッシュ瀬戸内の実施		企画経営室
			継続	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で清掃活動を実施した。 ※平成30年豪雨災害の関係で、倉敷市では中止した。	継続	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で清掃活動を実施	継続実施	生涯学習課
			継続	・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備（109件）、水道設備の新設（2件）又は器具等の購入（112件）に必要な経費に対して補助金を交付した。 ・環境衛生改善の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行った。 ・地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行った。（29支部）	継続	・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備、水道設備の新設又は器具等の購入に必要な経費に対して補助金を交付する。 ・環境衛生改善の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行う。 ・地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行う。	継続実施	環境衛生課
			継続	・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」を実施し、必要な資材を20団体に提供した。 ・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布した。（看板447枚） ・狂犬病予防注射会場のうち67会場において、倉敷市環境衛生協議会と協働し、飼い主へ直接、犬のふん持ち帰りを呼びかけるポケットティッシュとチラシの配布を行った。 ・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行った。	継続	・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」に必要な資材を提供する。 ・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布する。 ・犬のふん持ち帰りを直接、飼い主に呼びかけるため、狂犬病予防注射会場において、倉敷市環境衛生協議会と協働し、ポケットティッシュとチラシを配布する。 ・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行う。	継続実施	環境衛生課
			継続	犬のふん放置対策として、「イエローカード作戦」を行う。市は市民環境団体等と協働して、必要な資材を提供。	継続	犬のふん放置対策として、「イエローカード作戦」を行う。市は市民環境団体等と協働して、必要な資材を提供。	継続実施	環境衛生課
			継続	・不法投棄でお困りの市民を対象に、不法投棄禁止を啓発する看板を配布した。（看板180枚） ・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託した。（委託箇所 児島由加、児島唐琴町、児島稗田町） ・移動式監視カメラを、不法投棄が多発している7箇所に一定期間設置した。 ・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置した。	継続	・倉敷市ボランティア不法投棄監視員による不法投棄監視活動を実施。 ・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託する。 ・移動式監視カメラを不法投棄多発箇所に設置する。 ・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置する。	継続実施	環境衛生課

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形されたまち

◆分野別目標1:生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

【基本方針】:市民・事業者・行政がそれぞれ役割を理解し、廃棄物の減量化・資源化を推進するため、5R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle,Regenerate)の実践がなされている社会の形成を目指します。排出段階ではもちろんのこと、生産・消費段階においても、資源の浪費を抑え、ごみとなる可能性のあるもの全ての排出抑制を推進していきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	26.2%	25.3%	23.3%		40%	60%
2	家庭ごみの一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	519g	511g	506g		495g	473g
3	事業ごみの年間排出量	68,140t	70,383t	70,122t	70,168t		59,871t	58,096t

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 311 ごみとなる可能性のある全ての排出の抑制	●従来の5R(リデュース・リデュース・リユース・リサイクル・リジェネレート)を推進し、特に2R(リデュース・リユース)に対して重点的に取り組む ●排出段階だけでなく、生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの発生・排出抑制を目指す。環境問題に対して「知っている」だけでなく市民の自主的な行動を促す施策に取り組む	災害廃棄物処理計画の策定	継続	市民への計画内容の周知や関係事業者団体等との災害支援協定締結などにより協力体制の構築を図った。	継続	市民への計画内容の周知や関係事業者団体等との災害支援協定締結などにより協力体制の構築を図る。	継続実施	一般廃棄物対策課
		市民のリサイクル意識の向上、分別の徹底、ごみの減量・適正処理についての意識啓発を図る	継続	・リサイクルフェアの開催(10月1日)を開催予定であったが、7月豪雨災害のため中止。 ・暮らしとごみ展の開催(本庁舎・各支所で小中学生から募集したポスター・標語の展示や啓発用パネルの掲示を行った。応募作品494点) ・家庭ごみの出し方(A3版)を作成した。(広報くらしき7月号で配布) ・家庭ごみの出し方(ベトナム語版)を改定 ・スマートフォンを利用した「ごみ分別アプリケーション」の配信をした。	継続	・リサイクルフェアの開催 ・暮らしとごみ展の開催 ・啓発冊子の作成・配付(家庭ごみの出し方を作成)	継続実施	一般廃棄物対策課
		生ごみ資源化事業の推進	継続	船穂地区で生ごみ収集・堆肥化事業を実施(342世帯150t)	継続	船穂地区で実施する生ごみ収集・堆肥化事業の推進	継続実施	一般廃棄物対策課
		家庭でのごみ減量の推進	継続	・地区町内会等での出前講座推進 ・生ごみ水切りの推進(環境イベント、出前講座等などの啓発活動) ・マイバック・マイ箸運動の推進(県下統一ノーレジ袋デー(毎月10日)にスーパーの店頭で市民団体と協働で啓発イベントを実施、全4回) ・家庭ごみ減量チャレンジ冊子及び雑がみ回収用紙袋を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進めた。(55校参加 5,086部配付) ・小学5・6年生を対象に「5Rかるた」の読み札を公募し、作成後各小学校等に配布した。	継続	・地区町内会での出前講座推進 ・雑がみ分別の推進 ・生ごみ水切りの推進 ・マイバック・マイ箸運動の推進 ・食品ロス削減の推進 ・家庭ごみ減量チャレンジ冊子を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進める。	継続実施	一般廃棄物対策課
		倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度の推進	継続	倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。(マイバック協力店数:13事業者54店舗、マイ箸協力店数:3事業者8店舗)	継続	認定制度を推進し、協力店には各種啓発物品を貸与	継続実施	一般廃棄物対策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No.312 市民・事業者の自主的な活動の促進	●市民・事業者が、基本理念や行動原則を自ら考え、ごみの排出抑制や再資源化に取り組むことを促進する	生ごみ処理容器（コンポスト・ボカシ容器・生ごみ処理機）を購入する世帯に助成を行う	継続	・堆肥化容器購入助成（補助基数136基） ・生ごみ処理機購入助成（補助基数103基）	継続	・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成	継続実施	一般廃棄物対策課
		家庭からの資源物について、集団回収を実施するごみ減量化協力団体へ報奨金を交付する	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付（実施団体数1,003団体・回収重量11,880t）	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付	継続実施	一般廃棄物対策課
		家庭からの生ごみを生ごみ堆肥センターで有機堆肥にし再利用する	継続	堆肥センターで、有機堆肥の生産（約150tの農業残さや家庭生ごみから約125tの有機堆肥を生産）	継続	有機堆肥の生産	継続実施	農林水産課
		漁業団体が収集したゴミの運搬処理を行う	継続	収集物運搬処理（処理量約13t）	継続	・収集物運搬処理	継続実施	農林水産課

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち

◆分野別目標2: 廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます

【基本方針】: 排出される廃棄物は、再生利用に努め、再生利用が不可能なものについては、焼却による熱回収を行ったうえでの減容化や最終処分などの適正処理を実施し、廃棄物が環境に与える負荷を可能な限り抑えます。また、効率的に廃棄物を処理することで、ごみ処理経費の節減に努めます。不法投棄による環境破壊を防止するため、違法行為には厳正に対処するとともに、事業者等の意識の向上に努めます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2.4%	1.9%	1.9%	2.0%		維持 (2.4%)	維持 (2.4%)
2	リサイクル率(総合計画指標)	47.8%	51.5%	43.0%	40.9%		52%	54%

倉敷みらい創生戦略にあわせ、令和2年度の目標となっています。
(目標年度がR1からR2に変更となりました。)

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 321 廃棄物の再生利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民向けに生ごみ減量や、マイバック・マイ箸運動の推進等を行うとともに、事業者向けに、大型生ごみ処理機の導入補助制度の推進や一般廃棄物減量資源化計画書の提出の指導等により排出抑制に努める ●分別徹底の推進、ごみステーションでの指導実施等の普及啓発を行う ●空き缶つぶし機の貸出の拡大、ペットボトル回収の充実や常設リサイクルステーション設置の検討等の回収体制の整備を行う 	マイバック・マイ箸運動を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・マイはし作り体験(県市等が実施する環境イベントで実施) ・啓発用ティッシュの配布 ・【再掲311】倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。(マイバック協力店数: 13事業者54店舗、マイ箸協力店数: 3事業者8店舗) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・マイはし作り体験 ・啓発用ティッシュ ・倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与する。 	継続実施	一般廃棄物対策課
		【再掲No. 312】生ごみ処理容器(コンポスト・ポカシ容器・生ごみ処理機)を購入する世帯に助成を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥化容器購入助成(補助基数136基) ・生ごみ処理機購入助成(補助基数103基) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成 	継続実施	一般廃棄物対策課
		循環型社会の形成を推進すると認められる先進的なリサイクル関係施設等の整備等について経費の一部を助成する	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助を実施 H30年度実績: 1件	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助	継続実施	産業廃棄物対策課
		一般廃棄物減量資源化計画書の提出指導の実施	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨災害の影響により、大規模事業主に対する計画書の提出依頼を未実施 ・事業所に対して、個別訪問を実施し、分別指導を行った。(事業所数57件) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業主へ計画書提出を求める。 ・事業場に対する個別訪問実施 	継続実施	一般廃棄物対策課
		廃食用油を回収し本市のリサイクルモデル事業である廃食用油のバイオディーゼル燃料事業を行う	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用 平成30年度は20,830L回収し、12,240L作成	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用	継続実施	一般廃棄物対策課
		リサイクル推進センターを拠点として、木製家具・古着・古本のリユース事業やリサイクルに関する各種講座の開催を行う	継続	リサイクル推進センター(クルクルセンター)で、木製家具の修理再生及び販売、古本・古着の無償提供、リサイクルの研修・体験講座などを実施した。(来館者数23,958人、リサイクル体験者数925人、再生木材家具・衣類・書類引渡し数17,385点)	継続	リサイクル推進センター(クルクルセンター)を拠点として活用して、木製家具・古着・古本のリユース事業やリサイクルに関する各種講座の開催を行う。	継続実施	一般廃棄物対策課
		「地域美化推進員制度」による、地域のごみの減量・資源化を推進する	継続	倉敷市地域美化推進員制度の活用によるごみの減量化及び資源化の推進指導を実施した。	継続	倉敷市地域美化推進員制度の活用によるごみの減量化及び資源化の推進指導	継続実施	環境衛生課
		処理施設に搬入されたびんを、リターナブルびん、カレット等に選別し、再資源化する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・びん搬入量 2,278.11t ・生きびん排出量 63.50t ・カレット排出量 2,199.41t 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化予定量 ・びん搬入量 2,279t ・生きびん排出量 64t ・カレット排出量 2,200t 	継続実施	環境施設室
		リサイクル協力店及びステーションからペットボトルを回収し、再商品化事業者に引き渡す	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル協力店からの回収実施(103店舗、回収量378t) ・地区ステーション回収実施(回収量228t) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル協力店からの回収実施 ・地区ステーション回収実施 	継続実施	一般廃棄物対策課
		回収体制の整備・充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーション収集(倉敷、水島、児島、玉島、船穂、真備地区 合計約5,480箇所) ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーション収集 ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施 	継続実施	一般廃棄物対策課
	継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集(ふれあい収集)を実施した。(実施世帯数: 126世帯)	継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集(ふれあい収集)を実施する。	継続実施	一般廃棄物対策課		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課	
No. 322 廃棄物の適正処理による環境負荷の抑制		使用済み小型家電リサイクルを実施する	継続	粗大ごみとして回収されたものの中から、28分類全品目をピックアップ方式により回収した。(回収量623t)	継続	粗大ごみとして回収されたものの中からピックアップ方式により小型家電を回収する。	継続実施	一般廃棄物対策課	
		事業系びんを再資源化する業者へ助成を行う	継続	業者への助成実施(処理量518t)	継続	業者への助成実施(処理量473t予定)	継続実施	一般廃棄物対策課	
		家庭ごみの組成分析調査を実施する	継続	減量化・資源化を推進するための基礎資料とするため、家庭から排出されるごみの組成調査を実施した。	継続	—	隔年実施	一般廃棄物対策課	
	●医薬系廃棄物等の人体や環境に深刻な影響を及ぼす恐れのある廃棄物や、ブロックタイヤをはじめとする適正な処理が困難な廃棄物について、確実に専門処理業者による処理を行うよう、適正な処理方法についての周知徹底を図る ●不法投棄を監視するパトロールを強化するとともに、違法行為には厳正に対応する ●広報や事業者向けパンフレットで適正な処理について協力を呼びかけ、市民や事業者の意識の向上を図るとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)システムの推進と合わせて不法投棄の防止に努める	●不法に投棄された廃家電を適正に処理する ●市の施設では処理が困難な廃棄物は、専門業者により適正に処理を行う	継続	・不法投棄家電の適正処理(220台) ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託(処理量:乾電池約96t、モーターバイク約6t)	継続	・不法投棄家電の適正処理 ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託	継続実施	一般廃棄物対策課	
			廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を行う	継続	・一般廃棄物処理業許可件数128件(収集運搬業119件、処分業6件、処理施設設置3件) ・産業廃棄物処理業等許可件数364件(収集運搬業144件、処分業85件、処理施設135件) ・自動車リサイクル法(引取業90件、フロン類回収業44件の登録、解体業21件、破碎業12件の許可) ・産業廃棄物処理施設等への立入調査、焼却炉等の適正な維持管理について指導、運搬車輛検査を実施 ・多量に産業廃棄物を排出する事業者に対し、減量・再生利用等を盛り込んだ処理計画を作成し、実行するよう指導した。(指導事業者数:116事業所)	継続	廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を実施	継続実施	一般廃棄物対策課 産業廃棄物対策課
				継続	一般廃棄物処理施設(焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等)の適正な運営(維持管理)を行った。(一般廃棄物処理施設の維持管理情報(処分量、排ガス測定結果、処理水測定結果等)は、毎月HPで公表)	継続	一般廃棄物処理施設(焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等)の適正な運営	継続実施	環境施設室
		継続	水島清掃工場の第2期長期包括管理委託が適正に行われているか監視を行い、安全で安定したごみの処理を実施した。	継続	第2期長期包括管理委託が適正に行われているか監視を行い、安全で安定したごみの処理を実施する。	継続実施	環境施設室		
		継続	白楽町ごみ焼却処理場及び下水処理施設の一部を安全かつ安心に解体撤去を行い、ストックヤード等の集約整備の設計を行った。 [実績額] 6,874,308円:解体・整備工事施工監理業務委託 504,742,258円:解体・整備工事	継続	白楽町ごみ焼却処理場及び下水処理施設の一部を安全かつ安心に解体撤去を行い、ストックヤード等の集約整備の設計を行う。 [予算額] 12,351,000円:解体・整備工事施工監理業務委託 918,098,000円:解体・整備工事	継続実施	環境施設室		
		継続	(仮称)倉敷西部クリーンセンターの基本計画と基本設計の策定、環境影響評価を実施した。 [実績額] 94,392,000円:一般廃棄物処理施設基本計画等業務委託 3,780,000円:事業者選定支援業務委託	継続	(仮称)倉敷西部クリーンセンターの整備運営事業者選定業務を実施する。環境影響評価を実施する。 [予算額] 45,441,000円:一般廃棄物処理施設基本計画等業務委託 32,292,000円:事業者選定支援業務委託	継続実施	環境施設室		
		継続	汚泥再生処理センター整備事業について、生活環境影響調査を実施した。 [実績額] 4,168,800円:基本計画等業務委託	継続	汚泥再生処理センター整備事業について、施設基本設計及び生活環境影響調査を実施する。 発注支援業務を実施する。 [予算額] 21,212,000円:基本計画等業務委託 3,600,000円:発注支援業務委託	継続実施	環境施設室		
		継続	警察OBを監視指導員として採用し、不法投棄の防止や事業者の指導等を行う	継続	警察OB4名を監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施(立入、指導件数2549件)	継続	警察OBを監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施	継続実施	産業廃棄物対策課
		継続	航空機による上空監視、休日夜間のパトロール、不法投棄防止用監視カメラの活用等により、不法投棄を防止する	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施(年161回) ・ヘリコプターによる上空監視(年4回)及びセスナ機による啓発広報(年1回)を実施 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施 ・ヘリコプターによる上空監視及びセスナ機による啓発広報 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続実施	産業廃棄物対策課
継続	マニフェストシステムの徹底、啓発活動の推進等により、不法投棄等の不適正処理などを未然に防止する	継続	・民間主催の講習会に講師として出席し、産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対して啓発した。 ・HP、チラシ等を活用して産業廃棄物に関する情報を提供した。	継続	・産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対する啓発実施 ・HP、チラシ等を活用した産業廃棄物に関する情報提供 ・電子マニフェストの推進	継続実施	産業廃棄物対策課		

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標1:温室効果ガス削減の取組を推進します

【基本方針】:低炭素社会の実現に向けては、すべての主体が地球温暖化問題に対する意識を高め、実際に行動することが、大きな推進力になります。限りある資源とエネルギーを大切に、自然環境との調和を図る、環境にやさしいライフスタイルの普及が必要不可欠です。

低炭素社会の形成を目指し、すべての市民・事業者・行政が自ら率先して省エネルギーの徹底や温室効果ガス排出の少ないエネルギーへのシフトを心がけ、市全体の温室効果ガス排出量を削減するよう努めます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	18.5%	16.2%	19.4%		39%	53%
2	温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合（隔年調査）	5.5%	—	8.0%	—	—	50%	80%
3	市全域から排出される温室効果ガス（CO2）の削減割合（2007年度比）	【平成19年度】 39,573千t	【平成25年度】 12.5%削減	【平成26年度】 14.2%削減	【平成27年度】 18.0%削減		【平成24年度】 6.0%削減	12.0%削減

倉敷みらい創生戦略にあわせ、令和2年度の目標となっています。（目標年度がR1からR2に変更となりました。）

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 411 ライフスタイルの見直しによる温室効果ガスの排出抑制	●「グリーンくらしきエコアクション」の普及による、暮らしの中での省エネルギーへの取り組みを推進する ●公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動等の推進を通じて、無駄のないエネルギー消費を心がけることにより、家庭からの温室効果ガスの排出抑制を推進する	平成22年度に策定した「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を、市民・事業者に対して周知・徹底を図る	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版を市民や事業者等に配布した。 ・【再掲No. 141】中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催し、クールくらしきアクションプランの周知を図った。（参加者数29人）	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版の配布 ・中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催	継続実施	環境政策課
		市民、事業者、行政等の協働により「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の進行管理を実施する	継続	「倉敷市地球温暖化対策審議会」を設置し、計画の改定等について協議した。（1回実施）	継続	「倉敷市地球温暖化対策審議会」による進行管理 倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進	継続実施	環境政策課
		「グリーンくらしきエコアクション」（G-KEA）の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配布し、普及啓発を実施した。 また、G-KEAの内容を市民に周知した。	継続	G-KEA改訂版を活用した普及啓発	継続実施	環境政策課
		「くらしきグリーンメイト（緑のカーテン推進員）」とともに緑のカーテンを普及促進する	継続	・グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数206人） ・緑のカーテンコンテスト実施（市民、事業者合計；46作品） ・市民にゴーヤの種を5,000袋、苗600本配布	継続	・ゴーヤの種、苗の配布 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・緑のカーテンコンテスト実施	継続実施	環境政策課
		NPO等との連携によるイベント開催など、市民への啓発と温室効果ガス削減の取組を推進する	継続	・地球温暖化対策に係る出前講座実施（4件） ・伊東家の省エネ体験（イオンモール倉敷で実施）（11回） ・子どもエコライフチャレンジの実施（小学校1校実施）	継続	・出前講座の実施 ・子どもエコライフチャレンジの実施 ・STOP温暖化くらしの実施	継続実施	環境政策課
		公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動を推進する	継続	【再掲No. 221】バス利用の意識啓発（バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校7校、515人参加）	継続	小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施	交通政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	【再掲No. 221】庁内でノーマイカーデーを年1回実施実施（5月取組率：83.9%）	継続	ノーマイカーデーの実施（庁内で年1回実施）	継続実施	環境政策課
	継続	・【再掲No. 221】スマート通勤岡山への参加（10月） ・【再掲No. 221】市職員チャレンジ・エコ通勤（正式実施）実施参加者9名	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の実施	継続実施	交通政策課		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 412 省エネルギー設備等の導入による温室効果ガスの排出抑制	●省エネルギー機器・設備の積極的な導入やエネルギー源のシフト等を推進し、市全体での温室効果ガスの排出抑制に努める	運輸・民生部門の省エネ、省CO ₂ 対策を推進するため、市民への設備等の購入に対して助成を行う	継続	【再掲No. 221】電気自動車等（150台）への補助を実施した。	継続	・電気自動車等や充電設備への補助	継続実施	環境政策課
		市が所有する電気自動車等を活用して、市民へ電気自動車の普及啓発を行う	継続	・環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用 ・環境交流スクエアに設置する簡易水素ステーション及び市が導入した燃料電池自動車を活用した普及啓発を実施	継続	・環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用 ・環境交流スクエアに設置する簡易水素ステーション及び市が導入した燃料電池自動車を活用した普及啓発を実施	継続実施	環境政策課
		電気自動車充電設備の整備を推進する	継続	充電設備設置への補助を実施した（2基）	継続	充電設備の設置費補助制度を実施	継続実施	環境政策課
		倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用（指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催）	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施	環境政策課
			継続	CO ₂ 削減ポテンシャル診断事業委託実施（1カ所） ※国の100%補助事業	継続	CO ₂ 削減ポテンシャル診断事業委託実施（1カ所） ※国の100%補助事業	継続実施	環境政策課

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標2:地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します

【基本方針】:「晴れの国おかやま」という太陽エネルギーの利用に有利な気象条件や、電気自動車の生産地である等、地球温暖化対策の鍵となる特性を有しており、これらの地域特性を活かした、資源・エネルギー循環型の社会を目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件	15,338件	16,271件	17,051件		10,000件	28,000件
2	公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kW	639.4kW	689.4kW	734.4kW		250kW	500kW

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 421 家庭への再生可能エネルギー設備の導入促進	●民生家庭部門からの温室効果ガスの排出削減を図るため、支援制度や普及啓発などを通じて、積極的に住宅用太陽光発電システムの導入を推進していく ●その他の再生可能エネルギー設備についても、市民生活に適した設備の導入が進むように普及啓発等を行っていく	住宅用太陽光利用システムを設置した家庭に助成を行う	継続	既築住宅に対し、248件の設置補助を実施した。	継続	300件の補助予定	継続実施	環境政策課
		倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成を行う	継続	16件の補助を実施した。	継続	40件補助予定	継続実施	環境政策課
		住宅用太陽熱温水器を設置した家庭に助成を行う	継続	25件の補助を実施した。	継続	30件補助予定	継続実施	環境政策課
		住宅用燃料電池システムを設置した家庭に助成を行う	継続	60件の補助を実施した。	継続	70件補助予定	継続実施	環境政策課
		定置型リチウムイオン蓄電池を設置した家庭に助成を行う	新規	100件の補助を実施した。	継続	100件補助予定	継続実施	環境政策課
		補助事業者の排出削減分をクレジット化し、「J-クレジット制度」を活用した温室効果ガス削減事業を実施する	継続	くらしきサンサン倶楽部3, 121世帯分2, 708tのクレジットを創出(売却実績719t)	継続	くらしきサンサン倶楽部によるクレジットの創出 くらしきサンサン倶楽部が削減したCO2を販売	継続実施	環境政策課
		【再掲No. 411】「グリーンくらしきエコアクション(G-KEA)」の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配付し、普及啓発を実施した。	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配付し、普及啓発を実施。 市広報紙における環境月間特集として、緑のカーテンを周知。	継続実施	環境政策課
再生可能エネルギー(太陽光発電システム以外)設備の導入が進むよう普及啓発を行う	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体により、各種イベントへ出展し普及啓発を実施した。	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体により、各種イベントへ出展し普及啓発を実施。	継続実施	環境政策課		
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す ●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	継続	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく省エネ・温暖化対策の推進	継続	計画の推進	計画的実施	環境政策課
		市の事業活動に伴うエネルギー使用量を把握するとともに、省エネ中長期投資計画を策定する。	継続	・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策	継続	・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策	継続実施	関係各課
		公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続	・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施	継続	・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施	計画的実施	環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す ●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める	(くらしき流ESCO事業) 公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続	・ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署、児島支所、玉島支所、真備支所の6施設を継続した。 ・芸文館のESCOサービスを開始した。 ・倉敷公民館、玉島図書館の優先交渉権者を決定した。 ・倉敷市民会館の提案募集を開始した。 ・他施設の導入可能性について検討した。	継続	・ESCO事業運用施設(ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署、児島支所、玉島支所、真備支所、芸文館) ・倉敷公民館、玉島図書館を契約締結し、ESCOサービスを開始する。 ・倉敷市民会館のESCO優先交渉権者と契約締結し、工事に向けて準備を行う。 ・他施設の導入可能性について検討する。	拡大検討	公有財産活用室
		【再掲No. 121】公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	・保育園庭の芝生化(豊洲保育園)及び保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理を行った。(H30末現在:累計14園) ・学校・園の壁面緑化(全ての市立学校・幼稚園計137校園で実施) ・小中学校庭の芝生化(菅生小学校・郷内小学校・庄中学校)及び維持管理を行った。(H30末現在:累計20校) ・幼稚園庭の芝生の維持管理(H30度現在:累計3園) 大高小学校の生垣化等植樹の実施	継続	・保育園庭の芝生の維持管理 ・学校・園の壁面緑化 ・小中学校庭の芝生化(第四福田小学校)及び維持管理 ・幼稚園庭の芝生の維持管理 市教委施設や公共施設などの植樹	継続実施	保育・幼稚園課 教育企画総務課 教育施設課 教育施設課 公園緑地課
		公共施設へ再生可能エネルギー設備を導入する	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 ・南中学校(10kW)完成 ・東陽中学校(10kW)完成 ・茶屋町小学校・茶屋町東幼稚園(10kW)着工	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 ・茶屋町小学校・茶屋町東幼稚園(10kW)完成	継続実施	教育施設課
			継続	【再掲No. 141】公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム導入 計6施設	継続	公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム導入	継続実施	環境政策課
			継続	・児島下水処理場消化ガス発電事業(75kW)を平成27年度より開始し、平成28年度50kWを追加し合計125kWの発電した。電力は自家消費するとともに引き続きCO2の排出量を削減する。 ・Jクレジットの創出	継続	発電事業(125kW)とともに、Jクレジット創出	継続実施	下水経営計画課 下水施設課
		【再掲No. 412】倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用(指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催)	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施	環境政策課
			継続	CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施(1カ所) ※国の100%補助事業	継続	CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施(1カ所) ※国の100%補助事業	継続実施	環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標1:環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【基本方針】:これまでの環境学習の機会をさらに充実させるとともに、環境学習・環境活動を支える人材(地域・NPO)の育成を図ることで、人間と環境との関わりについて正しい知識をもち、自らが責任をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参加できる人を増やすことを目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	5.8%	6.7%	5.9%		12%	30%
2	環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	4.2%	2.8%	3.1%		10%	20%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No.511 環境学習の機会の提供	●子どもから大人まで多くの市民が身近なところで、環境学習や実践活動の場や機会が多様な形で存在するよう、これまでの、講演会、環境イベント、自然観察会、出前講座の拡充を図る ●公民館等の社会教育施設を地域での環境教育の場として、より一層の充実を図ることで、幅広い環境学習の場の提供に努める ●環境監視センター、クルクルセンター、自然史博物館などの環境学習施設の整備・充実を図る ●市民・市民公益活動団体、事業者、行政等の各主体が連携して、地域等で自主的な環境教育が実施できるように、環境に関する必要な情報の収集及び提供に努める	・講演会、環境イベント等への出展、自然観察会、出前講座、環境学習講座等の充実を図る	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・6/2, 6/9環境フェスティバル(体験型環境学習、エコフードコーナー、環境講演会などのイベントを実施:約5,140人参加) ・【再掲No.113】水辺教室(高梁川河川敷 水江の渡し) <7月豪雨災害のため中止> ・【再掲No.113】海辺教室(児島通生の海岸) <7月豪雨災害のため中止> ・エコサマースクールや各種環境学習講座の実施(22件820人参加) ・各種出前講座の実施(13件418人参加) ・【再掲No.141】省エネセミナー(講演会:29人参加) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスティバルの開催 ・海辺教室の実施 ・自然観察会の実施 ・エコサマースクールや各種環境学習講座の実施 ・各種出前講座の実施 ・省エネセミナーの開催 	継続実施	環境政策課
		市民学習センターや公民館での環境学習講座の充実を図る	継続	市民学習センターや公民館で、環境政策課と連携したくらしき市民講座「家計と地球にやさしい☆省エネを取り入れた暮らし」、 「スーパーサイエンスな高校生と考える自然環境」など環境をテーマにしたさまざまな講座を実施。市民学習センターでは6講座実施し、93名の方が受講した。	継続	環境政策課、環境学習センターなど関係部局と連携するなどして、市民学習センター及び公民館で10講座程度予定	継続実施	市民学習センター
		環境学習センターでの環境学習・講座等の充実を図る	継続	環境交流スクエア西棟4階の「環境学習センター」を環境学習の拠点施設として活用(エコライブラリー・エコギャラリー・環境学習教室の施設利用実績6,030人、イベント・講座等参加者数10,282人)	継続	環境学習の拠点施設として充実を図る。	継続実施	環境政策課
		流域連携事業として、各学校の平成31年度の学習計画策定に間に合うよう、平成31年1月に関係市町の教育委員会、小中学校へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付した。	継続	流域連携事業として、各学校の令和2年度の学習計画策定に間に合うよう、令和2年1月に関係市町の教育委員会、小中学校へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付する。	継続	継続実施	環境政策課	
		・第27回特別展「岡山の野鳥たち〜むかし・いま・みらい〜」を開催(来場者数10,015人) ・特別陳列「富山哲夫チョウ類コレクション」「折り紙昆虫展」「新着資料展(総合)」「第26回しぜんしくらしき賞作品展」「新着資料展(昆虫)」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置(11施設に40台) ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行(600部) ・専門分野の寄稿・講演(104件) ・自然史資料の収集(標本約81,902点、文献1,732点) ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催(13件) ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助(18件) ・自然に関する問い合わせ対応(990件) ・外部への講師派遣(22件) ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催(参加者8,825人) など	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・第28回特別展「地球の元素」を開催 ・特別陳列「富山哲夫チョウ類コレクション」「折り紙昆虫展」「新着資料展(総合)」「第27回しぜんしくらしき賞作品展」「新着資料展(昆虫)」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置 ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行 ・専門分野の寄稿・講演 ・自然史資料の収集 ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する。 ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助する。 ・自然に関する問い合わせ対応 ・外部への講師派遣 ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催 など 	継続	継続実施	自然史博物館	
		環境に関する情報の収集及び適切な情報の提供を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実 ・広報紙掲載(広報くらしき、パワフルキッズ等) ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報のメールマガジン配信 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実 ・広報紙掲載(広報くらしき、パワフルキッズ等) ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報をメールマガジン配信 等 	継続実施	環境政策課 各関係課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 512 環境学習や環境活動を支える人（地域・NPO）の育成	●地域における環境活動を先導するコーディネーターや、環境学習を推進する指導者の育成や活動支援に努める ●市からの情報提供を充実させるとともに、地域や事業者が環境に関する取り組みや情報を共有することができるネットワーク形成を目指す	地域の環境学習活動を推進するための市民パートナーの養成や活動支援に努め、市域全体の環境保全活動の活性化を図る	継続	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習センター登録団体連携事業（夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ、八間川調査隊等を実施） 環境学習センター登録団体による会議室や展示室の無料使用（実績延べ24件） 環境学習センター登録団体又はエコライブラリー利用登録者に環境学習用器材（ワットチェッカー、燃費計、小型顕微鏡等）の無料貸出 【再掲No. 411】グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数：206人） 市内高校生を環境フェスティバル運営スタッフとしてボランティア受入（50人） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習センター登録団体との連携を行う 環境学習用器材貸出 グリーンメイトの登録呼びかけ 高校生社会貢献活動推進（市内の高校生を環境フェスティバルのボランティア運営スタッフとして受入） 	継続実施	環境政策課
		高梁川流域7市3町の大学・企業・各種団体等によるネットワーク組織によって、流域の自然、歴史・文化、産業、町並み等をテーマとした学校教育の補完や企業研修等を実施。圏域の将来を担う人材育成とコミュニティの意識向上を図る。	継続	倉敷市を含む高梁川流域圏域において計13事業を実施し、延約1,068人が参加した。主な取組として、備中の伝統文化の発信と人材育成、後世への継承を目的とした「備中志塾」のほか、風土ツーリズムの開発等を行う「高梁川トレイル」、希少種生物の保護及び自然生命の循環を学習する「SAVE JAPANプロジェクト」などを実施した。	継続	倉敷市を含む高梁川流域圏域において計14事業を実施する。一般社団法人高梁川流域学校に対し助成を行う。	未定	企画経営室
		行政、企業、市民団体等が情報共有や取組を共有できるネットワークの形成をめざす	継続	<ul style="list-style-type: none"> STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習センター） 【再掲No. 411】倉敷市地球温暖化対策審議会（事務局：地球温暖化対策室） 環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など 	継続	<ul style="list-style-type: none"> STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習センター） 倉敷市地球温暖化対策審議会（事務局：地球温暖化対策室） 環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など 	継続実施	環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標2: 次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます

【基本方針】: 家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれの発達段階に応じた環境教育を推進し、また、家庭、学校、地域、事業者が相互に連携した取組を行うことにより、将来を担う子どもたちが環境に配慮した行動のよき実践者となるように、環境教育・環境学習の推進を目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H28	H29	H30		H27年度	R2年度
1	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	79.9%	76.9%	76.6%		80%	95%
2	「もったいない」意識をもち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	44.8%	45.3%	48.3%		45%	65%
3	自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	14,543人	13,171人	12,473人		17,500人	19,700人

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H29からの区分	平成30年度実績	H30からの区分	令和元年度計画	令和2年度計画	担当課
No. 521 これからの時代を担う子供たちの環境教育の充実	●環境を大切に、より良い環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる実践力を育成するため、学校、家庭、地域、事業者と連携を図りながら、環境教育の充実に努める ●子どもの発達段階に応じた環境学習プログラムづくりや本市の山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくりを進め、継続的に環境教育を推進できるように努める ●小中学校を対象とした出前講座などにより、学校での環境教育を支援する	企業、市民団体等と連携した、環境教育を推進する	継続	・【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内1小学校で実施） ・【再掲511】 小中学生に対する環境学習（子ども向け夏休み講座、出前講座、体験学習など）	継続	・こどもエコライフチャレンジ ・小中学生への環境学習機会の提供	継続実施	環境政策課
		各学校が計画的に教科学習や体験的な学習に取り組み、環境教育を充実する	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ。	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む。	継続実施	教委・指導課
		発達段階に応じた環境学習プログラムづくり	継続	・「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施した。 ・【再掲511】 子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施。地元企業との連携講座も含め拡大して実施した。	継続	・「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施予定 ・子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施する。	継続実施	環境政策課
		山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくり	継続	・【再掲113】 水辺教室（水江の渡し）＜7月豪雨災害のため中止＞ ・【再掲113】 海辺教室（児島通生の海岸）＜7月豪雨災害のため中止＞	継続	会場の被災のため水辺教室を休止する。 海辺教室を実施する。	継続実施	環境政策課
				漁業体験学習（小学生・保護者など） 7月豪雨災害により未実施	継続	親子で体験！農水産品収穫事業	継続実施	農林水産課
		山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくり	継続	・少年自然の家で、小中学校の山の学習、自然教室など96校の学校行事の受入れを実施し、自然の中で仲間と遊び、自然に親しんだ。（テント設営、野外炊事等） ・倉敷市少年自然の家主催事業として「由加わいわいキャンプ」「親子で秋の思い出づくり」「早春のつどい」など8回の自主事業を開催した。	継続	・自然の中で仲間と一緒に共同生活することによって自主性や協調性を養うとともに、自然の大切さや雄大さを体感することによって環境保護の意識醸成を図る。 ・豊かな自然環境の中で親子でふれあう「由加わいわいキャンプ」や不登校児等を対象とした「さわやかデー由加山の旅」など5回の自主事業を開催する予定	継続実施 (建替のため、令和元年11月をもって事業終了)	少年自然の家
		広報、事務局の支援等を通じ、「こどもエコクラブ活動」の支援を実施する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った。	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う。	継続実施	環境政策課
市民団体等と連携して、出前講座を実施する	継続	【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内小学校で1校実施）	継続	・こどもエコライフチャレンジ ・出前講座「くらしきの淡水魚」	継続実施	環境政策課		

環境基本計画「めざそう値」
平成30年度市民アンケート調査結果

I アンケート調査の概要

1 調査目的

倉敷市では「自然と人が共生し、未来につなぐ健全で恵み豊かな環境」の実現をめざし、令和2年度までを計画期間とする「第二次環境基本計画」に基づいて、さまざまな環境施策に取り組んでいます。

このアンケート調査は、市民のみなさまが環境について日頃感じていることや、身近な環境についての満足度及び意向等を調査し、計画目標の達成状況把握などに活用することで、今後の市政運営に役立てていくものです。

2 実施状況

2-1 調査対象

平成30年9月末現在、市内に居住する16歳以上の市民の中からコンピュータで無作為に抽出した2,000人（過去に同調査で調査対象となった人を除く）

2-2 調査期間

平成31年1月9日（水）～平成31年2月15日（金）

2-3 調査方法

上記調査対象である2,000人について郵送による調査

2-4 調査項目

問番号	設問内容	目的
－	回答者の属性について	回答者の属性を把握するため
問1～ 問17	環境分野ごとの意識や関心度について	めざそう値を把握するため
問18	環境分野ごとの重要度と満足度	市民が感じている施策別の重要度・満足度を把握するため

※構成比率について

回答の構成比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

「倉敷市第二次環境基本計画「めざそう値」市民アンケート調査」について、平成31年1月9日から2月15日にかけて実施し、2,000人に対してアンケート票を郵送したところ、877人から回答があり、回答者属性は次のとおりとなっている。

(回収率43.9%)

【回答者属性】

[単位 上段：人、下段：%]

1 性別

男性	女性	未回答
371	503	3
42.3%	57.4%	0.3%

2 年齢別

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	未回答
45	71	87	162	121	188	199	4
5.1%	8.1%	9.9%	18.5%	13.8%	21.4%	22.7%	0.5%

3 地域別

倉敷地区	水島地区	児島地区	玉島地区	庄地区	茶屋町地区	船穂地区	真備地区	不明
426	142	106	115	13	26	17	31	1
48.6%	16.2%	12.1%	13.1%	1.5%	3.0%	1.9%	3.5%	0.1%

Ⅲ アンケート調査結果

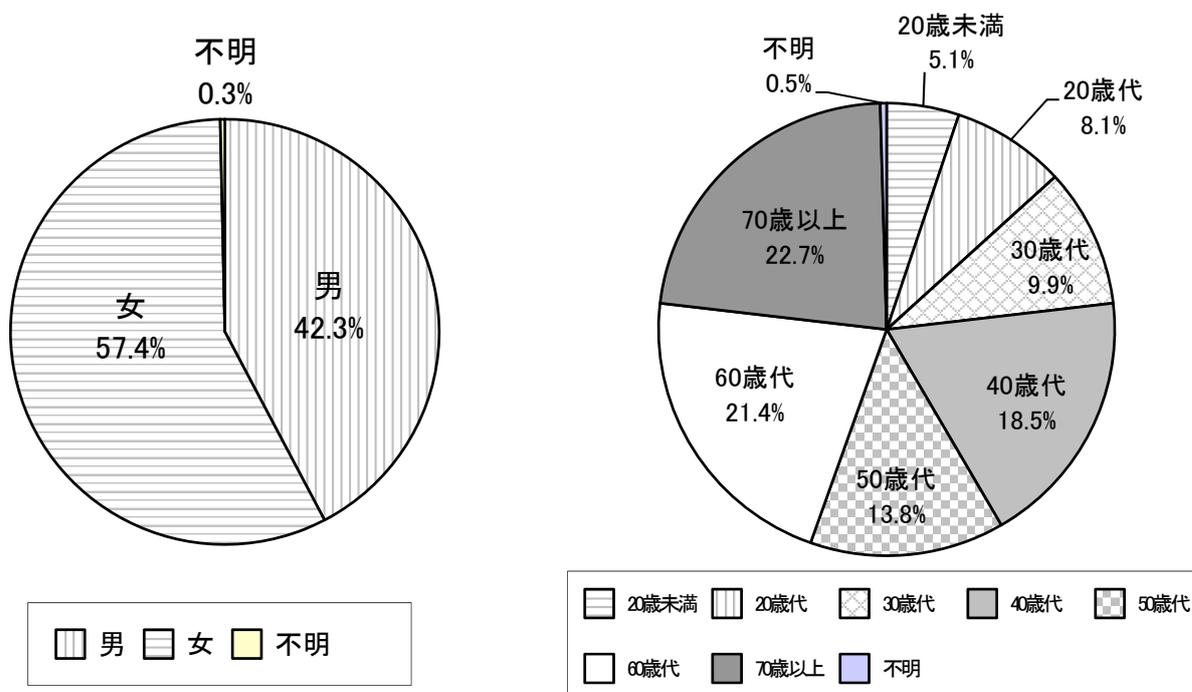
1 回答者の属性

○性別・年齢

【表 1 - 1 : 性別・年齢別 回答者・構成比率】 [単位 回答者数:人、構成比率:%]

年齢	回答者数	年齢別構成比率	性別					
			男		女		未回答	
			回答者数	構成比率	回答者数	構成比率	回答者数	構成比率
20歳未満	45	5.1%	14	3.8%	31	6.2%	-	-
20歳代	71	8.1%	26	7.0%	45	8.9%	-	-
30歳代	87	9.9%	31	8.4%	56	11.1%	-	-
40歳代	162	18.5%	74	19.9%	88	17.5%	-	-
50歳代	121	13.8%	55	14.8%	66	13.1%	-	-
60歳代	188	21.4%	79	21.3%	108	21.5%	1	33.3%
70歳以上	199	22.7%	91	24.5%	107	21.3%	1	33.3%
未回答	4	0.5%	1	0.3%	2	0.4%	1	33.3%
合計	877	100%	371	100%	503	100%	3	100%

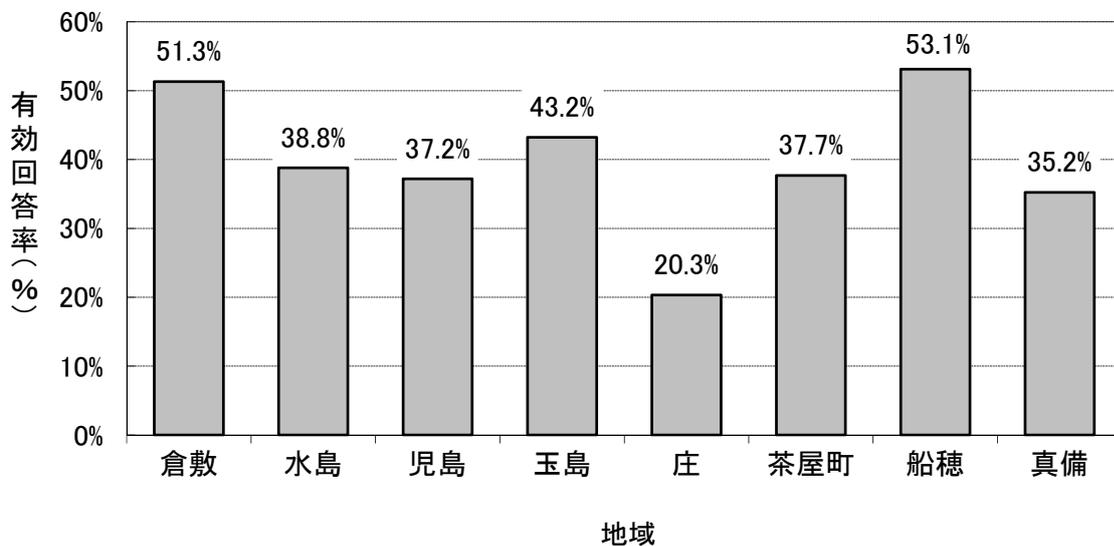
【グラフ 1 - 1 : 性別・年齢別 回答者構成比率】



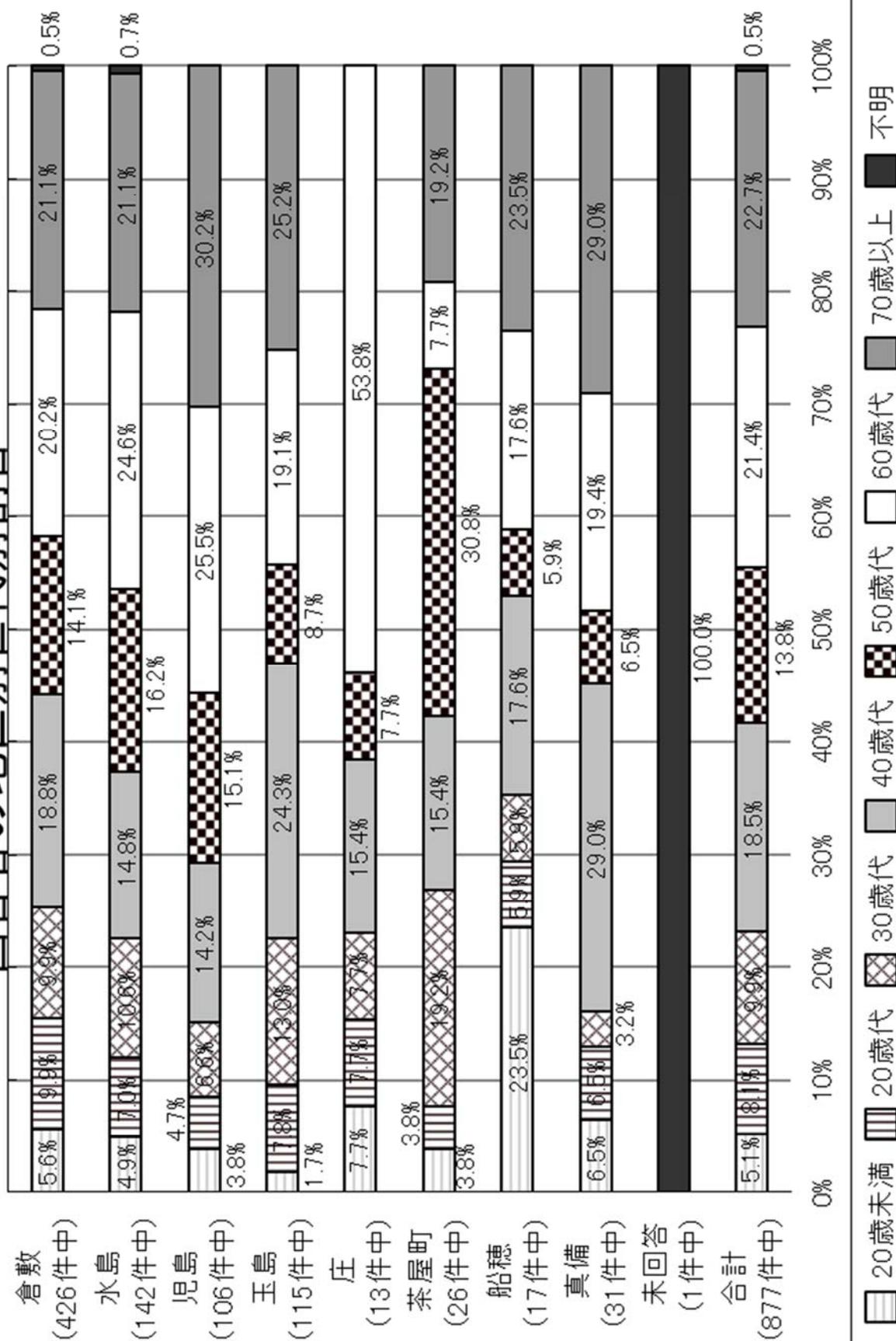
【表 1 - 2 : 地域別回答者数 回答率】

地域	アンケート発送について		アンケート回答について		
	支所別人口 構成比率 (H30.9 末)	発送数 (人)	回答者数 (人)	有効回答率 (%)	回答者 構成比率 (%)
		①	②	②/①	②/全回答者数
倉敷	41.5%	830	426	51.3%	48.6%
水島	18.3%	366	142	38.8%	16.2%
児島	14.3%	285	106	37.2%	12.1%
玉島	13.3%	266	115	43.2%	13.1%
庄	3.2%	64	13	20.3%	1.5%
茶屋町	3.4%	69	26	37.7%	3.0%
船穂	1.6%	32	17	53.1%	1.9%
真備	4.4%	88	31	35.2%	3.5%
未回答	-	-	1	-	0.1%
合計	100%	2,000	877	43.9%	100%

【グラフ 1 - 2 : 地域別有効回答率】

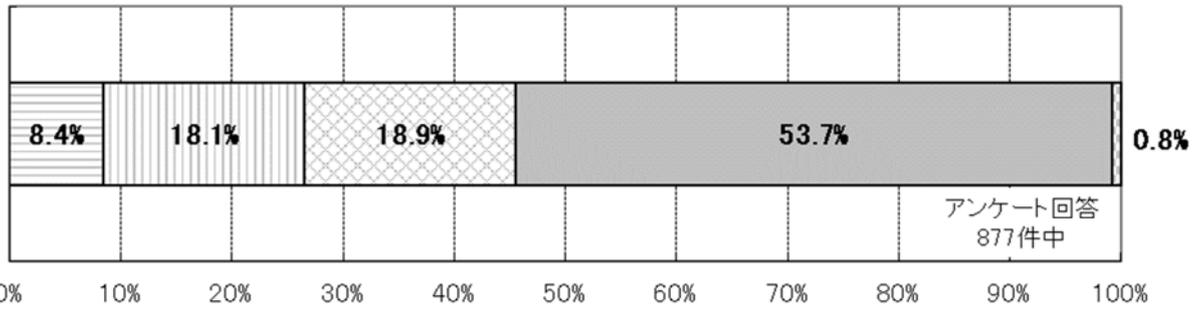


回答者の地区別世代別割合



《問1》 身近な自然を守るための活動を行っていますか。

【グラフ1：合計・回答構成比率】



行っている

 いくらか行っている

 あまり行っていない

 まったく行っていない

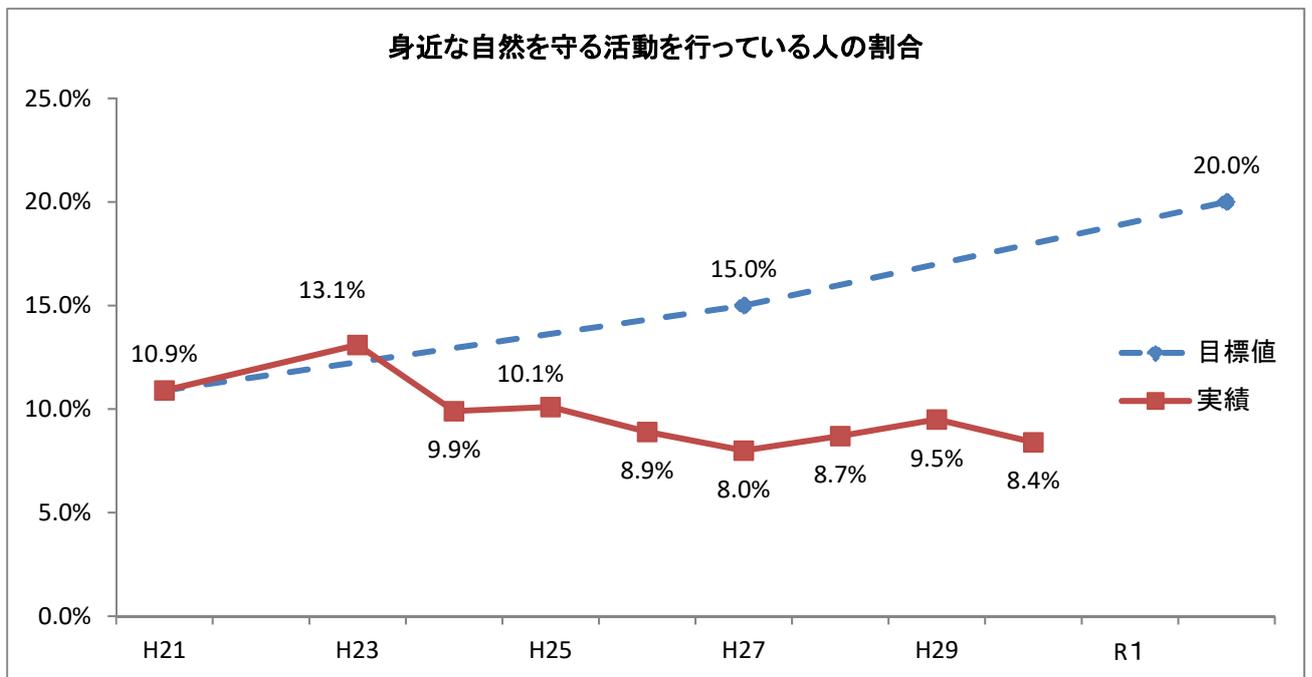
 未回答

【基本目標1分野別目標1（分野1）】

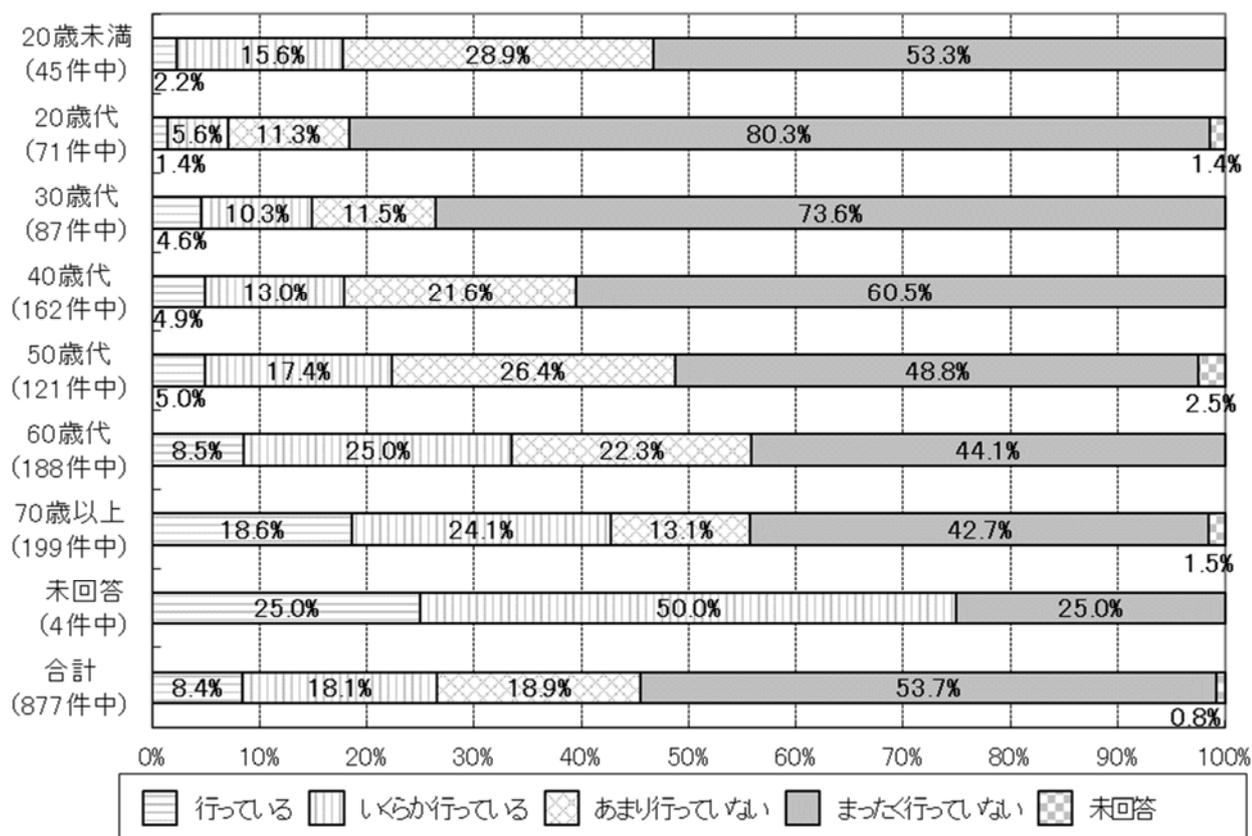
多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します

【めざそう値：年度別推移】

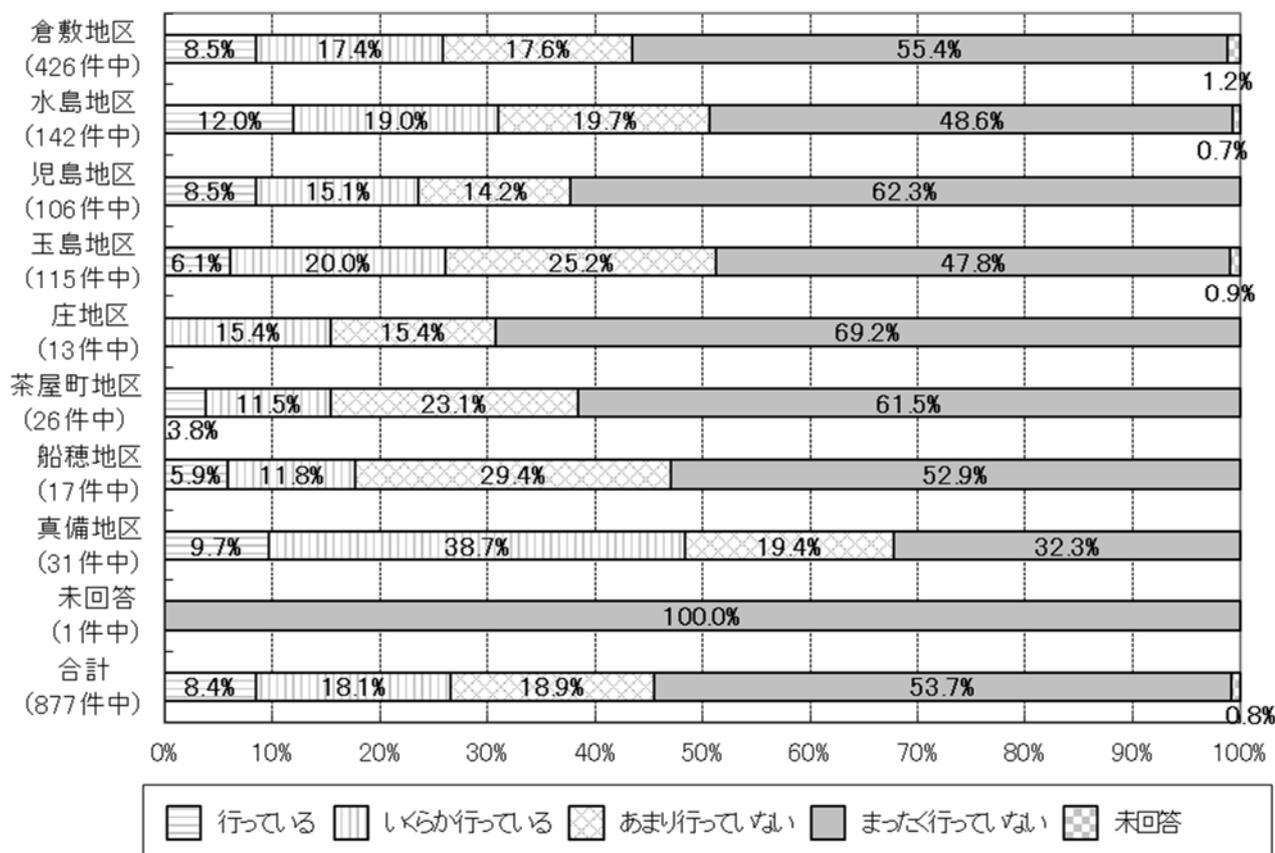
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「行っている」人の割合	10.9%	8.4%(9.5)	15%	20%



【グラフ1:年齢別・回答構成比率】

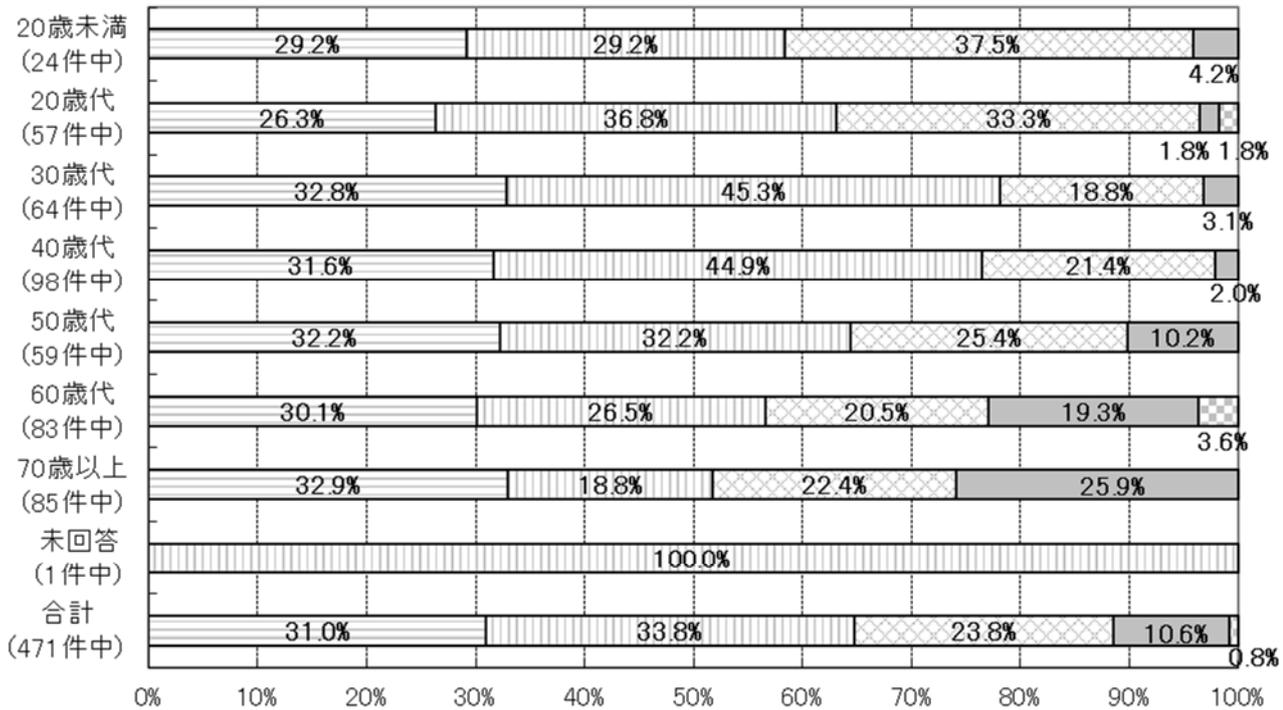


【グラフ1:地域別・回答構成比率】



《問1-1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
「まったく行っていない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ1-1:年齢別・回答構成比率】



関心はあるが、何処に行きたいのかわからない

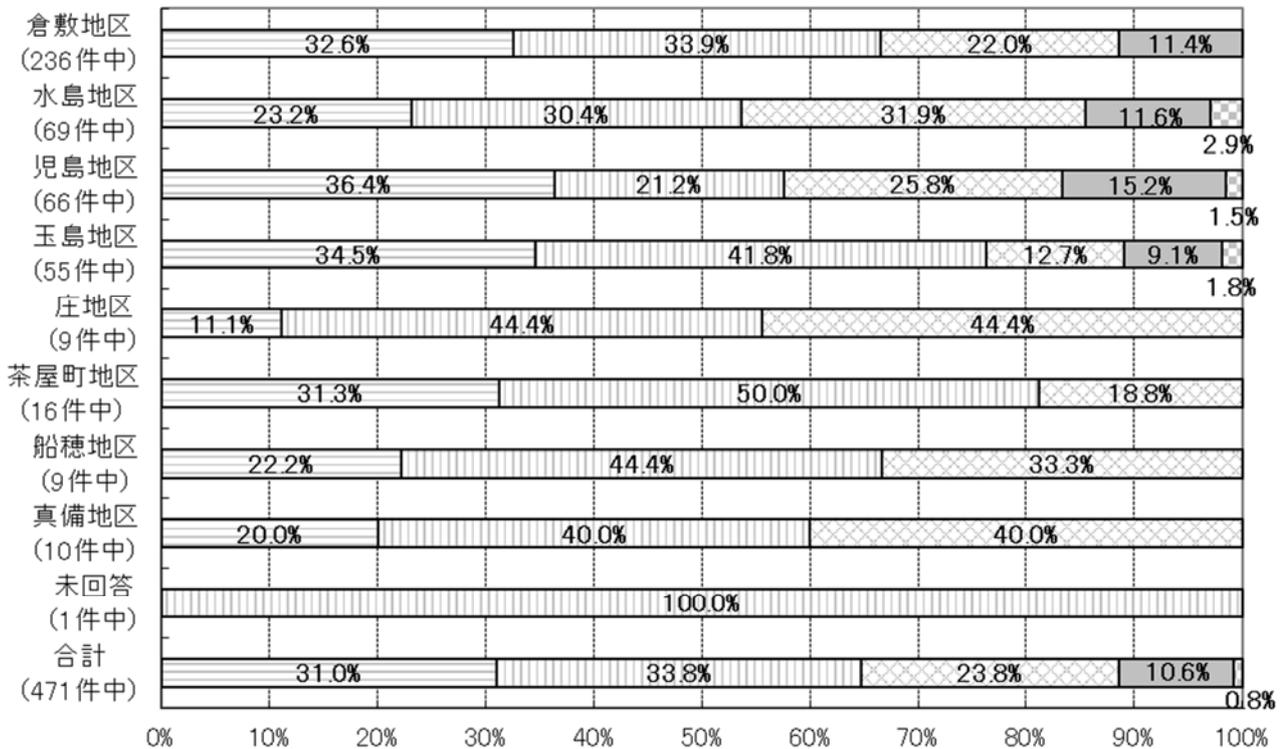
 関心はあるが、時間が無い

 関心がない

 その他()

 未回答

【グラフ1-1:地域別・回答構成比率】



関心はあるが、何処に行きたいのかわからない

 関心はあるが、時間が無い

 関心がない

 その他()

 未回答

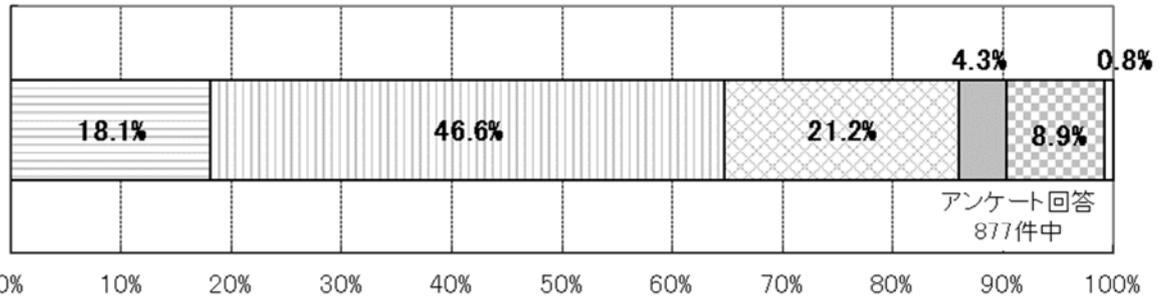
《問1-1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
「まったく行っていない」理由がありましたら、教えてください。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	身体的な理由(体調不良、身体が不自由、体力がない、高齢である)
2	時間に余裕がない(仕事、家事、育児、趣味などで忙しい)
3	活動の情報が入ってこない(どこで何をしているのかがわからない)
4	活動というほどではなく、個人的に気になったときにしている
5	団体行動が苦手
6	機会がない
7	自宅の庭に生垣、庭木があり、緑には満足している
8	活動に関して積極的な誘いがない
9	倉敷市に住んでいない
10	金銭的に余裕がない
11	意識すらしたことがない
12	関心はあるが、活動に参加するほど強いものではない

《問3》 公園や街路樹などの身近な緑に満足していますか。

【グラフ3：合計・回答構成比率】



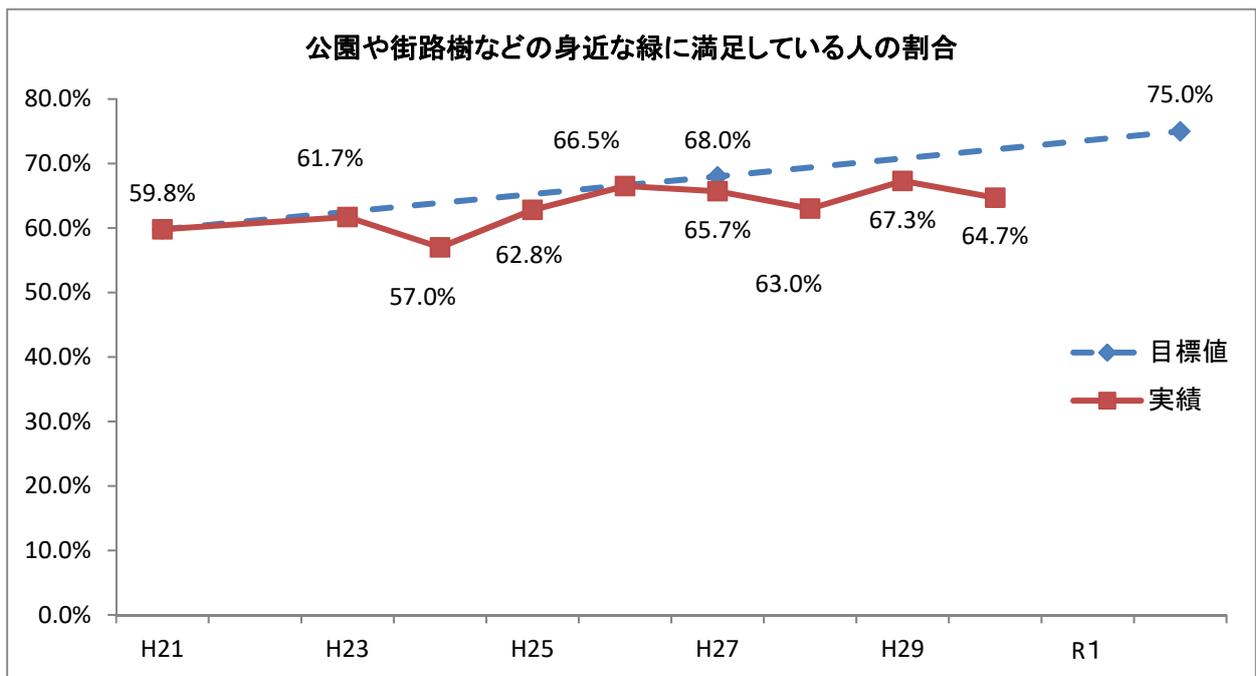
満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

【基本目標1分野別目標2（分野2）】

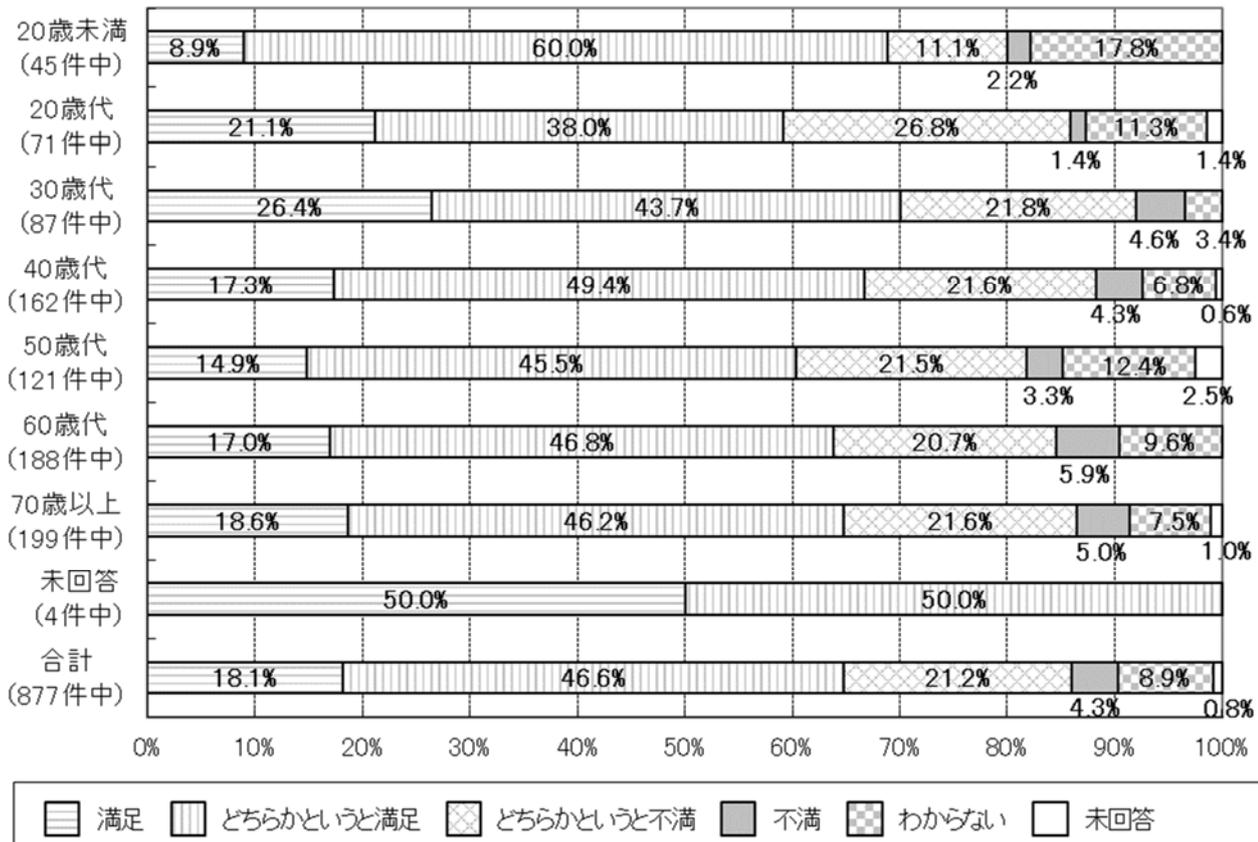
まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

【めざそう値：年度別推移】

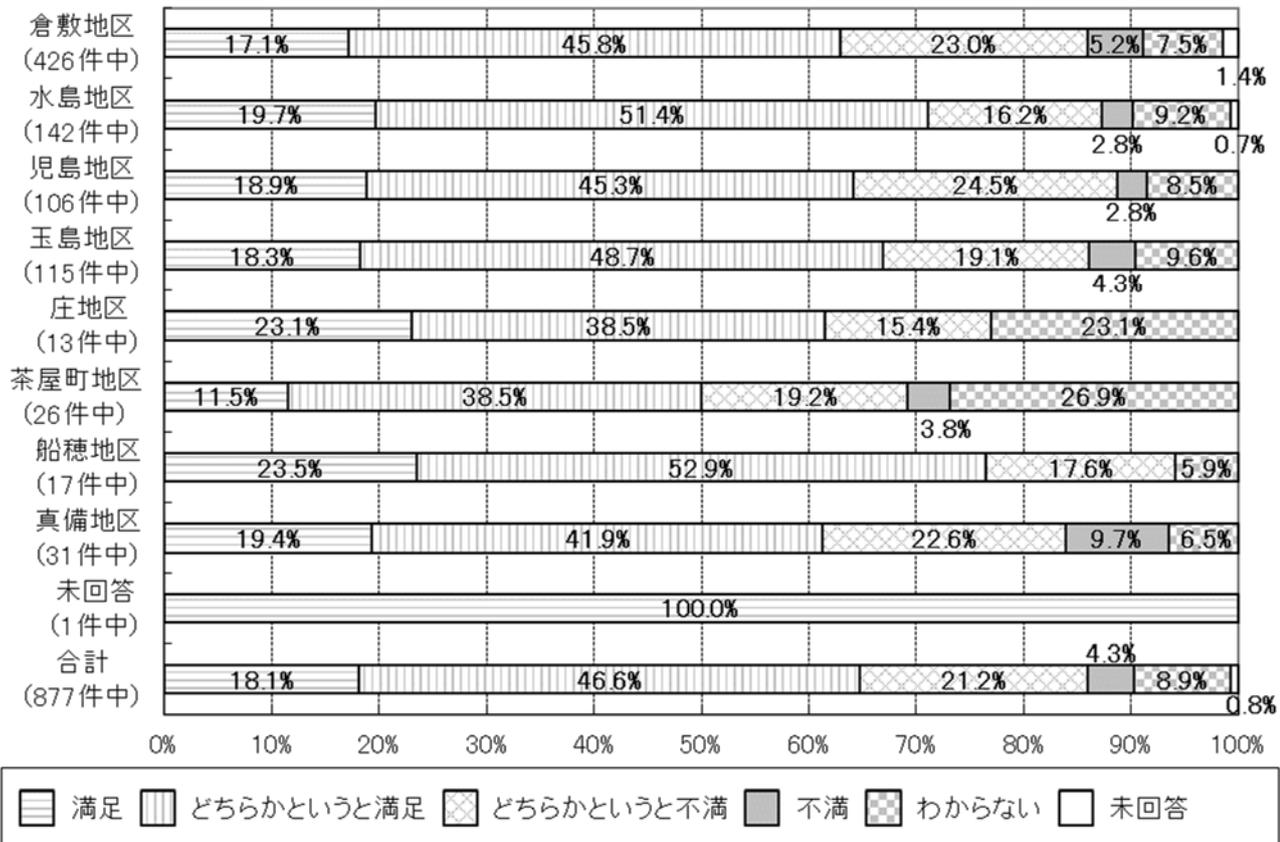
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「満足」+「どちらかという満足」の人の割合	59.8%	64.7%(67.3)	68%	75%



【グラフ3: 年齢別・回答構成比率】

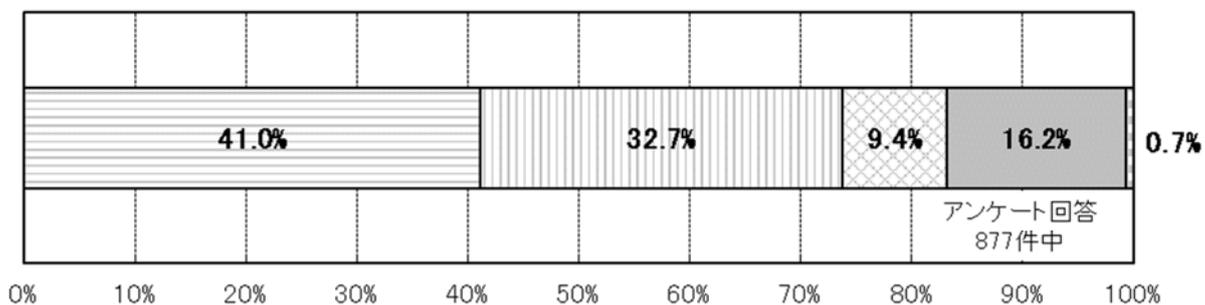


【グラフ3: 地域別・回答構成比率】



《問4》 庭木や生垣、鉢植えやプランター栽培などの身近な緑化を行っていますか。

【グラフ4：合計・回答構成比率】



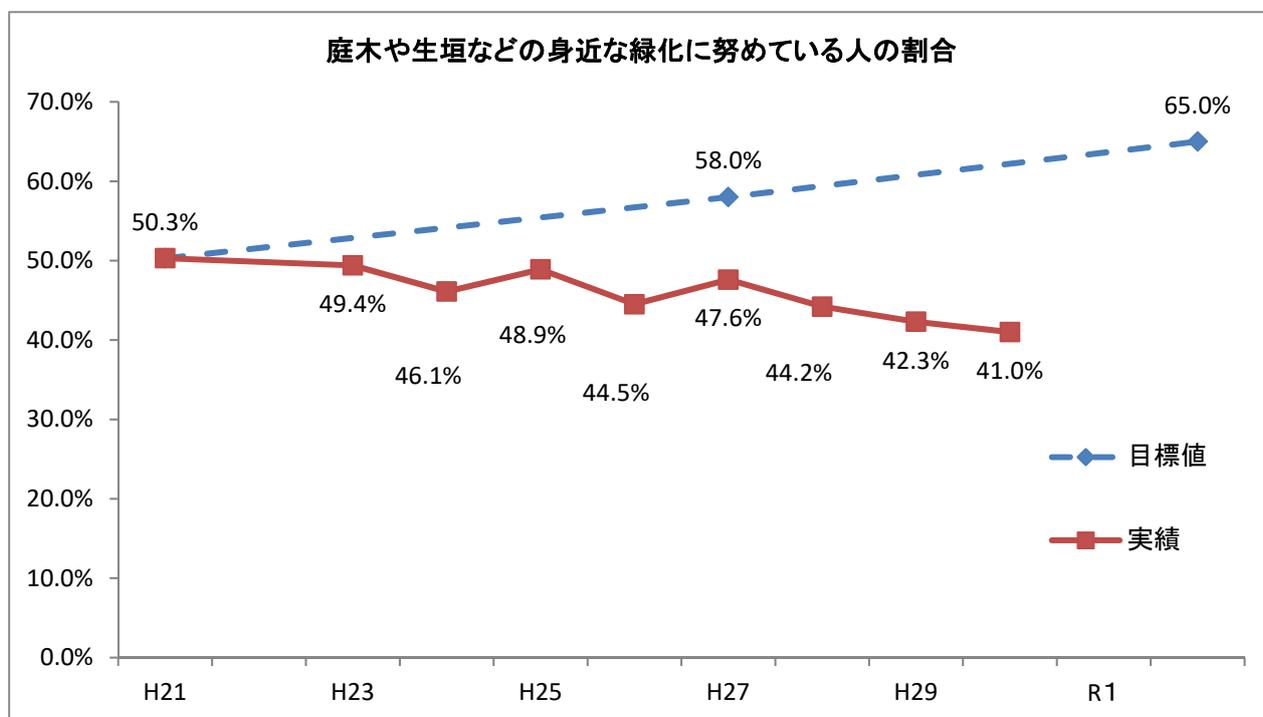
行っている
 いくらか行っている
 あまり行っていない
 まったく行っていない
 未回答

【基本目標1分野別目標2（分野2）】

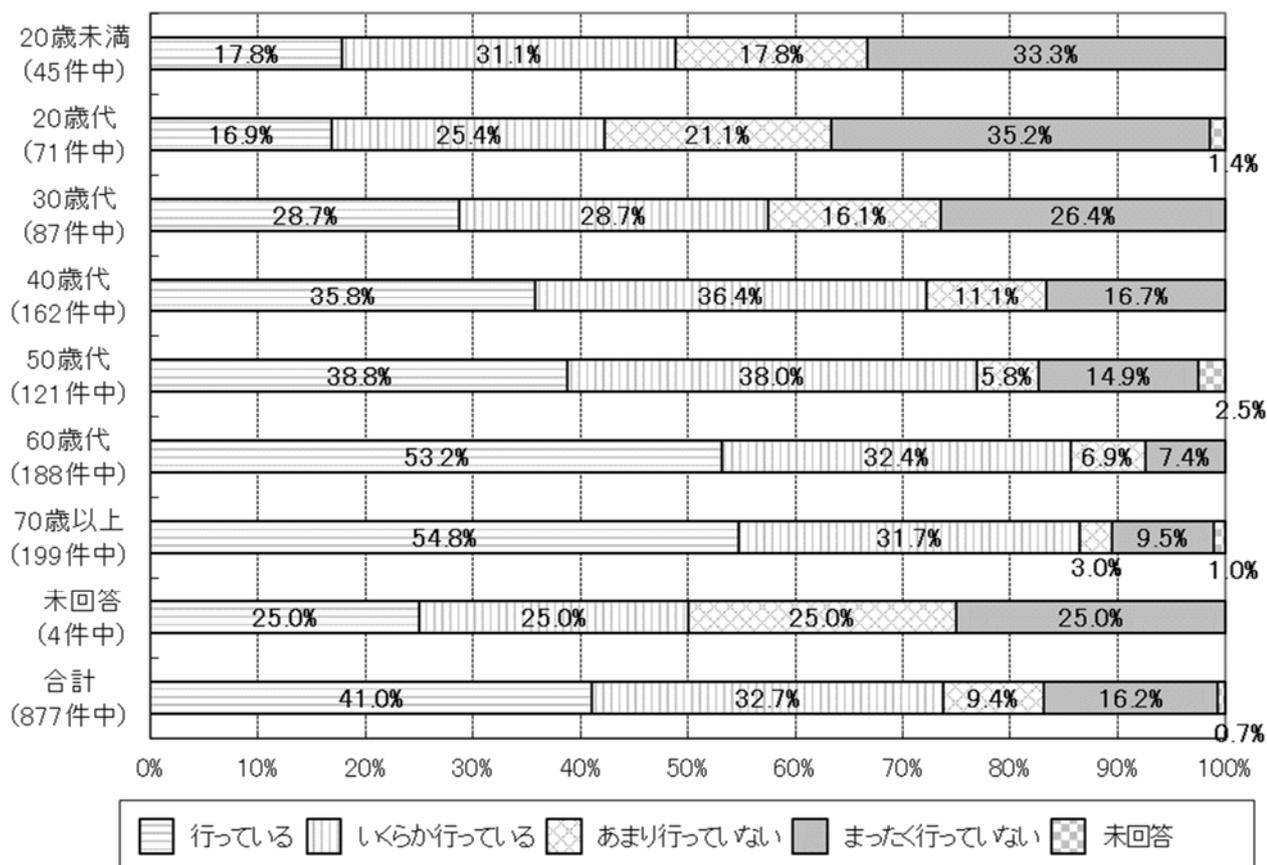
まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

【めざそう値：年度別推移】

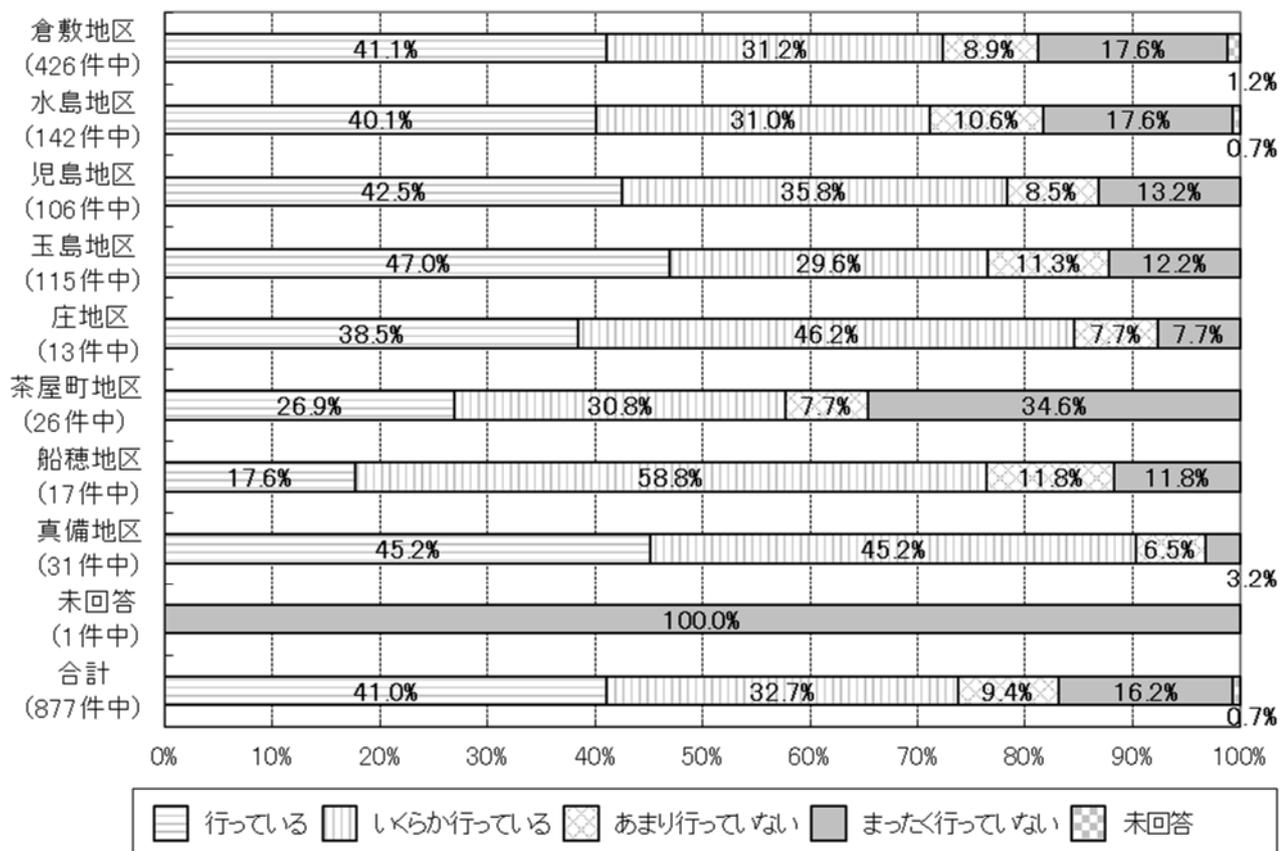
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「行っている」の人の割合	50.3%	41.0%(42.3)	58%	65%



【グラフ4: 年齢別・回答構成比率】

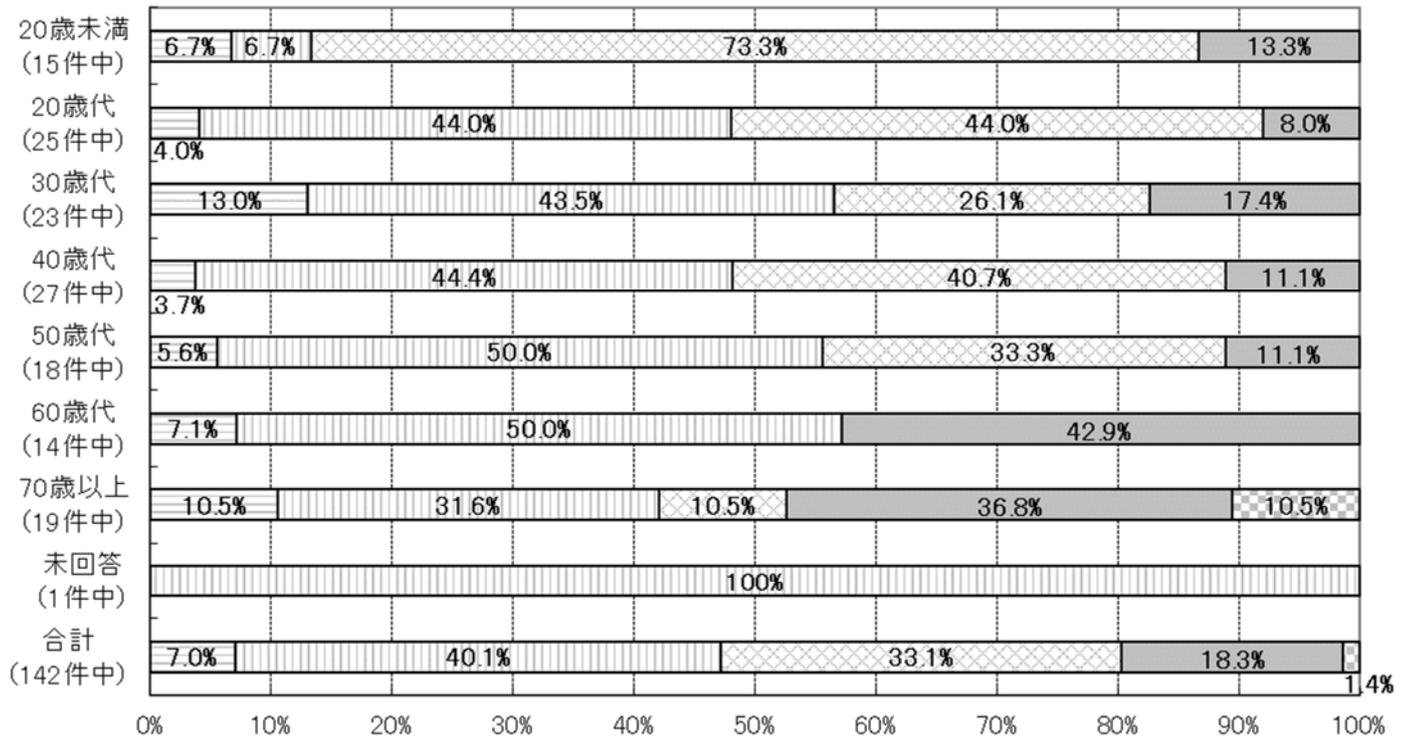


【グラフ4: 地域別・回答構成比率】



《問4-1》問4で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
「まったく行っていない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ4-1:年齢別・回答構成比率】



関心はあるが、何処に行きたいのかわからない

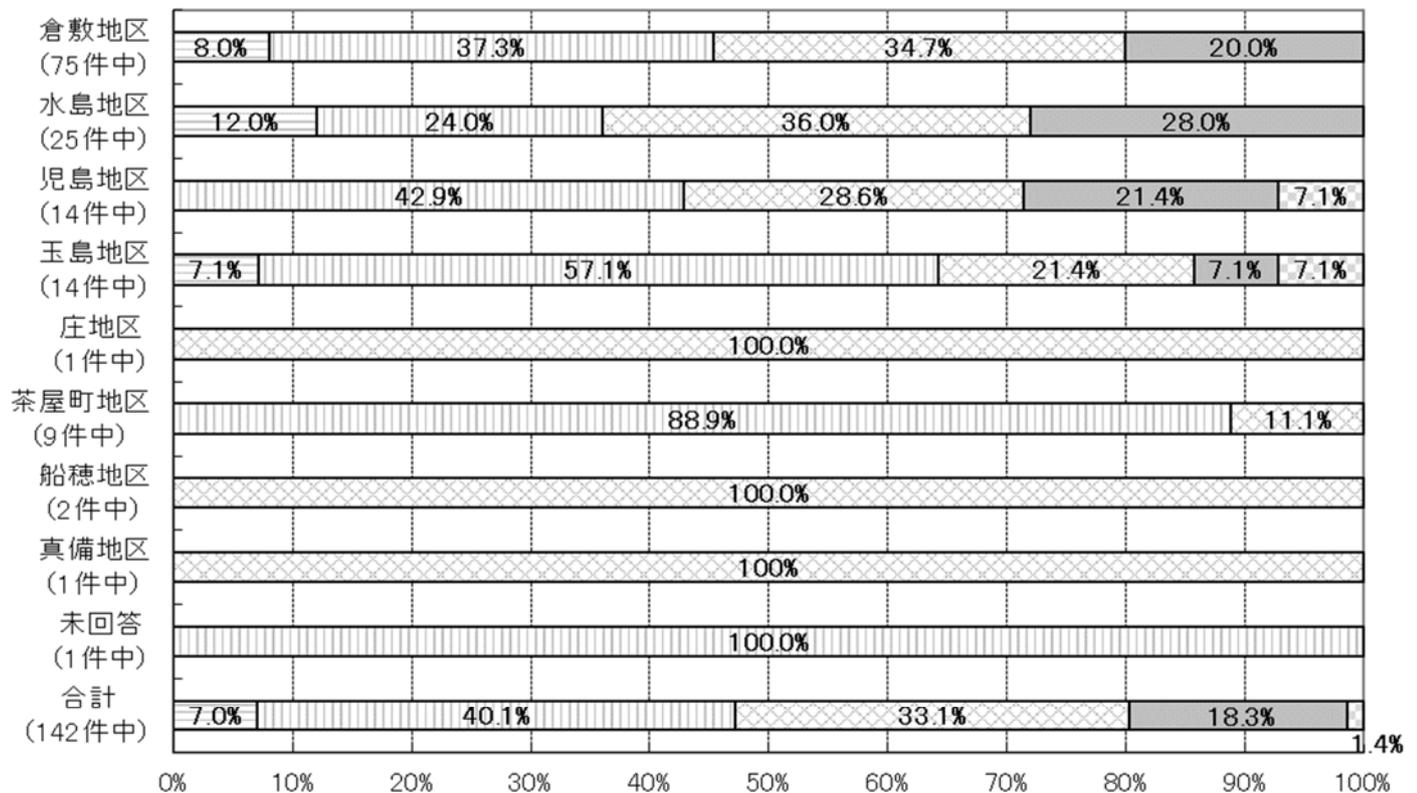
 関心はあるが、庭などの場所がよい

 関心がない

 その他()

 未回答

【グラフ4-1:地域別・回答構成比率】



関心はあるが、何処に行きたいのかわからない

 関心はあるが、庭などの場所がよい

 関心がない

 その他()

 未回答

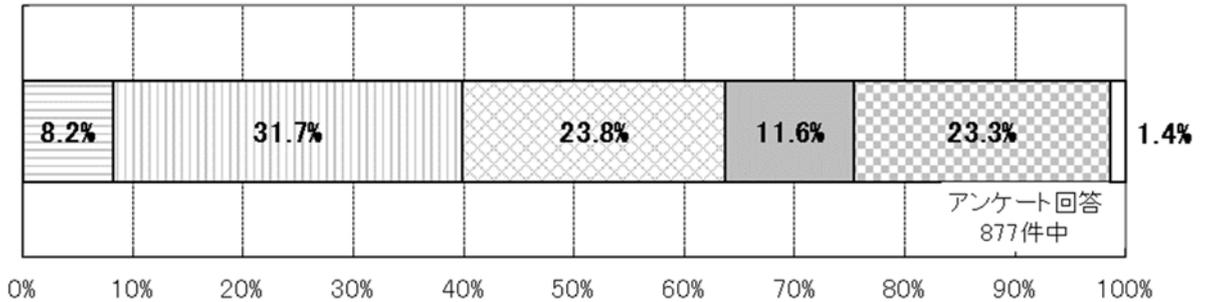
《問4-1》問4で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
「まったく行っていない」理由がありましたら、教えてください。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	身体的な理由(体調不良、身体が不自由、体力がない、高齢である)
2	家族の人がしてくれている
3	手入れをする時間がない
4	環境がない(アパート、マンションに住んでいる)
5	虫が苦手である
6	手入れをするのが面倒である
7	上手に育てられない
8	自宅が山間部にあり、すでに緑に囲まれている

《問5》 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていますか。

【グラフ5：合計・回答構成比率】



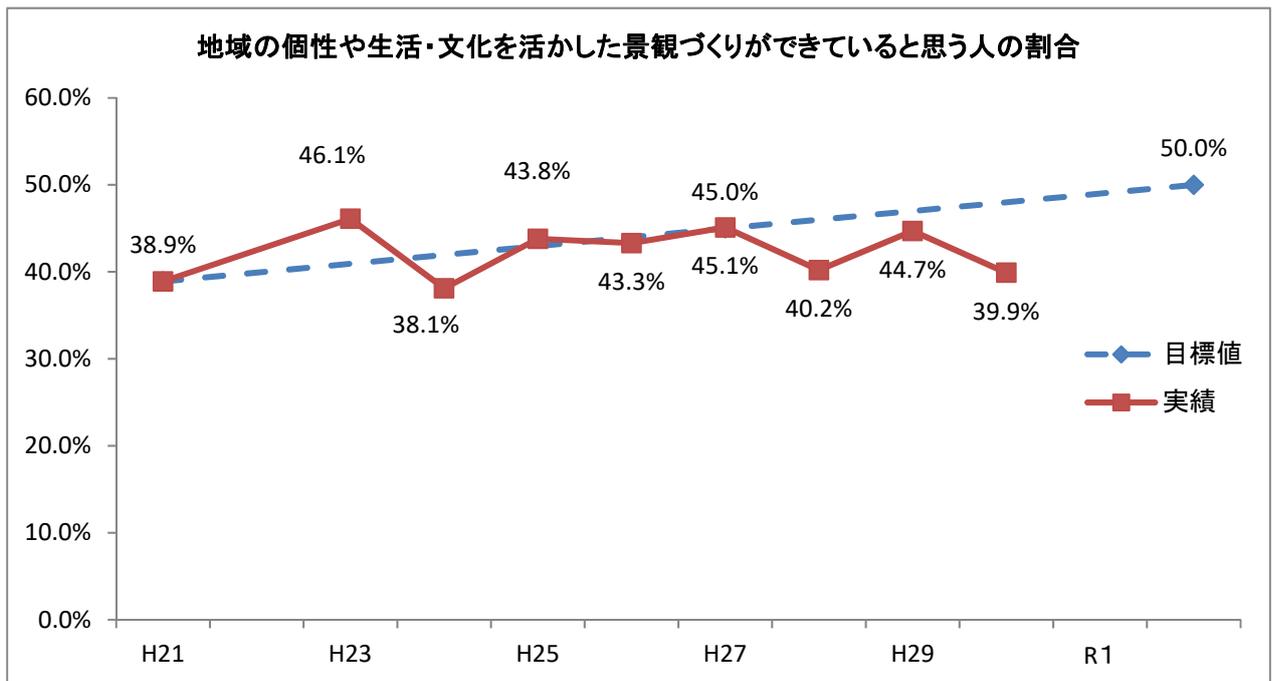
できている
 どちらかというできている
 どちらかというできていない
 できていない
 わからない
 未回答

【基本目標1分野別目標3（分野3）】

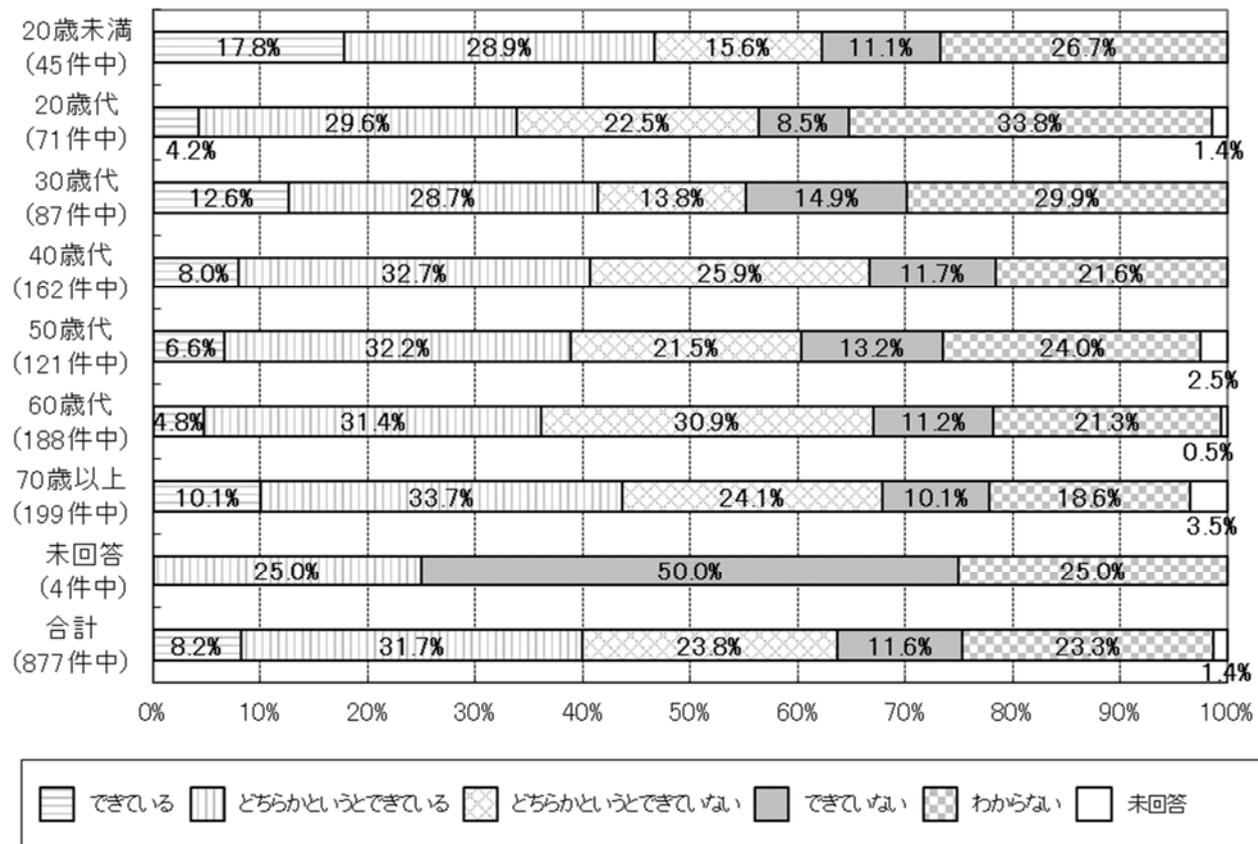
瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【めざそう値：年度別推移】

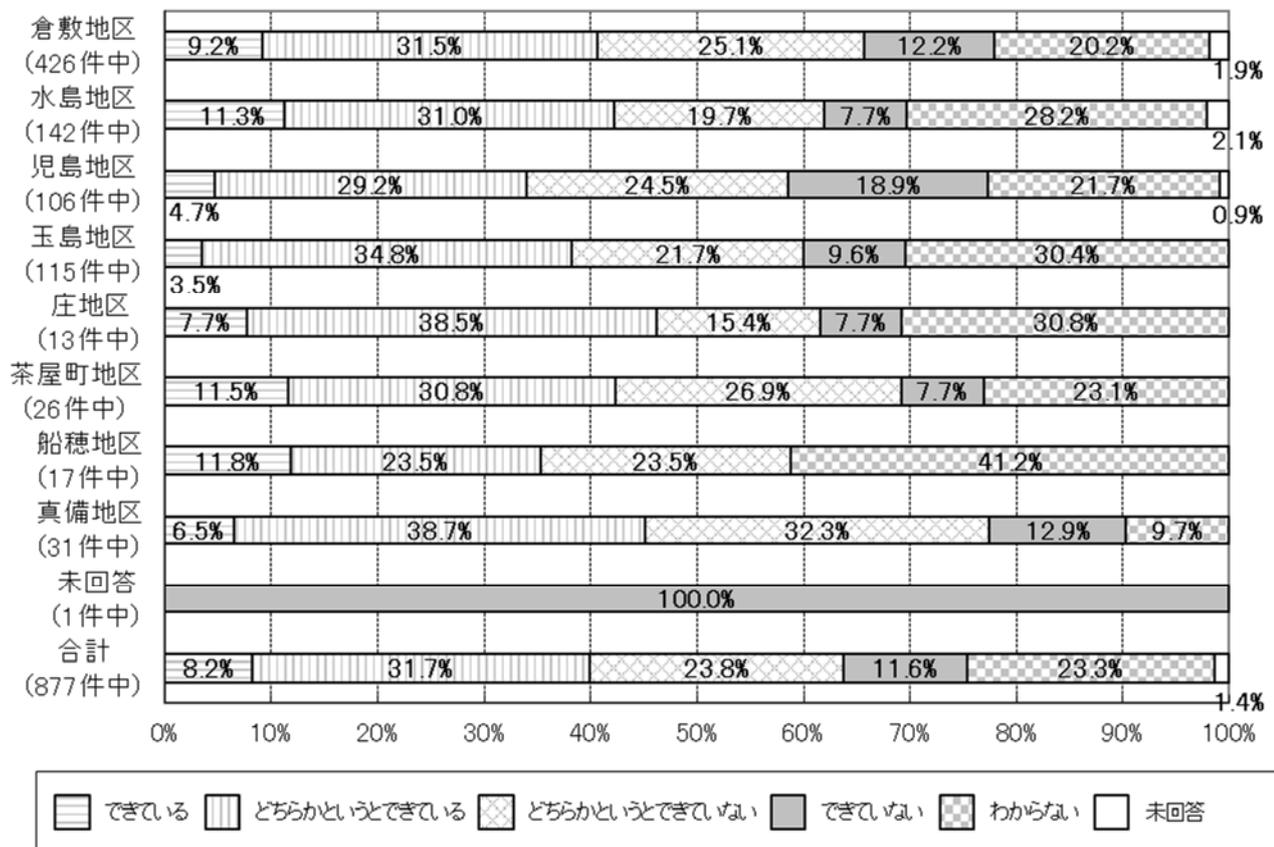
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「できている」+「どちらかというできている」人の割合	38.9%	39.9%(44.7)	45%	50%



【グラフ5: 年齢別・回答構成比率】

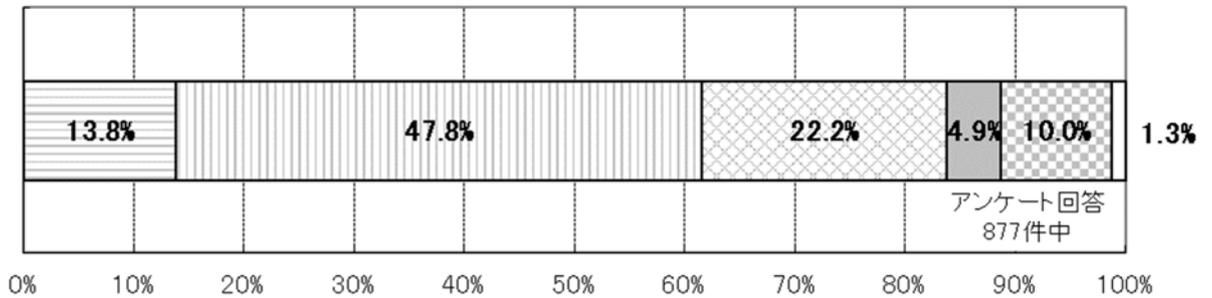


【グラフ5: 地域別・回答構成比率】



《問7》 身近な生活環境の中での眺め（景観）に満足していますか。

【グラフ7：合計・回答構成比率】



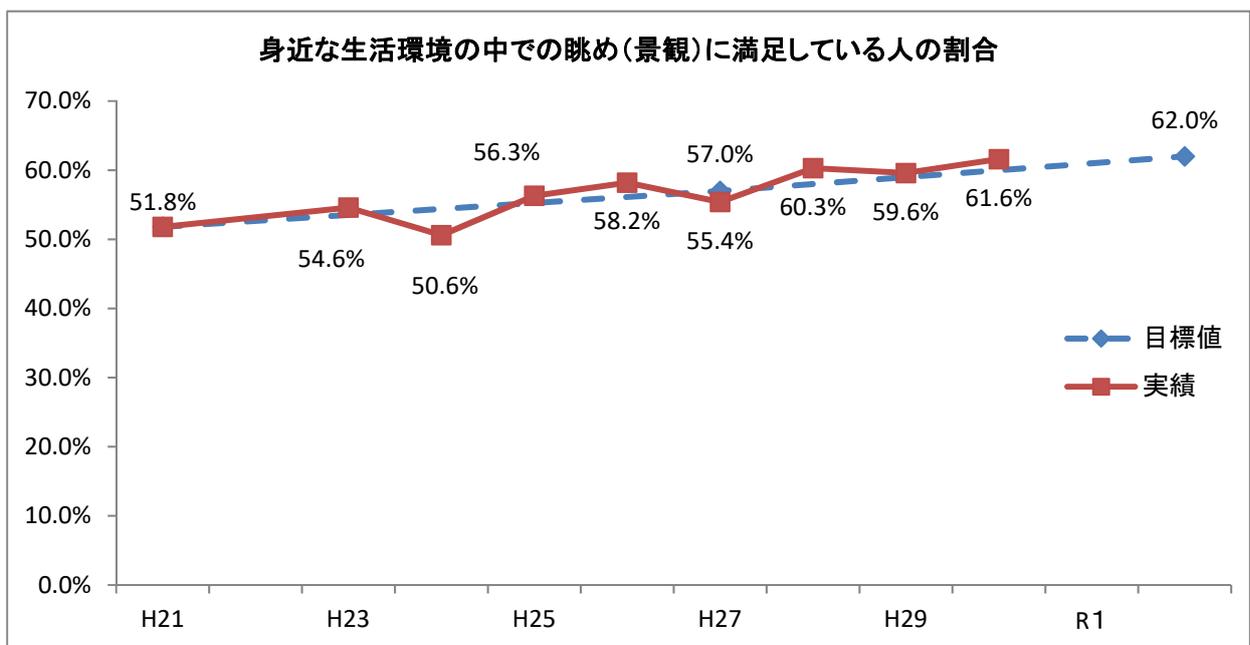
満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

【基本目標1分野別目標3（分野3）】

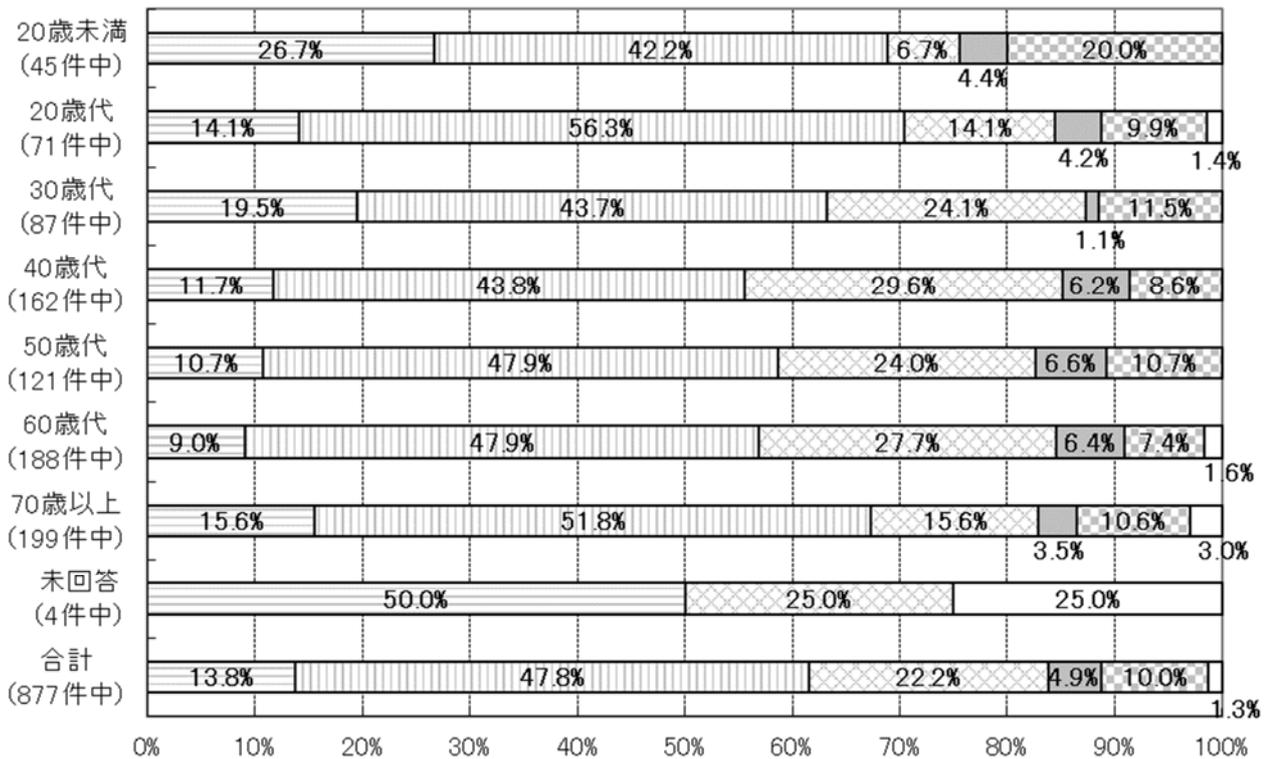
瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「満足」+「どちらかという満足」人の割合	51.8%	61.6%(59.6)	57%	62%

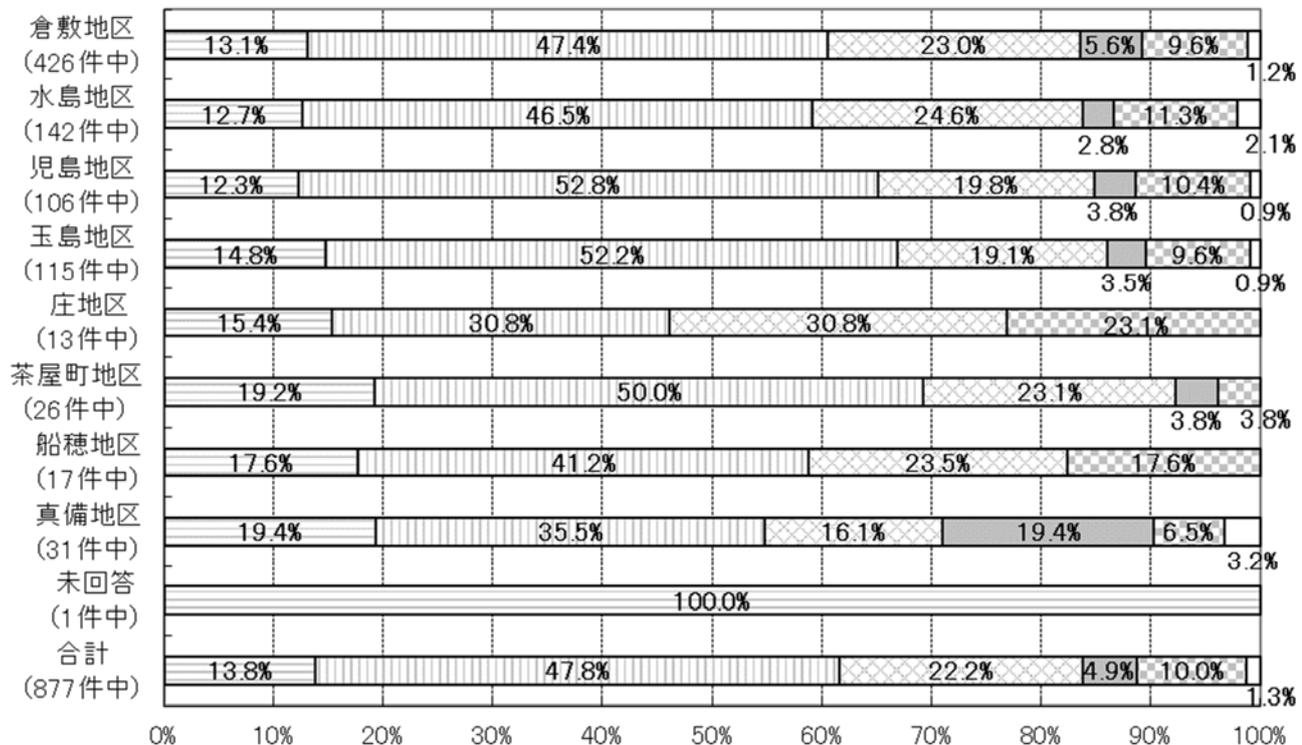


【グラフ7:年齢別・回答構成比率】



満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

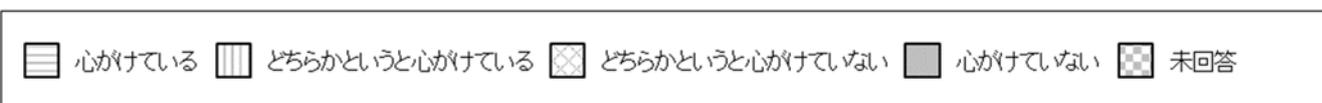
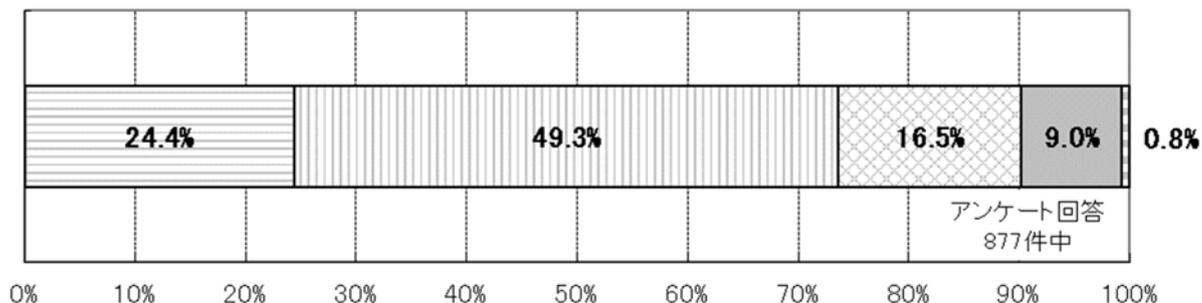
【グラフ7:地域別・回答構成比率】



満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

《問8》 地産地消を心がけていますか。
 ※「地産地消」とは、「地域で生産されたものを地域で消費する」ことを言います。

【グラフ8：合計・回答構成比率】

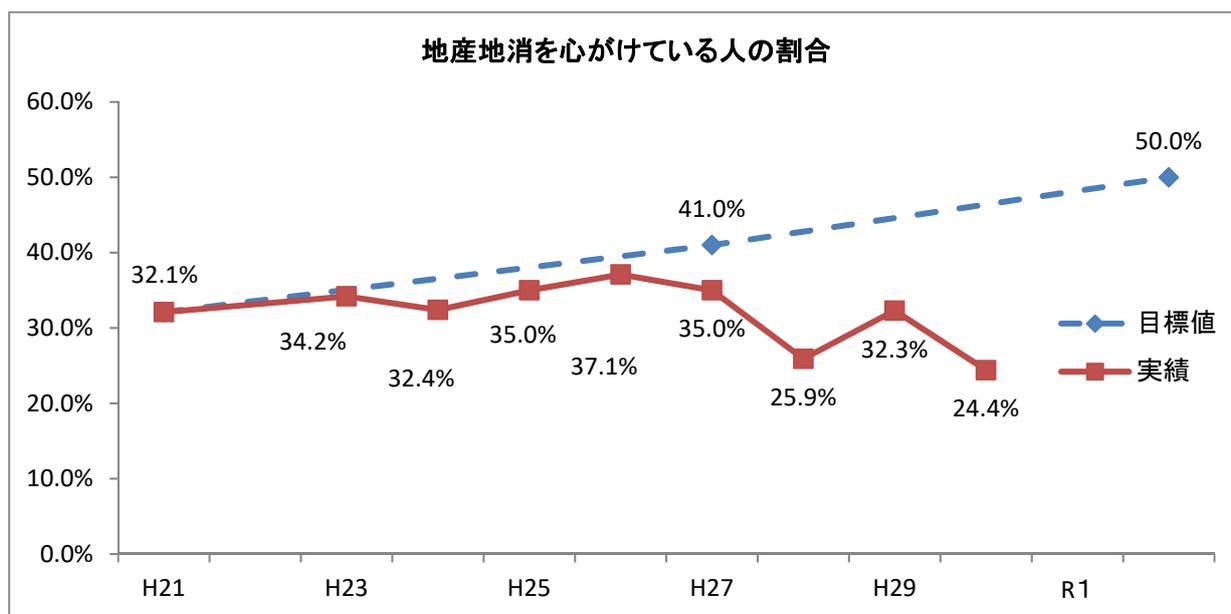


【基本目標1分野別目標4（分野4）】

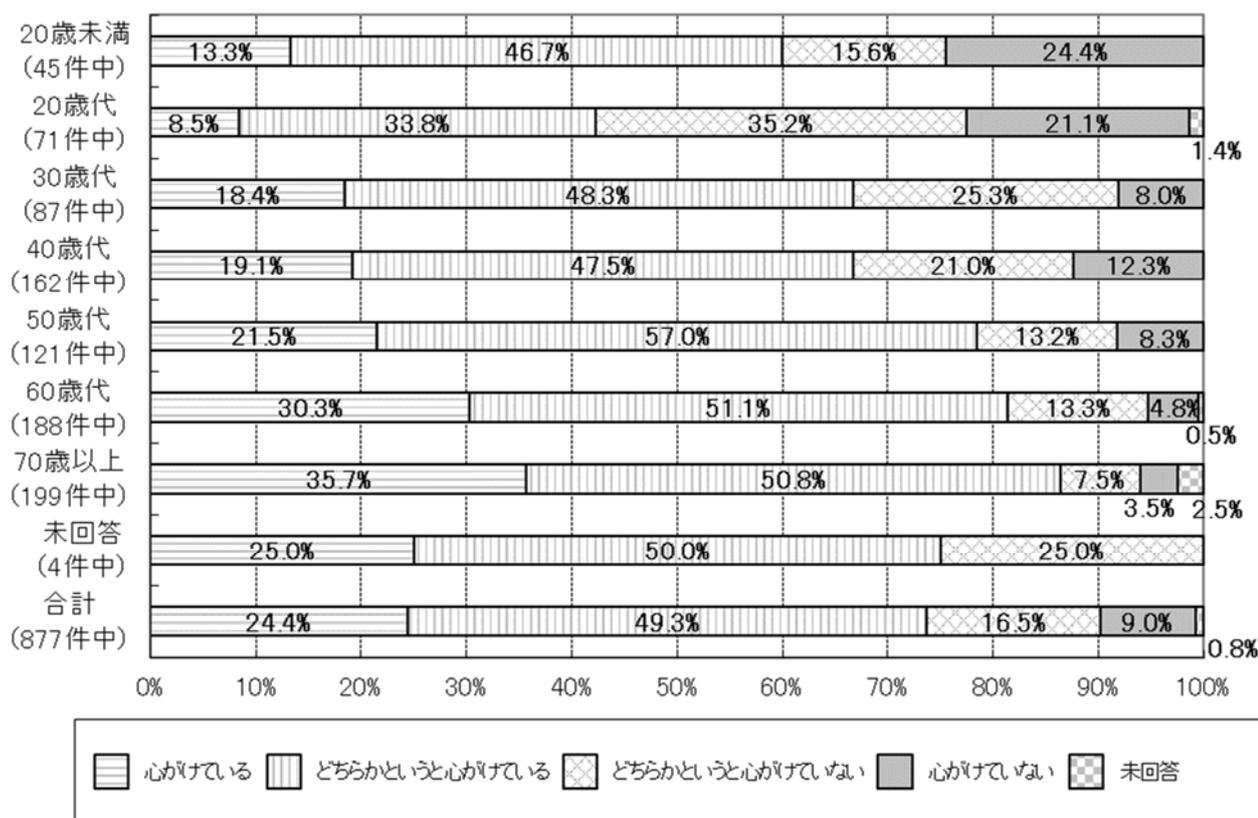
環境と地域の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

【めざそう値：年度別推移】

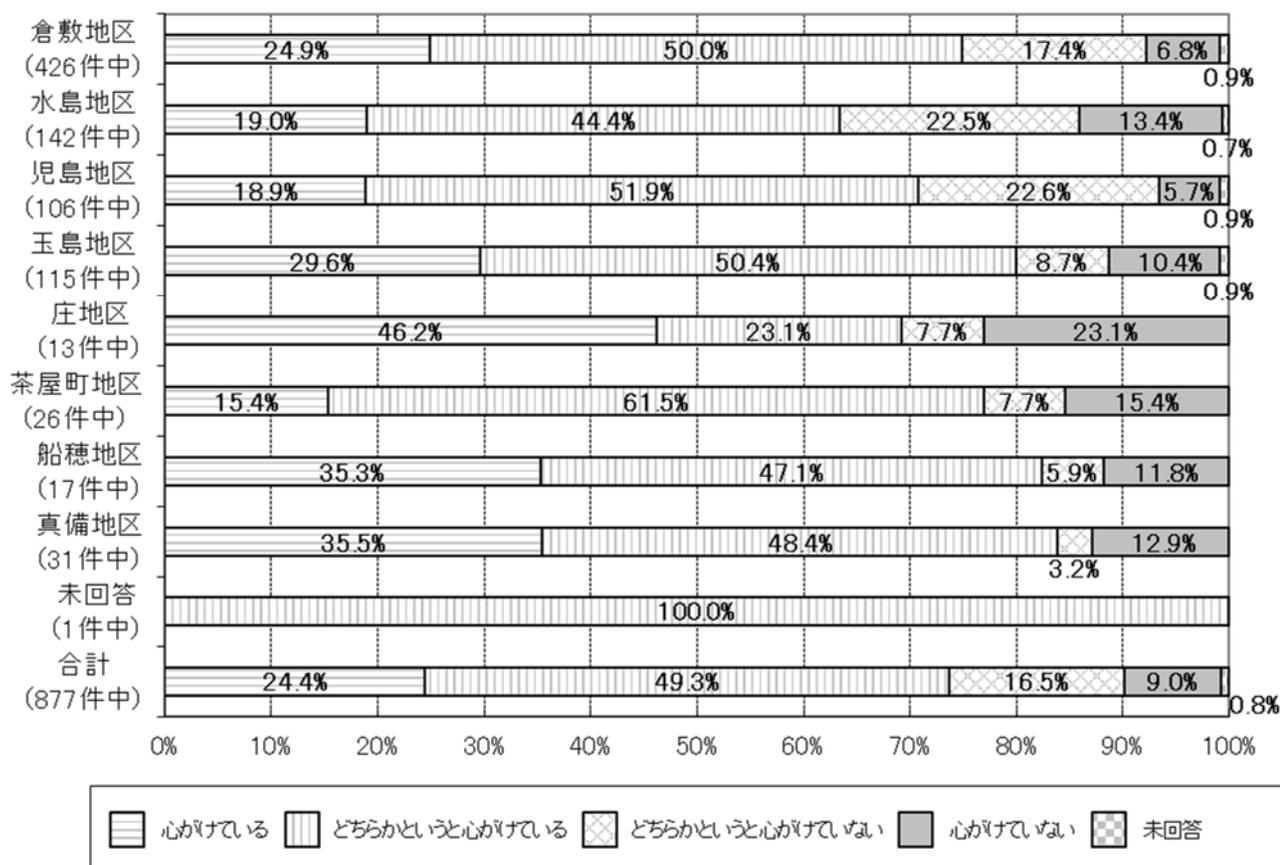
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「心がけている」人の割合	32.1%	24.4%(32.3)	41%	50%



【グラフ8：年齢別・回答構成比率】

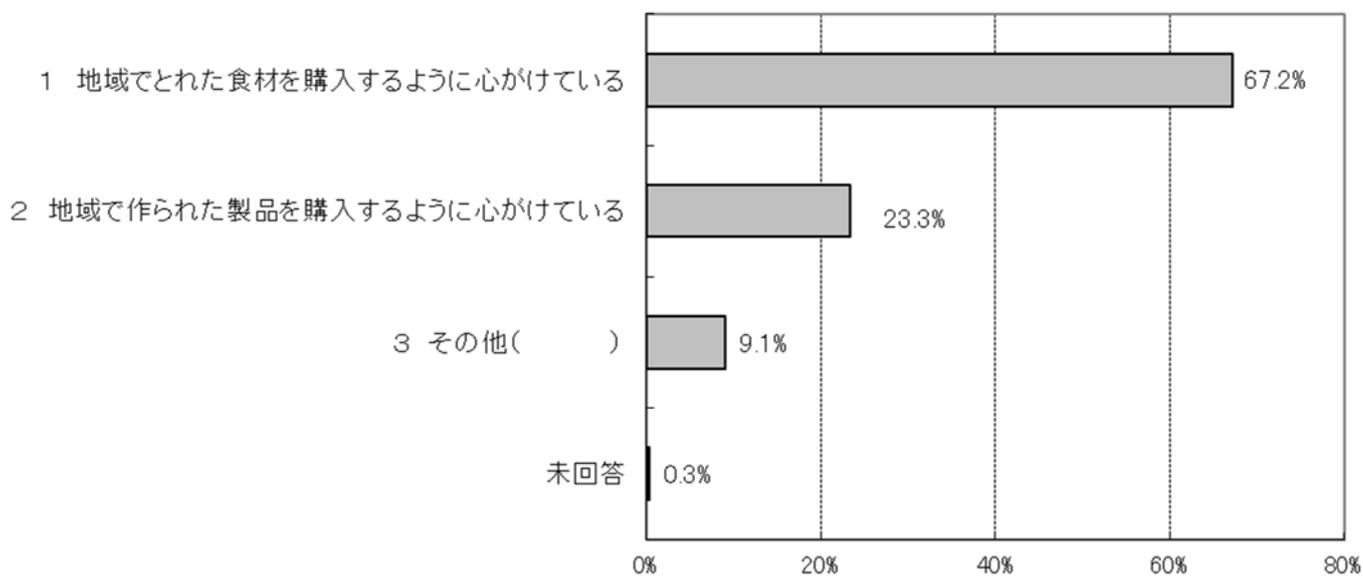


【グラフ8：地域別・回答構成比率】



《問8-1》問8で「1. 心がけている」と答えた方におたずねします。
 どのようなことに心がけていますか。(複数回答可)

【グラフ8-1：回答構成比率】



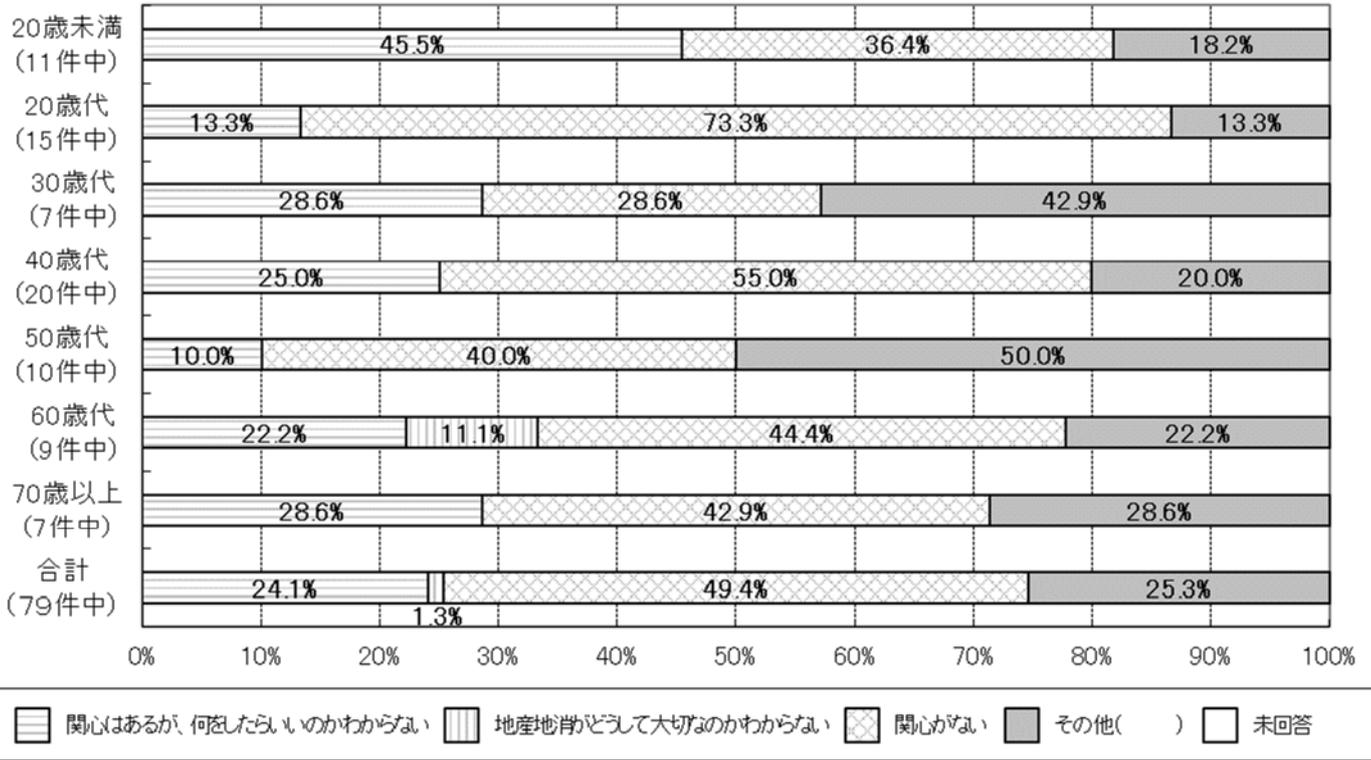
※その他（カッコ内回答） 要約

	内容
1	自宅で育てた野菜を食べている
2	自宅で育てた野菜を親類、知人に配っている
3	近所の直売所で野菜を購入している

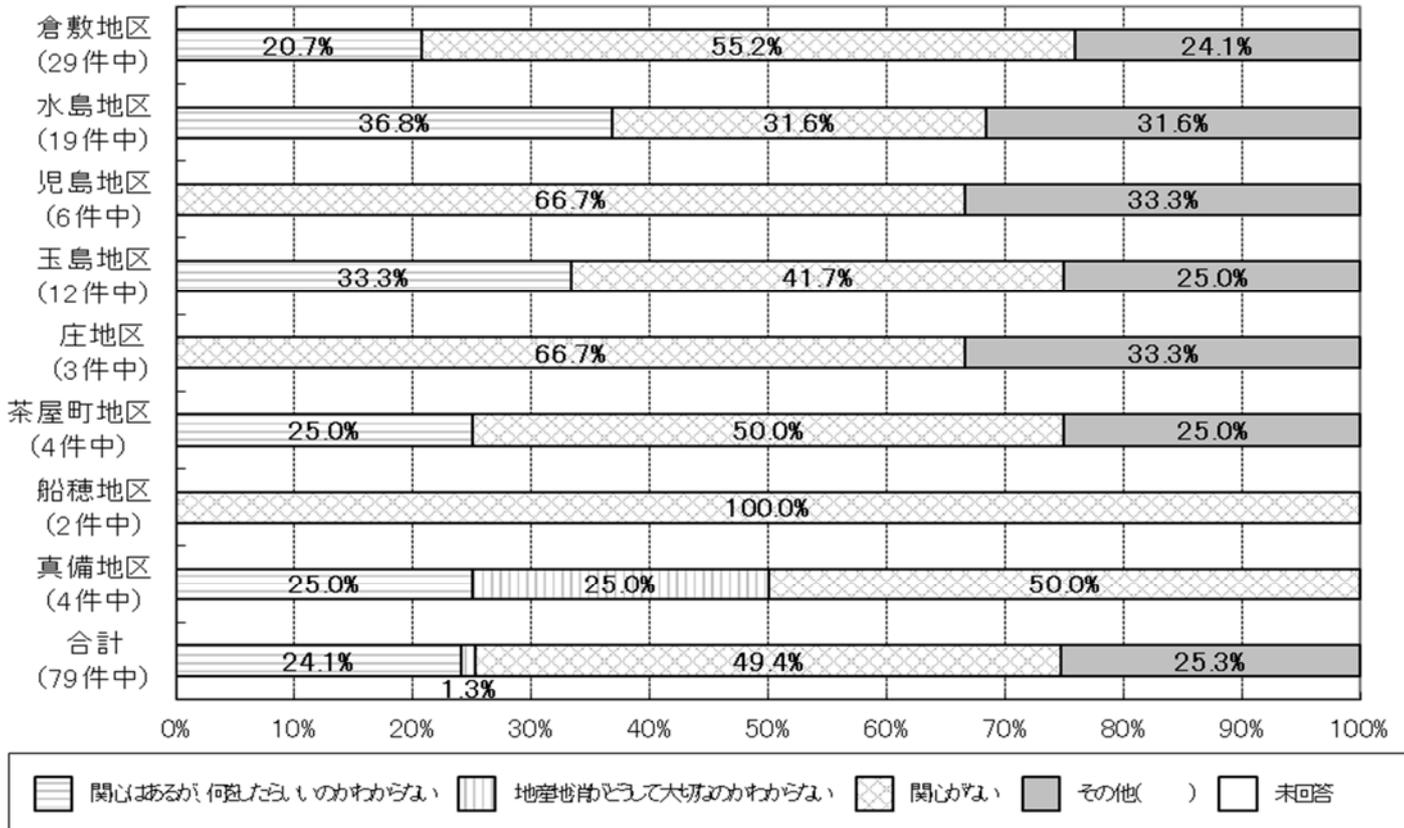
問8で「1. 心がけている」と答えた人は、214人でした。

《問8-2》問8で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。
「心がけていない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ8-2:年齢別・回答構成比率】



【グラフ8-2:地域別・回答構成比率】



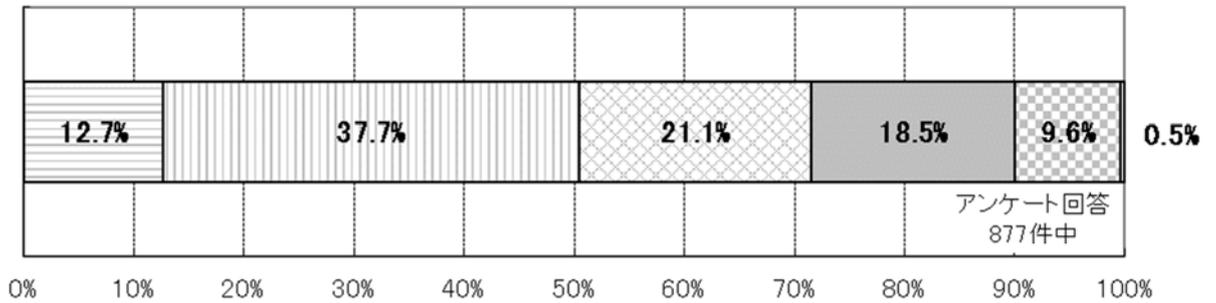
《問8-2》問8で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。
「心がけていない」理由がありましたら、教えてください。

※その他（カッコ内回答） 要約

	内容
1	値段が安いものを優先して購入してしまう
2	それぞれの食材に対して一番美味しい産地を購入するように決めている
3	意識していない
4	地産地消の必要性がわからない

《問9》 身近な空気がきれいに保たれていると感じていますか。

【グラフ9：合計・回答構成比率】



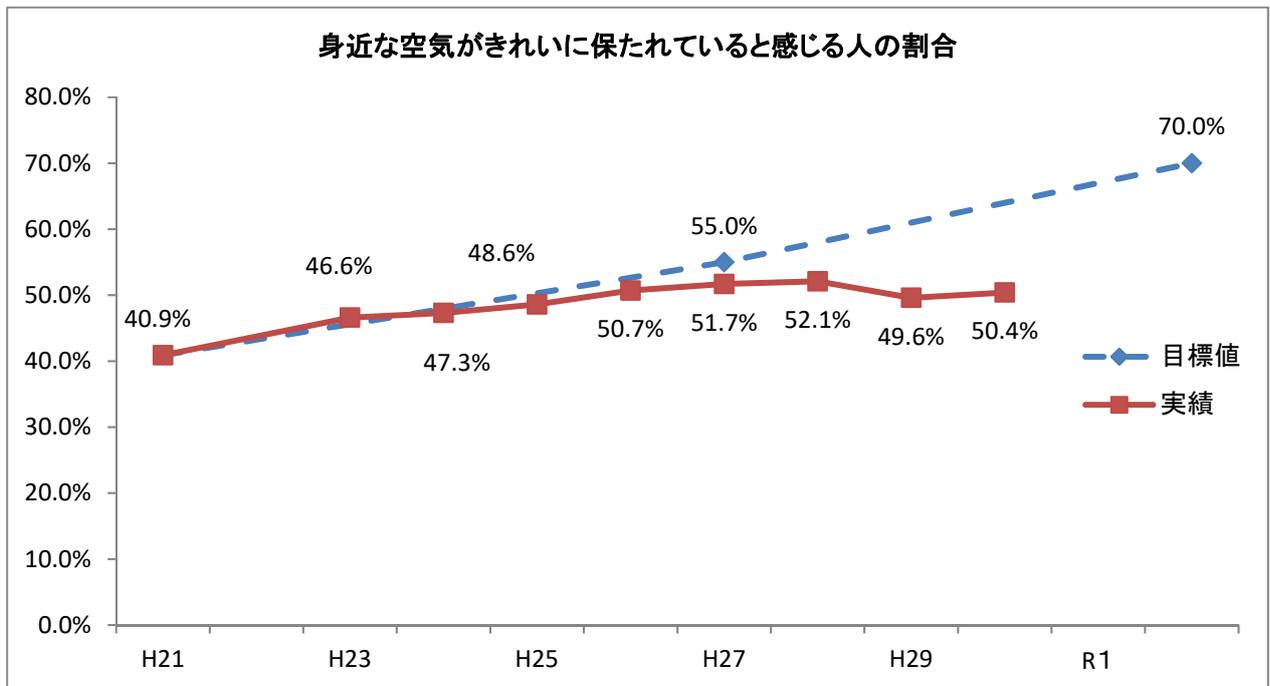
感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

【基本目標2分野別目標2（分野6）】

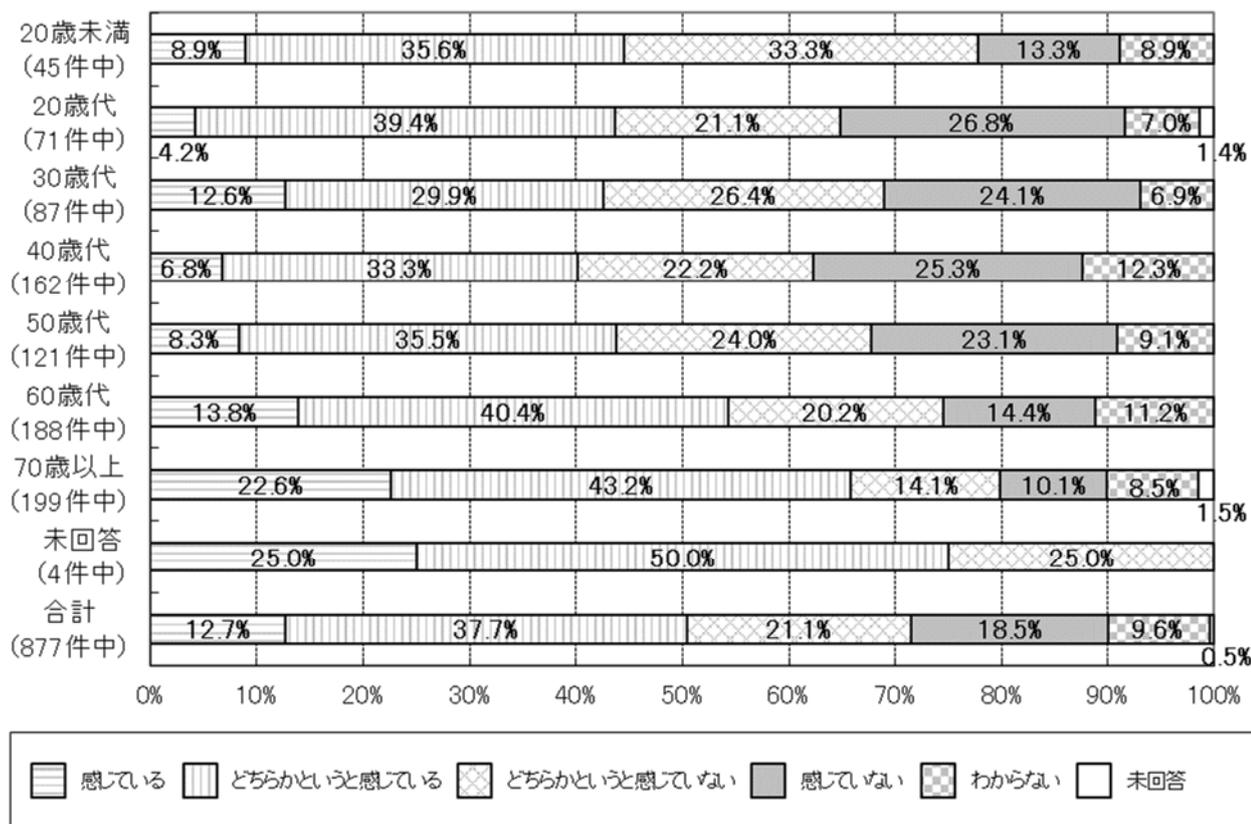
クリーンな大気環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

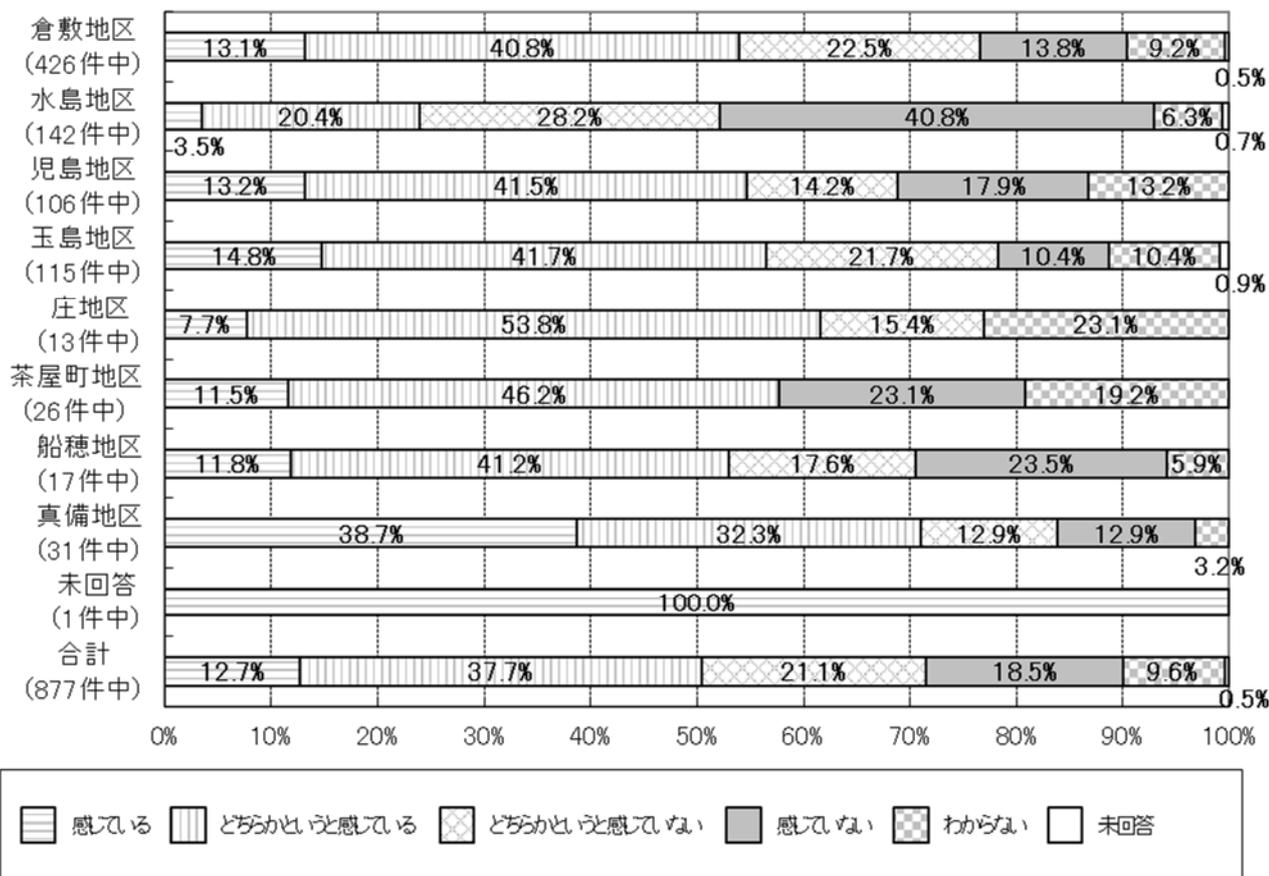
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「感じている」+「どちらかというと感じている」人の割合	40.9%	50.4%(49.6)	55%	70%



【グラフ9：年齢別・回答構成比率】

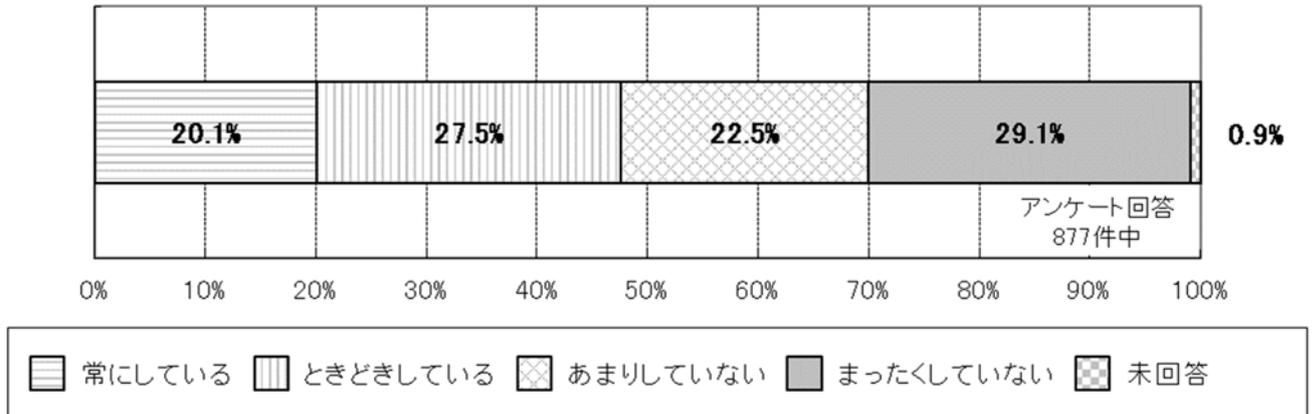


【グラフ9：地域別・回答構成比率】



《問10》 通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩や公共交通機関を利用していますか。
 ※車の使用を控えることで、CO₂削減による地球温暖化防止や排気ガス削減による大気汚染の防止につながります。

【グラフ10：合計・回答構成比率】

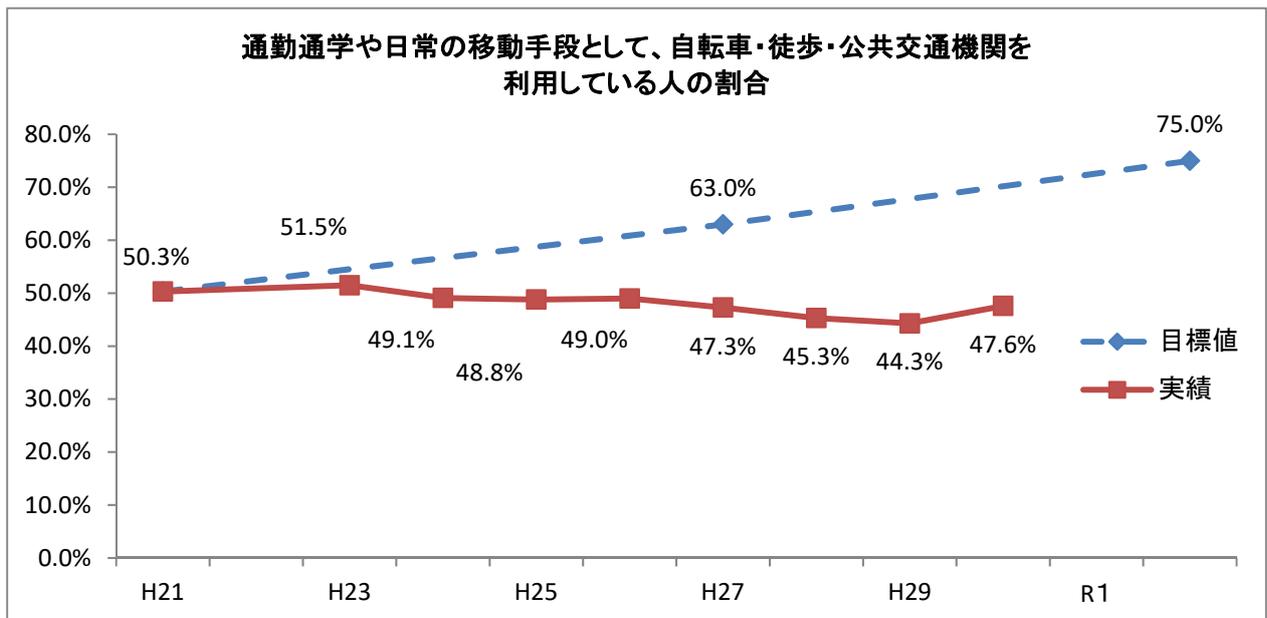


【基本目標2分野別目標2（分野6）】

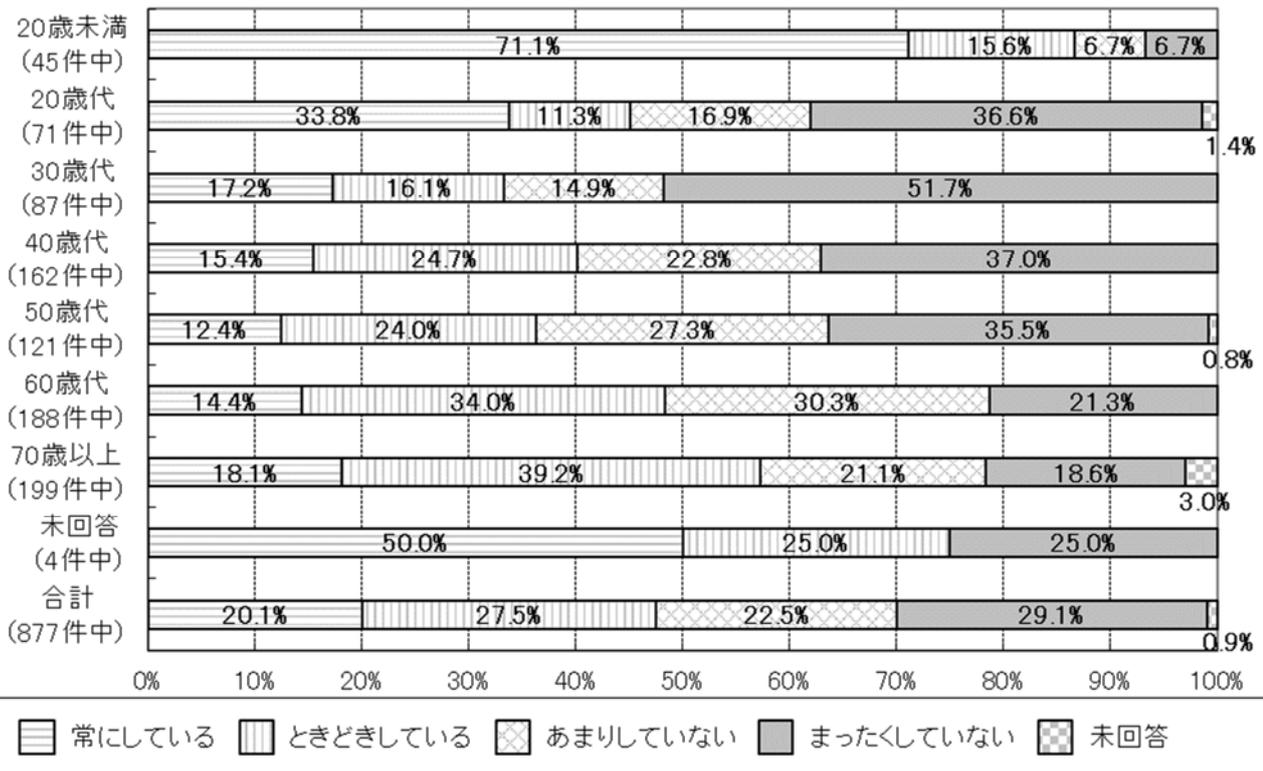
クリーンな大気環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

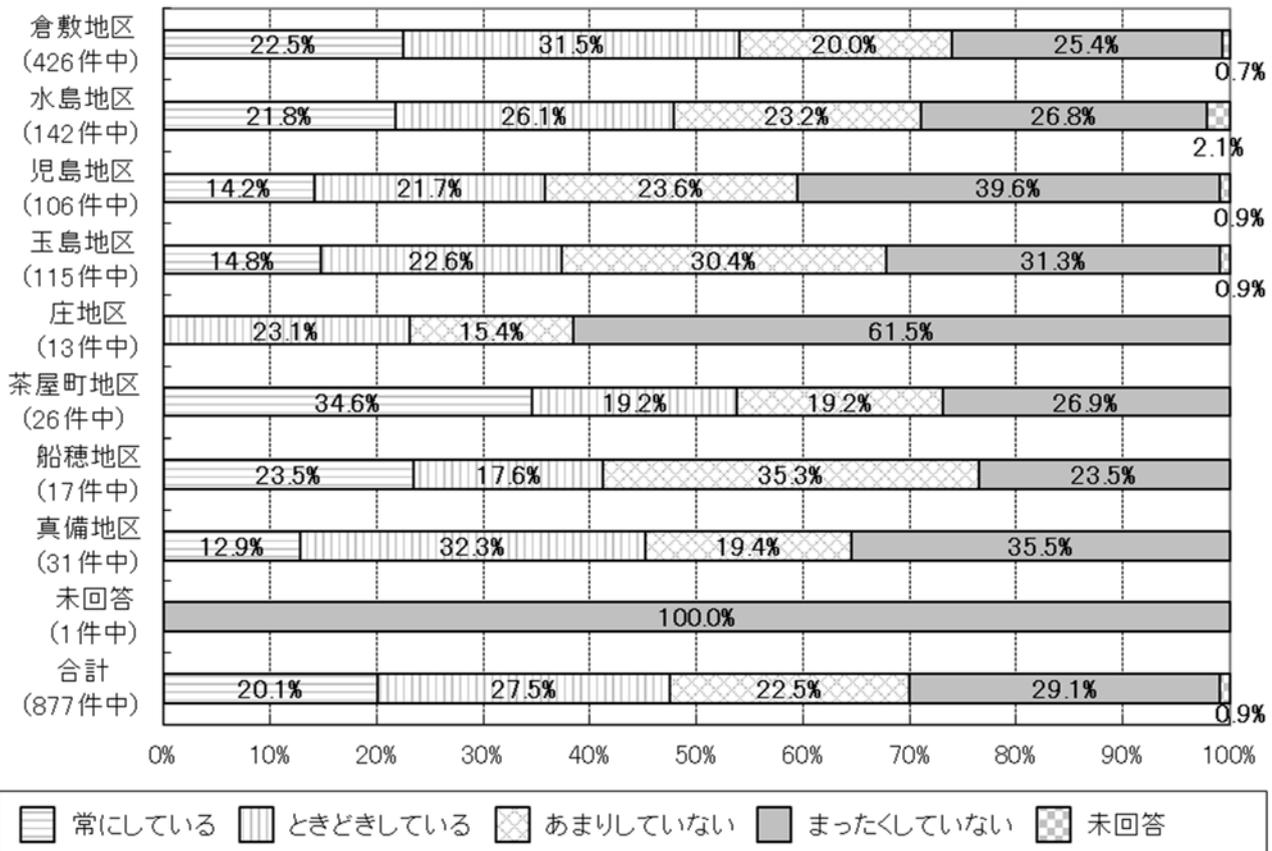
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「常に行っている」+「ときどきしている」人の割合	50.3%	47.6%(44.3)	63%	75%



【グラフ10:年齢別・回答構成比率】

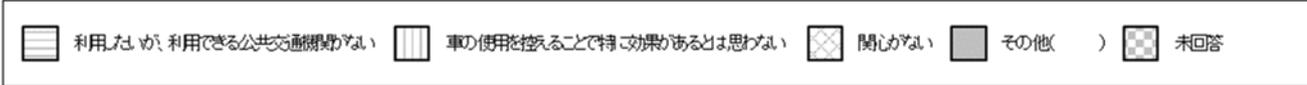
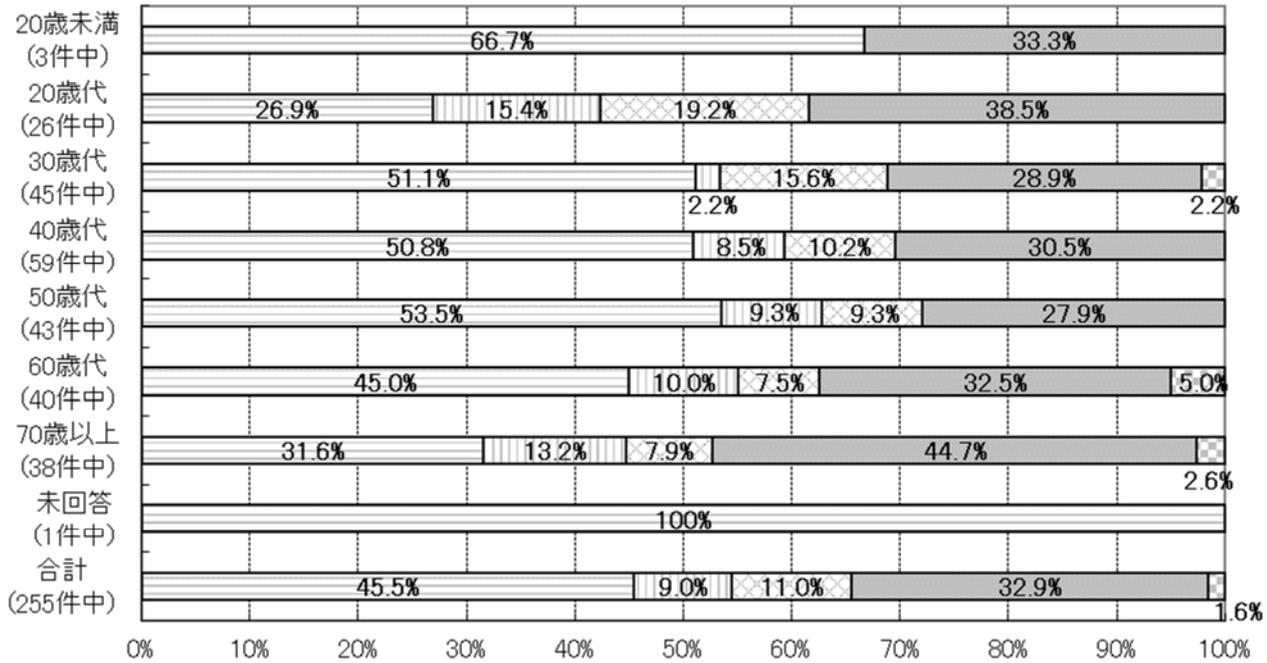


【グラフ10:地域別・回答構成比率】

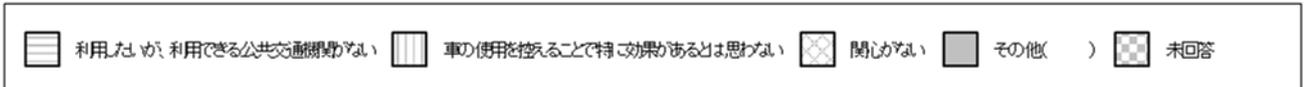
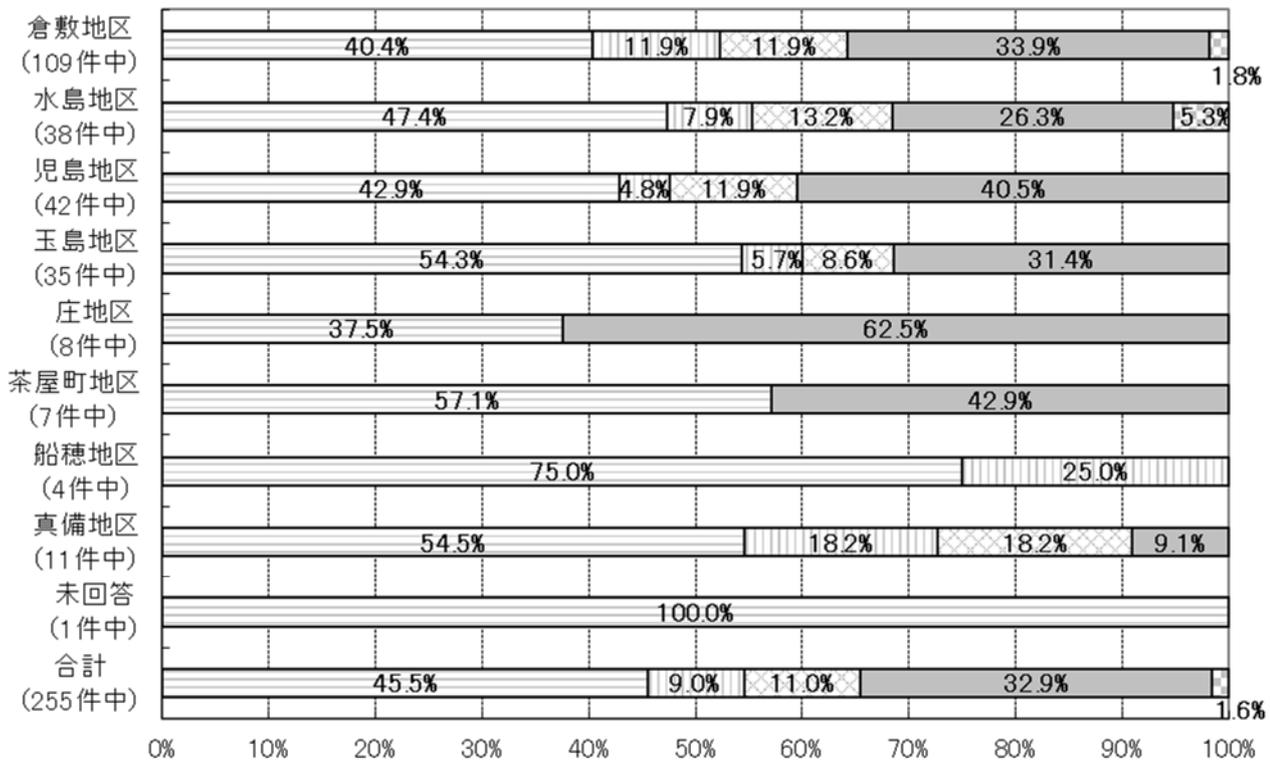


《問10-1》問10で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
「まったくしていない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ10-1:年齢別・回答構成比率】



【グラフ10-1:地域別・回答構成比率】



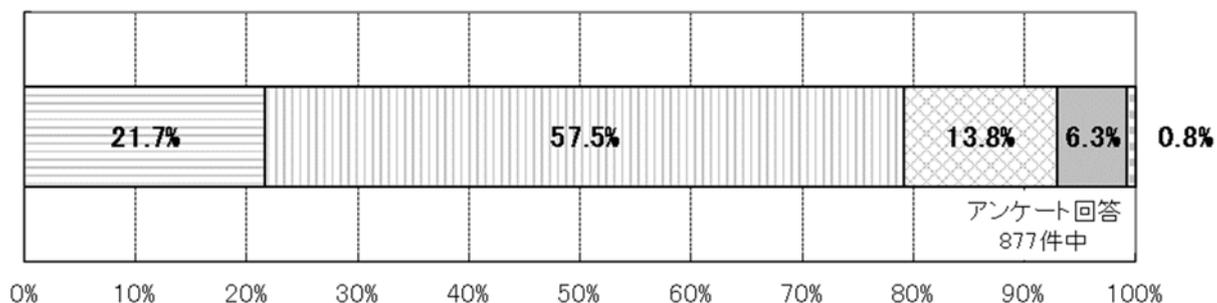
《問10-1》問10で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
「まったくしていない」理由がありましたら、教えてください。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	身体的な理由(体調不良、身体が不自由、体力がない、高齢である)
2	仕事の都合(仕事で車を使用する)
3	子どもの都合(保育園や習い事の送迎等)
4	公共交通機関の時間が合わない
5	自家用車の方が便利で、時間効率も良い
6	地理的な理由(自宅が山の上にある、自宅近くにバス停や駅がない)
7	自家用車に乗ることが日常生活の一部になっている

《問 1 1》 日頃の生活の中で、水環境の改善（水や水辺を汚さない、きれいにする）を意識して行動していますか。

【グラフ 1 1 : 合計・回答構成比率】

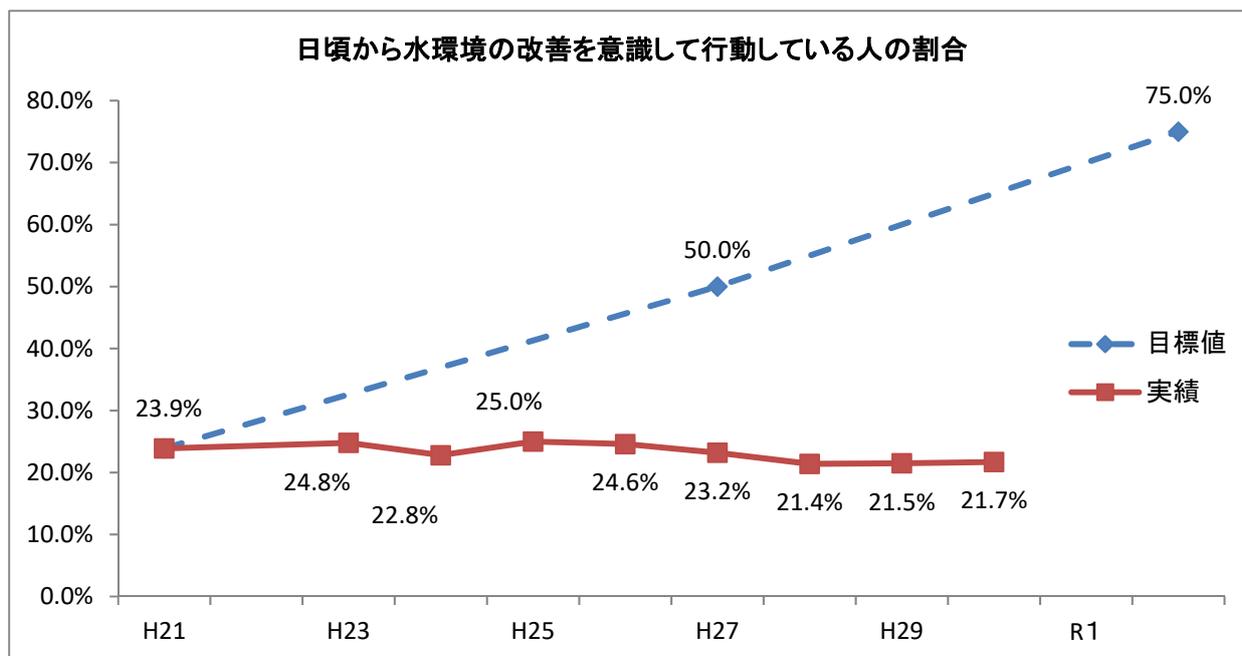


【基本目標 2 分野別目標 1（分野 5）】

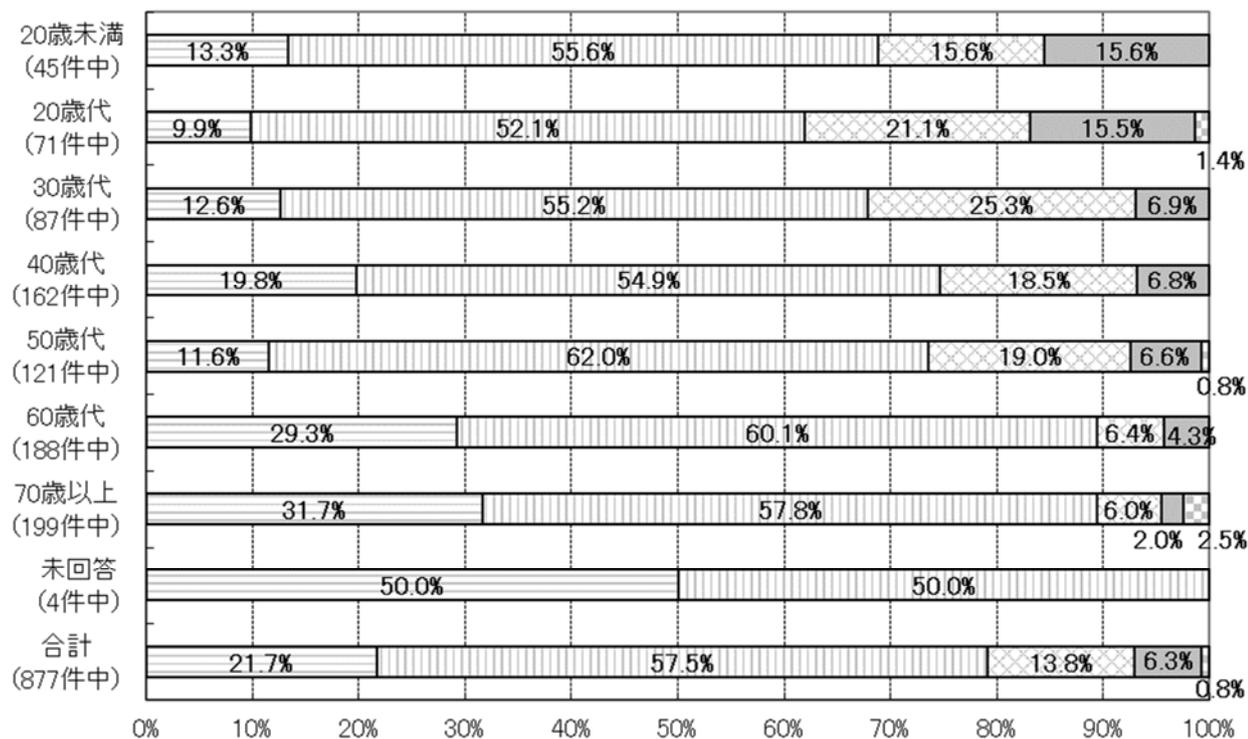
良好な水環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「いつもしている」人の割合	23.9%	21.7%(21.5)	50%	75%



【グラフ11：年齢別・回答構成比率】



いつもしている

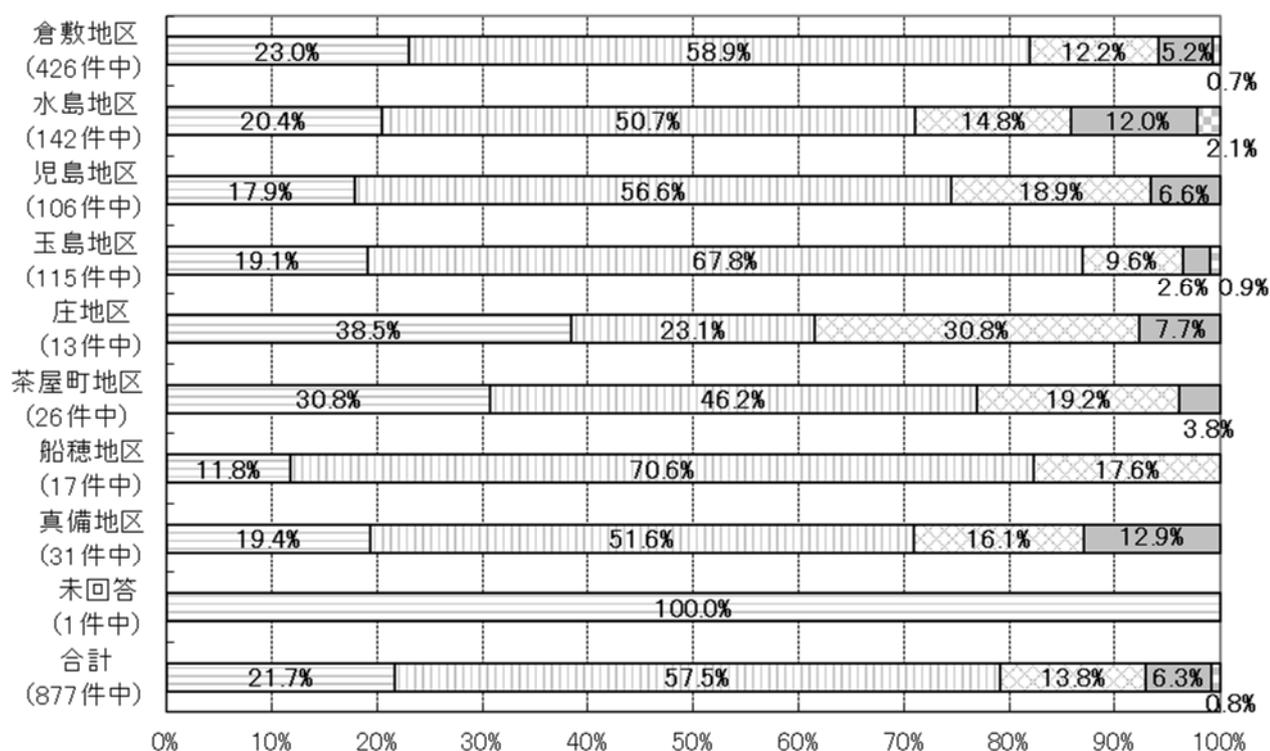
 どちらかというとしている

 どちらかというとしていない

 していない

 未回答

【グラフ11：地域別・回答構成比率】



いつもしている

 どちらかというとしている

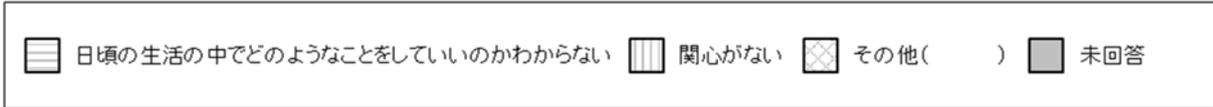
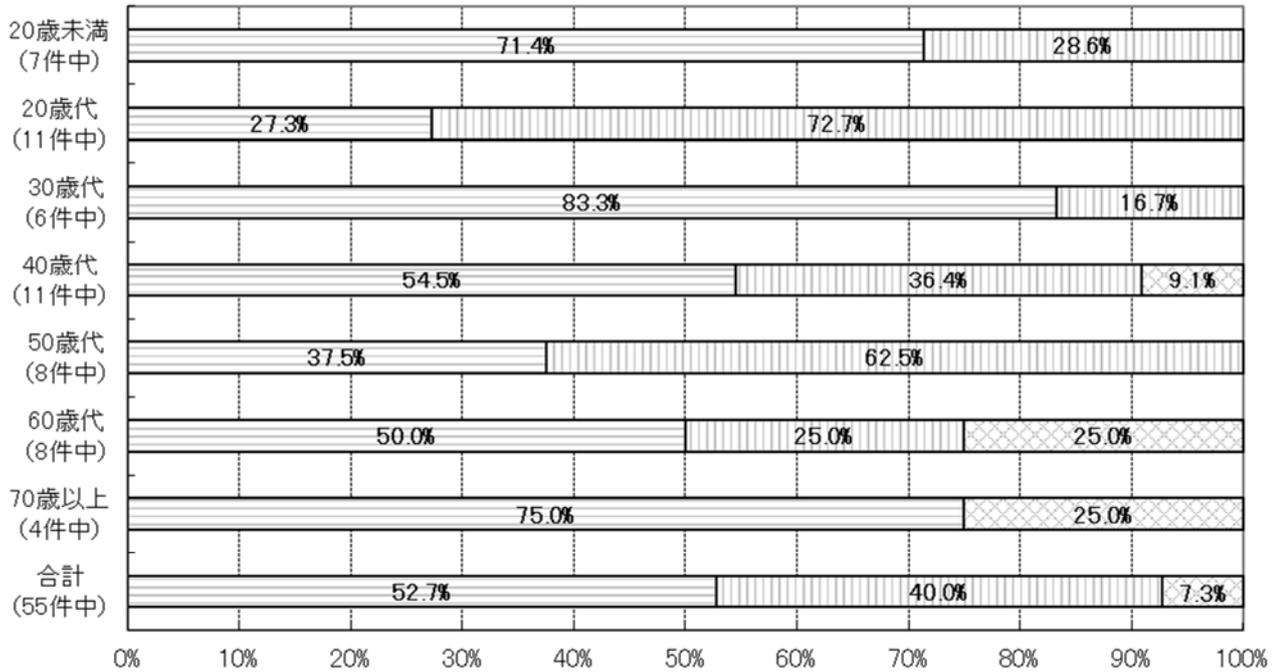
 どちらかというとしていない

 していない

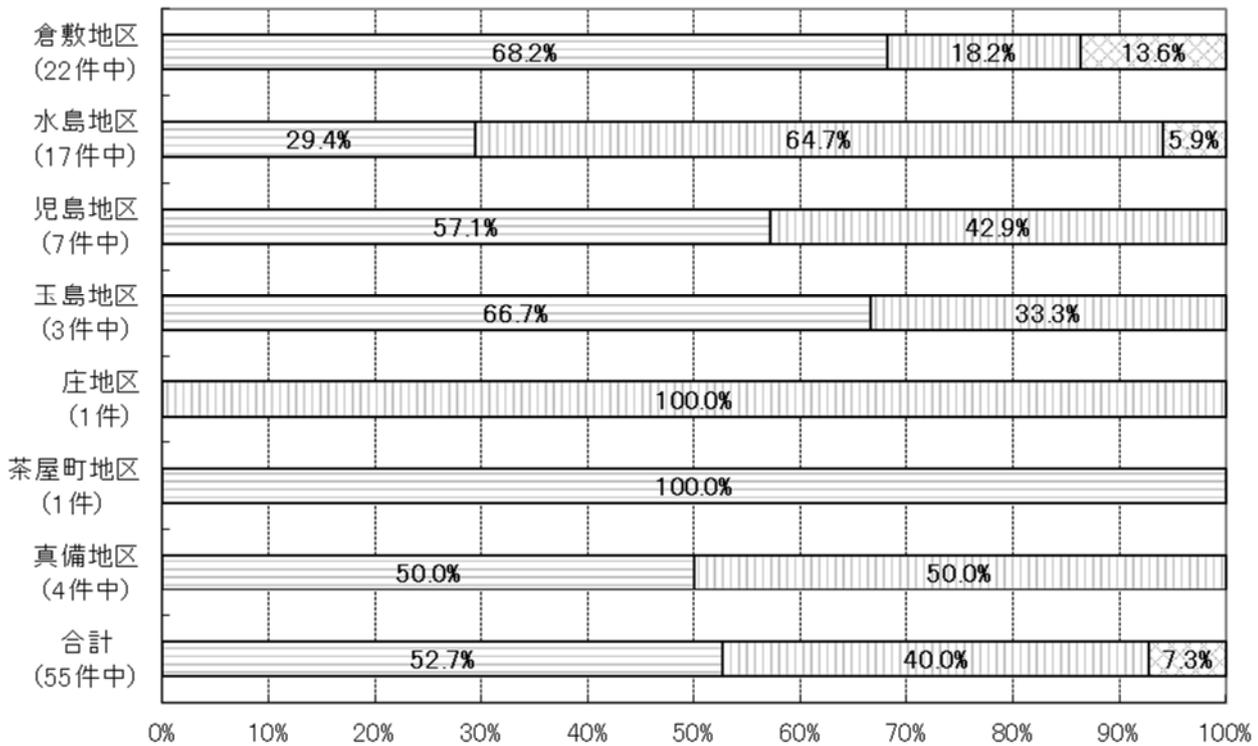
 未回答

《問11-1》問11で「4. していない」と答えた方におたずねします。
「していない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ11-1:年齢別・回答構成比率】



【グラフ11-1:地域別・回答構成比率】



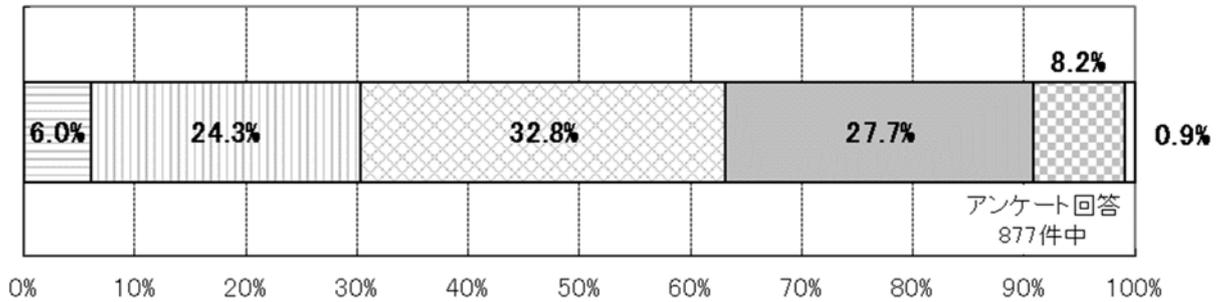
《問11-1》問11で「4. していない」と答えた方におたずねします。
「していない」理由がありましたら、教えてください。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	近くに水辺がない
2	身体的な理由(身体が不自由)
3	仕事場(工場)で汚水を垂れ流している

《問12》 身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じていますか。

【グラフ12：合計・回答構成比率】



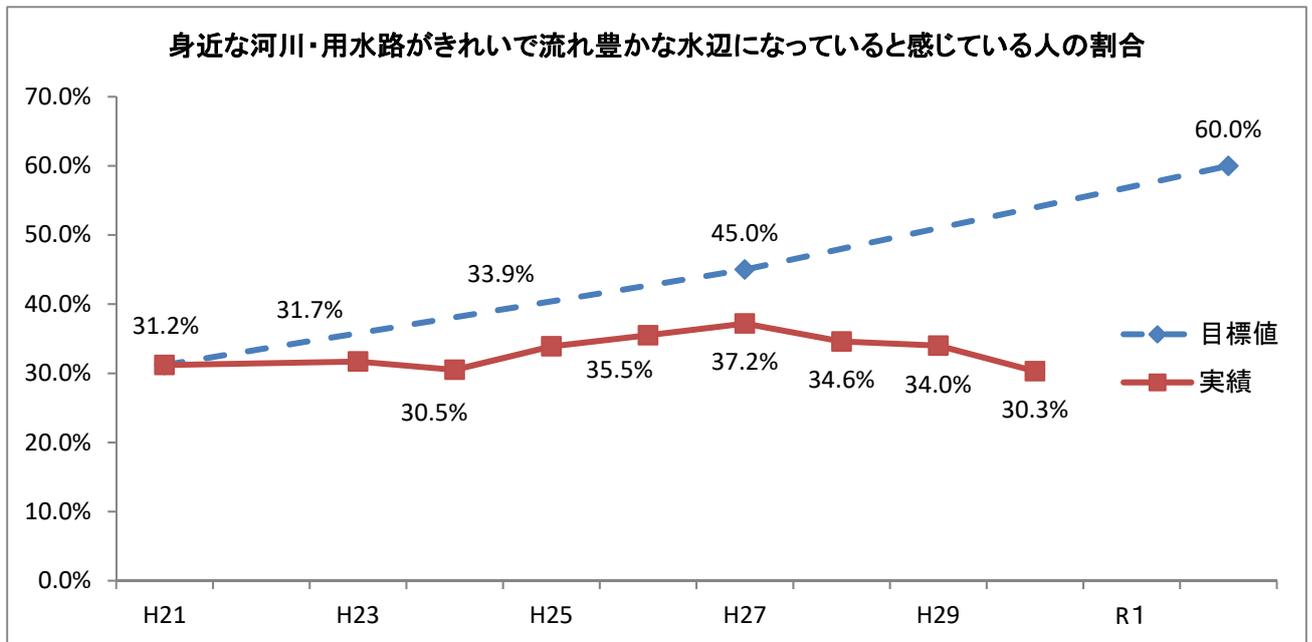
感じている
 どちらかとうと感じている
 どちらかとうと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

【基本目標2分野別目標1（分野5）】

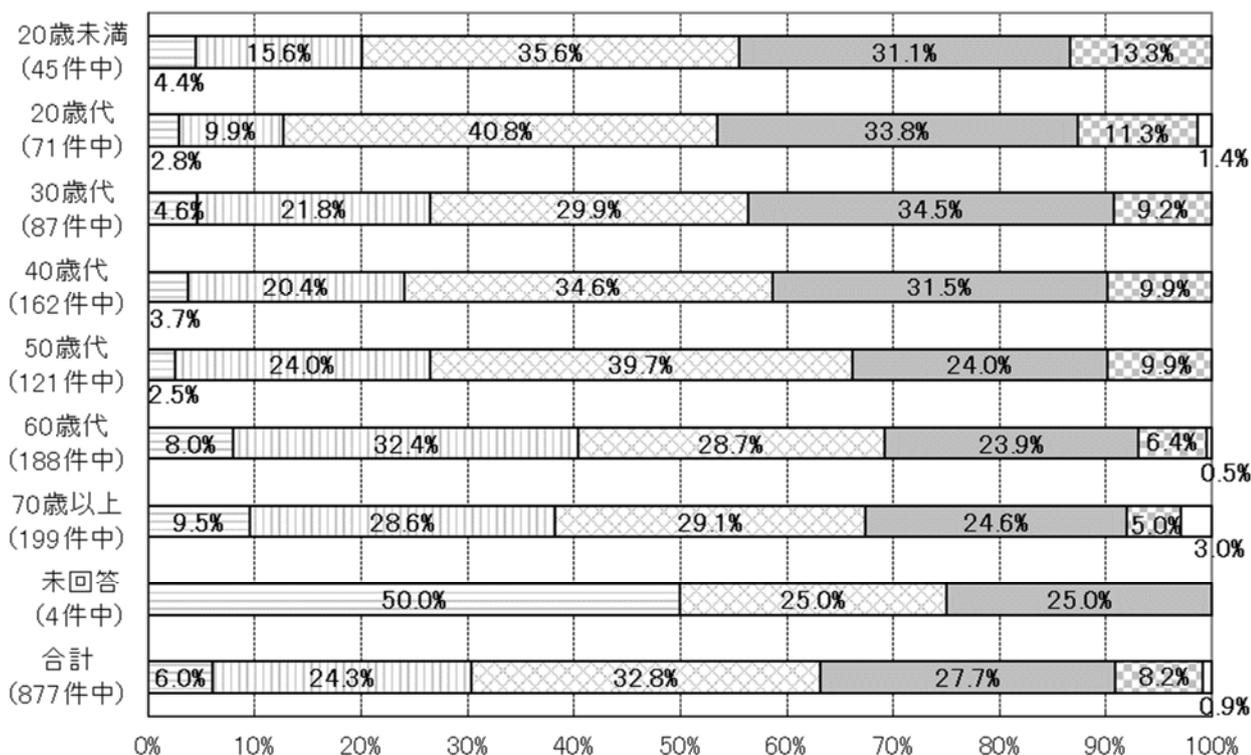
良好な水環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「感じている」+「どちらかとうと感じている」人の割合	31.2%	30.3%(34.0)	45%	60%

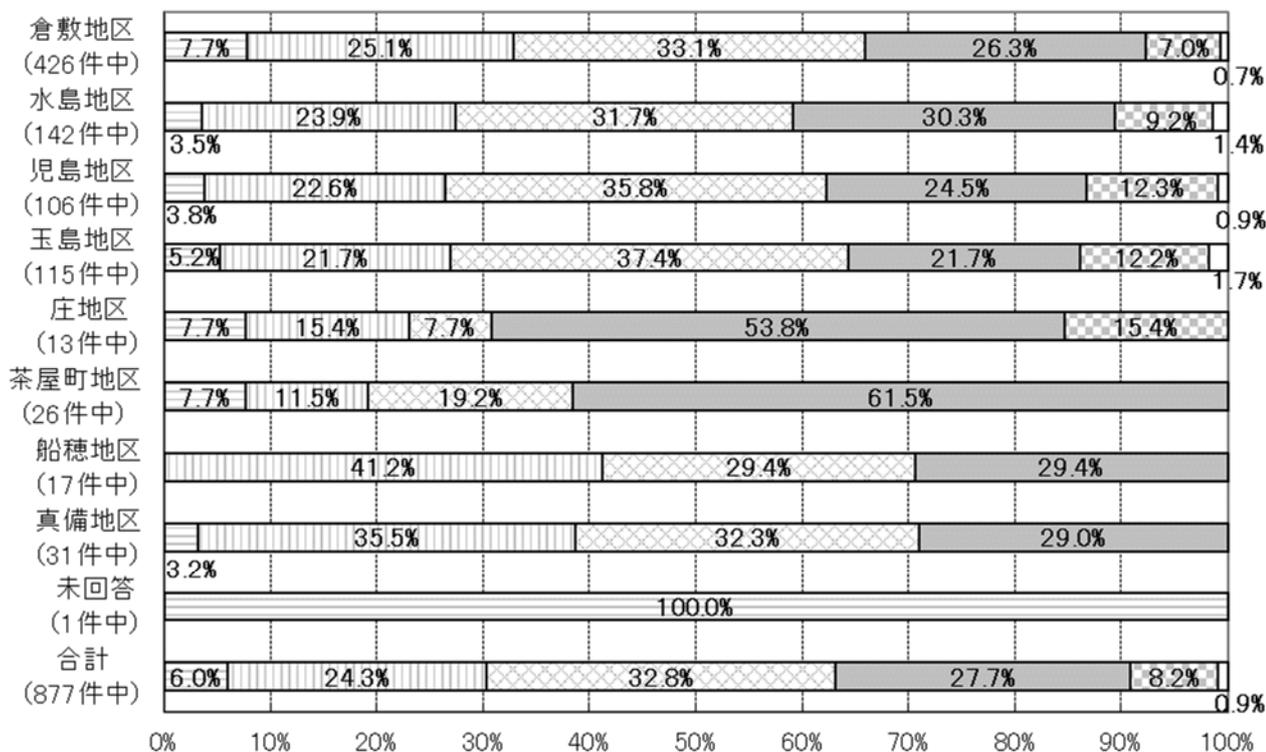


【グラフ12:年齢別・回答構成比率】



感じる
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じてない
 感じてない
 わからない
 未回答

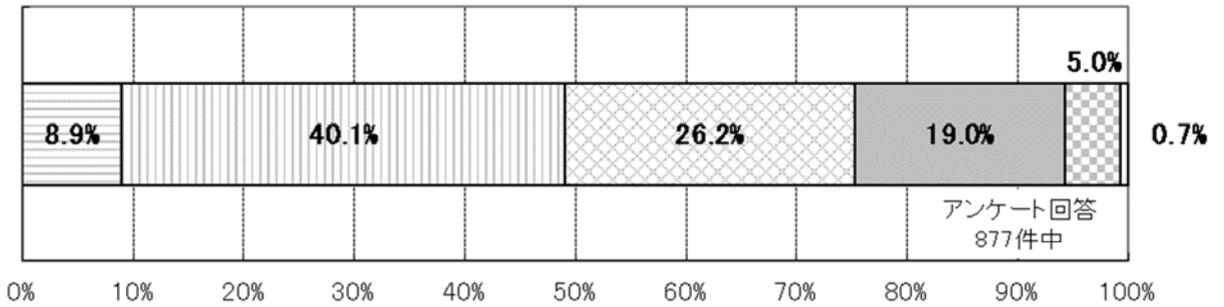
【グラフ12:地域別・回答構成比率】



感じる
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じてない
 感じてない
 わからない
 未回答

《問13》 ごみが無く、まちがきれいに清掃されていると感じていますか。

【グラフ13：合計・回答構成比率】



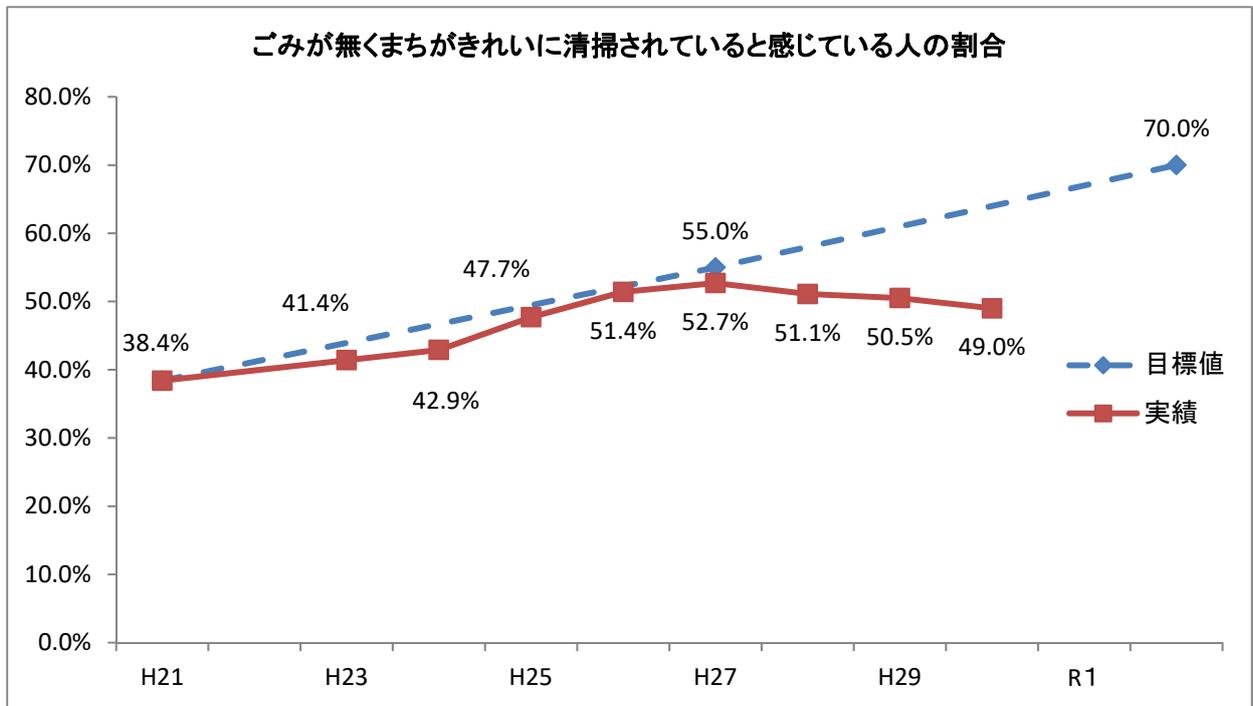
感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わかづらい
 未回答

【基本目標2分野別目標3（分野7）】

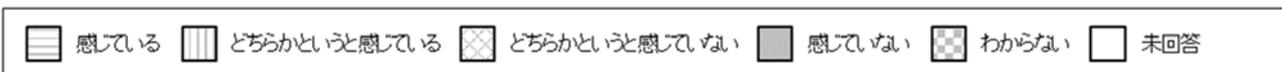
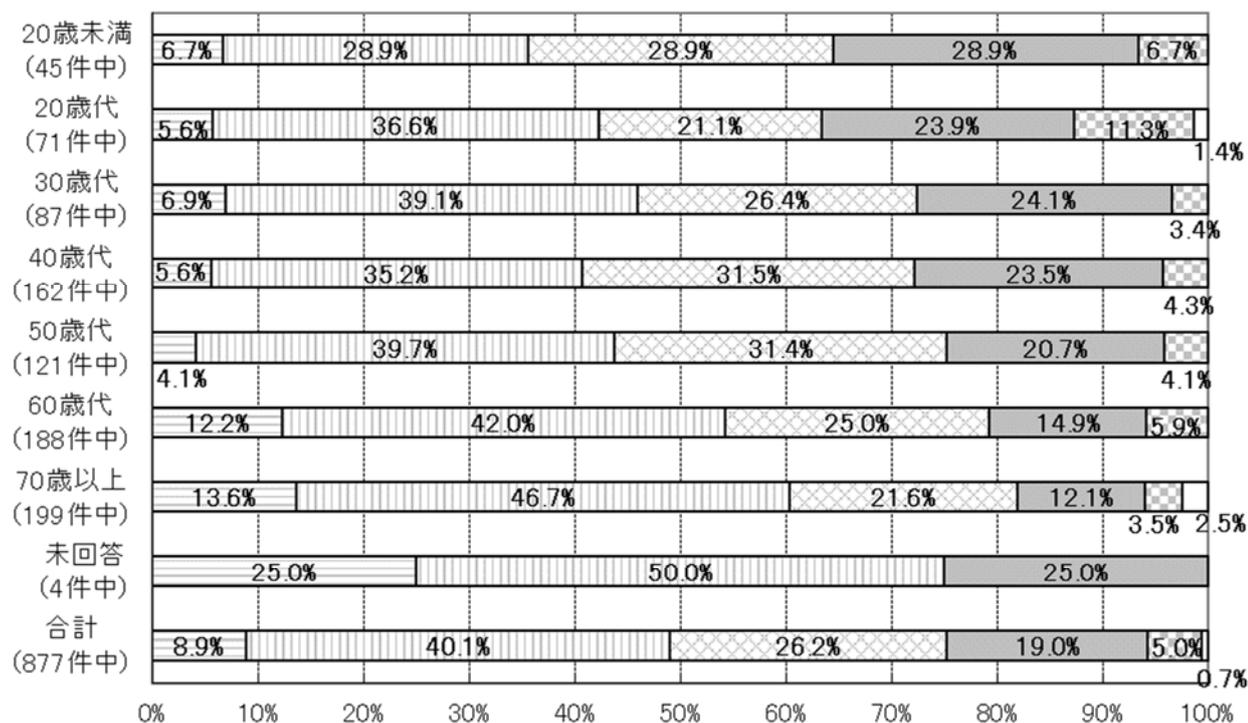
安心・安全な生活環境の実現に努めます

【めざそう値：年度別推移】

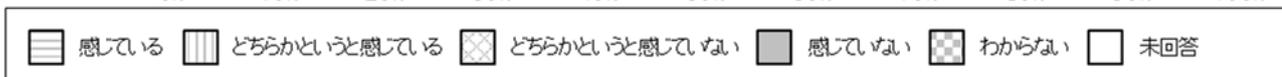
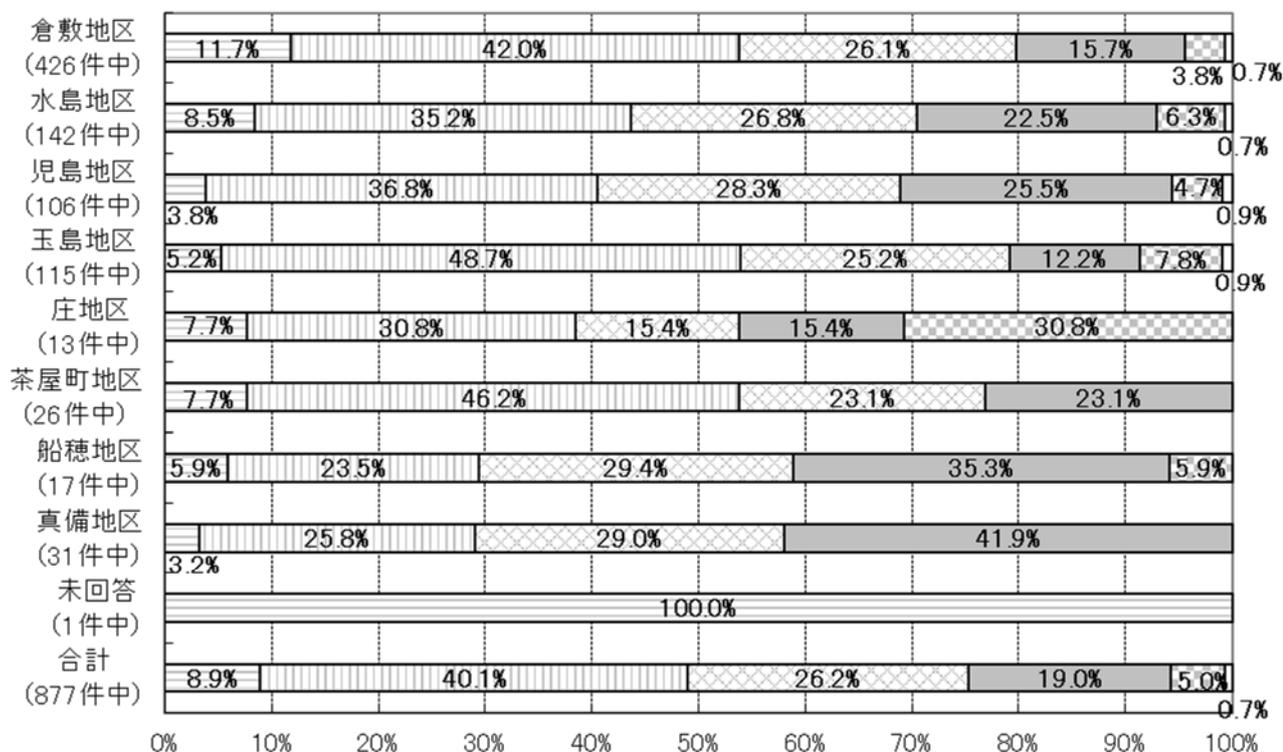
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「感じている」+「どちらかというと感じている」人の割合	38.4%	49.0%(50.5)	55%	70%



【グラフ13:年齢別・回答構成比率】

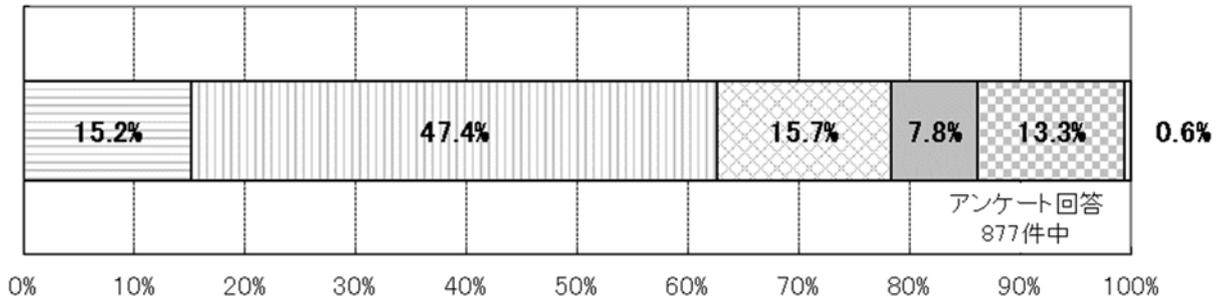


【グラフ13:地域別・回答構成比率】



《問14》 環境基準を守るための取組により、心身ともに健康に暮らしていると思いますか。
 ※人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、行政上の政策目標を定めたものが環境基準です。現在は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について定められています。市はその目標の確保を図るために各施策を総合的に実施しています。

【グラフ14：合計・回答構成比率】



そう思う

 どちらかというと思う

 どちらかというと思わない

 そうは思わない

 わからない

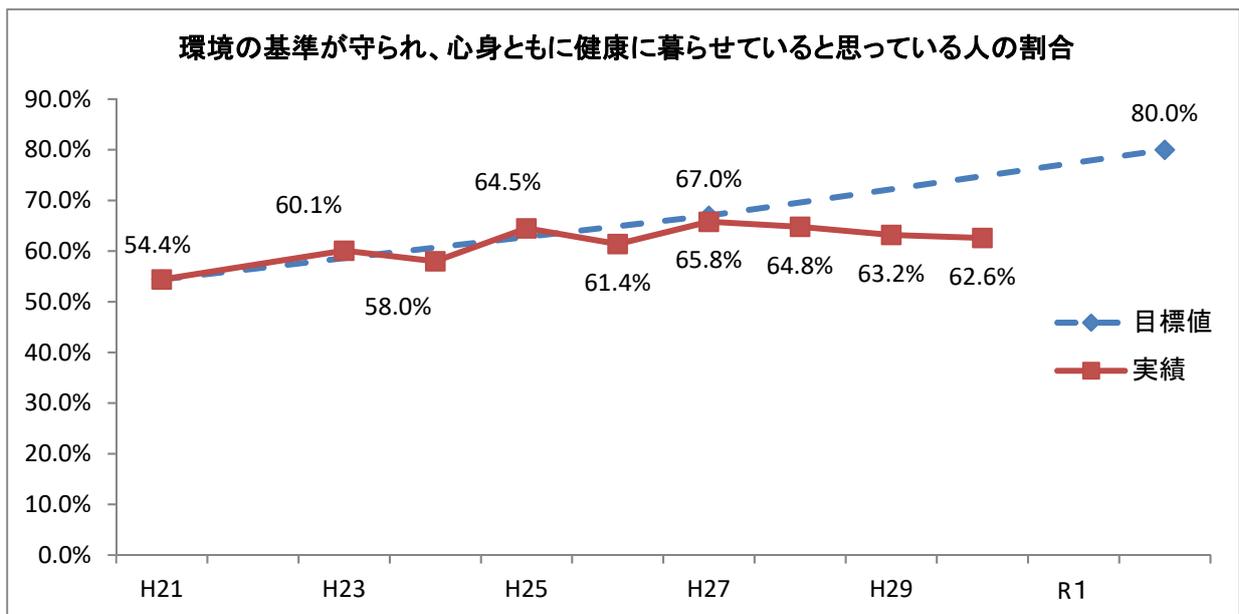
 未回答

【基本目標2分野別目標3（分野7）】

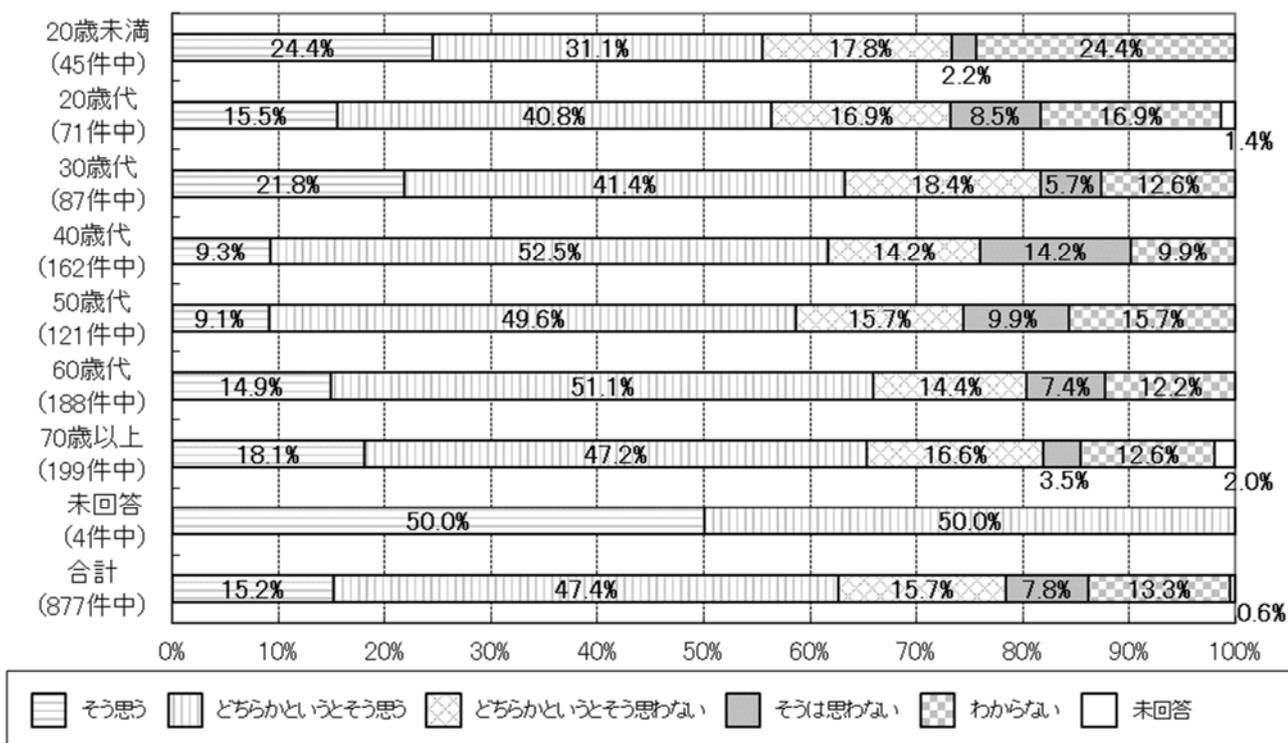
安心・安全な生活環境の実現に努めます

【めざそう値：年度別推移】

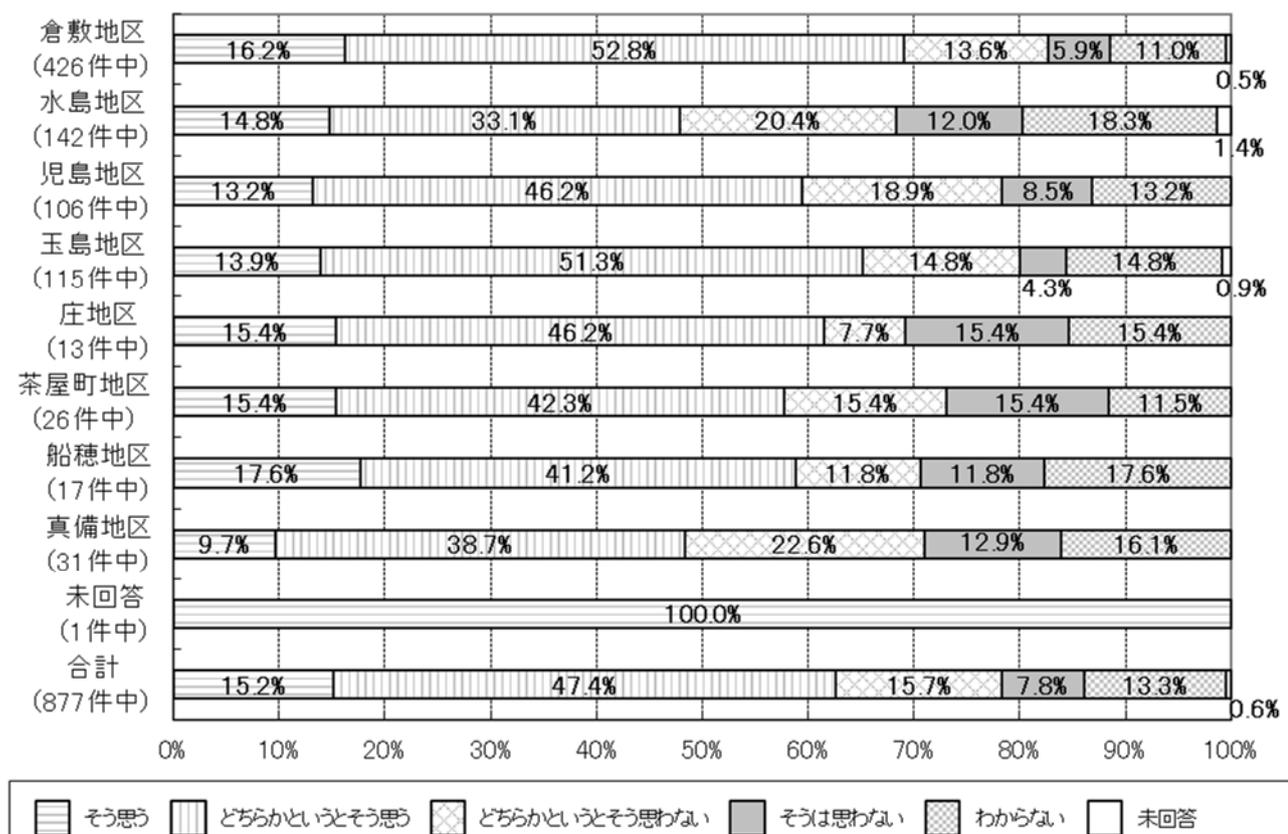
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「そう思う」+「どちらかというと思う」人の割合	54.4%	62.6%(63.2)	67%	80%



【グラフ14：年齢別・回答構成比率】

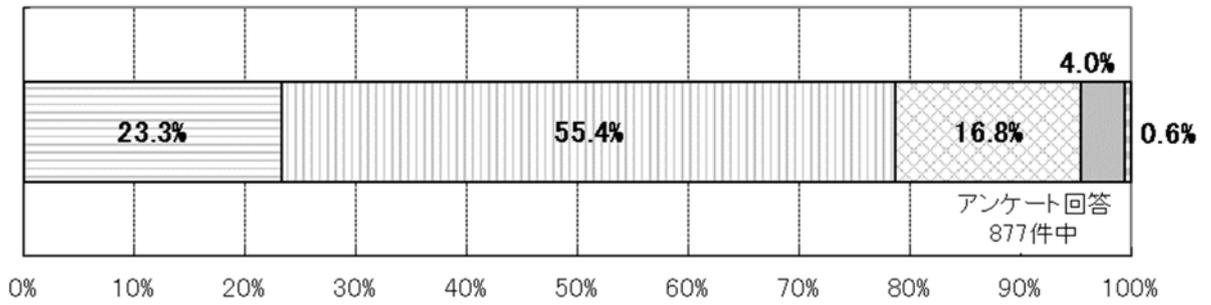


【グラフ14：地域別・回答構成比率】



《問15》 あなたは、ごみの発生及び排出の抑制に配慮した行動をしていますか。

【グラフ15：合計・回答構成比率】



いつもしている

 どちらかというとしている

 どちらかというとしていない

 していない

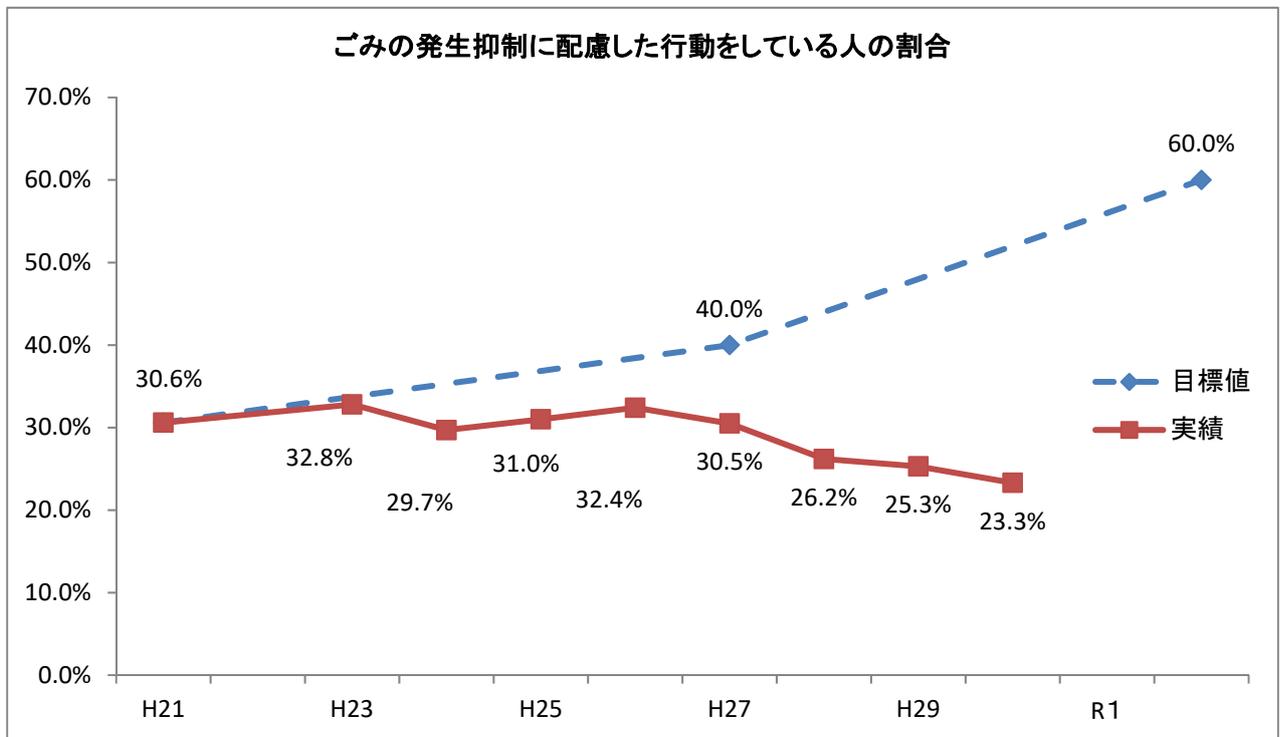
 未回答

【基本目標3分野別目標1（分野8）】

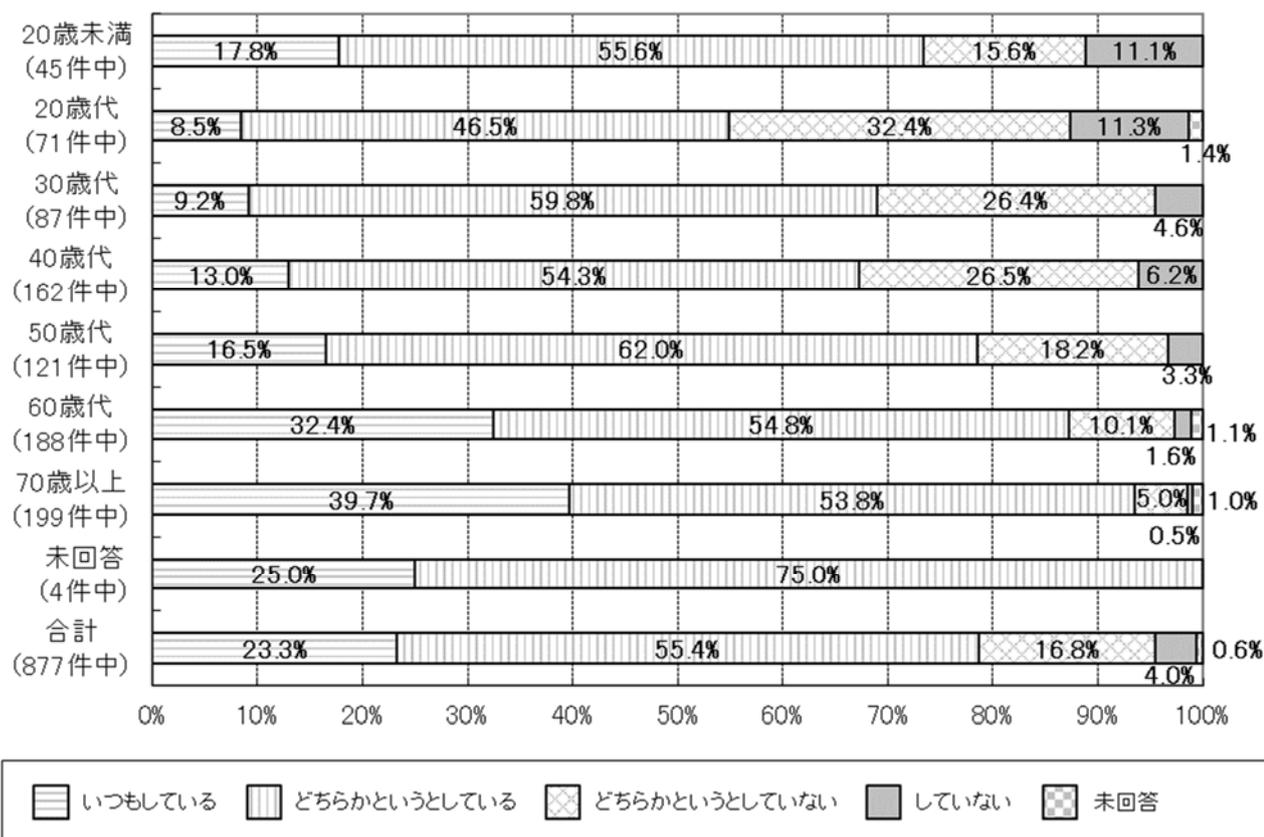
生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

【めざそう値：年度別推移】

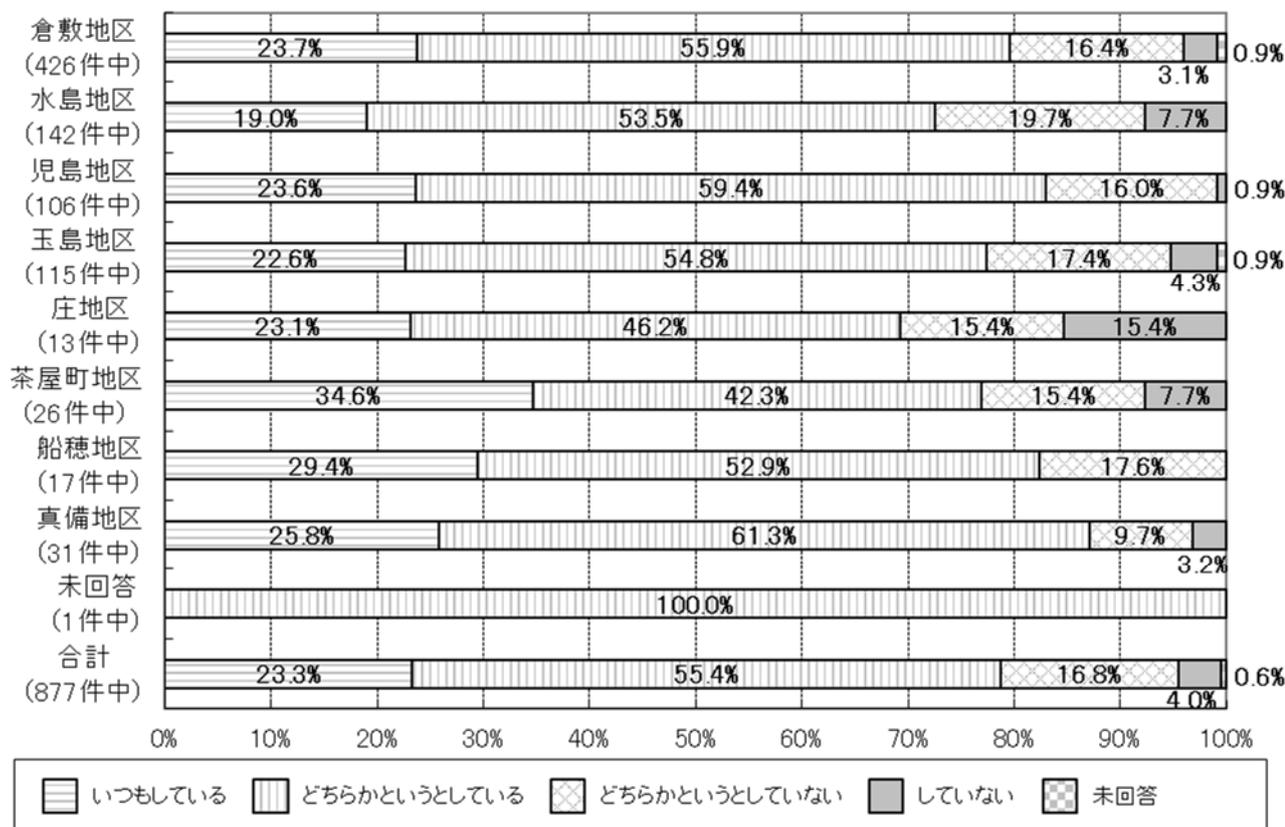
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「いつもしている」人の割合	30.6%	23.3%(25.3)	40%	60%



【グラフ15:年齢別・回答構成比率】

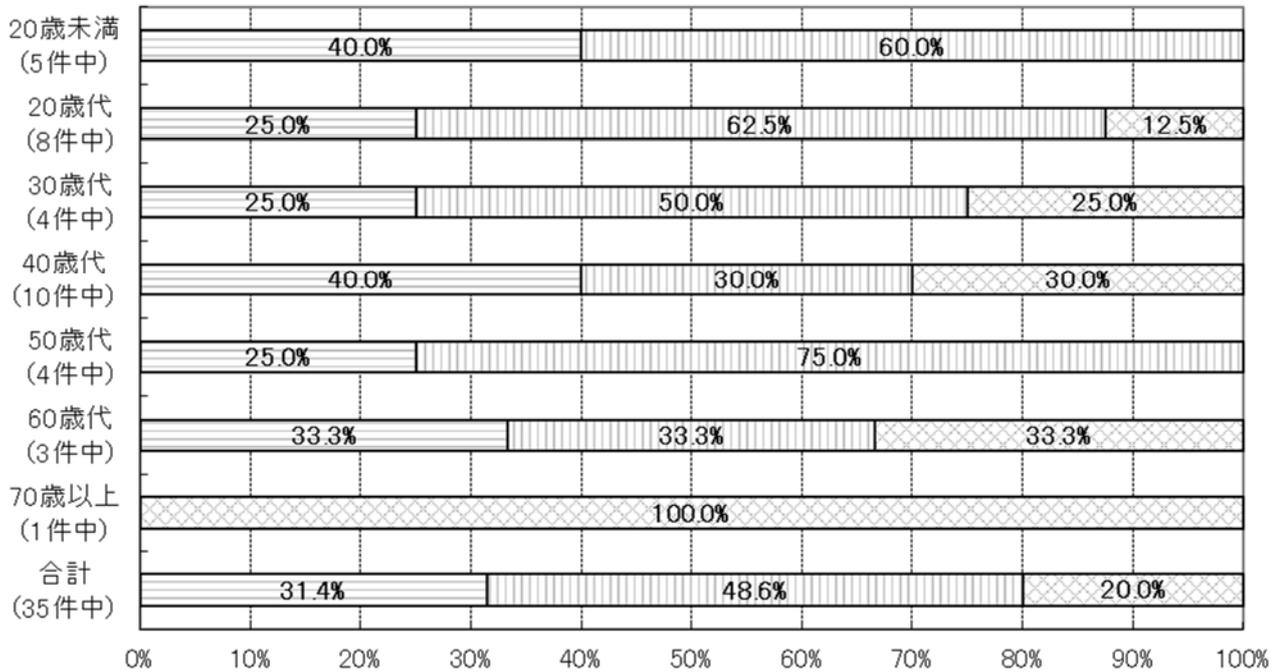


【グラフ15:地域別・回答構成比率】



《問15-1》問15で「4. していない」と答えた方におたずねします。
「していない」理由がありましたら、教えてください。

【グラフ15-1：年齢別・回答構成比率】

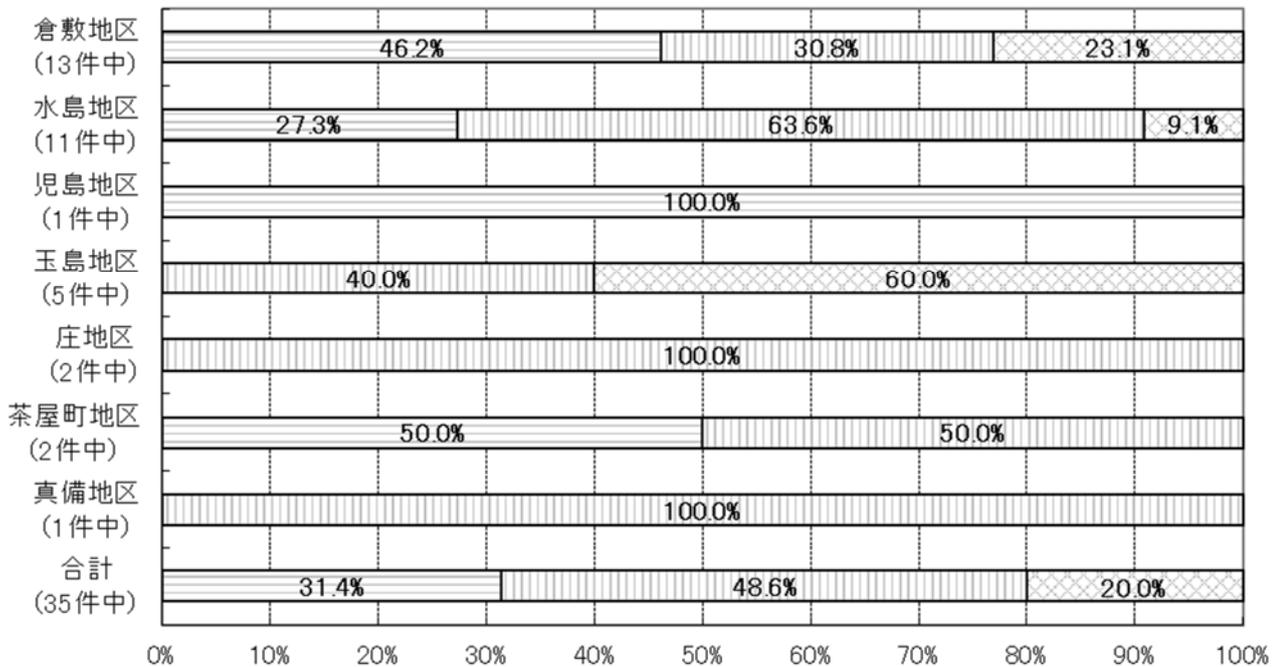


日頃の生活の中でどのようなことをしているのかわからない

 関心がない

 その他()

【グラフ15-1：地域別・回答構成比率】



日頃の生活の中でどのようなことをしているのかわからない

 関心がない

 その他()

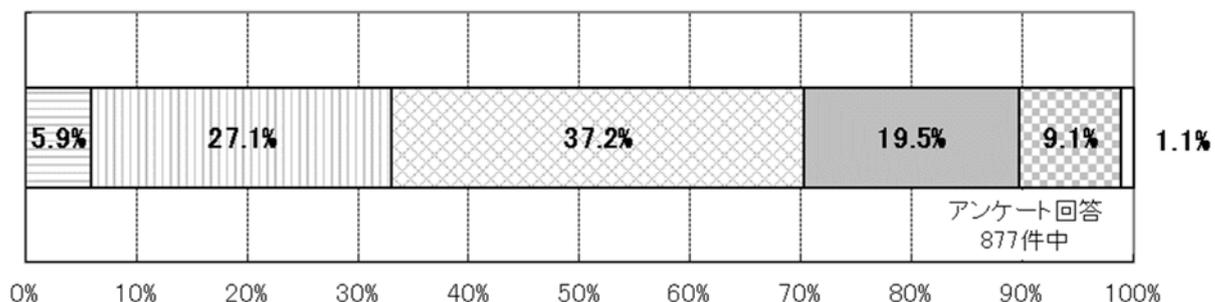
《問15-1》問15で「4. していない」と答えた方におたずねします。
「していない」理由がありましたら、教えてください。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	ごみの分別やリサイクルで満足し、抑制まで頭が回らない
2	いつでもごみが捨てられるアパートに住んでいるため、ごみの発生及び排出を抑制する必要を感じない
3	身体的な理由(身体が不自由)
4	配慮したとしてもごみは出るので仕方ない

《問16》 「もったいない」という意識を共有している社会ができていると思いますか。

【グラフ16：合計・回答構成比率】



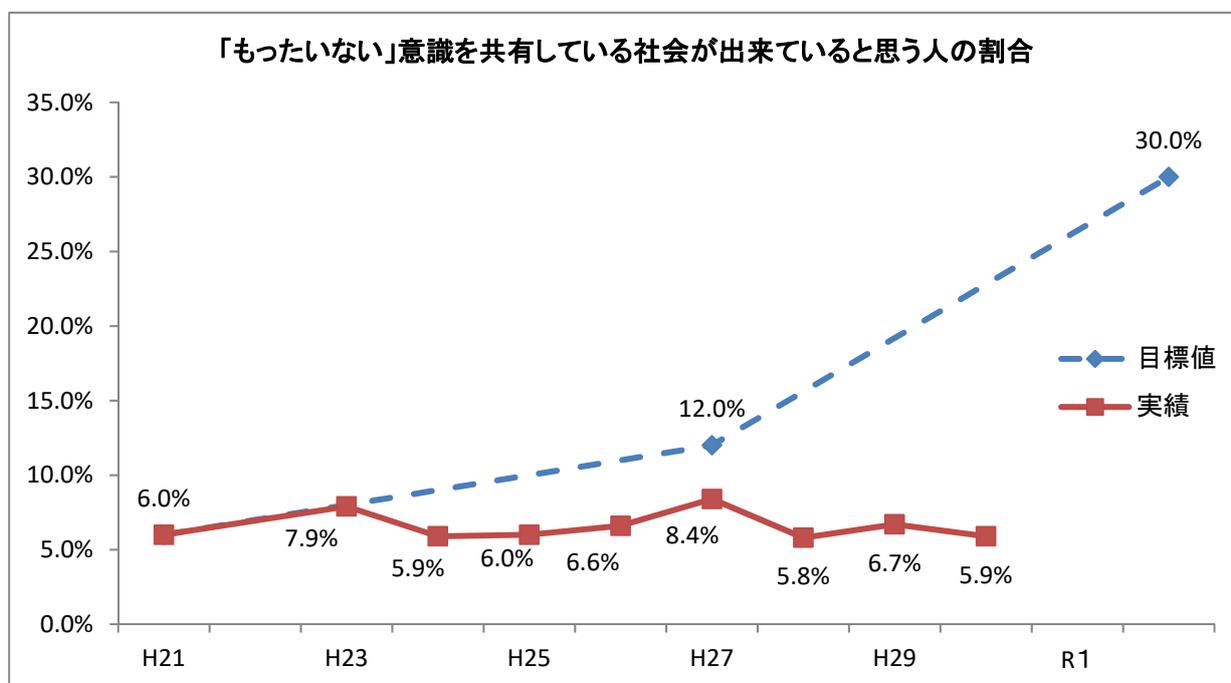
思う
 どちらかというと思う
 どちらかというと思わない
 思わない
 わからない
 未回答

【基本目標5分野別目標1（分野12）】

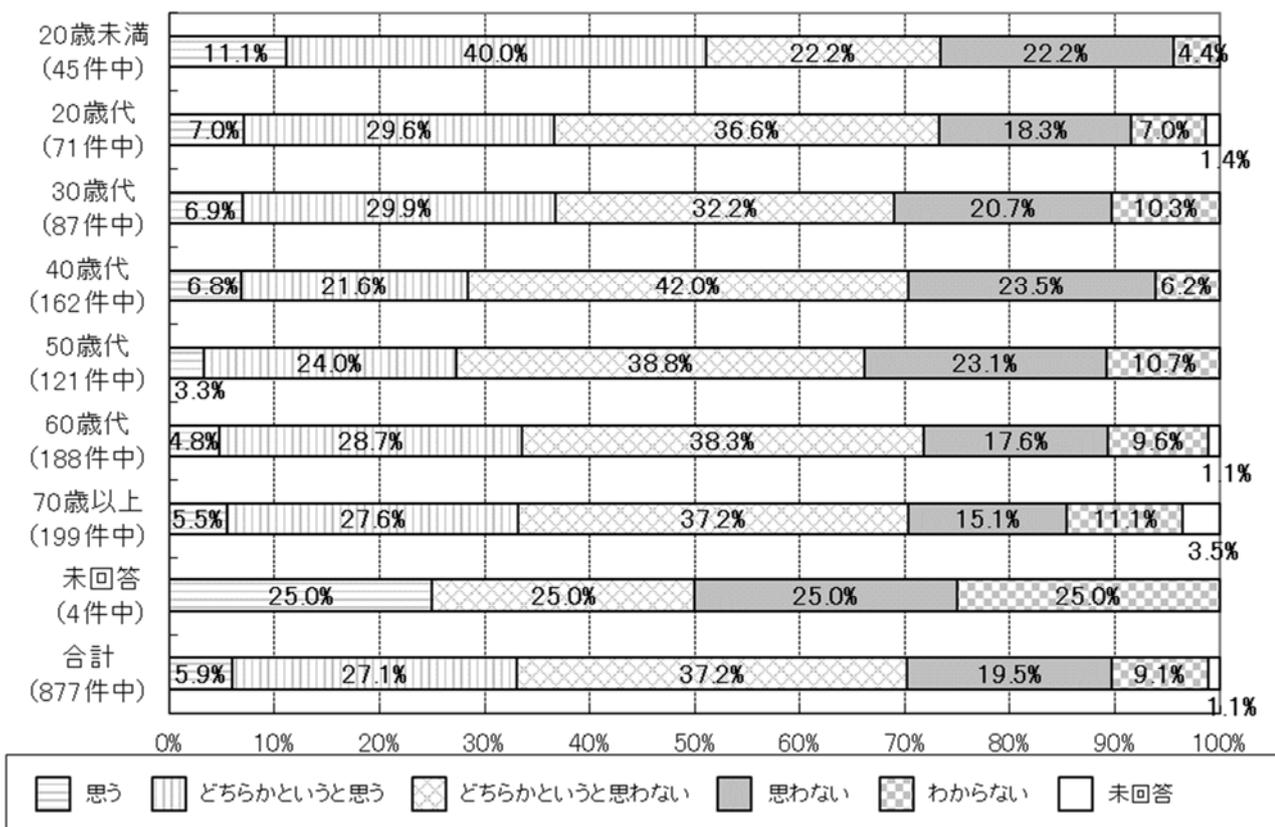
環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【めざそう値：年度別推移】

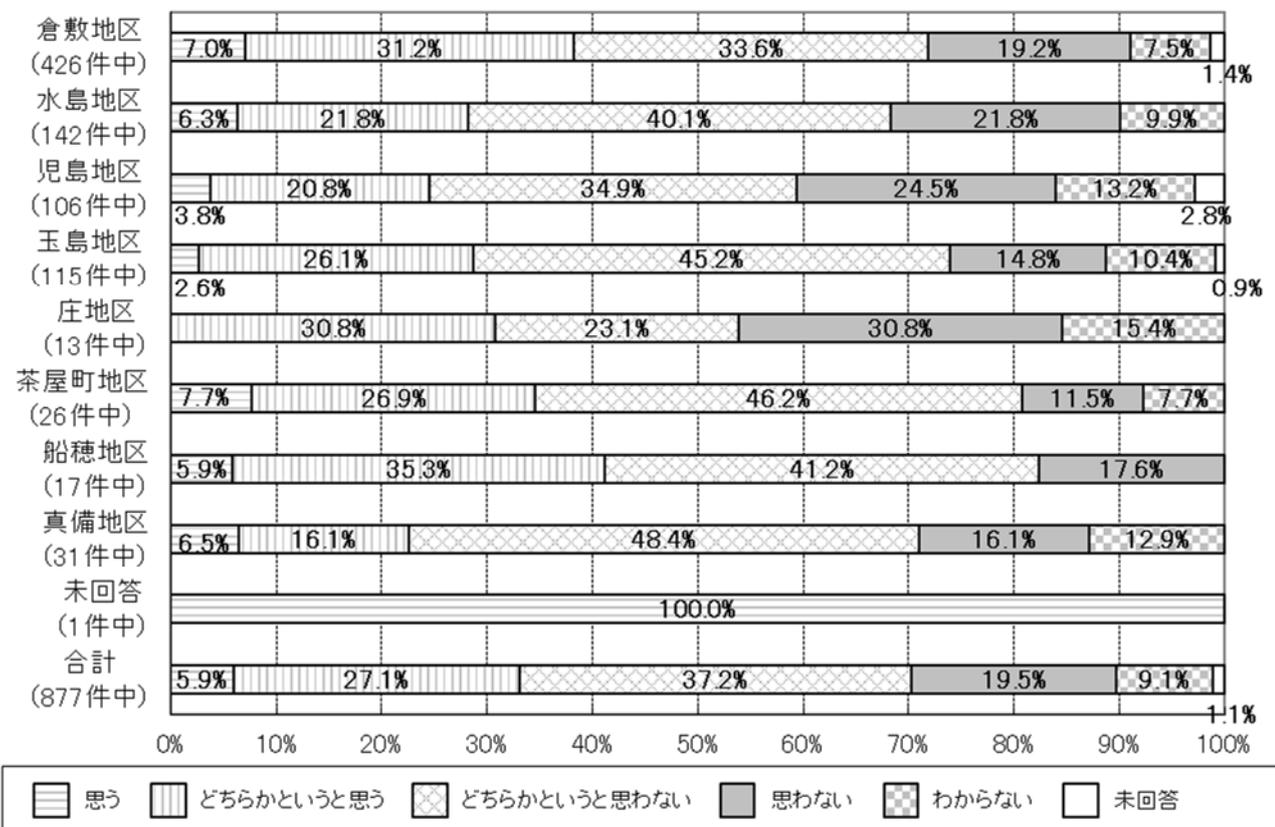
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「思う」人の割合	6.0%	5.9%(6.7)	12%	30%



【グラフ16:年齢別・回答構成比率】

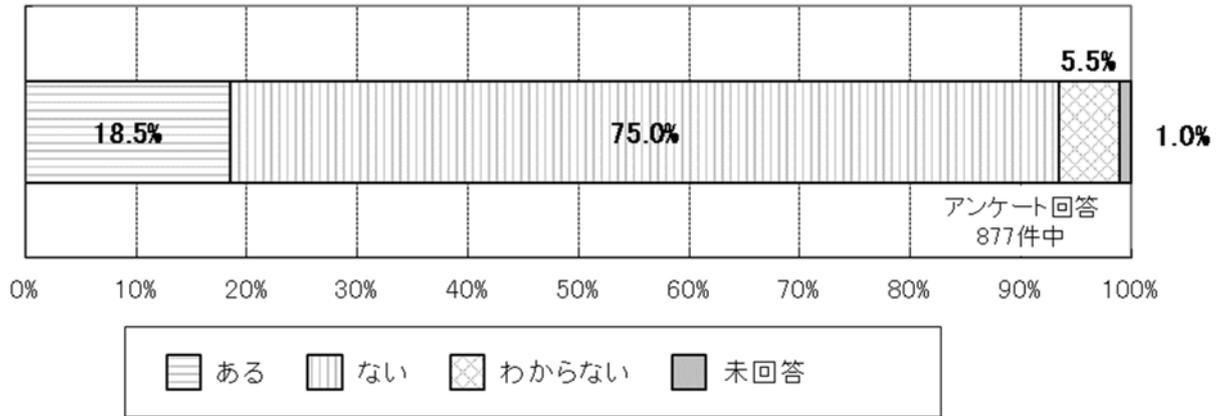


【グラフ16:地域別・回答構成比率】

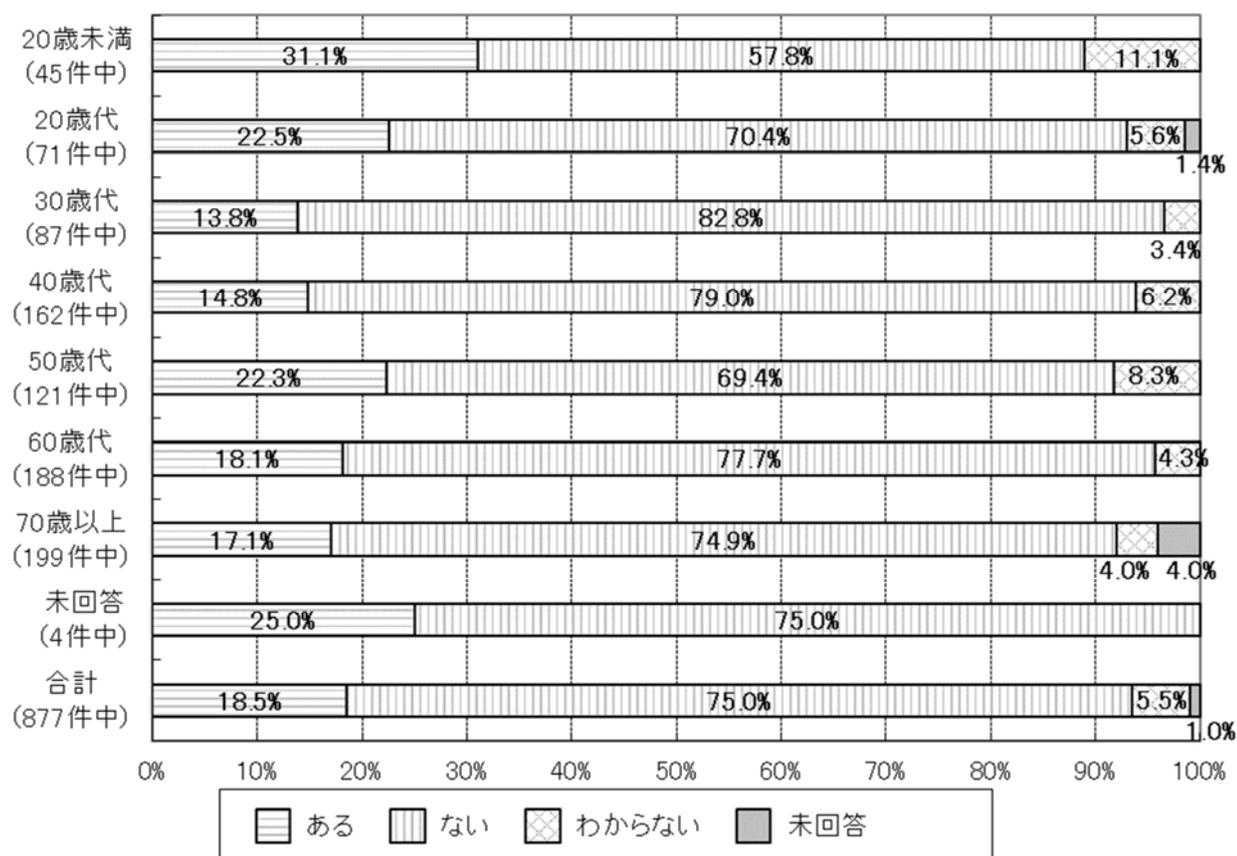


《問17》環境に関する講座や講演会、体験会などの、環境学習を受けたことがありますか。

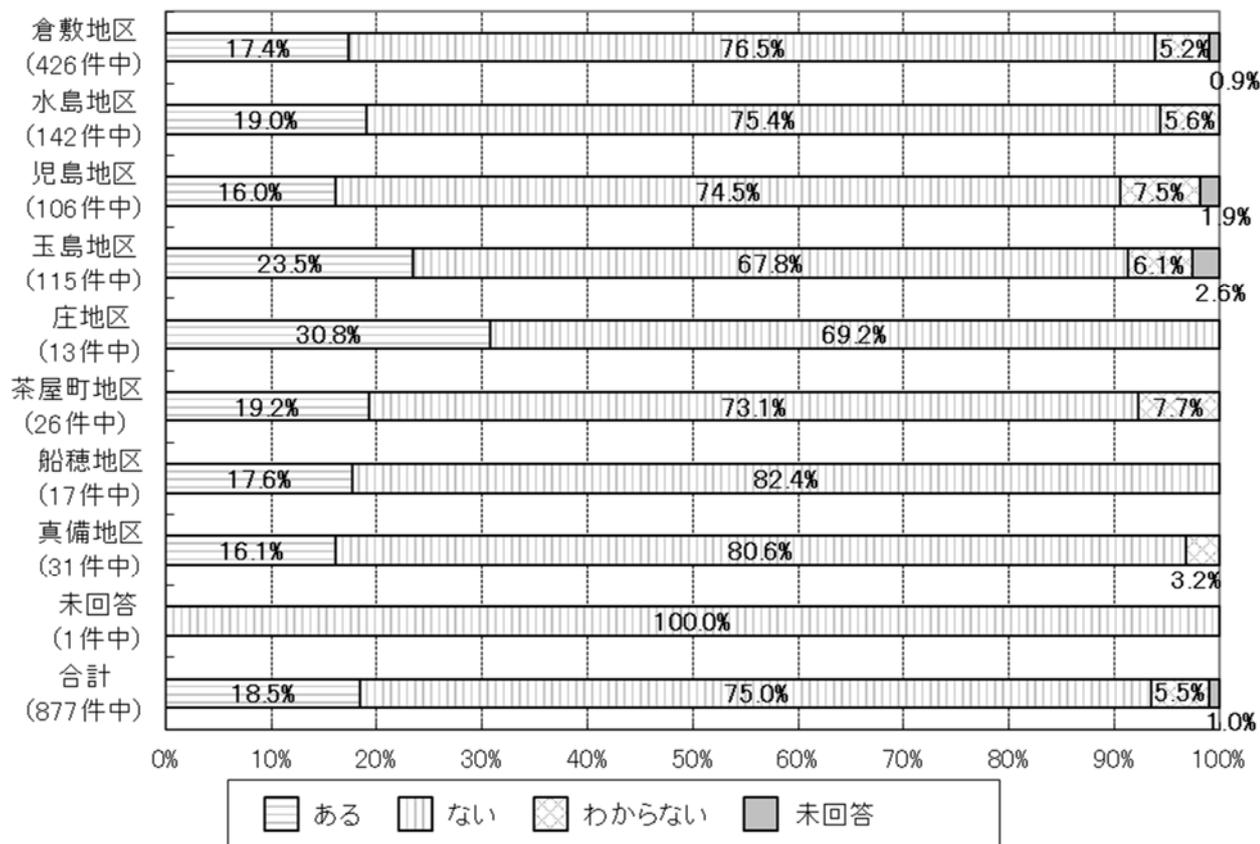
【グラフ17：合計・回答構成比率】



【グラフ17:年齢別・回答構成比率】



【グラフ17:地域別・回答構成比率】



《問17-1》 問17で「1. ある」と答えた方におたずねします。
環境学習で学んだことを、日常生活の中で実践していますか。

【グラフ17-1：合計・回答構成比率】



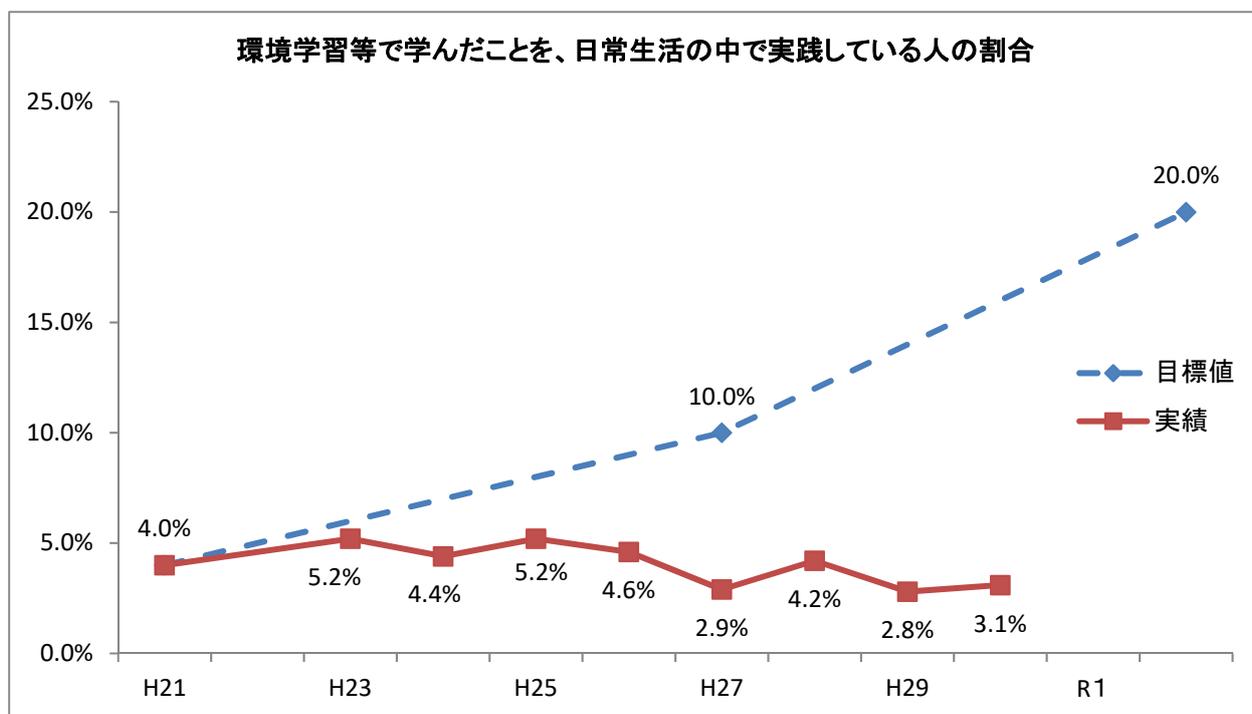
いつもしている
 どちらかというとしている
 どちらかというとしてない
 してない
 未回答
 問17ではない/わからない/回答未回答

【基本目標5分野別目標1（分野12）】

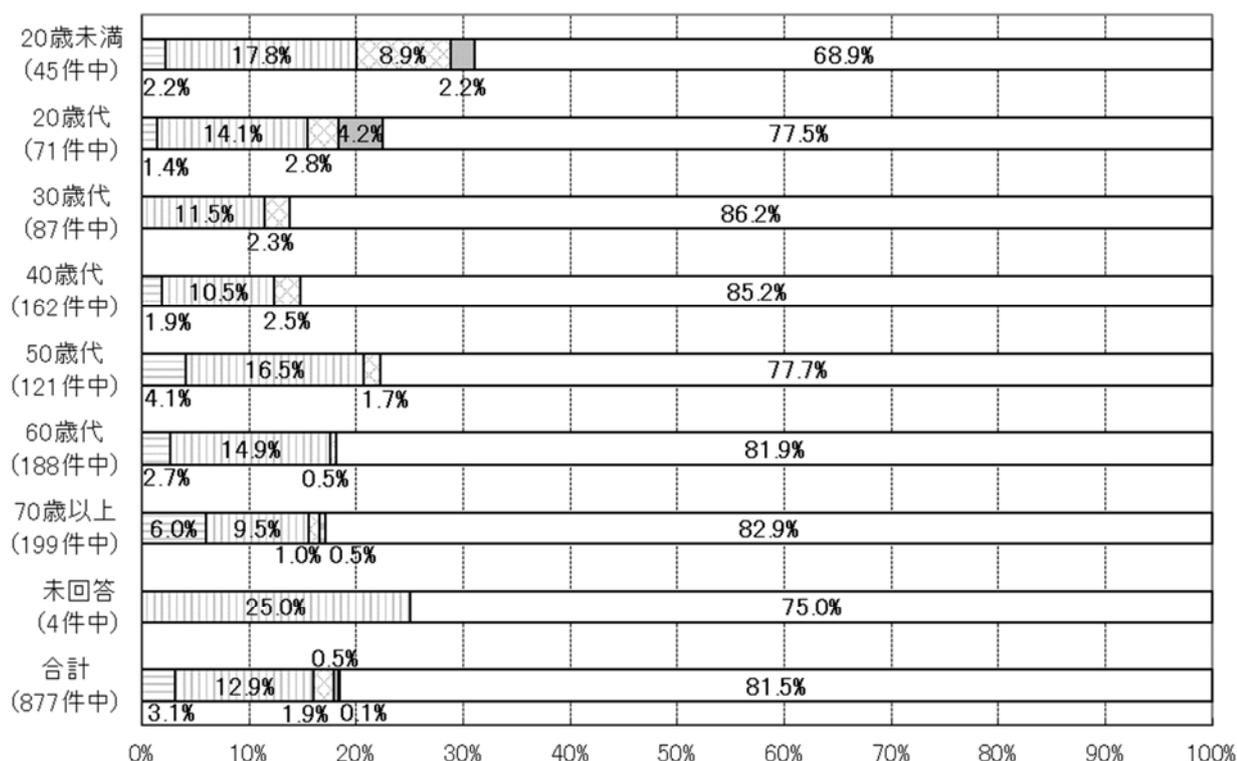
環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【めざそう値：年度別推移】

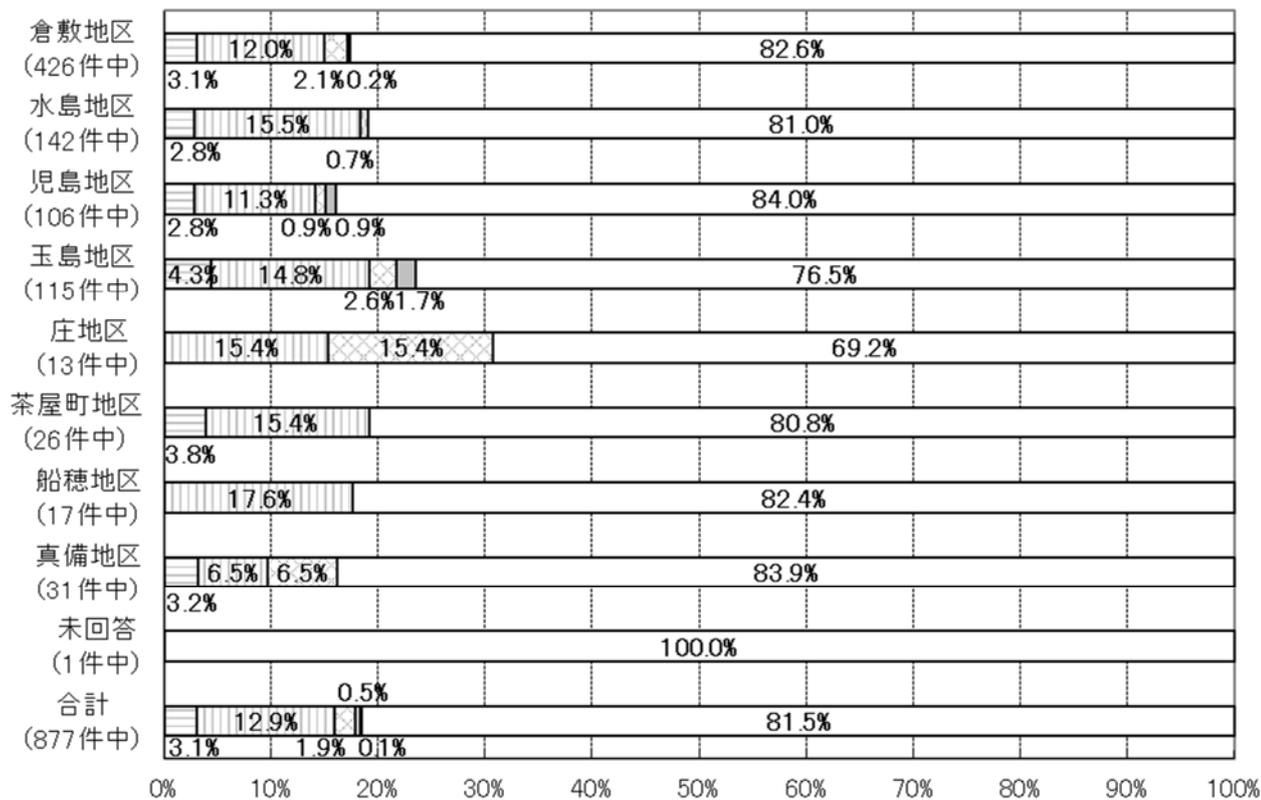
	H21 基準値	H30 (H29)	H27 目標値	R2 目標値
「いつもしている」人の割合	4.0%	3.1%(2.8)	10%	20%



【グラフ17-1:年齢別・回答構成比率】

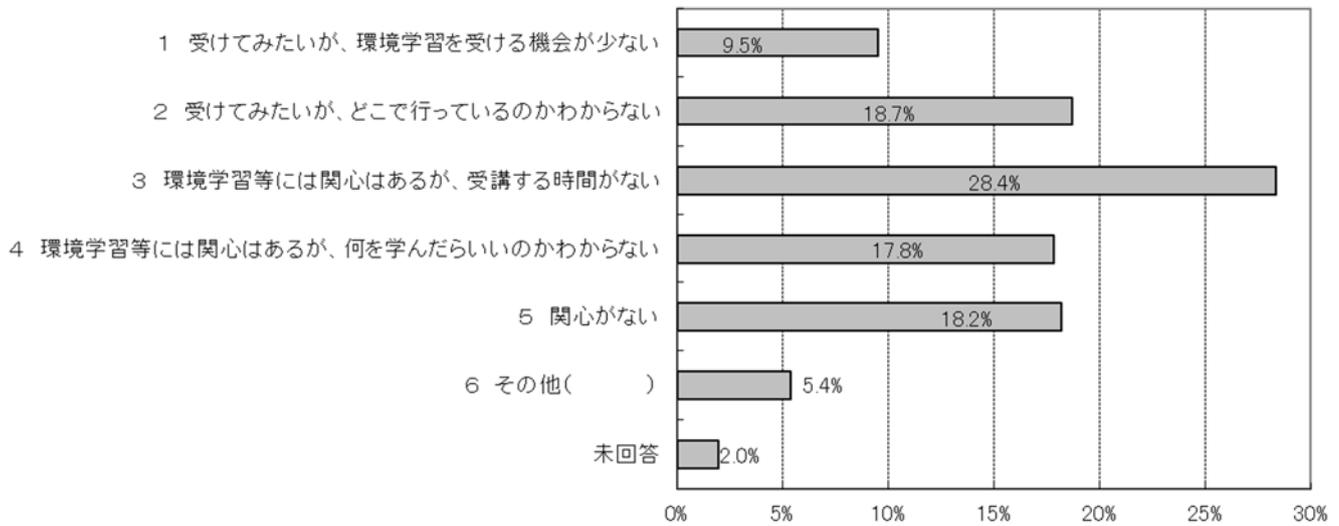


【グラフ17-1:地域別・回答構成比率】



《問17-2》問17で「2. ない」「3. わからない」と答えた方におたずねします。
 受けたことのない理由がありましたら、教えてください。(複数回答可)

【グラフ17-2: 回答構成比率】



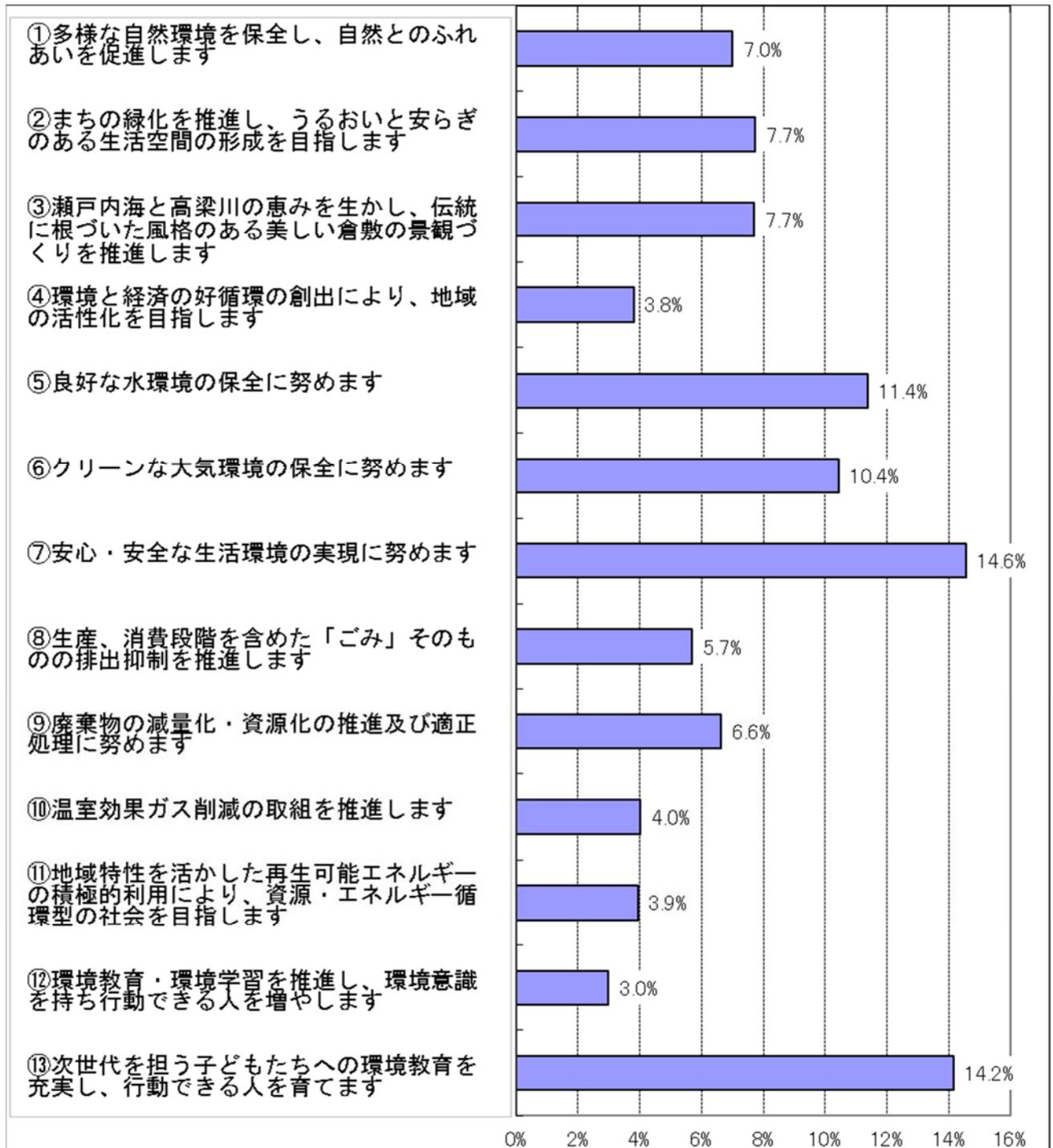
※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	身体的な理由(体調不良、身体が不自由、体力がない、高齢である)
2	時間に余裕がない(仕事、家事、育児、介護、趣味などで忙しい)
3	広報紙、テレビ、インターネットなどで情報収集ができるので、受ける必要がない
4	環境問題に関心はあるが、環境学習そのものに興味、関心がない
5	機会がない
6	意識したことがない
7	外出するのが苦手
8	交通手段がない

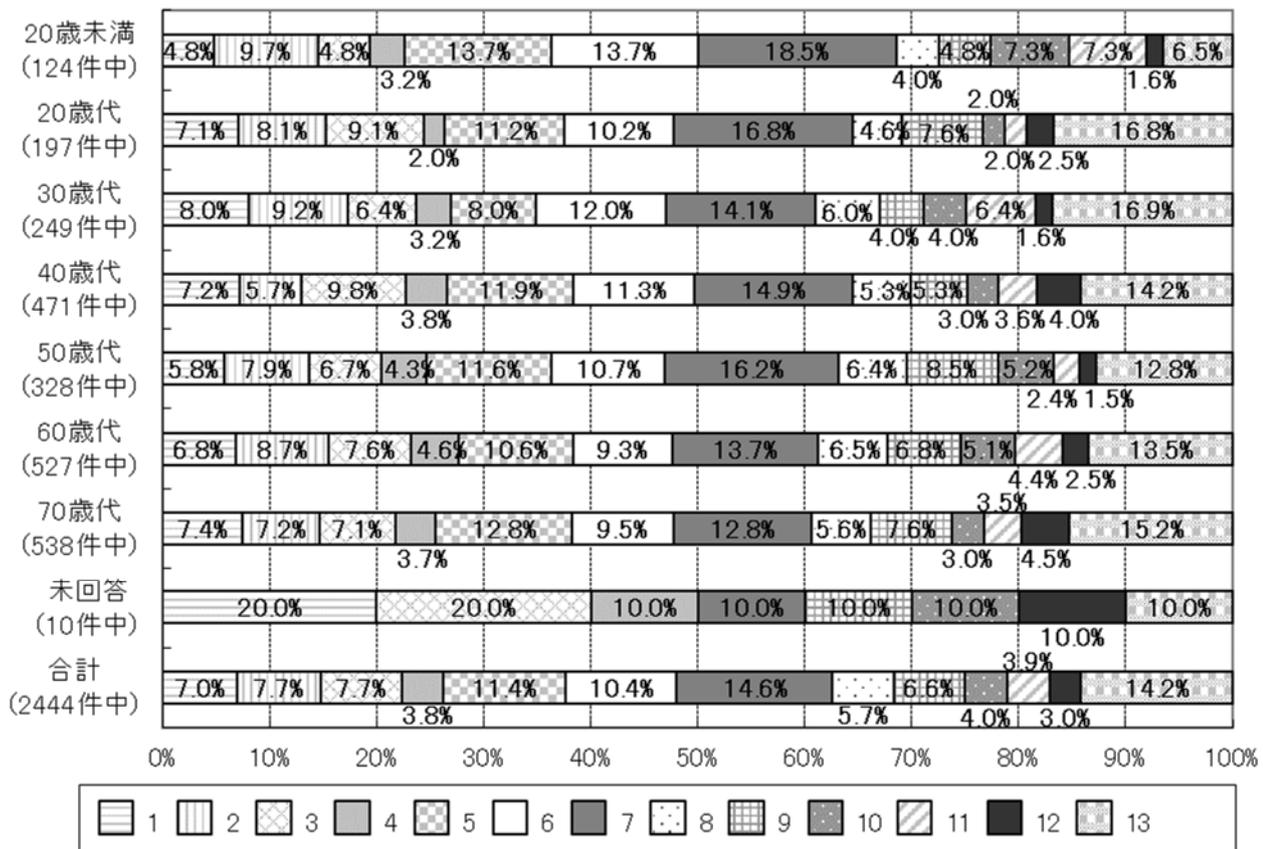
問17で「2. ない」「3. わからない」と答えた人は、706人でした。

《問18》 倉敷市では、「倉敷市第二次環境基本計画」に掲げた目標を実現するため、平成23年度から下記の施策に取り組んでいます。それぞれの施策に対して、あなたにとって重要と思うものと、現状で効果が上がっている（満足）と思うものを3つまで選んで○印をつけて下さい。

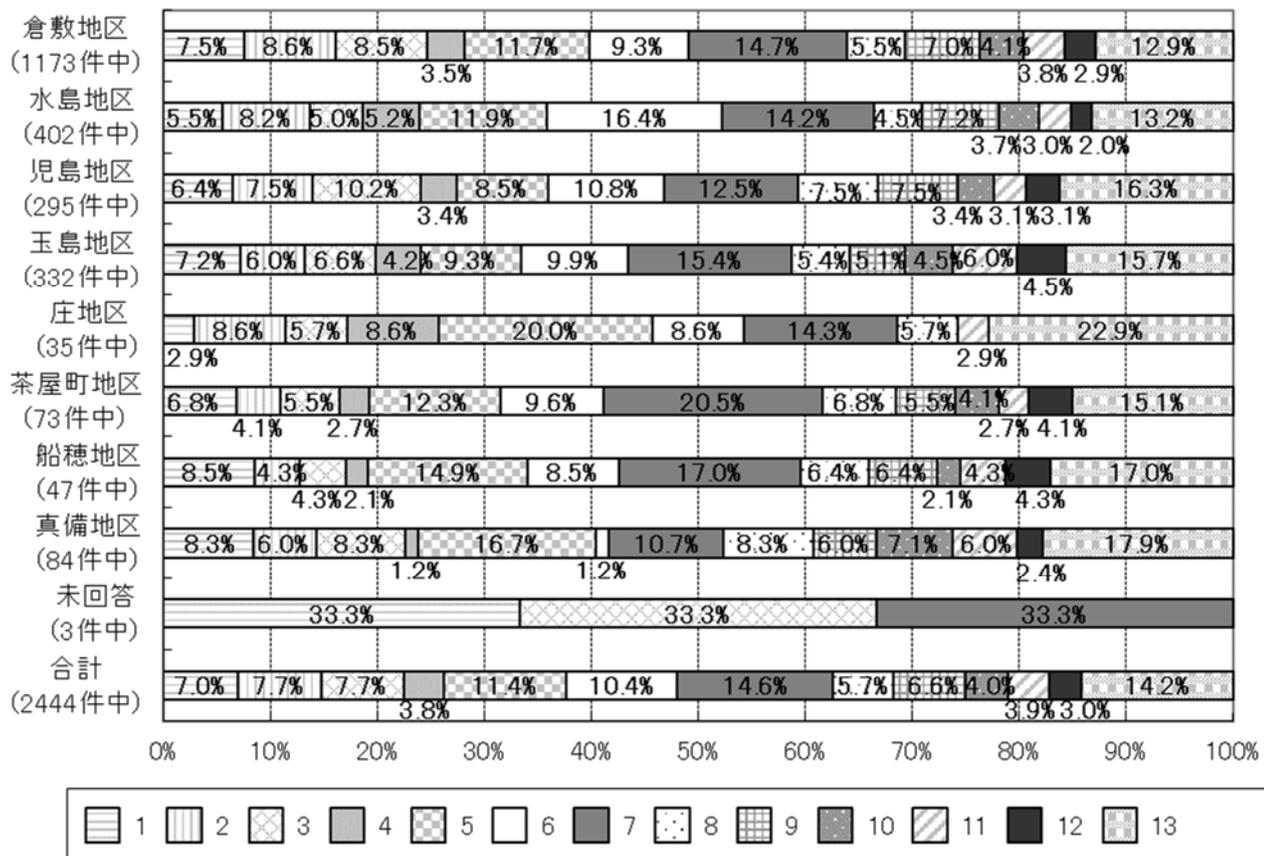
【グラフ18-1：合計・回答構成比率】 重要度



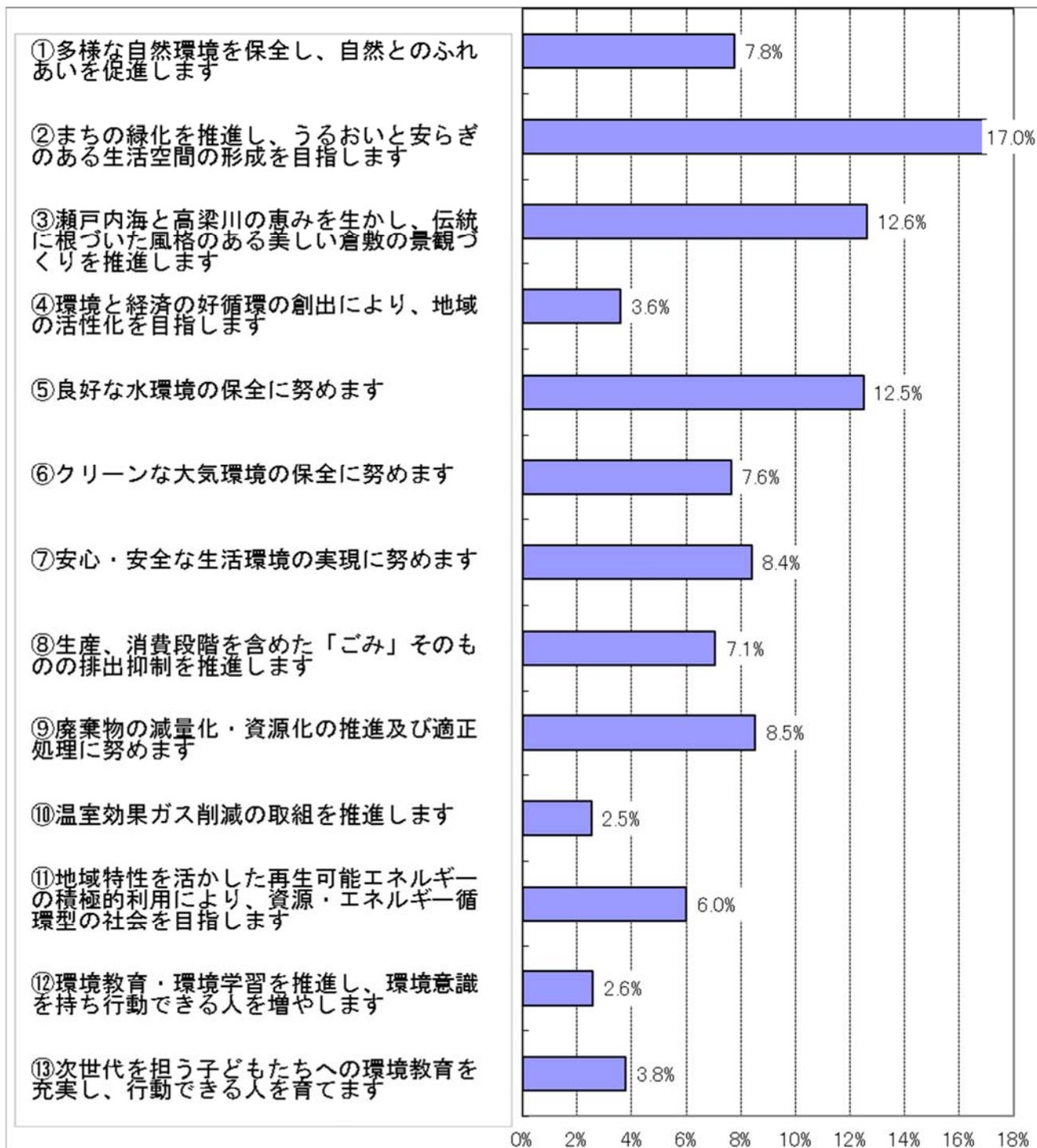
【グラフ18-1:年齢別・回答構成比率】重要度



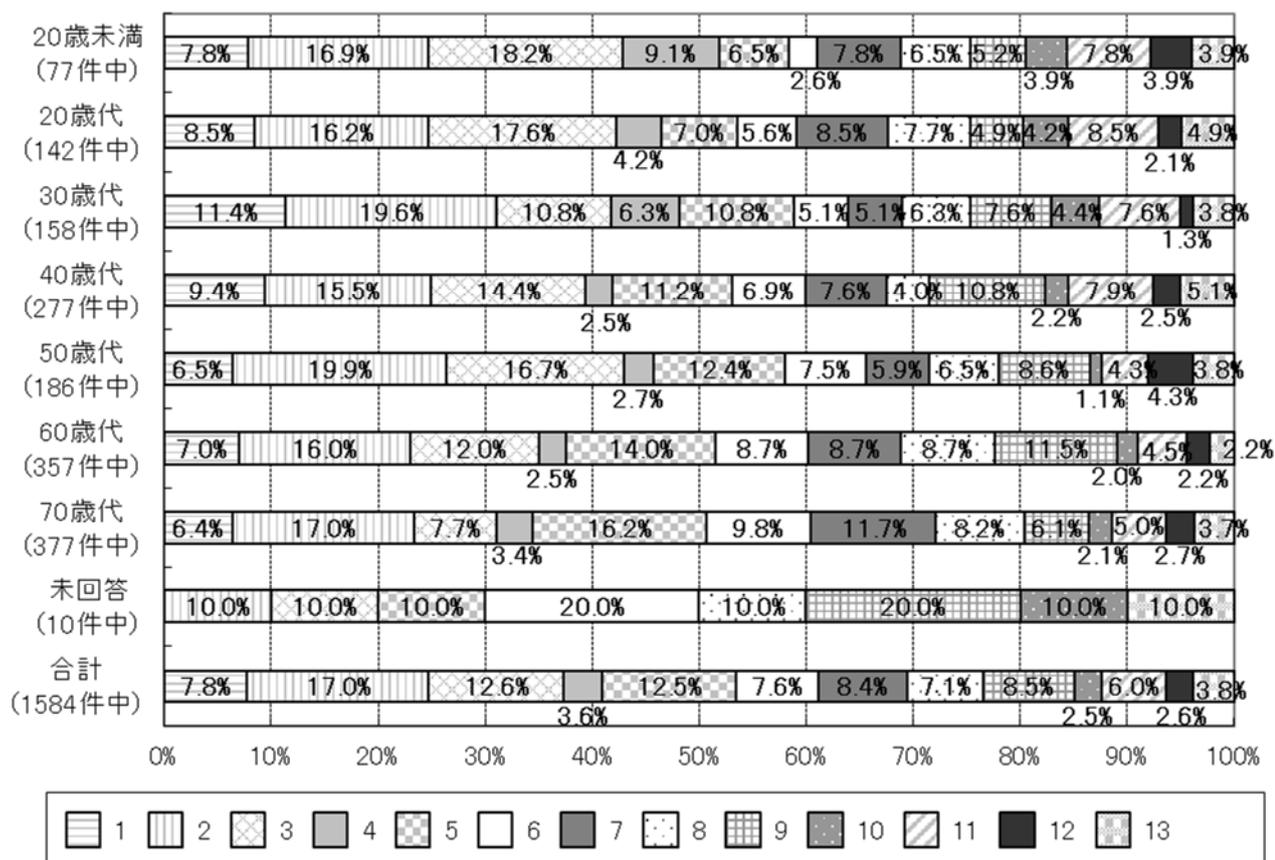
【グラフ18-1:地域別・回答構成比率】重要度



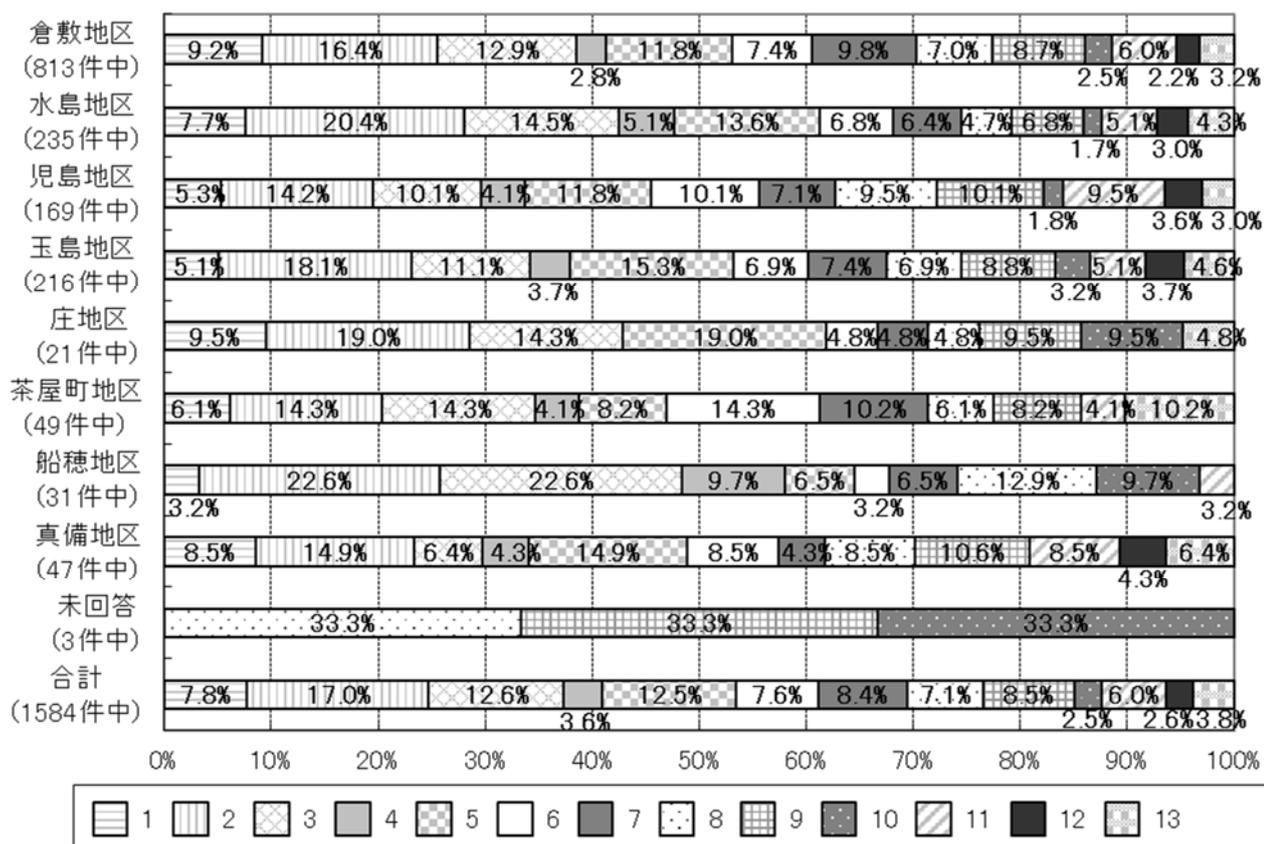
【グラフ18-2：合計・回答構成比率】 満足度



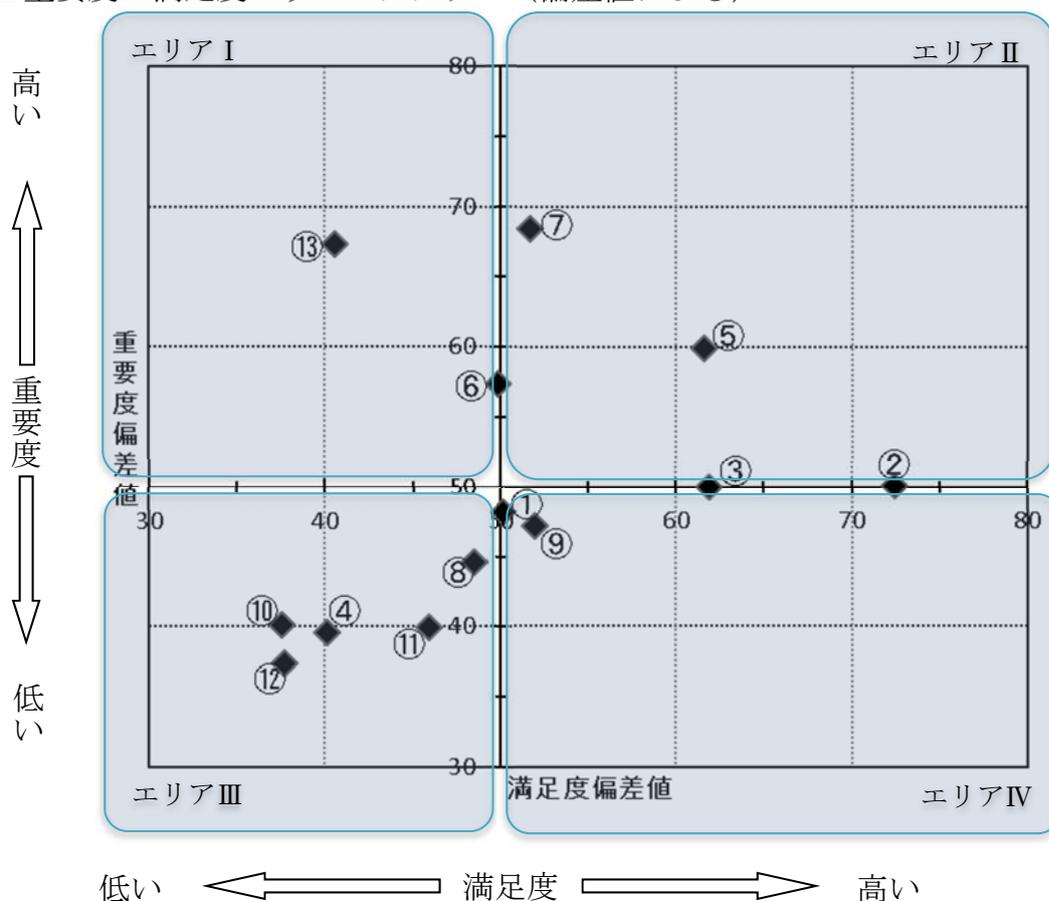
【グラフ18-2:年齢別・回答構成比率】満足度



【グラフ18-2:地域別・回答構成比率】満足度



■重要度・満足度マッピンググラフ（偏差値による）



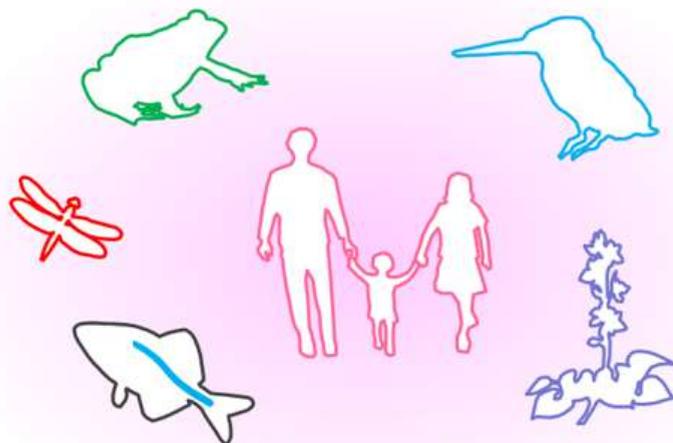
基本目標		重要度偏差値	満足度偏差値
1	①多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します	48.13	50.18
	②まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します	50.11	72.43
	③瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します	50.00	61.91
	④環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します	39.58	40.11
2	⑤良好な水環境の保全に努めます	59.88	61.61
	⑥クリーンな大気環境の保全に努めます	57.35	49.87
	⑦安心・安全な生活環境の実現に努めます	68.44	51.70
3	⑧生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します	44.62	48.50
	⑨廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます	47.15	52.01
4	⑩温室効果ガス削減の取組を推進します	40.12	37.52
	⑪地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します	39.90	45.91
5	⑫環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします	37.38	37.68
	⑬次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます	67.34	40.57

分類	求められること	該当項目
エリアⅠ	重要度が高く、満足度が低いことから、最優先で取り組むべき分野	⑥、⑬
エリアⅡ	重要度も満足度も高く、引き続き満足度を維持していくべき分野	②、⑤、⑦
エリアⅢ	満足度が低いため、満足度を高める取り組みが必要であるが、重要度が低いため、必要性も含めて検討すべき分野	④、⑧、⑩、⑪、⑫
エリアⅣ	重要度は低いですが、満足度が高いことから、このままの状態を維持するとともに、過剰な行政サービスは縮小等も含めて見直しを検討すべき分野	①、⑨

※③については、重要度偏差値が 50.00 であったため、分類には含まない。

倉敷市生物多様性地域戦略

-倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐために-



実施事業計画表

実施事業計画(平成30年度実績・令和元年度～令和4年度)

-概要-

倉敷市環境政策課

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

数値目標達成状況

倉敷市生物多様性地域戦略では、以下の4つの基本目標を掲げています。

- 基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。
- 基本目標2: 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。
- 基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。
- 基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて行動できる人づくり、地域づくりを行う。

本資料は、これら目標達成に向けた、「進捗状況」及び「実施事業の実施状況と予定」を示します。

最初に示す(右表)「数値目標達成状況表」は、基本目標達成に向けた各数値目標の達成状況を示しています。

2ページ以降の「事業実施計画表」には、基本目標達成に向けた2020年までの短期的な取り組みについて、基本目標ごとに事業の実施状況を示しています。

グレーの網掛けが「リーディングプロジェクト」、網掛けなしが「その他の取り組み」であり、事業ごとに示しています。

なお、リーディングプロジェクトとは、戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業のことです。

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H30年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0		継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.5%		54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	36.5%		72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	30.2%		56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.15㎡/1人		10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	124頭		被害額の低減及び生息 頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	35件		100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,241万トン (H27)		3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	80.0%		79.7%	2020年 (H32)	下水経営 計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%		100%	2015年 (H27)	下水経営 計画課
基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	24.8% (H29)		60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	4,233a		3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	707区画		現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	12人		10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	84.2%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	60.1%		77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合 (倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.4%		20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかげがえの無い大切なものだと感じている子供の割合 (倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	76.6%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数 (倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	12,427人		19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

※ 表中の項目のうち、H30年度集計が行われていないものについては、確認可能な最新の実績としている。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標1: 生物多様性調査の実施

【基本方針】

豊かで多様な自然環境を有する本市の生態系とその基盤となる生物に関する自然史資料等情報について、倉敷市立自然史博物館を核に、市民、市民団体、生産者、事業者、教育・研究機関と協働を図りつつ積極的に調査・収集します。

◆実施事業一覧表【基本目標1-1 生物多様性調査の実施】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考	
生物多様性調査の実施	調査体制の構築	市内における自然調査を継続的に実施できる体制を構築する	リーディングプロジェクト	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施した	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-		
				事業化に向けた検討を行った	自然調査を継続的に実施できる体制を検討する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-		
	自然環境調査の実施	地域の自然環境に詳しい専門家(ローカルナチュラリスト)と連携した自然調査を実施する		館外の研究者に必要なに応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施した	館外の研究者に必要なに応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-		
				事業化に向けた検討を行った	専門家の活動状況の把握に努める	継続実施	→	環境政策課	-	-	-		
		中学校・高等学校と連携した自然調査を実施する		中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努めた	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			教育委員会	-	-	-	
				事業化に向けた検討を行った	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			環境政策課	-	-	-	
		市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する		富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施した(H30年度事業終了)		事業終了			環境政策課	-	-	-	
				携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じて支援を行った(H30年度事業終了)		事業終了			自然史博物館	-	-	-	
		本市の自然環境の特徴である水辺空間について自然環境基礎調査を実施する		高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査の支援を行った(H26年度事業終了)		事業終了			環境政策課	-	-	-	
				高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査を実施(H26年度終了)		事業終了			街路課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考	
生物多様性調査の実施	市内の山系の自然環境調査	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、動植物を中心とした資料収集、データ整理などにより生息状況調査を行い、自然環境を把握する	継続	玉島柏島などで、独自調査及び調査協力を行った	独自調査及び調査協力を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況の把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0		
	貴重な山林の把握	良好な自然環境を有する山林の調査と資料の収集	継続	鶴形山など、良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
	市内の里山調査	身近な自然である里山の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	向山など、良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0		
	市内の公園調査	身近な自然である公園の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	倉敷みらい公園で、「生きもの調査」を自然観察会として年4回実施し、資料収集にも努めた	身近な緑地である公園などの自然調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0		
	市内の海岸調査	身近な自然である砂浜、干潟、磯などの自然海岸の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	児島付近など、良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0		
	「倉敷川の清流化を目指す」事業	市民企画提案事業「倉敷川の清流化を目指す大学協働推進事業」の一環で、倉敷川の生き物・水質調査を実施する	終了	H26年度事業終了						市民活動推進課企画経営室	—	—	—	
	生物多様性戦略に向けた自然環境調査	生物多様性地域戦略策定のための基礎資料として市内の自然環境保全基礎調査を実施する	終了	真備妹地区の自然環境基礎調査を実施した(H25年度終了)	他地区における自然環境基礎調査の事業化を検討する					環境政策課	—	—	—	
	「倉敷の生き物を探そう!」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	終了	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(0件の投稿があった)(H30年度事業終了)		事業終了				環境政策課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標2: 生物多様性に係る情報の整備・充実

【基本方針】

本市における自然環境に関する情報について倉敷市立自然史博物館を核に、関係機関との連携を図りつつ分析、評価及び将来への継承に努め、関係者及び市民に広く提供することにより生物多様性の保全、回復、再生に役立てます。

◆実施事業一覧表【基本目標1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実】

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考	
生物多様性に 係る情報の 整備・充実	地域活動を通じた生物多様性の保全	地域で実践している生物多様性に関する活動をより発展的に進めるため、事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを構築する	リーディング プロジェクト	事業化に向けた検討を行った	生物多様性保全事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを検討する	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 各担当課	—	—	—		
	関係部署における情報共有	本市が実施している自然体験フィールドやイベント、環境学習活動、環境学習施設の紹介、野生動物や自然環境に関する情報を提供する ⇒関係部署で、野生動物や自然環境に関する情報等の生物多様性に関する情報が共有されていないため、収集した情報を整理し、提供して、市民活動の推進につなげる		5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行った	5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行う	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 環境学習センター 農林水産課 観光課 指導課 教育センター 生涯学習課 少年自然の家 自然史博物館 市民学習センター 科学センター	—	—	—	少年自然の家は、令和2年度、令和3年度は建替えのため閉所。令和4年度は再開予定。	
		「倉敷市生物多様性地域戦略」に係る情報提供を推進する		生物多様性地域戦略概要版を配布し、情報提供を行った	生物多様性地域戦略概要版を配布し、情報提供を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	—	—	—		
		自然史博物館の施設整備	常設展示資料の補完的更新を行い、収蔵庫の拡張に努める	継続	動くナウマンゾウ親子のメンテナンスや検索用パソコンのデータ更新、展示品の追加などを行った	展示物等の補修メンテナンスを行う	継続実施	→	→	自然史博物館	126	125	128	予算・実績は展示事業の設備保守点検委託料
		特別展(特別陳列)の開催	岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で盛り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う	継続	「岡山の野鳥たち～むかし・いま・みらい～」「新着資料展 富山哲夫チョウ類コレクション」「鳴く虫サロン」「折り紙昆虫展」「新着資料展2018(総合)」「新着資料展2018(昆虫)」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催した	特別展「地球の元素」「博物学者佐藤清明を知っていますか?」「新着資料展」「鳴く虫サロン」「しぜんしくらしき賞作品展」などを開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	2,363	2,268	1,510	予算・実績は展示事業+特別展事業
		自然環境基礎調査及び資料の収集、保管	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、収集資料を交換し市民に資料提供を行う	継続	西日本自然史系博物館ネットワーク加盟館園や岡山県博物館協議会加盟館園などと交流を行い、市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行った	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、また市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	1,659	1,668	1,704	予算・実績は標本・文献等収集事業
		自然環境指標生物についての基礎的研究	自然環境指標となる生物について基礎的研究を行う	継続	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進め、成果を研究報告や博物館講座などで公表した	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
生物多様性に係る情報の整備・充実	市域外での調査研究	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、倉敷市域外での調査研究を行う	継続	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内の市域外(真庭市・鏡野町・井原市・岡山市など)の自然についても調査や資料収集を行った 県外においては島根県で資料収集を行った	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内全域の自然についても調査や資料収集を行う 県外においては山口県で資料収集を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	896	879	908	予算・実績は調査研究事業
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨により、中止した。	・平成30年7月の西日本豪雨により会場が被災しているため、休止する。	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	106	12	104	
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨により、中止した。	・海辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月27日(土) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	12	79	
	井戸、湧水に関する情報収集と情報提供	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め、HPで情報提供を行う	継続	認定済みの井戸・湧き水について、HPで情報提供を行った	HPで情報提供を行う 新規に認定すべき井戸・湧水について情報提供を受け、調査を行う	継続実施	→	→	環境政策課	—	—	—	
	巨樹・老樹等の保護	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め調査し顕彰する	継続	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の案内板を修繕した(2件)	情報の収集と提供を行い、新たな樹木を認定する 巨樹・老樹の老朽化した案内板を更新する	継続実施	→	→	環境政策課	65	54	65	
	自然海岸、海浜、干潟の調査	自然保護団体の協力で海岸線、海浜、干潟の現状を把握する	継続	自然史博物館友の会の行事「干潟の生き物しらべ」(倉敷市)、「再訪・鴻島の自然」(備前市)に協力しつつその現地の調査を行う 別途、独自調査及び調査協力を行った	自然史博物館友の会の行事「干潟の生き物しらべ」(倉敷市)、「釜島の自然」(倉敷市)に協力しつつその現地の調査を行う 別途、独自調査及び調査協力を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	—	—	—	
				継続	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行った	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0
	自然保護監視員制度の活用	自然保護監視員から身近な地域における自然環境の話題、情報を収集する	継続	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	256	172	258	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標1:総合的・計画的な保全体系の拡充

【基本方針】

生物多様性の保全は長期的な取り組みが必要な新しい地域課題であることから、地域の多様な生態系・生物種が現状程度に保持されるとともに、希少種、貴重な生態系の保全、回復、再生施策を推進するため、総合的・計画的な保全体系の拡充を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標2-1 総合的・計画的な保全体系の拡充】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
総合的・計画的な 保全体系の拡充	市 全 域	生物多様性の保全体系の拡充	リーディング プロジェクト	総合的・計画的な保全体系を拡充する	事業化に向けた検討を行った	総合的・計画的な保全体系の拡充について検討する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-	
		生態系の現状を踏まえた土地利用の推進、および開発における環境配慮の拡充等による、自然生態系、人と自然のふれあいに係る生態系、市街地の都市公園・緑地等の生態系を保全する		国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進めた	国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進める	継続実施	→	環境政策課 農林水産課	-	-	-		
		環境影響評価制度の活用を図る		法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望した	法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-		

◆分野別目標2:地域の自然と生態系ネットワークの保全

【基本方針】

水と緑のつながりを確保し、地域の生態系ネットワークを保全、回復、再生するため、防災や利用との調和を図りながら、住宅地等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図り、生き物の生息・生育空間及び移動経路に配慮した空間の形成を目指します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	森・山	循環的活用の推進	リーディング プロジェクト	豊かな生態系を循環的に活用するため、上流域も含め、市民活動団体との協働により森林保全の実施を支援・推進する	高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援した	高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援する	継続実施	→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	市 街 地	屋上緑化、壁面緑化の推進		マンションや戸建住宅、工場等にある緑地において、特定外来生物等の他の植生に悪影響をもたらす植物の除去や、植栽等の景観も含めた保全が行えるよう方針を作成する	屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行った	屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行う	継続実施	→	環境政策課 公園緑地課 市街地開発課 住宅課	-	-	-	
		公園・緑地整備計画の推進及び支援		生物多様性に配慮した公園・緑地整備計画の支援を推進し、民間開発事業に伴う緑化の支援及び指導を行う	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施	→	公園緑地課 各担当課	-	-	-	
	市 全 域	自然に配慮した景観保全		豊かな自然と良好な景観を保全するため、条例に従い、規制・指導を行う	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施	→	公園緑地課	-	-	-	
		各種団体との連携推進		生物多様性の保全について、NPO法人や地域団体等の各種団体と調整を図るとともに、地域連携保全活動計画策定の検討を図る	本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導した	本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導する	継続実施	→	都市景観室	-	-	-	
				各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について検討した	各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について調査する	継続実施	→	環境政策課 環境衛生課 市民活動推進課	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考		
地域の自然と生態系ネットワークの保全	市全域	市以外の公共事業における環境保全措置	リーディングプロジェクト	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求めた	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求めた	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-			
	森・山	ビオトープの設置促進	小学校、公共施設等へのビオトープの設置を手助けする	継続	設置に関する相談などなし	設置に関する相談があれば適時対応する	継続実施			環境政策課	0	0	0		
		「倉敷美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,363	2,363	2,587		
		「真備美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			真備・産業課	6,087	5,629	5,608		
		「ふれあいの森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,699	2,699	2,724		
		種松山野草園管理	野草園の管理	継続	移植植物の維持管理を行った	移植植物の維持管理を行う	継続実施			環境政策課	484	481	484		
		「愛宕山森林公園」管理事業	愛宕神社を中心に広がる緑豊かな森林公園の草刈りやトイレ清掃などを管理委託により保全する	継続	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全した	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全する	継続実施			船穂・産業係	7,896	7,372	3,268		
		「ツツジ山再生プロジェクト」事業	市民企画提案事業「ツツジ山再生プロジェクト」により、旧帯江銅山(中庄)にツツジを植え、かつて栄えたツツジ山を復活させる	継続	ツツジの苗木の育成及び植栽	H29年度事業終了				市民活動推進課	-	-	-	協働団体「ツツジ山再生プロジェクト」	
	河川・水辺	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う	継続	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させた	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させる	継続実施			環境政策課	-	-	-		
				継続	東三間川用水路改修工事(その1)ほか2線	東三間川用水路改修工事ほか1線	水路改修工事5件程度	水路改修工事5件程度	水路改修工事5件程度	水島支所・産業	13,000	11,098	10,000		
				継続	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	継続実施 継続実施			水島支所・産業	5,000 1,200	1,265 717	5,000 1,300		
				継続	豊洲119号水路改修工事ほか1件	藤戸地内水路改修工事ほか5件	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	13,413	42,701	30,500		
				継続	溜川公園水辺ゾーン及び現況ヨシ原維持管理	地域団体・NPOの協力のもと、維持管理及び保全を行った	地域団体・NPOの協力のもと、維持管理及び保全を行う	継続実施			玉島・建設課	489	489	489	随時見直しあり
				継続	阿津遊水池環境保全事業	遊水池の環境整備(測量、設計委託、整備)	遊水池整備を行う	継続実施			児島・産業課	0	0	0	
			継続	自然保護団体の湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	自然保護団体の活動に対して技術情報提供などにより支援した	継続実施			環境政策課	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考	
地域の自然と生態系ネットワークの保全	平里野地部	「由加のビオトープづくり」事業	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課	—	—	—	協働団体「由加の自然を育む会」	
	市街地	街区公園の整備	街区公園の整備	継続	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事	継続実施	→	公園緑地課	34,405 113,846	34,404 155,782	45,000 139,461		
		「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」事業	市民企画提案事業「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」の一環で、真如庵にビオトープの整備を実施する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課 環境政策課	—	—	—	協働団体「茶屋町エコライフ・グループ」
		本庁壁泉池維持管理	ビオトープとして整備した壁泉池の維持管理を行う	継続	維持管理	維持管理	維持管理	→	総務課	0	0	0		
	市全域	造林事業	森林資源の培養と自然環境の保全を図るため、苗木相当額を補助し植林を推進する	継続	要望がなかったため未実施	要望に応じ、苗木相当額を補助し、植林を実施する	継続実施	→	農林水産課	77	0	79		
松くい虫予防事業		松くい虫被害対策のため、薬剤散布による予防と被害木の伐採駆除	継続	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行った	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行う	継続実施	→	農林水産課	13,220	9,718	11,519			

◆分野別目標3: 地域ごとの自然環境の保全

【基本方針】

それぞれの地域の自然特性を活かしながらか保全していくことが重要なため、地域住民の協力のもと、地域の特性に応じた取り組みを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-3 地域ごとの自然環境の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
地域ごとの自然環境の保全	倉敷地域の取り組み	酒津八幡山周辺を、山と河が一体となった緑豊かな景観と、多様な生態系が残る自然の宝庫として保全する	継続	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進めた	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進める	継続実施	→	環境政策課 各担当課		—	—	—	
	水島地域の取り組み	大平山、種松山、鴨ヶ辻山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図った	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施	→	環境政策課 各担当課	424	424	484		
	児島地域の取り組み	由加山系の貴重な動植物を保護するとともに、山系全体を保全する	継続	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図った	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施	→	環境政策課 少年自然の家	0	0	0	少年自然の家は、令和2年度、令和3年度は建替えのため閉所。令和4年度は再開予定	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
河川・水辺	水島地域の 取り組み	八間川を、市民が憩える水辺空間として整備を推進する	継続	花苗5000株を年3回植栽した	花苗5000株を年3回植栽する	継続実施	→	→	公園緑地課	250	250	250	
	玉島地域の 取り組み	溜川遊水池周辺の自然生態環境を保全・活用するとともに、市民が自然とふれあえる公園として溜川公園を維持管理する	継続	自然生態環境に配慮し維持管理を行った	自然生態環境に配慮し維持管理を行う	継続実施	→	→	玉島・建設課 公園緑地課	489	489	489	
	船穂・真備地域の取 り組み	川辺ふるさとピオトープや真備水辺の楽校、希少生物の理解や水生生物とのふれあいの場として活用を図る	継続	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進めた	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進める	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
		清流に恵まれた高梁川、小田川とその周辺の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図った	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	H30年度は豪雨災害のため水辺教室は中止
海辺・海岸	児島地域の 取り組み	唐琴地区や、下津井地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸を保全し、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	H30年度は豪雨災害のため海辺教室は中止
		鷺羽山展望台周辺整備基本計画及び名勝下津井鷺羽山保存管理計画に基づき、鷺羽山の良好な自然景観を維持保全するとともに、整備活用する。	継続	・樹木の伐採	樹木の伐採を行う	継続実施	→	→	観光課	1,900	1,261	1,208	
	玉島地域の 取り組み	高梁川河口の干潟や、玉島黒崎地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸の保全を図るため国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
市街地	倉敷地域の 取り組み	鶴形山、向山、足高山など市街地の中の身近な自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図った	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標4: 重要地区の保全

【基本方針】

生態系ネットワークの構成上重要であり、豊かな生き物の生息地、生育地となっている地域について積極的に保全します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-4 重要地区の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
重要地区の保全	海辺・ 平野地部・ ため池 湿地	アマモ場の保全・再生事業	リーディング プロジェクト	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援した	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する		環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施	→	→	農林水産課 環境政策課	7,000	3,586	7,000	
	ため池保全計画の策定	ため池の生物多様性保全機能に着目し、国が進める農地・水・環境保全向上対策事業の利用、推進を図る		ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進した	ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進する	継続実施	→	→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する		必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援した	必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	市全域	良好な自然環境が残る区域を保全する「地区指定」の実施	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け関係者との協議を行う	継続	候補になるような地域の指定場所の検討を行った	候補になるような地域の指定場所の検討を行なう	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-
	自然公園区域、県自然環境保全地域等の区域の拡大や、新たな指定への協力	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け土地所有者及び関係市民との協議を行い、協力が得られた区域について、国、県に積極的に働きかける	継続	指定に適した地区の調査・検討を行った	指定に適した地区の調査・検討を行う	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標5: 希少野生生物の生息・生育環境の保全

【基本方針】

天然記念物や種の保存法該当種、国や県のレッドデータブック対象種について、保護の重要性に関する普及啓発を進めるとともに生息地の保全・再生を含む保護活動を推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
河川・水辺	希少動植物の生息情報整備	希少野生動植物の生息情報マップを整備し、生態系に配慮した管理を推進する	リーディングプロジェクト	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行った	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行う	継続実施	→	→	環境政策課 耕地水路課	-	-	-	
	希少動植物の保全	各課連携により淡水魚・希少動物の積極的保全に取り組む		希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	海浜や干潟における希少生物の保全	海浜利用者に配慮し、保全が必要な海浜植物について囲いを設置するなどの保全を行う		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	希少野生動植物の保全	早急な対策が求められる希少な動植物種について優先的に保護対策を講じ、種の絶滅を回避する		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
海辺・海岸	シラガブドウの保護	愛宕山森林公園内および堆肥化施設敷地内に、シラガブドウの保護地を設け、保護及び啓発を行う	継続	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行った)	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行う)	継続実施	→	→	船穂・産業係	0	0	0	
市全域	ミズアオイ群生地整備事業	ミズアオイの良好な生育環境を創造するため、自生地の整備を行う	継続	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行った	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行う	継続実施	→	→	土木課	365	364	368	
	ミズアオイ群生地の保全活動	自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める	継続	ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して観察会等の啓発活動を行った(春:種まき会 秋:観察会)	ミズアオイ自生地の整備・管理に協力する 市民に対して観察会等の啓発活動を行う	継続実施	→	→	環境政策課	73	30	73	
	希少野生生物に配慮した公共工事の実施要請	スイゲンゼニタナゴ・カワバタモロコやダルマガエルなど希少野生生物が生息・生育する場所での水路改修・街路事業などの公共工事では、専門家等との協議や地域住民の理解を求め、希少野生生物の生息・生育環境への影響が最も少ない方法を検討し、調整を図る	継続	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した(調査・協議・対策8回実施)	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請する	継続実施	→	→	環境政策課	606	421	606	
森・山													
河川・水辺													

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考	
希少野生生物の生息・生育環境の保全	河川・水辺	希少野生生物に配慮した公共工事の実施	継続	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業課	0	0	0		
			継続	東三間川水路改修工事(その1)ほか2線	東三間川水路改修工事ほか1線	水路改修工事5件程度	水路改修工事5件程度	水路改修工事5件程度	水島支所・産業	13,000	11,098	10,000	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	
			継続	豊洲119号水路改修工事ほか1件	藤戸地内水路改修工事ほか5件	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	13,413	42,701	30,500	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	
			ダルマガエル・カスミサンショウウオなどの希少野生生物(両生類等)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	継続	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業課	-	-	-	
		スイゲンゼニタナゴ個体群の保全	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する	継続	・工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した(11件) ・淡水魚の出前講座は申込なし。	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚に関する出前講座を実施する。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	0	0	0	※ 淡水魚講座に関する予算等は【4-3】参照
		川辺ふるさとピオトップ管理	ダルマガエル公園を含む親水公園の維持管理(委託)	継続	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なった	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を引き続き「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なう	継続管理			真備・建設課	251	251	251	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標6: 外来生物対策

【基本方針】

国内外における輸送などに伴い、意図的、非意図的を問わず人為的に導入された外来生物による地域の生態系への影響を最小限とするため、国、県、周辺自治体、市民、事業者及びNPO団体など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及に努めるとともに、必要に応じ関係法令に基づく防除を検討します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-6 外来生物対策】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当 初予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元 年予算 (千円)	備考
外来生物対策	外来種等の生態系に悪影響を与える生物への対応	アライグマなどの特定外来生物について防除計画を作成し駆除等の対策を実施する	リーディングプロジェクト	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討した	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討する	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-	
		ペットや野生動物とのつきあい方等の市民啓発の実施をする		出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
				出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	チラシや出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	生活衛生課	-	-	-	
		ヌートリアやカワウなどについて、苦情や捕獲などの情報をもとに獣害分布図を作成し、関係部署との情報の共有を図る		関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努めた	関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努める	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-	
	外来生物に関する啓発と情報提供	外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う	継続	出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努めた(講座回数25回、出前講座25回)	新たに発見された外来生物について記者クラブへの発表及び学術雑誌での報告を行う 出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	
			継続	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行った	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行う。必要に応じ駆除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター	7,744	7,640	8,903	
			継続	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応した。市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行った	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応する 市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行う	継続実施	→	→	自然史博物館 環境政策課 農林水産課	-	-	-	
	外来生物への対策の計画策定と防除の実施	必要に応じ、防除計画の策定、防除実施を進める	継続	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、防除対策について検討した	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、必要に応じ防除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課	-	-	-	鳥獣被害防止計画など

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標1:環境配慮型農業と地産池消の推進

【基本方針】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援、推進するとともに担い手の育成など農業の持続的な発展と地域の活性化を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標3-1 環境配慮型農業と地産池消の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
環境 配慮 型 農 業 と 地 産 池 消 の 推 進	生物多様性に配慮した農業の推進	冬水田んぼ、休耕田の利活用による田んぼづくりを推進する	リーディングプロジェクト	要望がなかったため未実施	耕作放棄地解消推進事業等を活用した支援により、耕作放棄地の再生・利用を推進する	継続実施			農林水産課	0	0	0	
		農地を活用した環境学習を推進する		環境保全型農業直接支援対策等を通じ環境配慮型農業を推進することにより、農業者が実施する環境学習を支援した	継続して実施する	継続実施			農林水産課	-	-	-	
				夏休み講座として、「田んぼの生きもの調べ」を実施 ・8月19日(日)実施 25人参加	夏休み講座として、「田んぼの生きもの調べ」を実施する ・8月18日(日)実施予定	継続実施			環境学習センター	-	-	-	
		生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産池消及び旬産旬消の推進をする		地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントや啓発講座の開催、PR活動などを行った	継続して実施する	継続実施			農林水産課	1,794	1,318	1,262	
		生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る		パンフレットの配布等を通じ環境保全型農業の普及促進を図った	継続して実施する	継続実施			農林水産課	-	-	-	
				出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図った	出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る	継続実施			環境政策課	-	-	-	
	環境保全型農業の支援	おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する	継続	環境保全型農業直接支援対策により環境保全効果の高い営農活動を支援した	継続して実施する	継続実施			農林水産課	7,000	3,586	7,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標2: 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

【基本方針】

開発行為を行う場合、生態系とその基盤となる生物に関する情報を事前に把握し、配慮した予防的、順応的な対策などの取り組みを進めます。

事業活動における環境負荷の低い原材料の使用や生態系認証商品や材料の活用、供給などサプライチェーン全体の中で持続可能な生産と消費に配慮した経営を促していきます。

◆実施事業一覧表【基本目標3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
生物多様性に配慮した事業の実施	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	リーディング プロジェクト	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行った(11件)	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	継続実施	→	→	環境政策課 開発指導課	-	-	-	
	まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する		該当事業がなかったため未実施	まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する	継続実施	→	→	市街地開発課	-	-	-	
	自然環境や生態系に配慮した技術開発・施工方法による生物多様性保全への取り組みを推進する		工事個所の自然環境や生態系に配慮した対応を検討した	工事個所の自然環境や生態系に配慮し、必要に応じ対応する	継続実施	→	→	土木課 街路課	-	-	-	
	産業界に係る職員や企業を対象とした研修を行い、企業活動や商品、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する		出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進した	出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する	継続実施	→	→	各担当課 環境政策課	-	-	-	
	生物多様性に欠かせない水と命の係わりについて意識し、下水道の整備等により、生態系の回復を図る		下水道の整備及び普及促進	下水普及率を向上させ、水質の向上を図る	継続実施	→	→	下水建設課 下水施設課	-	-	-	
くらしき地域資源の活用	地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする		くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行った	くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行う	継続実施	→	→	商工課	7,430	4,947	8,743	
市民参画による生物多様性に配慮した公園づくり	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくりを推進する		市民の意見をとりにれた公園づくりを推進した	市民の意見をとりにれた公園づくりを推進する	継続実施	→	→	公園緑地課	-	-	-	
小田川付替え事業との連携	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する		高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進した	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する	継続実施	→	→	環境政策課 土木課 自然史博物館 文化財保護課 各担当課	-	-	-	
八間川緑道公園整備	地元住民、関係機関等との協議の検討	終了	八間川東側に緑地を整備	事業終了				水島・建設	-	-	-	
土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
宅地造成許可	宅地造成に係る許可	継続	宅地造成に係る許可	宅地造成に係る許可	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
開発行為等の事前協議	事業内容により自然環境調査を行い自然の回復に努めるよう指導	継続	希少野生生物等への影響が考えられる11件について保全対策を指導した	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
保健保安林管理事業	三百山・大向山保健保安林管理委託	継続	業者に管理委託して施設を保全した	業者に管理委託して施設を保全する	継続実施	→	→	児島・産業課	3,249	3,249	3,409	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標1: 市民への環境学習機会の提供

【基本方針】

自然環境保全に対する市民の意識を高めるため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、講演会、講座、自然体験型イベントを実施します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-1 市民への環境学習機会の提供】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
生物多様性体験 学習拠点の設置	自然史博物館、環境学習センター を中心に、教育施設と連携した自然 基礎情報の収集や、研修ニーズ の調査を行う		倉敷みらい公園において生き物 調査を実施した(16回)	倉敷みらい公園において生き 物調査を実施する	継続実施	→		自然史博物館 環境学習センター	0	0	0	みらい公園パード ウォッチング
保全に向けた普 及啓発活動	シンポジウムや講演会、パネル掲 示等による生物多様性保全に向け た普及啓発活動をする	リーディング プロジェクト	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の保全につな がるエンカルファッションに関す る講演会を実施した	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の保全につな がるマイクロプラスチックに関す る講演会を実施する	継続実施	→		環境政策課 環境学習センター	500	500	650	環境フェスティバル (4-6 環境保全に関す る事業の情報提供) のプログラムとして実 施
関連施設等との連 帯	文部科学省及び県教育事務所関連 施設の事業に参加	終了	自然観察会を岡山県生涯学習 センターとの連携講座として行っ た(博物館主催16回、友の会主 催10回)(H28年度で事業終了)					自然史博物館	-	-	-	
	環境省及び県環境関連部門の事業 に参加	継続	総合環境学習ゾーンモデル事業 (環境省)へ参加し、配当物品 の利用に便宜を図った(0件)	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用に便宜を図る	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	
		継続	総合環境学習ゾーンモデル事業 (環境省)へ参加し、配当物品 の利用促進を図った	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用促進を図る	継続実施	→		環境学習センター	0	0	0	
「11月3日は自然 史博物館まつり」の 開催	博物館友の会の協力を得て、全館で さまざまなイベントを開催する 終日入館無料	継続	第18回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催した(来場総数 8,825人)	第19回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催する	継続実施	→		自然史博物館	473	472	574	予算・実績は自然史 博物館まつり事業
環境学習センター での環境学習・講 座等の充実を図る	環境学習センターでの環境学習・講 座等の充実を図る	継続	環境学習・講座等の充実を図っ た	環境学習・講座等の充実を図る	継続実施	→		環境学習センター	7,744	7,640	8,903	
緑化ポスターコン クールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続	緑化ポスターコンクールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続実施	→		公園緑地課	140	140	140	
自然史全般の質 問・問合せなどへ の対応	自然史全般についての質問などに、 学芸員が個別に回答する	継続	対面・メール等で対応した(レ ファレンス総数990件)	対面・メール等で対応する	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	
自然保護小冊子の 発行等	自然の紹介や自然保護に関する小冊 子などの発行、市民事業への協力	継続	研究報告第34号を発行した	研究報告第35号を発行する	継続実施	→		自然史博物館	650	647	617	
	自然の紹介や自然保護に関する小冊 子などを活用した啓発を図る	継続	自然保護団体等と協力して、淡 水魚に関する出前講座を実施 する。(H30: 申し込みなし)	淡水魚を中心とした水環境に関 する小・中学生対象の出前講 座を実施する	継続実施	→		環境学習センター	0	0	0	
くらしき都市緑化 フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続	都市緑化フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続実施	→		公園緑地課	1,650	1,650	1,650	
少年自然の家 受入事業	小、中学校の山の学習などの受入れ とともに、生涯学習施設としての位置 づけにより幅広い年代の研修団体の 受け入れを実施する	継続	自然の中で仲間と遊び、自然と 親しみながら仲間と暮らすこと によって、人間形成を図った(テ ント設営、野外炊事等)	自然の中で仲間と一緒に共同 生活することによって自主性 や協調性を養うとともに、自然 の大切さや雄大さを体感するこ とによって環境保護の意識醸成 を図る	継続実施	→		少年自然の家	66,057	62,049	57,384	少年自然の家は、令 和2年度、令和3年度 は建替えのため閉 所。令和4年度は再 開予定。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考	
市民への環境学習機会の提供	自然環境保全に関する研修会、講演会	有識者を講師に研修会、講演会、サイエンス・カフェなど開催する	継続	自然環境保全に関する有識者を講師とする講座を開催した(H30: 田んぼの生き物調べ)	自然環境保全に関する有識者を講師とする講座を開催する	継続実施	→		環境学習センター	—	—	—		
			継続	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の保全につながるエンカルファッションに関する講演会を実施した	くらしき環境フェスティバルにおいて自然環境の保全につながるマイクロプラスチックに関する講演会を実施する	継続実施	→		環境政策課	500	500	500	【再掲】同シートに掲載	
	自然保護監視員研修会・連絡会議	知識習得のための研修会を行う 自然保護に関する情報や意見を受けるための連絡会を開催する	継続	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催した(2回)	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催する	継続実施	→		環境政策課	256	172	258	【再掲】基本目標1-2「自然保護監視員制度の活用」	
	自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト	市民企画提案事業「自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト」の一環で、倉敷を訪れる観光客に環境に配慮した観光スタイルを学習する機会を提供する	終了	H25年度事業終了						市民活動推進課	—	—	—	
	「倉敷まちかど博物館」事業	平成25年度コミュニティー助成事業により、岩石・鉱物・化石・植物・昆虫・動物などの標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設に貸し出しする	継続	11施設に40台のユニットを新たに貸し出した	図書館・公民館・学校園など、公共性の高い施設、市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出しを行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		

◆分野別目標2: 支援者、指導者の育成

【基本方針】

市内の自然環境情報を幅広く収集するとともに市民に数多くの環境学習機会を提供するため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、専門的な知識を持つ指導者や市民団体の育成と支援に努めます。

◆実施事業一覧表 【基本目標4-2 支援者、指導者の育成】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初 予算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
支援者、指導者の育成	生物多様性に関する環境学習システムの推進	保育士や教諭等を対象とした研修を行い、子どもたちが地球に優しい取り組みを実践することにつなげる	リーディングプロジェクト	研修の方法・内容等の検討について教員研修を所管する教育センターに依頼	研修の方法、時期、対象等を検討中	研修の実施	→		教委・指導課	0	0	0	
	指導者養成講座の開催	高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う	継続	環境学習人材育成研修の実施(H30は実施せず)	人材育成研修を実施する	継続実施	→		環境学習センター	300	0	0	
	自然環境保全マニュアル研修会	市新規採用土木職員などを対象に研修会を実施	継続	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行った	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行う	継続実施	→		環境政策課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標3:子どもたちへの環境教育の充実

【基本方針】

自然や生きものに対する子どもたちの関心と環境保全意識を高めるため、学校や地域における自然体験活動への参加の機会を増やします。

◆実施事業一覧表【基本目標4-3 子どもたちへの環境教育の充実】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考		
子どもたちへの環境教育の充実	生物多様性に関する環境学習システムの検討	リーディングプロジェクト	パンフレットの授業への活用について検討した	環境政策課作成のパンフレットを授業に活用するよう呼びかける	継続実施	→	→	指導課	-	-	-			
			生物多様性地域戦略に関する子供向けパンフレットを配布した	啓発推進及びその方法の検討を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0	一般向けパンフ、地域戦略冊子含む		
	ビオトープの設置および推進		学校・保育所等にビオトープの設置を推進及び支援する		必要に応じ設置および管理に関する支援を行った	継続実施	→	→	環境政策課 教育施設課	0	0	0		
	自然とふれあうイベント等の開催		子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する	自然体験型の講座を36件実施 562人が参加した	子どもたちや親子で参加する自然体験講座・イベントや、自然とふれあう活動を支援する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施	
				障がい児などを対象としたキャンプを少年自然の家で1回実施 (災害対応のため2回は中止)	障がい児などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する	継続実施	→	→	障がい福祉課	287	56	286		
				子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援した	子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する	継続実施	→	→	子育て支援課	-	-	-		
	環境学習の充実		出前講座の開催	継続	出前講座を開催した(6件)	出前講座を開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
				継続	出前講座を開催した(12回)	出前講座を開催する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施
			継続	自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座を実施(H30:申し込みなし)	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	0	0	0		
			公民館、図書館講座及び学校、保育園などの施設へ講師の派遣を行う	継続	講師派遣に協力した(出前講座以外の講師派遣16件)	講師派遣に協力する	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
		継続	講師派遣に協力する(派遣実績なし)	講師派遣に協力する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-			
環境学習講座の開催		継続	夏休み期間を中心に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施した(36件:562人)	夏休み期間に重点的に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-			

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
子どもたちへの環境教育の充実	環境教育の推進	環境教育全体計画、指導計画の作成	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨により、中止した。	・平成30年7月の西日本豪雨により会場が被災しているため、休止する。	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	106	12	104	【再掲】1-2水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨により、中止した。	・海辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月27日(土) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	12	79	【再掲】1-2 海辺教室
	自然教室(中学校)	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	山の学習(小学校)	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然についての知識を得る	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵みを再発見する	継続	平成30年7月豪雨のため未実施	底びき網などを体験し、瀬戸内の恵みの再発見することをねらいとし、親子漁業体験学習を実施する	継続実施	→	→	農林水産課	1,385	0	1,846	H29は50周年事業として実施
	科学講座	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、サイエンス塾等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにした	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続実施	→	→	科学センター	230	131	230	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

少年自然の家 主催事業	自然体験学習の実施 ・「由加わいわいキャンプ」 (テント設営・そうめん流し) ・「夏休みこどもキャンプ」 (丸太小屋生活・野外炊事) ・「家族で秋の思い出づくり」 (ハイキング・芋ほり) ・「冬季こどもキャンプ」 (テント生活・野外炊事) ・「早春のつどい」 (よもぎ採り・餅つき) ・「さわやかデー(由加山の旅)」 (そうめん流し・野外炊事)	継続	由加わいわいキャンプなど (テント設営, そうめん流し)を 実施した 「由加わいわいキャンプ」(83 人) 「夏休みこどもキャンプ」(23人) 「さわやかデー(由加山の旅)」 (18人) 「家族で秋の思い出づくり」(53 人) 「ウインターフェスティバル」(97 人) 「冬季こどもキャンプ」(47人) 「自然の家大感謝祭」(300人) 「早春のつどい」(72人)	由加わいわいキャンプの実施 や, 不登校児等を対象とした市 生涯学習課企画事業(さわや かデー)への共同参画等を予 定	継続実施		少年自然の家	-	-	-	少年自然の家は, 令 和2年度, 令和3年度 は建替えのため閉 所。令和4年度は再 開予定。
----------------	--	----	--	---	------	---	--------	---	---	---	--

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標4: 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

【基本方針】

市民やNPO等市民団体、事業者が、地域の生物多様性保全のため実施する環境美化活動など社会貢献活動や、高梁川流域の恵みを使った経済活動等を支援します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考	
社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	リーディングプロジェクト	環境保全型農業直接支援対策により生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施	→	→	農林水産課	6,930	3,056	7,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備	
				先進事例等情報収集を行った	先進事例等情報収集を行う	継続実施 利活用方法等検討	→	→	環境政策課	-	-	-		
				地域交流イベント、経済活動を支援した	地域交流イベント、経済活動を支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-		
	自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援	高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援する												
	河川等のゴミの清掃	生活雑排水路の春秋地区清掃	継続	清掃で出た土砂・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施した	清掃で出た土砂・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施	継続実施	→	→	環境衛生課	34,708	31,869	34,708		
	児島湖流域清掃大作戦	継続	平成30年度は豪雨災害の影響で中止	児島湖流域清掃大作戦を開催する	継続実施	→	→	環境政策課	578	0	579	平成30年度は豪雨災害の影響で中止 令和元年11月3日(日)に開催予定		
	高梁川流域クリーン一斉行動の支援	継続	高梁川流域クリーン一斉行動を支援した 参加者:10,395人、収集量:7.94t	高梁川流域クリーン一斉行動を支援する	継続実施	→	→	教委・生涯学習課	206	33	212	令和元年11月24日(日)に開催予定		
	自然保護団体への活動支援	各種自然保護団体への活動を支援する	継続	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援した	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援する	継続実施	→	→	環境政策課	180	180	180	倉敷の自然をまもる会	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標5:エコツーリズム等の推進

【基本方針】

農業農村地域や漁村地域、離島地域などにおいて地域資源を活かした体験型ツーリズムなどを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-5 エコツーリズム等の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考	
エコ ツー リズム 等 の 推 進	生物多様性エコツアーの 推進	本市の進める生態系ネットワークの 取り組みをはじめ、経済的に循環し ている市内外の優良な企業の取り組 みの現場等を巡るツアーの実施及び 市民団体等による実施を支援する	リーディング プロジェクト	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	540	516	540		
			終了	H26年度事業終了						市民活動推進課 環境政策課	-	-	-	【再掲】2-2「茶屋町 の干拓史跡・真如庵 庭園の自然観察公園 への改修とその活 用」事業
			リーディング プロジェクト	市民団体による提案がなく未 実施	市民団体より提案があった場 合積極的に支援する	継続実施	→	→	観光課	-	-	-		
	エコツーリズム支援	市民団体の開催するエコツーリス ムを支援する	継続	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	540	516	540	【再掲】4-5「生物多 様性エコツアーの推 進」事業	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵み を再発見する	継続	平成30年7月豪雨のため未実 施	底びき網などを体験し、瀬戸内 の恵みの再発見することをね らいとし、親子漁業体験学習を 実施する	継続実施	→	→	農林水産課	1,385	0	1,846	【再掲】4-3 親子漁業 体験学習	
自然教室（中学校）	遊休農地を活用し、レクリエー ションやコミュニティの場となる よう市民農園の維持管理を行い利 用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	-	-	-	【再掲】4-3 自然教室 (中学校)		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標6: 自然とのふれあいの促進

【基本方針】

市内の身近な自然を保全し、市民が気軽に参加できるような自然観察会や自然調査を開催するなど自然とふれあう場として活用します。自然とのふれあい活動の実施にあたっては、NP
O等との協働を積極的に進めるとともに、市民に情報を提供し参加を呼びかけます。

◆実施事業一覧表【基本目標4-6 自然とのふれあいの促進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予	H30実績	令和元年	備考	
										算 (千円)	(千円)	予算 (千円)		
自然とのふれあいの促進	環境保全事業、啓発活動の支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等に努める	リーディングプロジェクト	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行った	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-		
	自然とのふれあい事業の開催	水辺教室、海辺教室、自然観察会、天体観察会、星空観察会などの自然とのふれあいを事業を開催する		平成30年7月の西日本豪雨により、水辺教室・海辺教室を中止した。	水辺教室は休止 海辺教室を実施	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	106 82	12 12	104 79	【再掲】1-2 水辺教室 【再掲】1-2 海辺教室	
				市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数13件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	410	424	426		
				市民が幅広く参加できる自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数18件)										
				季節の天体や星座の観察を行った(9回・435人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施	→	→	科学センター	33	0	33		
				探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	継続実施	→	→	環境政策課	484	481	484	【再掲】2-2 種松山野草園管理	
				野鳥観察に関する入門講座を2回実施した	野鳥観察に関する入門講座を季節に応じて実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	夏・冬の2回実施	
			要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援した	要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援する	継続実施	→	→	農林水産課	3,000	200	3,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備		
			ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかけた	ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかける	継続実施	→	→	教委・指導課	-	-	-			
			自然保護団体の里地、里山保全活動への支援	継続	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	ビオトープの活用促進	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けした	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0		
	啓発機会の提供	小学校をはじめとして、市民の水辺の環境保全意識啓発に努める	継続	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行った。淡水魚に関する出前講座は申し込みなし	淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	0	0	0	【再掲】2-5 スイゲンゼニタナゴ個体群の保全	
	種松山野草園管理	種松山野草園管理	継続	種松山野草園の維持管理を行った	種松山野草園の維持管理を行う	継続実施	→	→	環境政策課	484	481	484	【再掲】2-2 種松山野草園管理	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
自然との ふれあいの 促進	探鳥コース、野鳥観 察地の維持、活用	探鳥コースや野鳥観察地の観察しや すい環境づくりと利活用	継続	市民団体と協力し、野鳥観察 会を2回実施した	市民団体等と協力し探鳥会な どを開催し、活用を図る	継続実施	→	→	環境学習センター	0	0	0	【再掲】同シートに掲 載済
		探鳥コースや野鳥観察地の観察しや すい環境づくりと維持	継続	探鳥コースの点検を行った	探鳥コースの点検を行い、必 要に応じて対応する。探鳥コ ースの利用促進を図る	継続実施	→	→	環境政策課	65	1135	65	H30は予定外の作業 として、倒壊した探鳥 看板の再設置を実施
	市民農園事業	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュ ニティの場となるよう市民農園の維持 管理を行い利用を促進する	継続	市民農園維持管理を実施した	市民農園維持管理を実施する	継続実施	→	→	農林水産課	4,548	3,893	4,118	
	遊休農地の活用	幼・小・中学校において遊休農地を 活用し体験学習を推進する	継続	小学校の第4学年又は第6学 年と中学校の第1学年におい て遊休農地を活用し体験学習 を実施した	幼・小・中学校において遊休農 地を活用し体験学習を推進す る	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの 観察を行うと共に、結果について既 存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨 により、中止した。	・平成30年7月の西日本豪雨 により会場が被災しているた め、休止する。	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	106	12	104	【再掲】1-2 水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観 察を行うと共に、結果について既 存資料を含め情報提供を行う	継続	・平成30年7月の西日本豪雨 により、中止した。	・海辺教室を実施予定(環境学 習センターと市民学習センター が協働) ・7月27日(土) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	12	79	【再掲】1-2 海辺教室
	自然史博物館の催し 案内	市内外の学校教育施設等へ博物館 の催し案内を送付する	継続	月1回、記者クラブ、学校教育 施設等へ博物館の催し案内を 送付した 「広報くらしき」、「パワフルキ ッズ」、「メールマガジン」で行 事案内を行なった 年1回、市外近隣地域の小・中 学校に利用案内を送付した	記者クラブ、学校教育施設等 へ博物館の催し案内を送付す る 「広報くらしき」、「パワフルキ ッズ」、「メールマガジン」で行 事案内を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
	環境保全に関する事 業の情報提供	環境月間行事や環境保全講演会 の開催など、広報を活用し情報 を提供する	継続	・環境月間行事として、環境フェ スティバルを開催した ・6月2日 環境交流スクエア ・来場者 5,000人	環境月間行事として6月1日 (土)に環境フェスティバルを開 催予定 ホームページ・広報紙や報道 機関へ情報提供し、市民へ参 加を呼びかける	継続実施	→	→	環境学習センター	3,655	3,623	3,936	
	「こどもエコクラブ」活 動支援	広報、事務局の支援等を通じ、ク ラブの活動を支援する	継続	広報、会員登録受付、環境に 関する情報の提供等を行った	HP、メルマガ等による広報、会 員登録受付、環境に関する情 報の提供等を行う 小学校を通じて放課後子ども 教室への情報の提供を行う	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	
	自然観察会、講座等 の開催	自然保護団体と協力し市民参加 の観察会や講座を開催する	継続	市民が幅広く参加できる自然 観察会、講座等を開催した(総 数41件) 「友の会」による自然観察会等 の開催を援助した(友の会主催 観察会・講座総数17件)	市民が幅広く参加できる自然 観察会、講座等を開催する 「友の会」による自然観察会等 の開催を援助する	継続実施	→	→	自然史博物館	410	424	426	予算・実績は教育普 及事業
		継続	自然保護団体の観察会等の開 催を援助した	自然保護団体の観察会等の開 催を援助する	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な事業 関係課	H30当初予 算 (千円)	H30実績 (千円)	令和元年 予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	天体観望会	季節の天体や星座の観察を行う	継続	季節の天体や星座の観察を行った(9回・435人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施	→	→	科学センター	33	0	33	
	全国の各団体により、決められた領域を観察し、確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会の開催	確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会(アストロクラブ)	継続	H30年度から環境省の全国星空継続観望会が再開したことにもない、再開した(1回・3人)	環境省の全国星空継続観望会の再開にもない、継続実施する	継続実施	→	→	科学センター	-	-	-	
	自然散策路の検討	自然散策コースなどの検討	継続	倉敷市自然保護監視員から自然保護監視員等により情報収集を行った	倉敷市自然保護監視員等からの情報収集を行い、自然散策コースなどの検討を行う	継続実施	→	→	環境政策課	24	17	24	
	「倉敷の生き物を探そう！」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	終了	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(0件の投稿があった)(H30年度事業終了)		事業終了				環境政策課	-	-	-